



取扱説明書

自動放送機能付 プログラムチャイム PBS-D500

この度は、「自動放送機能付プログラムチャイム PBS-D500」をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みの上、内容を理解してからお使いください。お読みになったあとも、本商品のそばなどいつもお手元に置いてお使いください。

もくじ

安全にお使いいただくために.....	2
ご使用の前に.....	4
商品概要.....	5

第1章 本体装置編.....	7
各部の名前とはたらき.....	8

本体装置の設定.....	10
1. 年月日時刻を合わせる.....	10
2. ネットワークの設定.....	11
3. 放送音量の設定.....	13
4. 音質の設定.....	13
5. キーロックの設定.....	14
6. PBS-LA500 の設定.....	15

スケジュール・音源の読み書き.....	16
1. USB メモリのデータを本体装置に読み込む.....	16
2. 本体装置のデータを USB メモリに書き込む.....	18

音源を準備する.....	20
1. メッセージの録音・再生・消去.....	21
2. チャイムの録音・再生・消去.....	23
3. 外部チャイム、外部 BGM の再生.....	25
4. 録音可能時間の確認.....	26
5. 音源の全消去.....	26

スケジュールの確認／変更.....	28
1. 年間スケジュールの確認と変更.....	28
2. 本日スケジュールの確認.....	29
3. スケジュールの繰上げ／繰下げ.....	30
4. 放送の休止.....	31
5. スケジュールファイルの表示.....	32
6. スケジュールの変更について.....	33

放送.....	34
1. 自動放送.....	34
2. 手動放送.....	36
3. リモート放送.....	37

設置工事.....	38
1. 後面端子部の名前とはたらき.....	38
2. 各機器との接続のしかた.....	39
3. 外部チャイムの音量調節.....	41
4. 外部 BGM の音量調節（一般用のみ）.....	41

第2章 データ入力ソフト準備編.....	43
データを登録する前に.....	44
1. データ入力ソフトをセットアップする.....	44
データ入力ソフトを起動／終了する.....	49
1. 起動／終了のしかた.....	49
2. メニューバーについて.....	50

第3章 データ入力ソフト一般用編.....	53
スケジュール設定（一般用）.....	54
1. チャイム・メッセージの登録.....	55
2. 日課パターンの登録.....	58
3. 年間スケジュールの登録.....	64
4. 年間スケジュール表の確認.....	70
5. 装置設定の登録.....	72
6. 装置用データの作成.....	76

ネットワーク機能（一般用）.....	80
1. ネットワーク設定の登録.....	81
2. 本日スケジュールの変更登録.....	82
3. 繰上げ・繰下げ、休止の変更登録.....	85
4. 年間スケジュールの変更登録.....	87
5. 装置用データの書き込み.....	88
6. データの読み込み.....	91
7. スケジュール確認.....	93
8. LAN 手動放送.....	94

第4章 データ入力ソフト学校用編.....	97
スケジュール設定（学校用）.....	98
1. チャイム・メッセージの登録.....	99
2. 日課パターンの登録.....	102
3. 年間スケジュールの登録.....	106
4. 年間スケジュール表の確認.....	112
5. 装置設定の登録.....	114
6. 装置用データの作成.....	118

ネットワーク機能（学校用）.....	121
1. ネットワーク設定の登録.....	122
2. 本日スケジュールの変更登録.....	123
3. 繰上げ・繰下げ、休止の変更登録.....	126
4. 年間スケジュールの変更登録.....	128
5. 装置用データの書き込み.....	129
6. データの読み込み.....	132
7. スケジュール確認.....	134
8. LAN 手動放送.....	135

第5章 共通編.....	137
登録内容を印刷する.....	138
LAN アダプタ PBS-LA500 を使用する.....	141
故障とお考えになる前に.....	155
主な取り扱い方法 PBS-D500.....	156
主な仕様.....	158
アフターサービスについて.....	160

安全にお使いいただくために

この取扱説明書には、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本装置を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

本書中のマークの説明

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。
 お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本装置の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容および利用できない機能などの内容を示しています。
 ワンポイント	この表示は、本装置を取り扱う上で知っておくと便利な事項、および操作へのアドバイスなどの内容を示しています。

安全にお使いいただくために必ずお守りください

 警告	ぬれた手で電源プラグをコンセントに抜き差ししたり、本装置を操作したりしないでください。感電や故障の原因となります。
	電源コードの上に重い物を置いたり、無理に曲げたり、引っ張ることはやめてください。電源コードを傷つけ、火災や感電の原因となります。
	電源プラグは、ほこりが付着していないことを確認してから確実にコンセントに差し込んでください。また、定期的に電源プラグを抜いて点検・清掃してください。ほこりなどによって、火災や感電の原因となります。
	AC 100 V 商用電源以外では、絶対に使用しないでください。また、タコ足配線による接続は絶対に行わないでください。火災や感電・故障の原因となります。
	雷が鳴り出したら、筐体や電源プラグには触れないでください。落雷による感電の原因となります。
	本装置の上に花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品や水などの入った容器、または、小さな金属類を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災や感電の原因となります。万一、水などの液体や異物が入った場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に点検を依頼してください。そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。
	万一、異常な音がしたり、煙がでたり、変な臭いがするなどの異常な状態に気づいたときは、電源プラグをコンセントから抜いて、煙が出なくなるなど異常がなくなることを確認した上で、販売店に点検を依頼してください。異常なまま使用すると、火災や感電の原因となります。
	本装置のキャビネットを外したり、改造または分解をしないでください。火災や感電の原因となります。改造や分解された場合、修理に応じられないことがあります。

安全にお使いいただくために必ずお守りください

⚠ 警告

本装置は接地端子のついた 3 ピンの電源コードを使用しています。
安全のため電源コードの接地端子を必ず接地してください。

接地用の配線は、絶対にガス管にはつながないでください。
火災や感電の原因となります。

風呂場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは使用しないでください。
火災や感電の原因となります。

安全にお使いいただくために必ずお守りください

⚠ 注意

電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災や感電の原因となります。

本装置や電源コードを熱器具に近づけないでください。
本装置のキャビネットや電源コードの被覆が溶けて、火災や感電の原因となります。

長時間ご使用にならないときは、安全のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。

直射日光のあたるところや、冷暖房機の近く、湿度の高いところに置かないでください。
内部の温度が上がり、火災の原因となります。

湿気の多い場所や、水・油・薬品等がかかるおそれのある場所、ごみやほこりの多い場所や鉄粉・有毒ガスの発生する場所には置かないでください。
火災や感電の原因となります。

ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。また、本装置の上に重い物を置かないでください。
バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となります。

故障の原因になることがあるため必ずお守りください

STOP お願い

ベンジン・シンナー・アルコールなどで絶対にふかないでください。
変色や変形の原因となります。汚れがひどいときは、薄めた中性洗剤を布に付け、よく絞ってからふいて、そのあと、乾いたやわらかい布でふきとってください。

落としたり、強い衝撃を与えないでください。
故障の原因となります。

テレビ・ラジオ・無線機・電子レンジ・インバータ型蛍光灯など磁気、電波を発生するところや、違法無線を受けるところには置かないでください。
誤動作の原因となります。

製氷倉庫など特に温度が下がるところに置かないでください。
正常に動作しないことがあります。

温泉地など硫化水素の発生するところや、海岸などの塩分の多いところでお使いになると本装置の寿命が短くなるおそれがあります。

本装置の上に本やダンボール等、通気孔を塞ぐものを置かないでください。また、本装置を 2 台以上重ねて置かないでください。
熱が内部にこもり、故障の原因となります。

ご使用の前に

■取扱説明書の構成について

本取扱説明書は、「本体装置編」「データ作成準備編」「データ入力ソフト 一般用編」「データ入力ソフト 学校用編」および「共通編」で構成しています。

- 「本体装置編」は、本体装置の設定・操作のしかた、設置工事の方法などが記載されています。
- 「データ作成準備編」は、データ入力ソフトのセットアップから起動・終了のしかたなどが記載されています。
- 「データ入力ソフト 一般用編」は、会社・工場など、一般企業向けのデータ入力ソフトをインストールしたパソコン（制御用パソコン）での自動放送スケジュールの作成方法、および LAN 接続した制御用パソコンからの本体装置の操作方法などについて記載しています。
- 「データ入力ソフト 学校用編」は、小学校・中学校など、学校向けのデータ入力ソフトをインストールしたパソコン（制御用パソコン）での自動放送スケジュールの作成方法、および LAN 接続した制御用パソコンからの本体装置の操作方法などについて記載しています。
- 「共通編」は、放送スケジュール内容の印刷、装置の仕様などについて記載しています。

■セットの確認

次のものがそろっていることを確かめください。セットに足りないものがあったり、取扱説明書に乱丁・落丁があった場合は、販売店または最寄りの当社営業所へご連絡ください。

品 名	個数	備 考
本体	1	
PBS-D500 データ入力ソフト	1	CD（PBS-LA500 設定ソフトを含む）
USB フラッシュメモリ	1	（本書では、以下“USB メモリ”と記します。）
テーブルコード接続コード	1	
電源コード	1	
電源プラグ変換アダプタ	1	
結束バンド	1	コード結束用
取扱説明書	1	本書

■対応バージョンについて

本取扱説明書は、システムの各プログラムが次のバージョンに対応しています。

- ・本体装置プログラム : Ver. 1.2 *
- ・PBS-D500 データ入力ソフト : Ver. 1.1 *
- ・PBS-LA500 設定ソフト : Ver. 1.0 *

●バージョンの確認のしかた

- ・本体装置：
 - ①待機画面のときに、**メニュー** を押し、選択ロータリースイッチで【5 ファームウェア バージョン】を選びます。
 - ② **セット** を押し、バージョンが確認できます。

5 ファームウェア バージョン
Ver. 1.20

- ・データ入力ソフトのバージョンは、アプリケーションの【初期画面】に表示されます。一般用 54 ページ、学校用 98 ページを参照してください。
- ・LA500 設定ソフトのバージョンは、アイコンの右クリック「バージョン情報」で確認できます。

ご使用にあたってのお願い

■取扱説明書の内容につきましては万全を期していますが、お気づきの点がございましたら販売店または最寄りの当社営業所へお申し付けください。紛失や損傷したときは、販売店または最寄りの当社営業所でお買い求めください。

■この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

■本装置の仕様は、国内向けになっています。海外でご利用いただくことはできません。

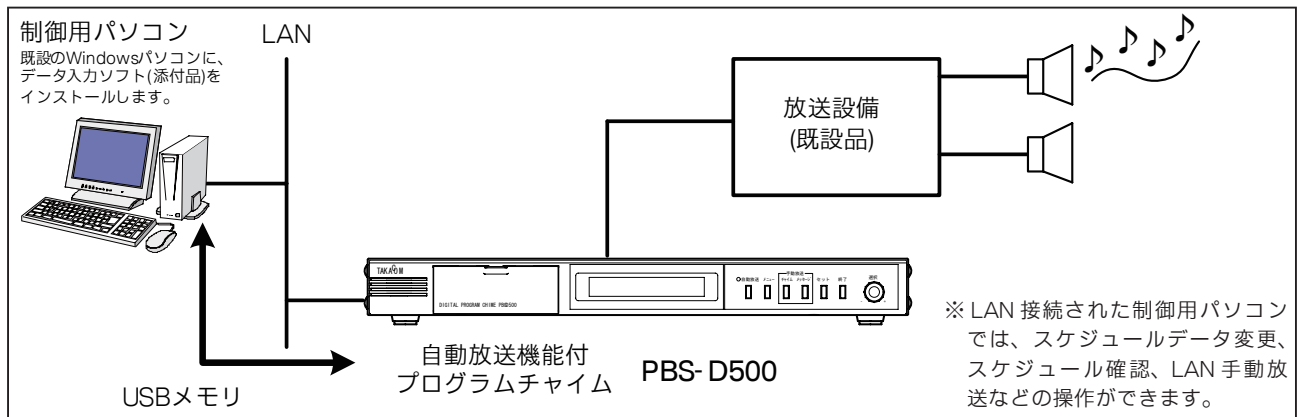
This device is designed to use only in Japan so that the use of the equipment is prohibited in foreign countries.

商品概要

■機能概要

本装置は、お手持ちのパソコンで作成した、放送スケジュールデータに基づいて、既存の放送設備を制御する装置です。
また、LAN 接続されたパソコンから本装置の動作を制御することができます。

■システム概要図



■お使いになるまでの手順（1）

本装置で自動放送を行なうには、あらかじめ次の操作が必要です。

●ネットワーク機能をご使用にならない場合



制御用パソコンでの操作

- 1 データ入力ソフトのインストール（45 ページ）
添付の CD で、お手持ちのパソコンに「PBS-D500 データ入力ソフト」をインストールします。本ソフトには、「一般用」と「学校用」の 2 種類があります。初回起動時に用途に合わせていずれかを選択します。

- 2 放送スケジュールの作成
①チャイム・メッセージの登録（55、99 ページ）
チャイムとメッセージの名前などを登録します。
②日課パターンの登録（58、102 ページ）
日課パターンとその内容（放送ステップ）を登録します。
③年間スケジュールの登録（64、106 ページ）
毎日の放送スケジュールや、祝日などのスケジュールを登録します。
④年間スケジュール表の確認（70、112 ページ）
放送スケジュールを、スケジュール帳の形式で確認します。
⑤装置設定の登録（72、114 ページ）
本システムの動作の設定を行ないます。

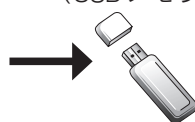
- 3 装置用データの作成（76、118 ページ）
放送スケジュール／音源ファイルを、USB メモリに書き込みます。

スケジュールデータ

音源ファイルの割付け
※パソコンなどで録音作成
した音源ファイル（wav）



（USB メモリ）



本体装置での操作

- 1 本体装置の設定（10 ページ）
本体装置の年月日時刻、放送音量などを設定します。

- 2 音源を準備する（20 ページ）
放送する音源を、マイクなどを使用して録音します。

- 3 スケジュール・音源の読み書き（16 ページ）
放送スケジュールや外部録音した音源を、USB メモリから読み込みます。



- 4 放送（34 ページ）
[自動放送] ボタンを押して、運用を開始します。

《その他の操作》

- 手動放送（36 ページ）
- リモート放送（37 ページ）
- スケジュールの確認／変更（28 ページ）
- 線上げ・線下げ／休止（30 ページ）
- スケジュール・音源の出力（18 ページ）



ワンポイント

- USB メモリは添付品を使用してください。

■お使いになるまでの手順（2）

本装置で自動放送を行なうには、あらかじめ次の操作が必要です。

●ネットワーク機能をご使用になる場合

本体装置と制御用パソコンを、LAN 接続でお使いの場合は、パソコンで作成したスケジュールデータなどを、直接本体装置に転送することや、本体装置のスケジュールデータなどを制御用パソコンに転送することができます。また、制御用パソコンでスケジュールの臨時変更や LAN 手動放送などの操作ができます。



制御用パソコンでの操作



本体装置での操作

1

データ入力ソフトのインストール（45 ページ）

添付の CD で、お手持ちのパソコンに「PBS-D500 データ入力ソフト」をインストールします。本ソフトには、「一般用」と「学
校用」の 2 種類があります。初回起動時に用途に合わせてい
ずれかを選択します。

1

本体装置の設定（10 ページ）

本体装置の年月日時刻、IP アドレス、放送音量
などを設定します。

2

放送スケジュールの作成

①チャイム・メッセージの登録（55、99 ページ）

チャイムとメッセージの名前などを登録します。

②日課パターンの登録（58、102 ページ）

日課パターンとその内容（放送ステップ）を登録します。

③年間スケジュールの登録（64、106 ページ）

毎日の放送スケジュールや、祝日などのスケジュールを登録します。

④年間スケジュール表の確認（70、112 ページ）

放送スケジュールを、スケジュール帳の形式で確認します。

⑤装置設定の登録（72、114 ページ）

本システムの動作の設定を行ないます。

2

音源を準備する（20 ページ）

放送する音源を、マイクなどを使用して録音し
ます。

3

ネットワーク設定の登録（81、122 ページ）

LAN 接続のための、IP アドレスなどを登録します。

4

装置用データの書き込み（88、129 ページ）

放送スケジュール／音源ファイルを、LAN 経由で直接本体装置
に転送して書き込みます。

スケジュールデータ

音源ファイルの割付け
※パソコンなどで録音作成
した音源ファイル (wav)



(LAN)



※放送スケジュールや外部録音した音源を、USB メモリ
から読み込むこともできます。

5

放送（83、124 ページ）

〔自動放送〕 ボタンをクリックして、運用を開始します。

《その他の操作》

● LAN 手動放送（94、135 ページ）

● 本日スケジュールの変更（82、123 ページ）

● 線上げ・線下げ／休止（85、126 ページ）

● 年間スケジュールの変更（87、128 ページ）

● スケジュール確認（93、134 ページ）

● 本体装置のスケジュール／音源ファイル読み込み（91、132
ページ）

※〔自動放送〕 ボタンを押して、運用を開始することもで
きます。また、以下の操作についても本体装置で行な
うことができます。

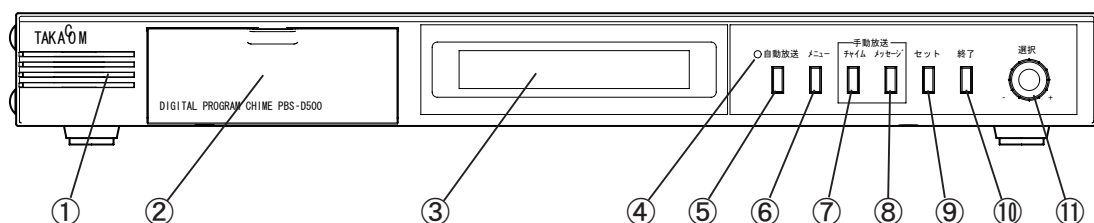
- ・手動放送
- ・リモート放送
- ・本日スケジュールの確認
- ・年間スケジュールの変更
- ・線上げ・線下げ／休止
- ・スケジュール／音源ファイルの出力

第 1 章

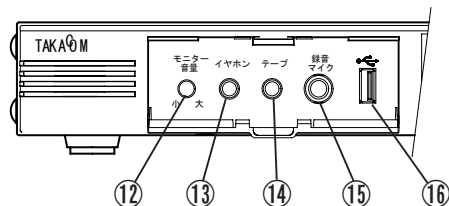
本体装置編

各部の名称とはたらき

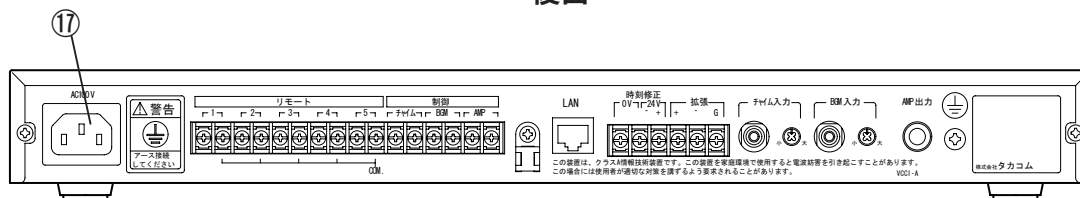
前面



フロントカバー内部



後面



※後面、接続端子などの「名前とはたらき」は、「本体装置編 設置工事」(38 ページ)を参照してください。

名前		機能（はたらき）
①	スピーカ	メッセージ再生や放送モニターを拡声します。
②	フロントカバー	各種の端子ジャックなどをカバーします。
③	ディスプレイ	システムの動作状態などを表示します。
④	自動放送ランプ	自動放送にセットされているときに点灯します。
⑤	自動放送ボタン	自動放送のセットおよび解除するときに押します。
⑥	メニューボタン	スケジュール変更、日時設定、メッセージ録音・再生などを行なうときに押します。
⑦	チャイムボタン	手動で、チャイム放送を行なうときに押します。
⑧	メッセージボタン	手動で、メッセージ放送を行なうときに押します。
⑨	セットボタン	メニューや数値を確定するときに押します。
⑩	終了ボタン	手動放送やリモート放送の停止、録音や再生を終了するときなどに押します。
⑪	選択ロータリースイッチ	メニューや数値を選択するときに、昇順方向は（＋）降順方向は（－）側に回します。
⑫	モニター音量ツマミ	スピーカの音量を調節するときに回します。
⑬	イヤホンジャック	メッセージなどの再生音をイヤホン（市販品）から聞くとときに接続するジャックです。
⑭	テーブジャック	テープレコーダなどから録音するときに音源を接続するジャックです。
⑮	録音マイクジャック	マイク（市販品）から録音するときに接続するジャックです。
⑯	USB コネクタ	USB メモリを接続するコネクタです。
⑰	AC 電源コネクタ	電源ケーブルを接続して、AC100V を供給するためのコネクタです。

■電源について

●電源は、AC100V 商用電源でご使用ください。

●本装置には、電源スイッチはありません。

電源を切るときは、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

■電源を入ると

電源を入ると、ディスプレイは次のように表示し、しばらくすると【待機画面】になります。



時刻表示は“秒”がカウントしています。

●メッセージの録音や再生、年月日・時刻の登録などをするときは、この【待機画面】からメニューを選択して操作します。

STOP お願い

●ディスプレイが待機画面以外のときは、電源を切らないでください。USB メモリやデータが破損する場合があります。



ワンポイント

●約2分間、ボタン操作をしないと、自動的にその操作を解除します。このときは、最初から操作をやり直してください。

■USB メモリについて

本システムでは、制御用パソコンで作成した放送スケジュールデータや音源ファイルなどを、装置用データとしてUSB メモリに出力し、このUSB メモリを本体装置にセットして読み込みます。また、本体装置のスケジュールデータや音源ファイルなどをUSB メモリに出力し、制御用パソコンで読み込んで編集することなどができます。

●抜き差し

USB コネクタへ向きを確認して、しっかり奥まで差し込みます。取り出すときは、USB メモリをつまんで、まっすぐに抜きます。

USB メモリを差し込んだあと、操作の途中でディスプレイに【USB メモリ コンテニュー デス】と表示します。

表示が消えてから操作を続けてください。

《スケジュールデータ読み込みの場合の表示例》

4-1-1 スケジュール
USBメモリ コンテニュー デス

STOP お願い

●USB メモリを抜き差しするときは、必ず、待機画面になっていることを確認してください。待機画面以外のとき、抜き差しを行うと破損する場合があります。



ワンポイント

●USB メモリは添付品を使用してください。
(USB メモリによっては、使用できない場合があります。)

●本体装置でデータを読み込んだあとは、USB メモリを抜き取っても本装置は使用できます。

■本体装置のメニュー操作一覧（待機中）

メニュー項目			説明	参照ページ
1 スケジュール	1-1 ネットワーク スケジュール		年間スケジュールの確認と、日課パターンの変更を行ないます。	28
	1-2 ホンダ ツ スケジュール		本日スケジュールを確認します。	29
	1-3 クリア / クリサ		放送時刻の繰上げ・繰下げ設定を行ないます。	30
	1-4 キュウ		放送の休止設定を行ないます。	31
	1-5 スケジュール ファイル ヒョウシ		スケジュールの名前や作成日を確認します。	32
2 オンゲン	2-1 メッセージ		メッセージの録音・再生・消去を行ないます。	21
	2-2 チャイム		自作チャイムの録音・再生・消去を行ないます。	23
	2-3 ガイ		外部チャイム、外部 BGM を再生確認します。	25
	2-4 ロウオン カノウ ジカ		録音可能時間を確認します。	26
	2-5 オンゲン スペテ ショウキ		メッセージと自作チャイムの消去を行ないます。	26
3 セッテイ	3-1 ニジ		現在の年月日時刻の登録・修正を行ないます。	10
	3-2 ネットワーク		LAN 接続で使用する場合の、IP アドレスなどを登録します。	11
	3-3 ホウソウ オンリョウ		外部アンプなどに出力する音量を設定します。	13
	3-4 オンツ		本体装置で録音する音源の音質を設定します。	13
	3-5 キーロック		本体装置のボタン操作を制限します。	14
	3-6 LA セッテイ	3-6-1 セッテイ	LAN アダプタの設定データを PBS-LA500 に設定します。	149
4 ファイル	4-1 USB メリ→ PBS テソウ	3-6-2 カニ	PBS-LA500 の設定データを確認します。	150
		4-1-1 スケジュール	スケジュールを USB メモリから読み込みます。	16
		4-1-2 オンゲン	メッセージや自作チャイムを USB メモリから読み込みます。	16
		4-1-3 スケジュール・オンゲン	スケジュールとメッセージや自作チャイムを USB メモリから読み込みます。	17
	4-2 PBS → USB メリ テソウ	4-1-4 LA セッテイデータ	LAN アダプタの設定データを USB メモリから読み込みます。	146
		4-2-1 スケジュール	スケジュールを USB メモリに書き込みます。	18
		4-2-2 オンゲン	メッセージや自作チャイムを USB メモリに書き込みます。	18
		4-2-3 スケジュール・オンゲン	スケジュールとメッセージや自作チャイムを USB メモリに書き込みます。	19
		4-2-4 リモートホウソウ リレ	リモート放送の履歴を USB メモリに書き込みます。	19
	4-2-5 LA セッテイデータ	LAN アダプタの設定データを USB メモリに書き込みます。	146	
5 ファームウェア バージョン			本体装置のプログラムバージョンを確認します。	4

本体装置の設定

1. 年月日時刻を合わせる

現在の年月日・時刻を登録します。登録された年月日・時刻に従って、自動放送が行われます。

■登録のしかた

※登録例は、「2007年7月3日13時38分」の例です。

1 待機画面のとき、**メニュー** を押し、
選択ロータリースイッチで、
【3 セッティ】を選ぶ

※ **メニュー** を押したとき、メニュー画面を表示します。

2007/ 7/ 9 MON 13:37:30
↓
1 スケジュール 2 オンゲン
3 セッティ 4 ファイル
5 ファームウェアバージョン

2 **セット** を押す
選択ロータリースイッチで、
【3-1 ニチジ】を選ぶ

※ **セット** を押したとき【セッティ】のメニュー画面を表示します。

3-1 ニチジ 3-2 ネットワーク
3-3 録り出し 3-4 オンジ
3-5 キーロック 3-6 LAセッティ

3 **セット** を押す
※「ニチジ」の登録画面になります。
選択ロータリースイッチで、「年」を選び **セット** を押す
同様に、「月→日→時→分」の順に登録する
※「分」の登録が終わると、【セッティ】のメニュー選択画面になります。

3-1 ニチジ 2007/ 7/ 9 13:37
3-1 ニチジ 2007/ 7/ 9 13:37
3-1 ニチジ 2007/ 7/ 9 13:37
3-1 ニチジ 2007/ 7/ 9 13:37
3-1 ニチジ 2007/ 7/ 9 13:38
↓
3-1 ニチジ 3-2 ネットワーク

4 **終了** を、必要回数押して待機画面に戻す

※ 1 回押すごとに、前画面に戻ります。
※ 待機画面になると、今登録した「年月日・時刻」を表示します。

2007/ 7/ 9 MON 13:38:03

■年月日・時刻を修正するには

手順1 からやり直す。

■時刻を正確に合わせるには

手順3 の「分」の登録で、現在時刻の1分後を選び、ちょうど、0秒になったとき、**セット** を押す。

ワンポイント

- 年月日・時刻の登録範囲は次のとおりです。
年：西暦 2007 年～2050 年
月：1 月～12 月
日：1 日～31 日（年月に対応した最大日）
時：00 時～23 時の 24 時間制
分：00 分～59 分
- 曜日は、内蔵カレンダーで、自動表示されます。
表示は次のとおりです。
日曜日：SUN 月曜日：MON 火曜日：TUE
水曜日：WED 木曜日：THU 金曜日：FRI
土曜日：SAT
- お買い上げ時は、当日の年月日時分を表示します。時報などを参考にして実際の時刻と誤差がある場合は、合わせてください。
- 「分」の登録をせずに、**終了** を押すと、今、入力したものは登録されず、登録前の年月日・時刻に戻ります。このときは、最初から登録をやり直してください。

2. ネットワークの設定

制御用パソコンと LAN 接続で使用する場合の設定を行ないます。

■ IP アドレスの設定

1 待機画面のとき、**メニュー** を押し、
選択ロータリースイッチで、
【3 セッティ】を選ぶ

2007/ 7/ 9 MON
13:37:30

1 スケジュール
2 オンゲン
3 セッティ
4 ファイル
5 ファームウェアバージョン

* **メニュー** を押したとき、メニュー画面を表示します。

2 **セット** を押す
選択ロータリースイッチで、
【3-2 ネットワーク】を選ぶ

3-1 ニチジ
3-2 ネットワーク
3-3 ホウサ オンリョウ
3-4 オンジツ
3-5 キロック
3-6 LAセッティ

* **セット** を押したとき、【セッティ】のメニュー画面を表示します。

3 **セット** を押す
選択ロータリースイッチで、
【3-2-1 IP アドレス】を選ぶ

3-2-1 IPアドレス
3-2-2 サブネットマスク
3-2-3 ゲートウェイ
3-2-4 ホスト名

* **セット** を押したとき、【ネットワーク】のメニュー画面を表示します。

4 **セット** を押す
* 「IP アドレス」の登録画面になります。
・初期値：192.168. 0. 10
選択ロータリースイッチで、「1 目」を選び **セット** を押す
同様に、「2 目」→「3 目」→「4 目」の順に登録する
* 「4 目」の登録が終わると、【ネットワーク】のメニュー選択画面になります。

3-2-1 IPアドレス
192.168. 0. 10
3-2-1 IPアドレス
192.168. 0. 10
3-2-1 IPアドレス
192.168. ***. 10
3-2-1 IPアドレス
192.168. ***. ***

3-2-1 IPアドレス
3-2-2 サブネットマスク

5 **終了** を、必要回数押して待機画面に戻す
* 1 回押すごとに、前画面に戻ります。

2007/ 7/ 9 MON
13:38:03

■ サブネットマスクの設定

1 待機画面のとき、**メニュー** を押し、
選択ロータリースイッチで、
【3 セッティ】を選ぶ

2007/ 7/ 9 MON
13:37:30

1 スケジュール
2 オンゲン
3 セッティ
4 ファイル
5 ファームウェアバージョン

* **メニュー** を押したとき、メニュー画面を表示します。

2 **セット** を押す
選択ロータリースイッチで、
【3-2 ネットワーク】を選ぶ

3-1 ニチジ
3-2 ネットワーク
3-3 ホウサ オンリョウ
3-4 オンジツ
3-5 キロック
3-6 LAセッティ

* **セット** を押したとき、【セッティ】のメニュー画面を表示します。

3 **セット** を押す
選択ロータリースイッチで、
【3-2-2 サブネットマスク】を選ぶ

3-2-1 IPアドレス
3-2-2 サブネットマスク
3-2-3 ゲートウェイ
3-2-4 ホスト名

* **セット** を押したとき、【ネットワーク】のメニュー画面を表示します。

4 **セット** を押す
* 「サブネットマスク」の登録画面になります。
・初期値：255.255.255. 0
選択ロータリースイッチで、「1 目」を選び **セット** を押す
同様に、「2 目」→「3 目」→「4 目」の順に登録する
* 「4 目」の登録が終わると、【ネットワーク】のメニュー選択画面になります。

3-2-2 サブネットマスク
255.255.255. 0
3-2-2 サブネットマスク
255.255.255. 0
3-2-2 サブネットマスク
255.255.255. 0
3-2-2 サブネットマスク
255.255.255. 0

3-2-1 IPアドレス
3-2-2 サブネットマスク

5 **終了** を、必要回数押して待機画面に戻す
* 1 回押すごとに、前画面に戻ります。

2007/ 7/ 9 MON
13:38:03

ワンポイント

- LAN 接続に必要な IP アドレスなどの値は、ネットワーク管理者に確認してください。
- LAN 接続でご使用の場合、制御用パソコンでの操作により本体装置に次のように表示される場合があります。このときは、本体装置での操作はできません。

< LAN セツグ ケチュ デス >
ホントイサ デキマセン

本体装置の設定

■ゲートウェイの設定

1 待機画面のとき、**メニュー** を押し、
選択ロータリースイッチで、
【3 セッテイ】を選ぶ

2007/ 7/ 9 MON
13:37:30

1 スケジュール
2 オンゲン

3 セッテイ
4 ファイル
5 ファームウェア バージョン

* **セット** を押したとき、メニュー画面を表示します。

2 **セット** を押す
選択ロータリースイッチで、
【3-2 ネットワーク】を選ぶ

3-1 ニチジ
3-2 ネットワーク
3-3 柵内 オリョウ
3-4 オンツ
3-5 キーロック
3-6 LAセッテイ

* **セット** を押したとき、【セッテイ】のメニュー画面を表示します。

3 **セット** を押す
選択ロータリースイッチで、
【3-2-3 ゲートウェイ】を選ぶ

3-2-1 IPアドレス
3-2-2 サブネットマスク
3-2-3 ゲートウェイ
3-2-4 ホートバングウ

* **セット** を押したとき、【ネットワーク】のメニュー画面を表示します。

4 **セット** を押す
* 「ゲートウェイ」の登録画面になります。
・初期値： 0. 0. 0. 0
選択ロータリースイッチで、「1 桁目」を選び **セット** を押す
同様に、「2 桁目→3 桁目→4 桁目」の順に登録する
* 「4 桁目」の登録が終わると、【ネットワーク】のメニュー選択画面になります。

3-2-3 ゲートウェイ
***. 0. 0. 0
3-2-3 ゲートウェイ
***. ***. 0. 0
3-2-3 ゲートウェイ
***. ***. ***. 0
3-2-3 ゲートウェイ
***. ***. ***. ***
3-2-3 ゲートウェイ
3-2-4 ホートバングウ

5 **終了** を、必要回数押して待機画面に戻す
* 1 回押すごとに、前画面に戻ります。

2007/ 7/ 9 MON
13:38:03

■ポート番号の設定

1 待機画面のとき、**メニュー** を押し、
選択ロータリースイッチで、
【3 セッテイ】を選ぶ

2007/ 7/ 9 MON
13:37:30

1 スケジュール
2 オンゲン
3 セッテイ
4 ファイル
5 ファームウェア バージョン

* **セット** を押したとき、メニュー画面を表示します。

2 **セット** を押す
選択ロータリースイッチで、
【3-2 ネットワーク】を選ぶ

3-1 ニチジ
3-2 ネットワーク
3-3 柵内 オリョウ
3-4 オンツ
3-5 キーロック
3-6 LAセッテイ

* **セット** を押したとき、【セッテイ】のメニュー画面を表示します。

3 **セット** を押す
選択ロータリースイッチで、
【3-2-4 ホートバングウ】を選ぶ

3-2-1 IPアドレス
3-2-2 サブネットマスク
3-2-3 ゲートウェイ
3-2-4 ホートバングウ

* **セット** を押したとき、【ネットワーク】のメニュー画面を表示します。

4 **セット** を押す
* 「ホートバングウ」の登録画面になります。
・初期値：56000
選択ロータリースイッチで、「1 桁目」を選び **セット** を押す
同様に、「2 桁目→3 桁目→4 桁目→5 桁目」の順に登録する
* 「5 桁目」の登録が終わると、【ネットワーク】のメニュー選択画面になります。

3-2-4 ホートバングウ
56000
3-2-4 ホートバングウ
*6000
3-2-4 ホートバングウ
**000
3-2-4 ホートバングウ
***00
3-2-4 ホートバングウ
****0
3-2-3 ゲートウェイ
3-2-4 ホートバングウ

5 **終了** を、必要回数押して待機画面に戻す
* 1 回押すごとに、前画面に戻ります。

2007/ 7/ 9 MON
13:38:03

3. 放送音量の設定

本体装置が外部のアンプなどに出力する音量の設定ができます。放送設備との接続のあとで音量の調節を行ないます。

1 待機画面のとき、**メニュー** を押し、
選択ロータリースイッチで、
【3 セッテイ】を選ぶ

2007/ 7/ 9 MON
13:37:30

1 スケジュール
2 オンゲン

3 セッテイ
4 ファイル

5 ファームウェア バージョン

* **セット** を押したとき、メニュー画面を表示します。

2 **セット** を押す
選択ロータリースイッチで、
【3-3 かつう おりょう】を選ぶ

3-1 ニチジ
3-2 ネットワーク

3-3 かつう おりょう
3-4 オンツツ

3-5 キロック
3-6 LAセッテイ

* **セット** を押したとき、【セッテイ】のメニュー画面を表示します。

3 **セット** を押す
* 「かつう おりょう」の設定画面になります。
・初期値：0dB

3-3 かつう おりょう
レベル 0dB

選択ロータリースイッチで、「音量レベル」を選び **セット** を押す

最大音量

3-3 かつう おりょう
レベル +15dB

最小音量

3-3 かつう おりょう
レベル -40dB

* 右(+)方向に回すと、音量レベルが大きくなります。最大+15dBまで設定できます。
* 左(-)方向に回すと、音量レベルが小さくなります。最小-40dBまで設定できます。
* 「かつう おりょう」の設定が終わると、【セッテイ】のメニュー選択画面になります。

3-3 かつう おりょう
3-4 オンツツ

4 **終了** を、必要回数押して待機画面に戻す

2007/ 7/ 9 MON
13:38:03

* 1 回押すごとに、前画面に戻ります。

4. 音質の設定

本体装置で録音するメッセージや自作チャイムの音質を、「標準 (μ-law)」、「高音質 1 (PCM1)」または「高音質 2 (PCM2)」に変更できます。録音の前に、放送する内容によって設定を変更して録音することができます。

1 待機画面のとき、**メニュー** を押し、
選択ロータリースイッチで、
【3 セッテイ】を選ぶ

2007/ 7/ 9 MON
13:37:30

1 スケジュール
2 オンゲン

3 セッテイ
4 ファイル

5 ファームウェア バージョン

* **セット** を押したとき、メニュー画面を表示します。

2 **セット** を押す
選択ロータリースイッチで、
【3-4 オンツツ】を選ぶ

3-1 ニチジ
3-2 ネットワーク

3-3 かつう おりょう
3-4 オンツツ

3-5 キロック
3-6 LAセッテイ

* **セット** を押したとき、【セッテイ】のメニュー画面を表示します。

3 **セット** を押す
* 「オンツツ」の設定画面になります。
選択ロータリースイッチで、「音質」を選び **セット** を押す

3-4 オンツツ
[uLAW] [PCM1] [PCM2]

標準音質

高音質

3-4 オンツツ
[uLAW] [PCM1] [PCM2]

最高音質

3-4 オンツツ
[uLAW] [PCM1] [PCM2]

・[μLAW]：標準的な音質で録音できます。
・[PCM1]：高音質で録音できます。
・[PCM2]：最高音質で録音できます。

* 「オンツツ」の設定が終わると、【セッテイ】のメニュー選択画面になります。

3-3 かつう おりょう
3-4 オンツツ

4 **終了** を、必要回数押して待機画面に戻す

2007/ 7/ 9 MON
13:38:03

* 1 回押すごとに、前画面に戻ります。

ワンポイント

- 一度設定すると、設定を変更しないかぎり、以後、その音質設定で録音されます。録音の前に、音質設定を確認してください。
- 「高音質 1 (PCM1)」に設定すると、録音時間は、標準のときの約半分になります。また、「高音質 2 (PCM2)」に設定すると、録音時間は、標準のときの約 1/4 になります。詳しくは、「本体装置編 音源を準備する」(20 ページ)を参照してください。

5. キーロックの設定

本体装置のボタン操作を、簡易設定またはパスワード設定で禁止することができます。

1 待機画面のとき、**メニュー** を押し、
選択ロータリースイッチで、
【3 セッティ】を選ぶ

2007/ 7/ 9 MON
13:37:30

1 スケジュール
2 オンゲル

3 セッティ
4 ファイル
5 ファームウェア バージョン

* **セット** を押したとき、メニュー画面を表示します。

2 **セット** を押す
選択ロータリースイッチで、
【3-5 キーロック】を選ぶ

3-1 ニュース
3-2 ネットワーク
3-3 録画 オン/オフ
3-4 オン/オフ

3-5 キーロック
3-6 LAセッティ

* **セット** を押したとき、【セッティ】のメニュー画面を表示します。

3 **セット** を押す
* 「キーロック」の設定画面になります。

● **キーロック [OFF] の設定**
選択ロータリースイッチで、
【OFF】を選び **セット** を押す

3-5 キーロック
[OFF] [カンイ] [パスワード]

3-5 キーロック
3-6 LAセッティ

* 【セッティ】のメニュー選択画面になります。

* キーロックの制限をしません。

● **キーロック [カンイ] の設定**
選択ロータリースイッチで、
【カンイ】を選び **セット** を押す

3-5 キーロック
[OFF] [カンイ] [パスワード]

3-5 キーロック
3-6 LAセッティ

* 【セッティ】のメニュー選択画面になります。

* 簡易操作でのキーロック解除が必要になります。

● **キーロック [パスワード] の設定**
① 選択ロータリースイッチで、
【パスワード】を選び **セット** を押す

3-5 キーロック
[OFF] [カンイ] [パスワード]

3-5 キーロック
パスワード 0000

3-5 キーロック
パスワード 0000

3-5 キーロック
パスワード 0000

3-5 キーロック
パスワード 0000

② 選択ロータリースイッチで、
パスワードの「1桁目」を選び
セット を押す

同様に、「2桁目→3桁目→4桁目」の順に登録する

* 「4桁目」の登録が終わると、【セッティ】のメニュー選択画面になります。

* パスワード入力でのキーロック解除が必要になります。

4 **終了** を、必要回数押して待機画面に戻す

2007/ 7/ 9 MON
13:38:03

* 1回押すごとに、前画面に戻ります。

キーロック設定時は、
【待機画面】に鍵マークを表示します。

■キーロック設定時の本体操作について

キーロックが設定してあるときは、【待機画面】からボタン操作を行なうには、キーロックの解除が必要です。以下の操作で解除を行なってください。また、操作の途中で【待機画面】に戻った場合は、そのつどキーロックを解除してください。

●【カンイ】の場合のキーロック解除

【待機画面】で **セット** を約3秒間、押し続ける

* 「キーロック」が解除されます。案内の表示が消えると、ボタン操作ができます。

キーロック カンイ シマシ

2007/ 7/ 9 MON
13:38:03

鍵マークが消えます。

●【パスワード】の場合のキーロック解除

① 【待機画面】で本体装置のボタンを押すと、パスワードの入力表示になります。

② 選択ロータリースイッチで、
パスワードの「1桁目」を選び
セット を押す

同様に、「2桁目→3桁目→4桁目」の順に入力する

* 「4桁目」の入力が終わると、「キーロック」が解除されます。案内の表示が消えると、ボタン操作ができます。

パスワード ニュウリョク シタタサイ
パスワード

パスワード ニュウリョク シタタサイ
パスワード

パスワード ニュウリョク シタタサイ
パスワード *

...

キーロック カンイ シマシ

2007/ 7/ 9 MON
13:38:03

鍵マークが消えます。

ワンポイント

- キーロックは、設定を終了して【待機画面】に戻ったあと、有効になります。
- キーロック解除の直後、約2分間ボタンを操作しないと再度キーロック状態になります。
- キーロック解除後の操作途中で、約2分間ボタンを操作しないと【待機画面】に戻り、再度キーロック状態になります。
- キーロックをパスワードで設定した場合は、パスワードを忘れないようにしてください。パスワードを忘れると、本体の操作ができなくなります。
- 本体装置にキーロックの設定がされていても、ネットワーク機能で制御用パソコンからの本体装置の操作には、キーロックの制限は無効です。

6. PBS-LA500 の設定

LAN アダプタ PBS-LA500 の設定（[3-6 LA セッテイ]）については、「共通編 LAN アダプタ PBS-LA500 を使用する LA 設定データを PBS-LA500 に設定する」（149 ページ）を参照してください。

スケジュール・音源の読み書き

制御用パソコンで作成したスケジュールデータや、外部録音した音源データなどを、USB メモリから本体装置に読み込みます。USB メモリには、あらかじめ制御用パソコンで装置用データとして作成しておきます。「データ入力ソフト編 装置用データの作成」(一般用 76 ページ、学校用 118 ページ)を参照してください。

また、本体装置のスケジュールデータや音源などを、USB メモリに書き出すこともできます。

1. USB メモリのデータを本体装置に読み込む

■スケジュールの読み込み

1 本体装置のフロントカバーを開け、装置用データが書き込まれた USB メモリを、USB コネクタにセットします。

2 待機画面のとき、**メニュー** を押し、
選択ロータリースイッチで、
【4 ファイル】を選ぶ

2007/ 7/ 9 MON
13:37:30

↓

1 スケジュール
2 オンゲン

3 セット
4 ファイル
5 ファームウェアバージョン

* **メニュー** を押したとき、メニュー画面を表示します。

3 **セット** を押す
選択ロータリースイッチで、【4-1
USB メリ → PBS テソク】を選ぶ

4-1 USB メリ → PBS テソク
4-2 PBS → USB メリ テソク

* **セット** を押したとき【ファイル】のメニュー画面を表示します。

4 **セット** を押す
選択ロータリースイッチで、
【4-1-1 スケジュール】を選ぶ

4-1-1 スケジュール
4-1-2 オンゲン

4-1-3 スケジュール・オンゲン
4-1-4 LA セットデータ

* **セット** を押したとき、【USB メリ → PBS テソク】のメニュー画面を表示します。

5 **セット** を押す

* 「USB メリ コンストラクテス」 「シバク オマチ クダサイ」のあと、USB と PBS (本体装置) のスケジュール名を表示します。

* PBS (本体装置) にデータファイルがない場合は、「---」表示となります。

4-1-1 スケジュール
USB メリ コンストラクテス

4-1-1 スケジュール
シバク オマチ クダサイ

↓

USB:スケジュールA
PBS:スケジュールB **セット**

確認のあと **セット** を押す

* データの読み込みが始まります。

* 読み込みが終了すると、【USB メリ → PBS テソク】のメニュー選択画面に戻ります。

USB:スケジュールA
PBS:スケジュールB

↓

4-1-1 スケジュール
4-1-2 オンゲン

6 **終了** を、必要回数押して待機画面に戻す

2007/ 7/ 9 MON
13:38:03

* 1 回押すごとに、前画面に戻ります。

ワンポイント

- 読み込みのしかたの手順 5 で、USB メモリが挿入されていないときは、「USB メリ ヲ リユウ シタサイ」と表示します。USB メモリを挿入してください。

■音源の読み込み

【手順 1～3】は、左の「スケジュールの読み込み」と同じです。

4 **セット** を押す
選択ロータリースイッチで、
【4-1-2 オンゲン】を選ぶ

4-1-1 スケジュール
4-1-2 オンゲン

4-1-3 スケジュール・オンゲン
4-1-4 LA セットデータ

* **セット** を押したとき、【USB メリ → PBS テソク】のメニュー画面を表示します。

5 **セット** を押す

* 「USB メリ コンストラクテス」 「シバク オマチ クダサイ」のあと、読み込みする音源のチャンネル番号選択画面を表示します。

* USB メモリ内にある音源のチャンネルを表示します。

4-1-2 オンゲン
USB メリ コンストラクテス

4-1-2 オンゲン
シバク オマチ クダサイ

音質設定 ↓ 録音時間

4-1-2 オンゲン
CHM**ch uLAW **s

音源のチャンネル番号
CHM: チャイム
MSG: メッセージ

6 選択ロータリースイッチで、読み込みする音源のチャンネル番号を選択して、**セット** を押す

* データの読み込みが始まります。

* 読み込みが終了すると、音源のチャンネル番号選択画面に戻ります。

CHM**ch uLAW **s

↓

4-1-2 オンゲン
CHM**ch uLAW **s

同様に、他のチャンネルの音源を読み込む

* 音源の読み込みを終了するときは、手順 7 に進みます。

7 **終了** を、必要回数押して待機画面に戻す

2007/ 7/ 9 MON
13:38:03

* 1 回押すごとに、前画面に戻ります。

ワンポイント

- 手順 6 で **セット** を押したとき、本体装置の同一チャンネルにすでに音源がある場合には、次の確認画面を表示します。

CHM**ch uLAW **s
ウガキ シマス **セット**

上書きするときは、**セット** を押して転送します。

- 音源を読み込むとき、本体装置に空き容量がない場合は、「ホタイ メリ ニ アヨリヨウ ガ アリマス」と表示されます。不要な音源を消去してからやり直してください。

■スケジュールと音源の読み込み

【手順1～3】は、前の「スケジュールの読み込み」と同じです。

4 **セット** を押す

選択ロータリースイッチで、

【4-1-3 スケジュール・オンゲン】を選ぶ

4-1-1 スケジュール
4-1-2 オンゲン ▼

* **セット** を押したとき、【USBメモリ → PBS テソウ】のメニュー画面を表示します。

4-1-3 スケジュール・オンゲン ▲
4-1-4 LA セッティデータ

5 **セット** を押す

* 「USBメモリ ニンシキユクス」【シバラク オマチ クダサイ】のあと、全てのデータをUSBメモリの内容に置き換える確認画面を表示します。

4-1-3 スケジュール・オンゲン
USBメモリ ニンシキユクス

4-1-3 スケジュール・オンゲン
シバラク オマチ クダサイ

4-1-3 スケジュール・オンゲン
スベテ オキエマス **セット**

6 **セット** を押す

* スケジュールの読み込みが始まります。

* スケジュールの読み込みが終了すると、音源の消去を行ないます。

* 続いて音源の読み込みが始まります。

* 全ての音源の読み込みを終了すると、【USBメモリ → PBS テソウ】のメニュー選択画面に戻ります。

USB:スケジュールA
■■■■■■■■ |

オンゲン ラ ショウキョ シマス
シバラク オマチ クダサイ

CHM**ch uLAW **S
■■■■■■■■ |

4-1-3 スケジュール・オンゲン ▲
4-1-4 LA セッティデータ

7 **終了** を、必要回数押して待機

画面に戻す

2007/ 7/ 9 MON
13:38:03

* 1 回押すごとに、前画面に戻ります。

— **ご注意** —

- スケジュールと音源の読み込みで、音源を一括して読み込む場合は、本体装置内の全ての音源データがUSBメモリ内のデータに置き換えられます。本体装置内で録音のあるチャンネルが、USBメモリにない場合、そのチャンネルは消去されますので注意してください。

— **ワンポイント** —

- スケジュールや音源を読み込むときに、USBメモリにデータがない場合は、「ピッ・ピッ・・・」と鳴って「テソウ データ ガ アリマシ」と表示します。USBメモリ内のデータを確認してください。

— **お願い** —

- データの読み込み中は、USBメモリを抜かないでください。データが破損することがあります。

■ LA 設定データの読み込み

LA 設定データの読み込み（[4-1-4 LA セッティデータ]）については、「共通編 LAN アダプタ PBS-LA500 を使用する USB メモリの LA 設定データを本体に読み込む」（146 ページ）を参照してください。

2. 本体装置のデータを USB メモリに書き込む

運用中の放送スケジュールや音源のデータを、本体装置から USB メモリに書き込んでバックアップしておくことができます。制御用パソコンの故障などで、放送スケジュールデータが消去された場合に、USB メモリから読み込んで編集することなどができます。また、本体装置でリモート放送が行なわれた履歴を USB メモリに書き込んで、制御用パソコンで読み込み確認することができます。

■スケジュールの書き込み

1 本体装置のフロントカバーを開け、USB メモリを、USB コネクタにセットします。

2 待機画面のとき、**メニュー** を押し、
選択ロータリースイッチで、
【4 ファイル】を選ぶ

2007/ 7/ 9 MON
13:37:30

↓

1 スケジュール
2 オンゲン
3 セッティ
4 ファイル
5 ファームウェアバージョン

* **メニュー** を押したとき、メニュー画面を表示します。

3 **セット** を押す
選択ロータリースイッチで、【4-2
PBS → USB メリ テソウ】を選ぶ

4-1 USBメモリ → PBS テソウ
4-2 PBS → USBメモリ テソウ

* **セット** を押したとき【ファイル】のメニュー画面を表示します。

4 **セット** を押す
選択ロータリースイッチで、
【4-2-1 スケジュール】を選ぶ

4-2-1 スケジュール
4-2-2 オンゲン
4-2-3 スケジュール・オンゲン
4-2-4 リモート録ソウ リレキ
4-2-5 LA セッティデータ

* **セット** を押したとき、【PBS → USB メリ テソウ】のメニュー画面を表示します。

5 **セット** を押す

* 「USB メリ ニンキチュウデス」 「シバク オマチ クダサイ」のあと、PBS（本体装置）と USB のスケジュール名を表示します。

* USB メモリにデータファイルがない場合は、「---」表示となります。

* データファイルにスケジュール名がない場合は、ブランクとなります。

確認のあと **セット** を押す

* データの書き込みが始まります。

* 書き込みが終了すると、【PBS → USB メリ テソウ】のメニュー選択画面に戻ります。

4-2-1 スケジュール
USBメモリ ニンキチュウ デス

4-2-1 スケジュール
シバク オマチ クダサイ

↓

PBS:スケジュールB
USB:スケジュールA [セット]

↓

PBS:スケジュールB
||||||| I

↓

4-2-1 スケジュール
4-2-2 オンゲン

6 **終了** を、必要回数押して待機画面に戻す

2007/ 7/ 9 MON
13:38:03

* 1 回押すごとに、前画面に戻ります。

ワンポイント

- 書き込みのしかたの手順 5 で、USB メモリが挿入されていないときは、「USB メリ ヲ リユウ シタダサイ」と表示します。USB メモリを挿入してください。

■音源の書き込み

【手順 1～3】は、左の「スケジュールの書き込み」と同じです。

4 **セット** を押す
選択ロータリースイッチで、
【4-2-2 オンゲン】を選ぶ

* **セット** を押したとき、【PBS → USB メリ テソウ】のメニュー画面を表示します。

4-2-1 スケジュール
4-2-2 オンゲン
4-2-3 スケジュール・オンゲン
4-2-4 リモート録ソウ リレキ
4-2-5 LA セッティデータ

5 **セット** を押す

* 「USB メリ ニンキチュウデス」 「シバク オマチ クダサイ」のあと、書き込みする音源のチャンネル番号選択画面を表示します。

* 録音されている音源のチャンネルを表示します。

4-2-2 オンゲン
USBメモリ ニンキチュウ デス

4-2-2 オンゲン
シバク オマチ クダサイ

↓

音質設定 録音時間
4-2-2 オンゲン
CHM***ch uLAW ***s

音源のチャンネル番号
CHM: チャイム
MSG: メッセージ

6 選択ロータリースイッチで、書き込みする音源のチャンネル番号を選択して、**セット** を押す

* データの書き込みが始まります。

* 書き込みが終了すると、音源のチャンネル番号選択画面に戻ります。

CHM***ch uLAW ***s
||||||| I

↓

4-2-2 オンゲン
CHM***ch uLAW ***s

同様に、他のチャンネルの音源を書き込む

* 音源の書き込みを終了するときは、手順 7 に進みます。

7 **終了** を、必要回数押して待機画面に戻す

2007/ 7/ 9 MON
13:38:03

* 1 回押すごとに、前画面に戻ります。

ワンポイント

- 手順 6 で **セット** を押したとき、USB メモリの同一チャンネルにすでに音源がある場合には、次の確認画面を表示します。

CHM***ch uLAW ***s
ウガキ シマス [セット]

上書きするときは、**セット** を押して転送します。

STOP お願い

- データの書き込み中は、USB メモリを抜かないでください。データが破損することがあります。

■スケジュールと音源の書き込み

[手順1～3]は、前の「スケジュールの書き込み」と同じです。

4 **セット** を押す

選択ロータリースイッチで、
[4-2-3 スケジュール・オンゲン] を選ぶ

* **セット** を押したとき、[PBS → USB メモリ テンソウ] のメニュー画面を表示します。

4-2-1 スケジュール
4-2-2 オンゲン
4-2-3 スケジュール・オンゲン
4-2-4 リモート録画 リレキ
4-2-5 LA セッティングデータ

5 **セット** を押す

* 「USB メモリ ニンキチュウ」 「シバ ラク オマチ クダサイ」のあと、全てのデータをPBS（本体装置）の内容に置き換える確認画面を表示します。

4-2-3 スケジュール・オンゲン
USBメモリ ニンキチュウ データ
4-2-3 スケジュール・オンゲン
シバ ラク オマチ クダサイ
↓
4-2-3 スケジュール・オンゲン
スベテ オキカエマス セット

6 **セット** を押す

* スケジュールの書き込みが始まります。
* スケジュールの書き込みが終了すると、音源の消去を行ないます。
* 続いて音源の書き込みが始まります。
* 全ての音源の書き込みを終了すると、[PBS → USB メモリ テンソウ] のメニュー選択画面に戻ります。

PBS:スケジュールB
↓
オンゲン テンソウ シマス
シバ ラク オマチ クダサイ
↓
CHM**ch uLAW **s
↓
4-2-3 スケジュール・オンゲン
4-2-4 リモート録画 リレキ

7 **終了** を、必要回数押して待機

画面に戻す

* 1 回押すごとに、前画面に戻ります。

2007/ 7/ 9 MON
13:38:03

7 **終了** を、必要回数押して待機

画面に戻す

* 1 回押すごとに、前画面に戻ります。

2007/ 7/ 9 MON
13:38:03

●リモート放送履歴の確認方法

USB メモリに出力したリモート放送履歴は、USB メモリ内に CSV 形式のファイルで、次のように書き込まれます。

- ・フォルダ名：PBS-D500
- ・ファイル名：*****.CSV

※ファイル名は、出力したときの「月日時分」の8桁の名前が付けられます。

リモート放送履歴は、表計算ソフトで確認できます。

《リモート放送履歴：Excel での表示例》

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1	放送開始日	放送開始時刻	リモート番号	開始チャイルド	メッセージ	送出回数	終了チャイルド	要求元	結果
2	2007/5/18	17:12:03	1	1	1	1	0	リモート端子	放送
3	2007/5/21	17:32:12	1	1	1	1	0	リモート端子	放送

※項目 D,E,F,G は、リモート端子番号ごとの登録内容を表示します。

ワンポイント

- リモート放送履歴は、本体装置に 100 件まで記録され、以後は古い履歴から削除されます。
- 手順5で **セット** を押したとき、リモート放送履歴がない場合には、「ピッ・ピッ……」と鳴って、約3秒間、次の画面を表示します。

4-2-4 リモート録画 リレキ
テンソウ データ ガ アリマセン

■リモート放送履歴の書き込み

[手順1～3]は、前の「スケジュールの書き込み」と同じです。

4 **セット** を押す

選択ロータリースイッチで、
[4-2-4 リモート録画 リレキ] を選ぶ

* **セット** を押したとき、[PBS → USB メモリ テンソウ] のメニュー画面を表示します。

4-2-1 スケジュール
4-2-2 オンゲン
4-2-3 スケジュール・オンゲン
4-2-4 リモート録画 リレキ
4-2-5 LA セッティングデータ

5 **セット** を押す

* 「USB メモリ ニンキチュウ」 「シバ ラク オマチ クダサイ」のあと、USB メモリへ書き込みの確認画面を表示します。

4-2-4 リモート録画 リレキ
USBメモリ ニンキチュウ データ
4-2-4 リモート録画 リレキ
シバ ラク オマチ クダサイ
↓
4-2-4 リモート録画 リレキ
USBメモリ ニンソウ シマス セット

6 **セット** を押す

* リモート放送履歴の書き込みが始まります。
* 書き込みを終了すると、[PBS → USB メモリ テンソウ] のメニュー選択画面に戻ります。

4-2-4 リモート録画 リレキ
↓
4-2-3 スケジュール・オンゲン
4-2-4 リモート録画 リレキ

■LA 設定データの書き込み

LA 設定データの書き込み（[4-2-5 LA セッティングデータ]）については、「共通編 LAN アダプタ PBS-LA500 を使用する参考：本体の LA 設定データを USB メモリに書き込むには」（146 ページ）を参照してください。

音源を準備する

定時放送などで使用するメッセージ、音楽、自作チャイムなどの音源を、本体装置で録音します。

■音源の種類

本システムで使用する音源には、次の種類があります。

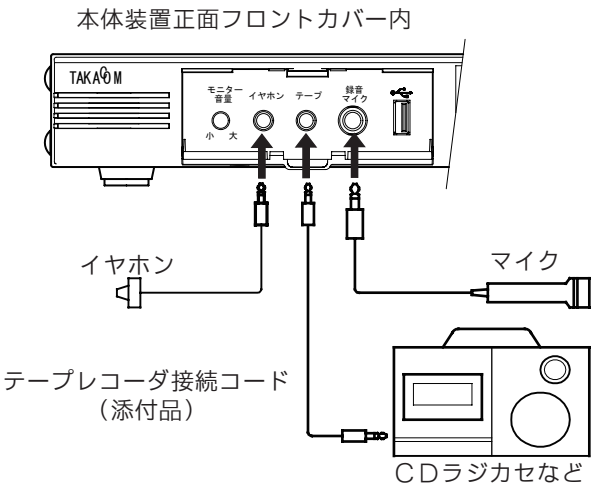
音源の種類		チャンネル数	内 容
チャイム	固定チャイム	ch1 ～ ch15	本体装置に内蔵された、15 種類の固定チャイムです。 このチャンネルは再生確認はできますが、録音・消去はできません。
	自作チャイム	ch16 ～ ch30	本体装置で録音・再生・消去ができる 15 種類のチャイムです。任意のチャイムが作成できます。
メッセージ・音楽		ch1 ～ ch99	本体装置で録音・再生・消去ができる 99 種類の音源です。任意のメッセージや音楽が作成できます。
外部チャイム		1 種類	既設のチャイムなど、外部のチャイムを使用します。
外部 BGM		1 種類	外部の BGM 音源などを使用します。 ※学校用のシステムでは使用できません。

■録音方法の種類

本体装置での録音方法には、次の 3 種類があります。

- ①マイクから録音する。
- ②CDラジカセなどからのダビング録音をする。
- ③マイクとCDラジカセなどとのミキシング録音をする。

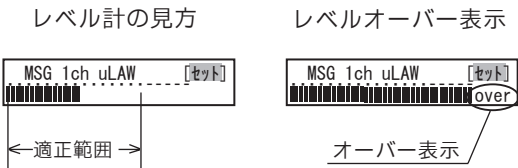
■外部機器の接続



録音レベルの調節

メッセージ録音や自作チャイム録音のとき、CDラジカセなどからのダビング録音や、ミキシング録音をするときは、あらかじめ録音レベルを調節してください。

- ・下記の、「レベル計の見方」に示した適正範囲に入るように、CDラジカセなどのボリュームを調節してください。入力オーバーになると、オーバー表示がでます。



音質設定と録音時間について

メッセージ・音楽・自作チャイムの合計録音時間は、音源の音質設定によって、次のような目安になります。

音質設定	録音時間の目安
標準 (μLAW)	約 60 分
高音質 1 (PCM1)	約 30 分
高音質 2 (PCM2)	約 15 分

音質の設定については、「本体装置の設定 4. 音質の設定」(13 ページ) を参照してください。

固定チャイムについて

●固定チャイムの曲名は、次のとおりです。

ch	曲 名
1	ウエストミンスターの鐘 25 秒
2	ウエストミンスターの鐘 14 秒
3	ローレライ 16 秒
4	野ばら 24 秒
5	アマリリス 28 秒
6	呼出チャイム 上り 5 秒
7	呼出チャイム 下り 5 秒
8	サインA 10 秒
9	サインB 19 秒
10	サインC 28 秒
11	サインD 13 秒
12	サインE 6 秒
13	サインF 2 秒
14	サインG 3 秒
15	サインH 1 秒

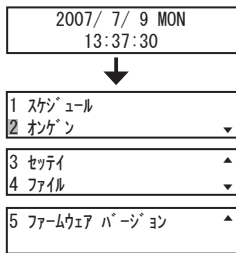
ワンポイント

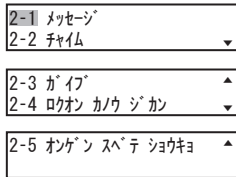
- マイクとCDラジカセなどを接続すると、両方の音をミキシング録音できます。
- CDラジカセなどからのダビング録音をしているときは、スピーカまたはイヤホンから、同時にモニターができます。
- マイクは市販のマイクをご使用ください。
マイク、テープジャックの規格は「主な仕様」(144 ページ) を参照してください。

1. メッセージの録音・再生・消去

■メッセージの録音のしかた

- 待機画面のとき、**メニュー** を押し、
選択ロータリースイッチで、
【2 オンゲン】を選ぶ

* **メニュー** を押したとき、メニュー画面を
表示します。

- セット** を押す
選択ロータリースイッチで、【2-1
メッセージ】を選ぶ

* **セット** を押したとき【オンゲン】のメ
ニュー画面を表示します。

- セット** を押す
選択ロータリースイッチで、録
音するチャンネルを選ぶ

* 選択したチャンネルに、データ入力
ソフトのメッセージ登録で「装置表
示名」が登録されていると、その名
前を表示します。

- セット** を押す

* 【サイセイ】【ロウオン】【ショウキョ】の選択画面
を表示します。
選択ロータリースイッチで、【ロ
ウオン・uLAW】を選ぶ

* 【ロウオン・uLAW】は、音質設定が標準の
場合の表示例です。高音質1および
高音質2の場合は、それぞれ【ロウ
オン・PCM1】、【ロウオン・PCM2】と表示します。

- セット** を押す

* 下段に録音レベルが表示されます。
テープレコーダから録音のときは、
レベル調整をします。

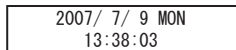
セット を押す

* 録音を開始します。録音時間が表示
されます。

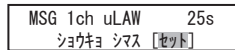
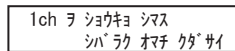
終了 を押すと、録音が終わり
ます。

* チャンネルの選択画面に戻ります。
* 続けて録音するときは、チャンネル
を選択して手順4～5を繰り返しま
す。

- 終了** を、必要回数押して待機
画面に戻す

* 1回押すごとに、前画面に戻ります。


■録音済みのチャンネルへ録音するには

- 手順5で、そのチャンネルが録音済みのときは、次の
表示となります。

- セット** を押すと、そのチャンネルを消去します。

- 消去が終わったら、再度、手順5から操作します。

■ラジカセなどから録音するとき

- あらかじめラジカセなどへ、メッセージを録音してお
きます。
- 手順1から順次操作し、手順5のとき、ラジカセなど
を再生し、録音レベルを適正レベル範囲内に調節しま
す。
- ラジカセなどを再生し、メッセージの冒頭で、録音を
開始させます。

ワンポイント

- 録音のやり直しは最初から行ってください。
- 手順3のとき、選択したチャンネルが定時放送などの
放送スケジュールで設定されている場合は、「*」印
が付きます。また、リモート放送で設定されている場
合には「#」印が付きます。

放送スケジュールで設定されたチャンネル

*#MSG 7ch PCM1 30s
[*****]

リモート放送で設定されたチャンネル

これらのマークの付いたチャンネルは録音がされてい
ることを確認してください。録音がないと、自動放送
やリモート放送の操作ができません。

- 手順3～4のとき、録音済のチャンネルを選択すると、
次の表示になります。

MSG 7ch PCM1 30s
[*****]

録音済メッセージの音質設定 録音済メッセージの録音時間

MSG 7ch PCM1 30s
[サイセイ] [ロウオン・uLAW] [ショウキョ]

録音するメッセージの音質設定

- 手順5のとき、マイクやラジカセなどが接続されてい
ないときは、「ピツ・ピツ……」と鳴って、約3秒間、
次の警告が表示されます。

MSG 1ch uLAW
ロウオン ニュウヨク ガ アリマセン

マイクなどを接続して、やり直してください。

- 手順5のとき、録音を開始する前に **メニュー** を押すと、
押している間、録音可能時間を表示します。

MSG 1ch uLAW
ロウオン カウジカン 55m34s

音源を準備する

■メッセージの再生のしかた

- 待機画面のとき、**メニュー** を押し、
選択ロータリースイッチで、
【2 オンゲン】 を選ぶ

* **メニュー** を押したとき、メニュー画面を
表示します。
- セット** を押す
選択ロータリースイッチで、【2-1
メッセージ】 を選ぶ

* **セット** を押したとき【オンゲン】 のメ
ニュー画面を表示します。
- セット** を押す
選択ロータリースイッチで、再
生するチャンネルを選ぶ
* 選択したチャンネルに、データ入力
ソフトのメッセージ登録で「装置表
示名」が登録されていると、その名
前を表示します。
- セット** を押す
* 【サイエイ】 【ロオン】 【ショウキョ】 の選択画面
を表示します。
【サイエイ】 が選択されていることを
確認します。
- セット** を押す
* 再生を開始します。再生時間が表示
されます。
* 再生音は、モニター音量ツマミで調
節できます。
* 下段に再生レベルが表示されます。
* 再生が終わると、チャンネルの選択
画面に戻ります。
* 続けて再生するときは、チャンネル
を選択して手順4～5を繰り返しま
す。
- 終了** を、必要回数押して待機
画面に戻す
* 1回押すごとに、前画面に戻ります。

ワンポイント

- 再生を中止したいときは、**終了** を押してください。
再生を停止し、チャンネルの選択画面に戻ります。
- チャンネルごとに、放送およびスピーカの音量を調節
できます。手順5のメッセージ再生中に、選択ロータ
リースイッチで行ないます。
 - ・ 右 (+) 方向に回すと、音量が大きくなります。
最大 +10dB まで設定できます。
 - ・ 左 (-) 方向に回すと、音量が小さくなります。
最小 -20dB まで設定できます。
 - ・ オーバー表示にならないように調節してください。

レベル計 レベル表示

■メッセージの消去のしかた

- 待機画面のとき、**メニュー** を押し、
選択ロータリースイッチで、
【2 オンゲン】 を選ぶ

* **メニュー** を押したとき、メニュー画面を
表示します。
- セット** を押す
選択ロータリースイッチで、【2-1
メッセージ】 を選ぶ

* **セット** を押したとき【オンゲン】 のメ
ニュー画面を表示します。
- セット** を押す
選択ロータリースイッチで、消
去するチャンネルを選ぶ
* 選択したチャンネルに、データ入力
ソフトのメッセージ登録で「装置表
示名」が登録されていると、その名
前を表示します。
- セット** を押す
* 【サイエイ】 【ロオン】 【ショウキョ】 の選択画面
を表示します。
選択ロータリースイッチで、【ショ
ウキョ】 を選ぶ
- セット** を押す
* 消去の確認画面を表示します。

* **セット** を押す
* 消去を開始します。

* 消去が終わると、録音可能な残り時
間の画面を表示します。

* 約3秒後、チャンネルの選択画面に
戻ります。
* 続けて消去するときは、チャンネル
を選択して手順4～5を繰り返しま
す。
- 終了** を、必要回数押して待機
画面に戻す
* 1回押すごとに、前画面に戻ります。

ワンポイント

- メッセージの「再生」および「消去」で、録音されて
いないチャンネルを選択した場合は、**セット** を押した
ときに「ピツ・ピツ……」と鳴って、約3秒間、次の
画面を表示します。

2. チャイムの録音・再生・消去

■自作チャイムの録音のしかた

- 待機画面のとき、**メニュー** を押し、
選択ロータリースイッチで、
[2 オンゲン] を選ぶ
 * **メニュー** を押したとき、メニュー画面を
表示します。
 2007/ 7/ 9 MON
13:37:30
 1 スケジュール
2 オンゲン
3 セッテイ
4 ファイル
5 ファームウェアバージョン
- セット** を押す
 選択ロータリースイッチで、[2-2
チャイム] を選ぶ
 * **セット** を押したとき [オンゲン] のメ
ニュー画面を表示します。
 2-1 メッセージ
2-2 チャイム
2-3 カイフ
2-4 オンゲン カウジカン
2-5 オンゲン ステショウキョ
- セット** を押す
 選択ロータリースイッチで、録
音する自作チャイムのチャンネ
ルを選ぶ
 * 選択したチャンネルに、データ入力
ソフトのチャイム登録で「装置表示
名」が登録されていると、その名前
を表示します。
 チャンネル番号
16 ~ 30 チャンネ
ルを選択します。 録音時間
CHM16ch 0s
[*****]
装置表示名
- セット** を押す
 * [サイセイ] [ロウオン] [ショウキョ] の選択画面
を表示します。
 選択ロータリースイッチで、[ロウ
オン・uLAW] を選ぶ
 * [ロウオン・uLAW] は、音質設定が標準の
場合の表示例です。高音質1および
高音質2の場合は、それぞれ [ロウ
オン・PCM1]、[ロウオン・PCM2] と表示します。
 CHM16ch 0s
[サイセイ] [ロウオン・uLAW] [ショウキョ]
 CHM16ch 0s
[サイセイ] [ロウオン・uLAW] [ショウキョ]
 音質設定
- セット** を押す
 * 下段に録音レベルが表示されます。
テープレコーダから録音のときは、
レベル調整をします。
 CHM16ch uLAW [セット]
 * **セット** を押す
 * 録音を開始します。録音時間が表示
されます。
 CHM16ch uLAW 5s
 * **終了** を押すと、録音が終わります。
 * チャンネルの選択画面に戻ります。
 * 続けて録音するときは、チャンネルを
選択して手順4~5を繰り返します。
 CHM16ch uLAW 25s
[*****]
- 終了** を、必要回数押して待機
画面に戻す
 2007/ 7/ 9 MON
13:38:03
 * 1回押すごとに、前画面に戻ります。

ご注意

- 自作チャイムに単音のチャイムを録音する場合は、音質の設定を高音質で録音してください。「本体装置の設定 4. 音質の設定」(13 ページ)を参照してください。

■録音済みのチャンネルへ録音するには

- 手順5で、そのチャンネルが録音済みのときは、次の表示となります。

CHM16ch uLAW 25s
ショウキョ シマス [セット]

- セット** を押すと、そのチャンネルを消去します。

16ch ヲ ショウキョ シマス
シバ ラク オマチ クダサイ

- 消去が終わったら、再度、手順5から操作します。

■ラジカセなどから録音するとき

- あらかじめラジカセなどへ、チャイムを録音しておきます。
- 手順1から順次操作し、手順5のとき、ラジカセなどを再生し、録音レベルを適正レベル範囲内に調節します。
- ラジカセなどを再生し、チャイムの冒頭で、録音を開始させます。

ワンポイント

- 録音のやり直しは最初から行ってください。
- 手順3で固定チャイムのチャンネルを選択した状態で、手順5で **セット** を押すと、「ピツ・ピツ……」と鳴って、約3秒間、次の警告が表示されます。

CHM15ch 24s
ロウオン デキマセン

- 手順3のとき、選択したチャンネルが定時放送などの放送スケジュールで設定されている場合は、「*」印が付きます。また、リモート放送で設定されている場合には「#」印が付きます。

放送スケジュールで設定されたチャンネル

*#CHM17ch PCM1 20s
[*****]

リモート放送で設定されたチャンネル

これらのマークの付いたチャンネルは録音がされていることを確認してください。録音がないと、自動放送やリモート放送の操作ができません。

- 手順3~4のとき、録音済のチャンネルを選択すると、次の表示になります。

CHM17ch PCM1 20s
[*****]

録音済チャイムの音質設定

録音済チャイムの録音時間

CHM17ch PCM1 20s
[サイセイ] [ロウオン・uLAW] [ショウキョ]

録音するチャイムの音質設定

- 手順5のとき、マイクやラジカセなどが接続されていないときは、「ピツ・ピツ……」と鳴って、約3秒間、「ロウオン コウリョク ガ アリマセン」と表示されます。

マイクなどを接続して、やり直してください。

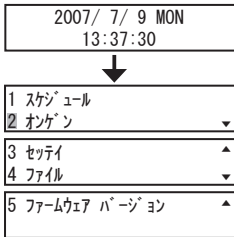
- 手順5のとき、録音を開始する前に **メニュー** を押すと、押している間、録音可能時間を表示します。

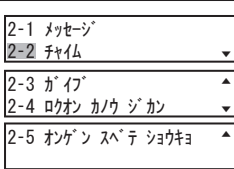
CHM16ch uLAW
ロウオン カウジカン 55m34s

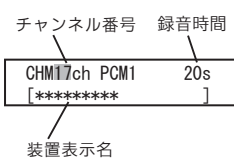
音源を準備する

■チャイムの再生のしかた

- 待機画面のとき、**メニュー** を押し、
選択ロータリースイッチで、
【2 オンゲン】を選ぶ

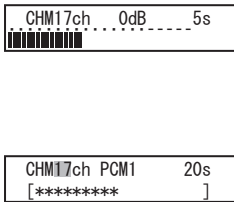
* **メニュー** を押したとき、メニュー画面を
表示します。

- セット** を押す
選択ロータリースイッチで、【2-2
チャム】を選ぶ

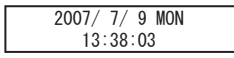
* **セット** を押したとき【オンゲン】のメ
ニュー画面を表示します。

- セット** を押す
選択ロータリースイッチで、再
生するチャンネルを選ぶ

* 選択したチャンネルに、データ入力
ソフトのチャイム登録で「装置表示
名」が登録されていると、その名前
を表示します。

- セット** を押す

* 【サイエイ】【ロクオン】【ショウキョ】の選択画面
を表示します。
【サイエイ】が選択されていることを
確認します。

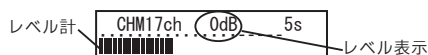
- セット** を押す

* 再生を開始します。再生時間が表示
されます。
* 再生音は、モニター音量ツマミで調
節できます。
* 下段に再生レベルが表示されます。
* 再生が終わると、チャンネルの選択
画面に戻ります。
* 続けて再生するときは、チャンネル
を選択して手順4～5を繰り返しま
す。

- 終了** を、必要回数押して待機
画面に戻す

* 1回押すごとに、前画面に戻ります。


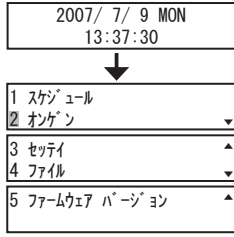
ワンポイント

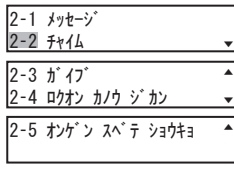
- 再生を中止したいときは、**終了** を押してください。
再生を停止し、チャンネルの選択画面に戻ります。
- チャンネルごとに、放送およびスピーカの音量を調節
できます。手順5のチャイム再生中に、選択ロータリー
スイッチで行ないます。
 - ・ 右 (+) 方向に回すと、音量が大きくなります。
最大 +10dB まで設定できます。
 - ・ 左 (-) 方向に回すと、音量が小さくなります。
最小 -20dB まで設定できます。
 - ・ オーバー表示にならないように調節してください。

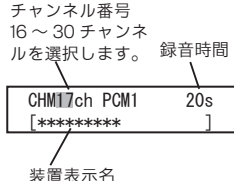


■自作チャイムの消去のしかた

- 待機画面のとき、**メニュー** を押し、
選択ロータリースイッチで、
【2 オンゲン】を選ぶ

* **メニュー** を押したとき、メニュー画面を
表示します。

- セット** を押す
選択ロータリースイッチで、【2-2
チャム】を選ぶ

* **セット** を押したとき【オンゲン】のメ
ニュー画面を表示します。

- セット** を押す
選択ロータリースイッチで、消
去する自作チャイムのチャンネ
ルを選ぶ

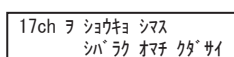
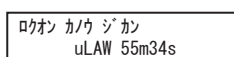
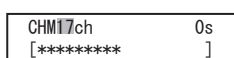
* 選択したチャンネルに、データ入力
ソフトのチャイム登録で「装置表示
名」が登録されていると、その名前
を表示します。

- セット** を押す

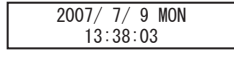
* 【サイエイ】【ロクオン】【ショウキョ】の選択画面
を表示します。
選択ロータリースイッチで、【シ
ョウキョ】を選ぶ

- セット** を押す

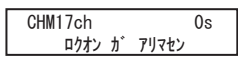
* 消去の確認画面を表示します。

- セット** を押す

* 消去を開始します。

- 消去が終わると、録音可能な残り時
間の画面を表示します。
* 約3秒後、チャンネルの選択画面に
戻ります。
* 続けて消去するときは、チャンネル
を選択して手順4～5を繰り返しま
す。


- 終了** を、必要回数押して待機
画面に戻す

* 1回押すごとに、前画面に戻ります。


ワンポイント

- チャイムの「再生」および「消去」で、録音されてい
ないチャンネルを選択した場合は、**セット** を押したと
きに「ピツ・ピツ……」と鳴って、約3秒間、次の画
面を表示します。

- チャイムの「消去」で、固定チャイムを選択した場合
は「ピツ・ピツ……」と鳴って、約3秒間「ショウキョ デ
キマセン」と表示します。

3. 外部チャイム、外部 BGM の再生

■外部チャイムの再生のしかた

- 1** 待機画面のとき、**メニュー** を押し、
選択ロータリースイッチで、
【2 オンゲン】を選ぶ

※ **メニュー** を押したとき、メニュー画面を表示します。

2 **セット** を押し
選択ロータリースイッチで、【2-3
ガイブ】を選ぶ

※ **セット** を押したとき【オンゲン】のメニュー画面を表示します。

3 **セット** を押し
※ CHM/BGM の選択画面を表示します。
選択ロータリースイッチで、CHM
(チャイム) を選ぶ

※ 「装置表示名」は固定です。
※ 表示時間は、装置設定で登録した「外部チャイムの継続時間」です。

4 **セット** を押し
※ 装置設定で登録した「外部チャイムの
起動時間」を表示し、起動待ちに
なります。

セット を押し

※ 起動時間のカウントダウンのあと、
外部チャイムの再生が始まります。
(放送はされません。)

※ 再生音は、モニター音量ツマミで調
節できます。

※ 下段に再生レベルが表示されます。
※ 再生が終わると、CHM/BGM の選択画面
に戻ります。

5 **終了** を、必要回数押して待機
画面に戻す

※ 1 回押すごとに、前画面に戻ります。

■外部 BGM の再生のしかた（一般用のみ）

学校用でお使いのときは、BGM 放送の機能はありません。

- 1 待機画面のとき、**メニュー** を押し、
選択ロータリースイッチで、
【2 オンゲン】を選ぶ
 * **メニュー** を押したとき、メニュー画面を表示します。

2007/ 7/ 9 MON
13:37:30
↓
 1 スケジュール
 2 オンゲン
 3 セット
 4 ファイル
 5 フォームウェア バージョン
 - 2 **セット** を押す
 選択ロータリースイッチで、【2-3 かイブ】を選ぶ
 * **セット** を押したとき【オンゲン】のメニュー画面を表示します。

2-1 メッセージ
 2-2 チャイルド
 2-3 かイブ
 2-4 ロウオン カウジカン
 2-5 オンゲン スペシャルジョッキー
 - 3 **セット** を押す
 * CHM/BGM の選択画面を表示します。
 選択ロータリースイッチで、BGM (外部 BGM) を選ぶ
 * 「装置表示名」は固定です。

BGM EXT
 [かイブ BGM]

↑
装置表示名
 - 4 **セット** を押す
 * 装置設定で登録した「BGM の起動時間」を表示し、起動待ちになります。
セット を押す
 * 起動時間のカウントダウンのあと、外部 BGM の再生が始まります。
 (放送はされません。)
 * 再生音は、モニター音量ツマミで調節できます。
 * 下段に再生レベルが表示されます。

BGM EXT
 カウジカン 5s **セット**

BGM EXT 5s
 - 5 外部 BGM の再生を終わるときは、**終了** を押す。
 * CHM/BGM の選択画面に戻ります。

BGM EXT
 [かイブ BGM]
 - 6 **終了** を、必要回数押しで待機画面に戻す
 * 1 回押すごとに、前画面に戻ります。

2007/ 7/ 9 MON
13:38:03

 ワンポイント

- 再生を中止したいときは、**終了** を押してください。
再生を停止し、CHM/BGM の選択画面に戻ります。
- 学校用でお使いのときは、手順 3 で次の表示となり、
CHM/BGM の選択はできません。

CHM EXT	25s
[カイト チャイル]	

セット を押すか、選択ロータリースイッチを右に回して、手順 4 の起動待ちに進みます。

4. 録音可能時間の確認

メッセージおよび自作チャイムの録音可能な残り時間を確認できます。

- 1** 待機画面のとき、**メニュー** を押し、
選択ロータリースイッチで、
【2 オフ】 を選ぶ

* **メニュー** を押したとき、メニュー画面を
表示します。

2 **セット** を押す
選択ロータリースイッチで、【2-4
オフ オフ ジャン】 を選ぶ

* **セット** を押したとき【オフ】 のメ
ニュー画面を表示します。

3 **セット** を押す

* 現在の音質設定の状態と録音可能時
間を表示します。

* 音質設定によって、録音可能時間は
異なります。

録音可能時間
2-4 オフ オフ ジャン /
uLAW 52m58s
音質設定：標準

録音可能時間
2-4 オフ オフ ジャン /
PCM1 26m29s
音質設定：高音質 1

録音可能時間
2-4 オフ オフ ジャン /
PCM2 13m15s
音質設定：高音質 2

4 録音可能時間の確認を終わると
きは、**終了** を押す。

* 【オフ】 のメニュー選択画面に戻り
ます。

5 **終了** を、必要回数押して待機
画面に戻す

* 1 回押すごとに、前画面に戻ります。

5. 音源の全消去

録音されている全てのメッセージおよび自作チャームを消去することができます。

- 1** 待機画面のとき、**メニュー** を押し、選択ロータリースイッチで、【2 ワグン】を選ぶ

* **メニュー** を押したとき、メニュー画面を表示します。

2007 / 7 / 9 MON
13:37:30

↓

1 スケジュール
2 オンゲン
3 セッテイ
4 ファイル
5 フォームウェア バージョン

2 **セット** を押す

選択ロータリースイッチで、【2-5 ワグン スペシャル】を選ぶ

* **セット** を押したとき【ワグン】のメニュー画面を表示します。

2-1 メッセージ
2-2 チャイルド
2-3 ガイダンス
2-4 ロケーション カウンタ
2-5 ワグン スペシャル

3 **セット** を押す

* 音源全て消去の確認画面を表示します。

* **セット** を押す

* 消去を開始します。

* 消去が終わると、録音可能な残り時間の画面を表示します。

* 約 3 秒後、【ワグン】のメニュー選択画面に戻ります。

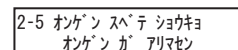
4 **終了** を、必要回数押して待機画面に戻る

* 1 回押すごとに、前画面に戻ります。

2007 / 7 / 9 MON
13:38:03

ワンポイント

- 手順 3 で **セット** を押したとき、本体装置に音源が無いときは、「ピツ・ピツ・・・」と鳴って、約 3 秒間、次の画面を表示します。



スケジュールの確認／変更

年間スケジュールの確認・変更、本日スケジュールの確認、放送スケジュールの繰上げ・繰下げ、および放送の休止の設定などができます。なお、変更したスケジュールは、その日のみ有効です。

1. 年間スケジュールの確認と変更

年月日を指定して、スケジュール（日課パターン）の確認と変更ができます。

■確認のしかた

1 待機画面のとき、**メニュー** を押し、
選択ロータリースイッチで、
【1 スケジュール】を選ぶ

* **メニュー** を押したとき、メニュー画面を表示します。

2007/ 7/ 9 MON
13:37:30

1 スケジュール
2 オンゲル
3 セッティ
4 ファイル
5 ファームウェアバージョン

2 **セット** を押す
選択ロータリースイッチで、【1-1
ねかん スケジュール】を選ぶ

* **セット** を押したとき【スケジュール】のメニュー画面を表示します。

1-1 ねかん スケジュール
1-2 ホンツ スケジュール

1-3 クリアゲ/クリサゲ
1-4 キュウ

1-5 スケジュール ファイル ヒョウジ

3 **セット** を押す
* 本日の日付と日課パターン番号を表示し、パターン名が確認できます。

●他の日のスケジュール確認

《年の選択》

選択ロータリースイッチで、
確認したい「年」を選ぶ

《月の選択》

セット を押して「月」を選び、
選択ロータリースイッチで、
確認したい「月」を選ぶ

《日の選択》

セット を押して「日」を選び、
選択ロータリースイッチで、
確認したい「日」を選ぶ

* 選択した日付の日課パターン番号が表示され、スケジュールが確認できます。

終了 を押すと、「年」の選択画面になります。

日課パターン番号
2007/ 7/ 9 MON PT 1
[*****]

パターン名

2008/ 7/ 9 WED PT 2
[*****]

2008/ 8/ 9 SAT PT 0
[*****]

2008/ 8/28 THU PT 1
[*****]

2008/ 8/28 THU PT 1
[*****]

4 **終了** を、必要回数押して待機画面に戻す

* 1 回押すごとに、前画面に戻ります。

2007/ 7/ 9 MON
13:38:03

■年間スケジュールを変更するには

1 スケジュールの確認の手順3で
変更したい年月日を選んだあと、
セット を押して「PT (パターン)」
を選択する

2008/ 8/28 THU PT 1
[ホウソウキュウ]

2 選択ロータリースイッチで、変
更する日課パターン番号を選択
する

* 日課パターン番号は、登録のある番号を表示します。

* 表示例は、「2008年8月28日木曜日」
を「パターン1（通常業務）」のスケジュールから、「パターン0（放送休止）」に変更した例です。

2008/ 8/28 THU PT 0
[ホウソウキュウ]

セット を押す
* 「年」の選択画面になります。

2008/ 8/28 THU PT 0
[ホウソウキュウ]

3 **終了** を、必要回数押して待機画面に戻す
* 1 回押すごとに、前画面に戻ります。

2007/ 7/ 9 MON
13:38:03



ワンポイント

● 年月日の選択範囲は次のとおりです。

年：スケジュールデータを作成した年から10年

月：1月～12月

日：1日～31日（年月に対応した最大日）

2. 本日スケジュールの確認

本日のスケジュール（定時放送のステップなど）を確認することができます。ただし、放送時刻などの変更はできません。

1 待機画面のとき、**メニュー** を押し、
選択ロータリースイッチで、
【1 スケジュール】を選ぶ

2007/ 7/ 9 MON
13:37:30

1 スケジュール
2 オンゲン
3 セッテイ
4 ファイル
5 フォームウェアバージョン

* **メニュー** を押したとき、メニュー画面を表示します。

2 **セット** を押す
選択ロータリースイッチで、【1-2
ホジツスケジュール】を選ぶ

1-1 ネカン スケジュール
1-2 ホジツ スケジュール
1-3 クリアゲ/クリアゲ
1-4 キュウシ
1-5 スケジュール ファイル ヒョウジ

* **セット** を押したとき【スケジュール】のメニュー画面を表示します。

3 **セット** を押す
* 本日の日付と日課パターン番号を表示します。

2007/ 7/ 9 MON PT 1
[*****]

パターン名

セット を押す、または選択ロータリースイッチを右（+）方向に回す

* [ティン] [カンカク] [BGM] の選択画面を表示します。

2007/ 7/ 9 MON PT 1
[ティン] [カンカク] [BGM]

●定時放送の内容確認

選択ロータリースイッチで、[ティン] を選んで、**セット** を押す
* 次に放送されるステップが表示されます。
* 選択ロータリースイッチで、登録されている全てのステップが確認できます。

放送ステップ 放送時刻

[ティン] STEP 7 12:00
CHM 2, MSG 4(1)

チャイム
チャンネル

メッセージ
チャンネル
(送出回数)

●間隔放送の内容確認

選択ロータリースイッチで、[カンカク] を選んで、**セット** を押す
* 間隔放送の内容が表示されます。

放送時間 間隔時間

[カンカク] 9:00 ~ 19:00 30m
MSG 25-26-30-34-35-18

放送チャンネル

●BGM放送の内容確認

選択ロータリースイッチで、
[BGM] を選んで、**セット** を押す
* 次に放送されるBGMのステップが表示されます。
* 選択ロータリースイッチで、登録されている全てのBGMステップが確認できます。

放送ステップ

[BGM] STEP1
EXT 12:00 ~ 13:00

放送内容 放送時間

終了 を押すと、[ティン] [カンカク]
[BGM] の選択画面になります。

2007/ 7/ 9 MON PT 1
[ティン] [カンカク] [BGM]

4 **終了** を、必要回数押して待機画面に戻す
* 1 回押すごとに、前画面に戻ります。

2007/ 7/ 9 MON
13:38:03

●定時放送の内容画面例

《チャイム放送なし／メッセージ放送有り》の場合

[ティン] STEP 6 10:00
CHM --, MSG 9(1)

《チャイム放送有り、メッセージ放送なし》の場合

[ティン] STEP 4 8:40
CHM 1, MSG -- (-)

《連結放送》の場合

[ティン] STEP 3 レンゲツホリウ
CHM 3, MSG -- (-)

《時報》の場合

[ティン] STEP13 18:00
ジ 杓

※装置設定の登録で、時刻の最小単位を「秒」に設定されている場合は、放送時刻は「時／分／秒」で表示します。
（学校用でお使いのときは、「秒」の設定はできません。）

ワンポイント

● 本日が、放送休止のときは、手順3で **セット** を押したとき、次の画面を表示します。

2007/ 7/14 SAT PT 0
[ホジツキュウシ]

● 手順3で、本日の放送が全て終了している場合は、「ピッ・ピッ…」と鳴って、次の画面を表示します。
《定時放送の場合》

ホジツ / ティン ホリウ ハ
シュリョク シマシタ

《間隔放送の場合》

ホジツ / カンカク ホリウ ハ
シュリョク シマシタ

《BGM 放送の場合》

ホジツ / BGM ホリウ ハ
シュリョク シマシタ

選択ロータリースイッチで、各スケジュールの確認ができます。

● 確認中に日替わりしたときは、「ピッ・ピッ…」と鳴って、約3秒間、次の画面を表示します。

1-2 ホジツ スケジュール
ヒニチ ガ カリマシタ

● 学校用でお使いのときは、[カンカク]（間隔放送）および[BGM]（BGM放送）は表示されません。

3. スケジュールの繰上げ／繰下げ

定時放送などの放送時刻を、一斉に繰上げたり繰下げたりすることができます。繰上げ／繰下げは、年月日を指定して、繰上げ／繰下げを開始する時刻および、繰上げ／繰下げの時間を登録します。

■登録のしかた

1 待機画面のとき、**メニュー** を押し、
選択ロータリースイッチで、
【1 スケジュール】を選ぶ

2007/ 7/ 9 MON
13:37:30

↓

1 スケジュール
2 オンゲン
3 セッテイ
4 ファイル
5 ファームウェア バージョン

* **メニュー** を押したとき、メニュー画面を表示します。

2 **セット** を押す
選択ロータリースイッチで、【1-3
クリアゲ / クリサゲ】を選ぶ

1-1 ネカン スケジュール
1-2 ホンジツ スケジュール
1-3 クリアゲ / クリサゲ
1-4 キュウシ
1-5 スケジュール ファイル ヒョウシ

* **セット** を押したとき【スケジュール】のメニュー画面を表示します。

3 **セット** を押す
* 繰上げ／繰下げの登録画面を表示します。
選択ロータリースイッチで、ステップを選ぶ

1-3 クリアゲ / クリサゲ STEP 1
----/--/-- --:-- --m

* 新規に登録するときは、未入力 “--” のステップを選びます。
* 変更するときは該当のステップを選びます。

セット を押して、選択ロータリースイッチで、繰上げ／繰下げをする「年」を選ぶ

1-3 クリアゲ / クリサゲ STEP 1
2007/--/-- --:-- --m

同様に「月」「日」、繰上げ／繰下げを開始する「時」「分」、繰上げ／繰下げの時間を登録する

1-3 クリアゲ / クリサゲ STEP 1
2007/ 7/ 9 8:00 -10m

繰上げ時間
年月日 繰上げ／繰下げ開始時刻
1-3 クリアゲ / クリサゲ STEP 1
2007/ 7/ 9 8:00 +10m
繰下げ時間

* 繰上げ：時間を“-”で設定します。
* 繰下げ：時間を“+”で設定します。
* 繰上げ／繰下げの時間は、1分単位でそれぞれ最大60分まで設定できます。

繰上げ／繰下げの時間を選んで
セット を押すと次のステップの登録画面になります。

1-3 クリアゲ / クリサゲ STEP 2
----/--/-- --:-- --m

* 続けて登録するときは、手順3を繰り返します。
* 繰上げ／繰下げの登録は、10ステップまで登録できます。

終了 を押すと、【スケジュール】のメニュー選択画面になります。

1-3 クリアゲ / クリサゲ
1-4 キュウシ

4 **終了** を、必要回数押して待機画面に戻す
* 1回押すごとに、前画面に戻ります。

2007/ 7/ 9 MON
13:38:03

■削除のしかた

1 登録のしかたの手順3で、**セット** を押したとき、登録済のステップを表示します。
選択ロータリースイッチで、削除するステップを選ぶ

1-3 クリアゲ / クリサゲ STEP 1
2007/ 7/ 9 8:00 -10m

2 **セット** を押して、「年」を選択する

1-3 クリアゲ / クリサゲ STEP 1
2007/ 7/ 9 8:00 -10m

3 選択ロータリースイッチを、左（一）に回して「年」を“-----”の表示にする

1-3 クリアゲ / クリサゲ STEP 1
----/--/-- 8:00 -10m

4 **セット** を押すと、全ての項目が“--”となり、そのステップが削除されます。
* 続けて削除するときは、手順1～4を繰り返します。

1-3 クリアゲ / クリサゲ STEP 1
----/--/-- --:-- --m

■繰上げ／繰下げを設定すると

繰上げ／繰下げを設定した日の日課パターンには、スケジュールの確認をしたときに、パターン番号の前にマークが付きます。

スケジュール変更マーク

2007/ 7/ 9 MON ▶PT 1
[*****]

また、「本日スケジュールの確認」では、定時放送・間隔放送・BGM放送の時刻は、繰上げ／繰下げされた時刻に変更されています。

ワンポイント

- USBメモリなどにより、新たにスケジュールデータを読み込んだ場合は、登録されている繰上げ／繰下げデータは、すべて消去されます。
- 「装置設定 時刻の最小単位」を「秒」でご使用の場合は、繰上げ／繰下げはできません。「ピツ・ピツ・・・」と鳴って、約3秒間、次の表示となります。

1-3 クリアゲ / クリサゲ
セッテイ デキマゼン

- ※ 学校用でお使いのときは、「装置設定 時刻の最小単位」は使用できません。
- 繰上げ登録をした場合、繰上げ時間内の設定はすべてスキップされます。32ページの「繰上げ登録時のスケジュール例」を参照してください。

4. 放送の休止

定時放送などの放送を休止することができます。休止は、年月日を指定して、休止を開始する時刻を登録します。

■登録のしかた

1 待機画面のとき、**メニュー** を押し、
選択ロータリースイッチで、
【1 スケジュール】を選ぶ

2007/ 7/ 9 MON
13:37:30

↓

1 スケジュール
2 オンゲル
3 セッテ
4 ファイル
5 フォームウェアバージョン

* **メニュー** を押したとき、メニュー画面を表示します。

2 **セット** を押す
選択ロータリースイッチで、【1-4
キューン】を選ぶ

1-1 ネカン スケジュール
1-2 ホンダ スケジュール
1-3 クリアゲ/クリサゲ
1-4 キュン
1-5 スケジュール ファイル ヒョウシ

* **セット** を押したとき【スケジュール】のメニュー画面を表示します。

3 **セット** を押す
* 放送休止の登録画面を表示します。
選択ロータリースイッチで、ステップ
ステップを選ぶ

1-4 キュン STEP 1
----/--/-- --:--

* 新規に登録するときは、未入力 “--”
のステップを選びます。
* 変更するときは該当のステップを選
びます。

セット を押して、選択ロータリ
スイッチで、放送休止をする「年」
を選ぶ

1-4 キュン STEP 1
2007/--/-- --:--

同様に「月」「日」、放送休止を
開始する「時」「分」を登録する

1-4 キュン STEP 1
2007/ 7/ 9 12:00

年月日 放送休止開始時刻

放送休止の開始時間を選んで
セット を押すと次のステップの
登録画面になります。

1-4 キュン STEP 2
----/--/-- --:--

* 続けて登録するときは、手順3を繰
り返します。
* 放送休止の登録は、10 ステップまで
登録できます。

終了 を押すと、【スケジュール】の
メニュー選択画面になります。

1-3 クリアゲ/クリサゲ
1-4 キュン

4 **終了** を、必要回数押して待機
画面に戻す

2007/ 7/ 9 MON
13:38:03

* 1 回押すごとに、前画面に戻ります。

■削除のしかた

1 登録のしかたの手順3で、**セット**
を押したとき、登録済のステッ
プを表示します。
選択ロータリースイッチで、削
除するステップを選ぶ

1-4 キュン STEP 1
2007/ 7/ 9 12:00

2 **セット** を押して、「年」を選択す
る

1-4 キュン STEP 1
2007/ 7/ 9 12:00

3 選択ロータリースイッチを、左
(-) に回して「年」を“----”
の表示にする

1-4 キュン STEP 1
----/ 7/ 9 12:00

4 **セット** を押すと、全ての項目が
“--” となり、そのステップが
削除されます。
* 続けて削除するときは、手順1～4
を繰り返します。

1-4 キュン STEP 1
----/--/-- --:--

■放送の休止を設定すると

放送の休止を設定した日の日課パターンには、スケジュールの確認をしたときに、パターン番号の前にマークが付きます。

スケジュール変更マーク

2007/ 7/ 9 MON ▶PT 1
[*****]

また、「本日スケジュールの確認」では、定時放送／間隔放送／BGM 放送の、休止設定時刻以後のスケジュールは表示されません。

●放送休止の時刻になると

自動放送セット中に放送休止に設定した時刻になると、【ホ
ンダ スケジュール シュリヨク】と表示されます。

ワンポイント

- USB メモリなどにより、新たにスケジュールデータを読み込んだ場合は、登録されている放送休止データは、すべて消去されます。

5. スケジュールファイルの表示

本体装置に読み込まれているスケジュールファイルの「スケジュール名」と「作成日時」が確認できます。

1

待機画面のとき、**メニュー** を押し、
選択ロータリースイッチで、
【1 スケジュール】を選ぶ

2007/ 7/ 9 MON
13:37:30

↓

1 スケジュール
2 オンゲン
3 セッティ
4 ファイル
5 ファームウェア バージョン

※ **メニュー** を押したとき、メニュー画面を
表示します。

2

セット を押す
選択ロータリースイッチで、【1-5
スケジュール ファイル ヒョウシ】を選ぶ

1-1 ネンカン スケジュール
1-2 ホンジツ スケジュール
1-3 クリアゲ / クリサゲ
1-4 キュウシ
1-5 スケジュール ファイル ヒョウシ

※ **セット** を押したとき【スケジュール】のメ
ニュー画面を表示します。

3

セット を押す
※スケジュールファイルの情報を表示
します。

スケジュール名
Name:*****
Date:2007/ 7/ 9 10:45
作成年月日・時刻

終了 を押すと、【スケジュール】の
メニュー選択画面になります。

1-5 スケジュール ファイル ヒョウシ

4

終了 を、必要回数押して待機
画面に戻す
※ 1 回押すごとに、前画面に戻ります。

2007/ 7/ 9 MON
13:38:03

繰上げ登録時のスケジュール例

《登録例》

繰上げ開始時刻：12 時 30 分
繰上げ時間：60 分

●元のスケジュール

定時放送：▼ 9:00 10:00 11:00 11:30 12:00 13:00 14:00 15:00

BGM 放送 BGM : ch1 BGM : ch2

12 時 30 分より以前の 60 分間
(11 : 30 ~ 12 : 30) の放送は
スキップされます。
※ 11 時 45 分の定時放送および 11
時 30 分以降の BGM 1ch は放送さ
れません。

●繰上げ後のスケジュール

定時放送：▼ 9:00 10:00 11:00 12:00 13:00 14:00 15:00

BGM 放送 BGM : ch1 BGM : ch2

32

6. スケジュールの変更について

放送スケジュールを書き換えたり臨時で年間スケジュールなどを変更した場合、各々のスケジュールは次のように変更されます。

■スケジュールの種類

本システムで運用するスケジュールには、年間を通して動作する「通年スケジュール」と、臨時に変更して動作する「臨時スケジュール」の2種類があります。

また、「臨時スケジュール」には「本日スケジュール」「繰上げ・繰下げ／休止」および「年間スケジュール」の3つのスケジュールがあります。

種類	通年スケジュール	臨時スケジュール		
		本日スケジュール	繰上げ・繰下げ／休止	年間スケジュール
内容	年間を通じて動作する、自動放送の基本となるスケジュールです。	本日のみに適用される臨時スケジュールです。	指定した日付に適用される臨時スケジュールです。指定日だけ動作します。	日付を指定して日課パターン番号を変更した臨時スケジュールです。指定日だけ動作します。
本体装置への書き込み方法	データ入力ソフト（装置用データ作成）で作成し、USBメモリから書き込み、またはLAN経由で制御用パソコンから書き込みます。	データ入力ソフト（ネットワーク機能）で作成し、LAN経由で本体装置に転送します。	本体装置で設定するか、またはデータ入力ソフト（ネットワーク機能）で作成し、LAN経由で本体装置に転送します。	本体装置で設定するか、またはデータ入力ソフト（ネットワーク機能）で作成し、LAN経由で本体装置に転送します。

■スケジュールの変更状態

通年スケジュールを新しく書き込んだり、臨時スケジュールを書き込んだ場合、本体装置のスケジュールは次のようになります。

変更方法	変更するスケジュールの種類	本体装置のスケジュール			
		通年スケジュール	臨時スケジュール		
			本日スケジュール	繰上げ・繰下げ／休止	年間スケジュール
USBメモリから本体装置に書き込み	通年スケジュール	書き込んだスケジュールに変更されます。	消去されます。	消去されます。	消去されます。
制御用パソコンからLAN経由で転送	通年スケジュール	書き込んだスケジュールに変更されます。	消去されます。	消去されます。	消去されます。
	本日スケジュール	変更されません。	転送したスケジュールに変更されます。	本日分のスケジュールが消去されます。	変更されません。
	繰上げ・繰下げ／休止	変更されません。	変更されません。	転送したスケジュールに変更されます。	変更されません。
	年間スケジュール（本日以外）	転送したスケジュールに変更されます。（10年分）	変更されません。	変更されません。	転送したスケジュールに変更されます。
	年間スケジュール（本日分）	転送したスケジュールに変更されます。（10年分）	転送した日課パターンのスケジュールに変更されます。	本日分のスケジュールが消去されます。	転送したスケジュールに変更されます。
本体装置で変更操作	繰上げ・繰下げ／休止	変更されません。	変更されません。	変更したスケジュールになります。	変更されません。
	年間スケジュール（本日以外）	変更されません。	変更されません。	変更されません。	変更したスケジュールになります。
	年間スケジュール（本日分）	変更されません。	変更した日課パターンのスケジュールになります。	変更されません。	変更したスケジュールになります。

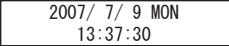
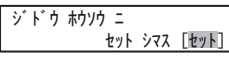
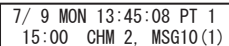
放送

1. 自動放送

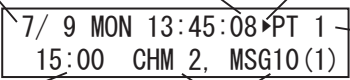
自動放送をセットしておけば、登録されたスケジュールに従って、自動放送します。

■自動放送のセット／解除

●自動放送のセット

- 1 待機画面のとき、**自動放送** を押す
* 自動放送セットの確認画面を表示します。


- 2 **セット** を押す
* 自動放送ランプが点灯し、自動放送がセットされます。


自動放送中の画面

現在の「月日・曜日・時刻」表示は「秒」がカウントしています。スケジュール変更マーク
 放送中の日課パターン番号
次の放送時刻 次の放送内容

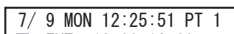
◆現在の「月日・曜日・時刻」

この現在時刻に従って、自動放送します。時刻は24時間制で表示します。(表示例：7月9日、月曜日、午後1時45分8秒)

◆放送中の日課パターン番号

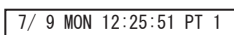
現在、放送中の日課パターン番号を表示します。(表示例：日課パターン1で放送中を表します)

◇ BGM放送中は、次の表示となり、左端に「♪」が点滅します。


♪ EXT 12:00~13:00

* BGM放送中に、定時放送／間隔放送があると、放送の間その画面を表示します。

◇ 間隔放送が設定されていると、画面は次の表示となり、放送時間になると左端の「▶」が点滅します。


▶ MSG26 9:00~19:00 30m

* 間隔放送の設定時間内に、定時放送／BGM放送があると、放送の間その画面を表示します。

◆次に放送する内容

次の放送時刻に放送する内容を表示します。

CHM：チャイムのチャンネル

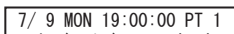
MSG：メッセージのチャンネル（送出回数）

◆スケジュール変更マーク

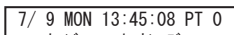
繰上げ・繰下げなどでスケジュールが変更されているときにマークが付きます。

◆その他の画面

◇ 本日の放送が終了したとき

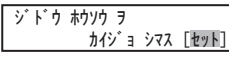
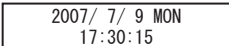

ホジツスケジュール シュウリョク

◇ 本日の日課パターンが「放送休止」のとき


ホジツハ キュウシ デス

●自動放送の解除

- 1 自動放送中に、**自動放送** を押す
* 自動放送解除の確認画面を表示します。

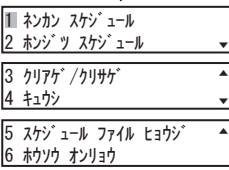

- 2 **セット** を押す
* 自動放送ランプが消灯し、自動放送が解除され待機画面に戻ります。


■自動放送中にできること

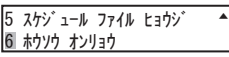
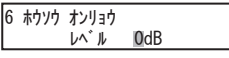
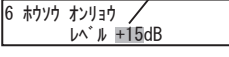
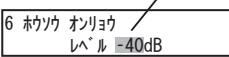
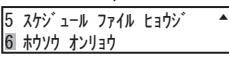
自動放送がセット中でも、「スケジュールの確認／変更」と同じ操作で、「年間スケジュール」「本日スケジュール」「スケジュールの繰上げ／繰下げ」「放送の休止」「スケジュールファイルの表示」の内容確認ができます。ただし、スケジュールの変更はできません。

また、放送音量を調節することもできます。

- 1 自動放送中に、**メニュー** を押す
* **メニュー** を押したとき、[1 ネカン スケジュール] [2 ホジツ スケジュール] [3 クリアゲ / クリサゲ] [4 キュウシ] [5 スケジュール ファイル ヒョウジ] [6 ホウソウ オンリョク] の選択画面を表示します。


選択ロータリースイッチで、確認項目を選ぶ
* 以下の操作は、[6 ホウソウ オンリョク] を除き「スケジュールの確認／変更」と同じです。

●放送音量の調節

- 2 選択ロータリースイッチで、[6 ホウソウ オンリョク] を選び、**セット** を押す
* 「ホウソウ オンリョク」の設定画面になります。
選択ロータリースイッチで、「音量レベル」を選び **セット** を押す
* 右 (+) 方向に回すと、音量レベルが大きくなります。最大 +15dB まで設定できます。
* 左 (-) 方向に回すと、音量レベルが小さくなります。最小 -40dB まで設定できます。
* 「ホウソウ オンリョク」の設定が終わると、メニュー選択画面になります。


最大音量

最小音量



- 3 **終了** を押すと、自動放送画面に戻ります。


■自動放送のセットができないときは

次のようなときは、「ピッ・ピッ…」と鳴って、自動放送のセットができません。

●スケジュールデータがないとき

スケジュール データ
カクニ シケタサイ

データを確認してください。

●スケジュールで指定されたメッセージおよび自作チャイムが、録音されていないとき

チャイム ロクオン ガ アリマセン
ch 25, 26

メッセージ ロクオン ガ アリマセン
ch 1, 2, 10, 18, 20, 30 ▼

*表示が複数画面あるときは、順次表示されます。

表示されるチャンネルを、全て録音してください。

■自動放送の優先順位について

定時放送が一番優先順位が高く、次に間隔放送、BGM 放送の順に放送されます。

例えば、BGM 放送中に、定時放送の時刻になると、BGM 放送を中断して定時放送に切り替わります。



ワンポイント

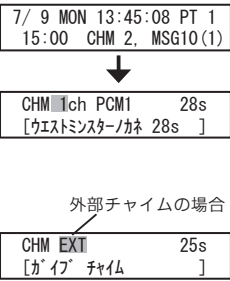
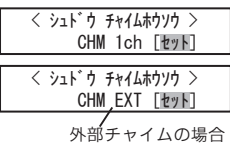
- 放送中の内容は、スピーカでモニターできます。音量は、モニター音量ツマミで調節できます。(右に回すと大きく、左に回すと小さくなります)
- アナキーパー機能を使用すると、BGM 放送中に間隔放送や定時放送があった場合、BGM の音量を小さく残したまま放送することができます。ただし、外部チャイムを使用する場合は、アナキーパー機能を使用することはできません。
- 定時放送中に次の定時放送が始まったときは、前の放送を中止して新しい放送を行ないます。
- 自動放送セット中に、放送休止に設定された時刻になると、【ホジ ツケジュール シュリヨ】と表示して、定時放送／間隔放送／BGM 放送を終了します。

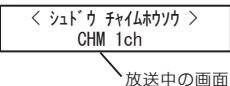
※学校用でご使用の場合は、間隔放送、BGM 放送の機能はありません。

2. 手動放送

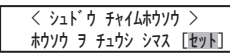
自動放送セット中や待機中に、チャイムやメッセージを、任意に放送することができます。

■チャイムの手動放送

- 自動放送セット中や待機画面のとき、手動放送の **チャイム** を押す
 *チャイムのチャンネル選択画面を表示します。
 選択ロータリースイッチで、放送するチャイムのチャンネルを選ぶ
 *チャイムは、固定チャイムと、録音されている自作チャイムおよび外部チャイムが選択できます。

- セット** を押す
 *手動チャイム放送の確認画面を表示します。


セット を押す
 *チャイム放送を開始します。
 *放送が終わると、元の画面に戻ります。


●手動放送を途中で止めるには

- 放送中に **終了** を押す
 *手動放送終了の確認画面を表示します。

- セット** を押す
 *手動放送を中止して、元の画面に戻ります。

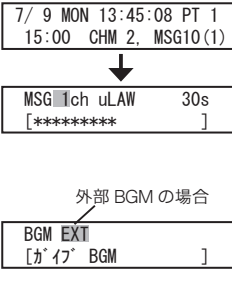
●放送音量を変えるには

- 放送中に **メニュー** を押す
 *「納ソウ オンソウ」の設定画面になります。
 選択ロータリースイッチで、「音量レベル」を選び **セット** を押す
 *放送中の画面になります。


ワンポイント

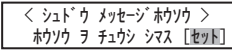
- 「アナキーパー機能を使用する」に設定した場合は、手動放送で外部チャイムは選択できません。（手順1で、表示されません。）
- 放送中の内容は、スピーカでモニターできます。音量は、モニター音量ツマミで調節できます。（右に回すと大きく、左に回すと小さくなります）

■メッセージの手動放送

- 自動放送セット中や待機画面のとき、手動放送の **メッセージ** を押す
 *メッセージのチャンネル選択画面を表示します。
 選択ロータリースイッチで、放送するメッセージのチャンネルを選ぶ
 *録音されているメッセージのチャンネルと外部BGMが選択できます。

- セット** を押す
 *手動メッセージ放送の確認画面を表示します。


セット を押す
 *メッセージ放送を開始します。
 *放送が終わると、元の画面に戻ります。
 *外部BGM放送の場合は、**終了** を押すと、元の画面に戻ります。


●手動放送を途中で止めるには

- 放送中に **終了** を押す
 *手動放送終了の確認画面を表示します。

- セット** を押す
 *手動放送を中止して、元の画面に戻ります。

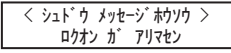
●放送音量を変えるには

左記、チャイムの手動放送と同じです。

■手動放送の優先順位について

手動放送は、自動放送より優先順位が高く、自動放送中であっても、その自動放送を中断して、手動放送に切り替わります。

ワンポイント

- 自動放送セット中は、手動放送で外部BGMは選択できません。（手順1で、表示されません。）
- 手順1で **セット** を押したとき、メッセージが1つも録音されていないときは、「ピッ・ピッ…」と鳴って、約3秒間、次の表示となります。

- 放送中の内容は、スピーカでモニターできます。音量は、モニター音量ツマミで調節できます。（右に回すと大きく、左に回すと小さくなります）

3. リモート放送

自動放送セット中や待機中に、外部からの起動信号で、チャイムやメッセージを放送することができます。

■リモート放送の開始

1 次の準備が必要です。

1. リモート起動用の外部機器を接続してください。
※「設置工事 リモート端子の接続、拡張端子の接続」(40 ページ)を参照してください。
2. データ入力ソフトで、リモート放送の使用条件を設定します。
※「データ入力ソフト編 装置設定の登録」(一般用 72 ページ、学校用 114) ページを参照してください。

2 自動放送中、手動放送中、待機画面のとき、本体装置後面のリモート端子、拡張端子または LAN コネクタへ起動信号が来ると、リモート放送を開始します。

※リモート放送が終わると、元の画面に戻ります。



リモート放送の動作順序

①起動

自動放送中、手動放送中、待機画面のとき、本体装置後面のリモート端子 (1～5)、拡張端子または LAN コネクタへ起動信号が来ると、リモート放送を開始します。

②開始チャイムの放送

開始チャイムのチャンネルが指定されているときは、そのチャンネルのチャイムを放送します。

※「OFF」に設定されているときは、チャイム放送をせず、③へ進みます。

③メッセージの放送

指定されているメッセージチャンネルの内容を、送出回数で指定された回数、放送します。

※「OFF」に設定されているときは、メッセージ放送をせず、④へ進みます。

④終了チャイムの放送

終了チャイムのチャンネルが指定されているときは、そのチャンネルのチャイムを放送し、チャイム放送が終わると、自動的にリモート放送を終了します。

※「OFF」に設定されているときは、チャイム放送をせず、自動的にリモート放送を終了します。

手順 2 の表示例の場合は、次のように放送します。

- ・リモート端子 1 の起動信号があると、
- ・開始チャイムとして、1 チャンネルのチャンネルを放送します。
- ・1 チャンネルのメッセージを 1 回放送します。
- ・終了チャイムの設定が無いので、リモート放送を終了します。

●リモート放送を途中で止めるには

1 放送中に **終了** を押す

※リモート放送終了の確認画面を表示します。

< リモート制御 No. 1 >
制御メッセージ [セット]

2 **セット** を押す

※リモート放送を中止して、元の画面に戻ります。

※拡張端子および LAN コネクタに放送中止信号がきたときは、放送中止の確認を行わず放送を中止します。

●放送音量を変えるには

前ページ、チャイムの手動放送と同じです。

■リモート放送の優先順位について

リモート放送は、最優先順位で、他の放送中であっても、その放送を中断して、リモート放送に切り替わります。

■リモート放送中の自動放送動作について

自動放送のセット中に、リモート放送の起動があり、そのリモート放送中に、定時放送などの放送時刻が来た場合は、次のように動作します。

- 定時放送の時刻になった場合は：その定時放送は放送されません。
- 間隔放送の時刻になった場合は：その時点での間隔放送は放送されず、リモート放送終了後の最初の間隔放送時間に放送されます。
- BGM 放送の開始時刻になった場合は：リモート放送終了後から BGM 放送されます。ただし、アナキーパー機能を使用している場合は、BGM 放送開始時刻からリモート放送のバックで放送が始まります。

※学校用でご使用の場合は、間隔放送、BGM 放送の機能はありません。

ワンポイント

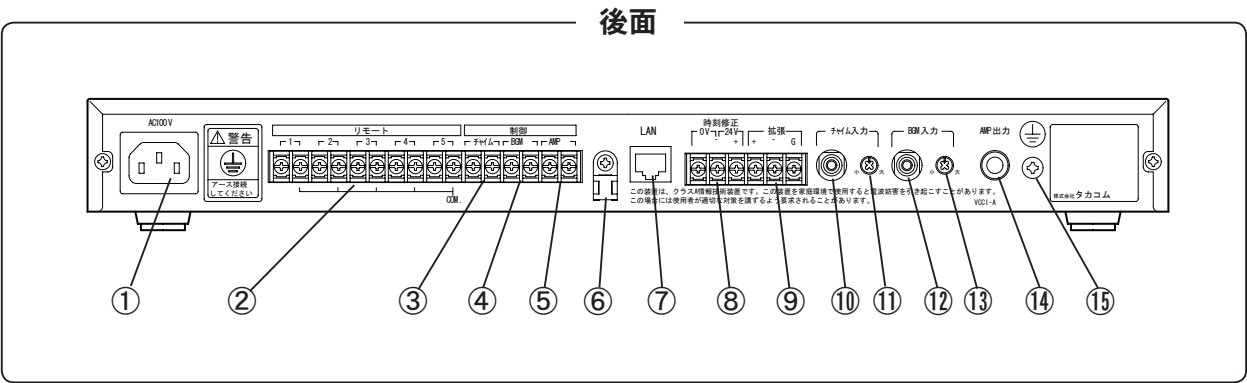
- リモート放送端子に起動信号が来たとき、指定されているメッセージが録音されていないときは、「ピッ・ピッ…」と鳴って、約 3 秒間、次の表示となります。

< リモート制御 No. 1 >
メッセージ MSG 1

- 放送中の内容は、スピーカでモニターできます。音量は、モニター音量ツマミで調節できます。(右に回すと大きく、左に回すと小さくなります)
- リモート放送中に新たな起動信号がくると、先の放送を中止して、新しいリモート放送を行ないます。
- 起動信号の入力は、標準 5 入力ですが、31 または 50 入力にすることもできます。別売のリモートアダプタ装置が必要になります。また、ネットワーク (LAN) 経由でのリモート放送には、別売の LAN アダプタ装置が必要になります。くわしくは販売店または最寄りの当社営業所へお問い合わせください。

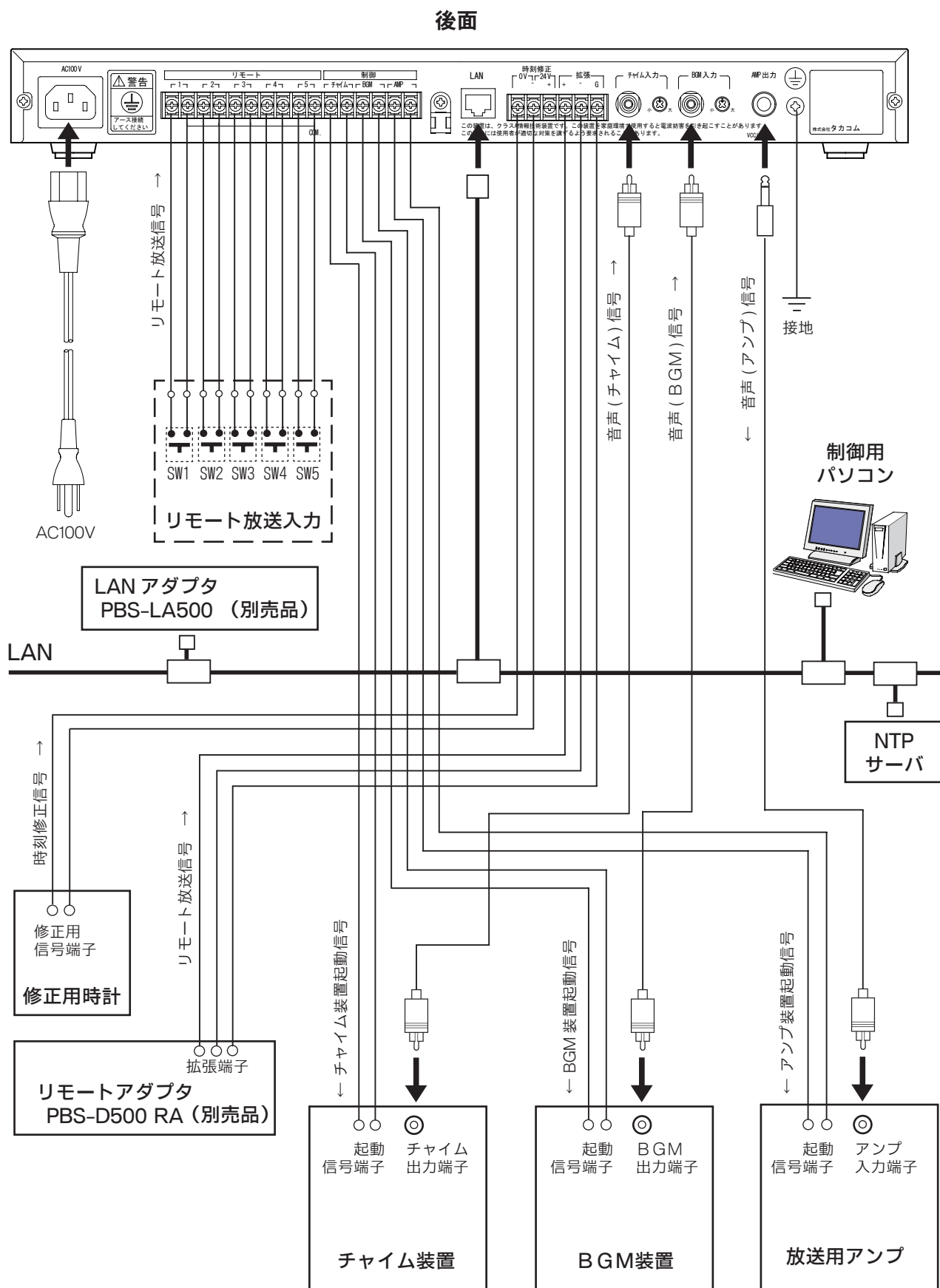
設置工事

1. 後面端子部の名前とはたらき



名前		機能（はたらき）	仕様／接続条件
①	AC 電源コネクタ	電源ケーブルを接続して、AC100V を供給するためのコネクタです。	・添付の電源コードで、AC100V に接続してください。
②	リモート端子 1～5	リモート放送するための起動信号入力端子です。	・無電圧メーク接点で入力してください。 （端子間をリレー接点などでショートします。） ・接点容量：DC10V 10mA 以上 ・信号時間：0.2 秒以上
③	チャイム制御端子	外部チャイムを起動する制御用出力端子です。	・無電圧メーク接点で出力します。 ・接点容量：DC30V 500mA 以下
④	BGM 制御端子	BGM 装置を起動する制御用出力端子です。	・無電圧メーク接点で出力します。 ・接点容量：DC30V 500mA 以下
⑤	アンプ制御端子	放送設備のアンプを起動する制御用出力端子です。	・無電圧メーク接点で出力します。 ・接点容量：DC30V 500mA 以下
⑥	配線結束具	放送設備などに接続した配線を固定します。	
⑦	LAN コネクタ	本装置をネットワーク（LAN）に接続して使用するときに、LAN ケーブルを接続するコネクタです。	・通信プロトコル：TCP/IP ・インターフェース：10BASE-T/100BASE-TX
⑧	時刻修正端子	内蔵の時計を、外部から修正するための入力端子です。	・無電圧メーク接点で入力してください。 （端子間をリレー接点などでショートします。） ・接点容量：DC10V 10mA 以上 ・信号時間：0.2 秒以上 または、 ・DC 電圧 24 V で入力してください。 （端子間に DC24V を印加します。） ・信号時間：0.2 秒以上
⑨	拡張端子	別売のリモートアダプタ PBS-D500 RA を使用するときに接続します。	
⑩	チャイム入力ジャック	外部チャイムを、本装置に入力するためのジャックです。	・インピーダンス：10K Ω 、不平衡 ・レベル：-10dBV（ピンジャック）
⑪	チャイム入力ボリューム	外部チャイムの入力レベルを調節するためのボリュームです。	
⑫	BGM 入力ジャック	外部の音源を、BGM として本装置に入力するためのジャックです。	・インピーダンス：10K Ω 、不平衡 ・レベル：-10dBV（ピンジャック）
⑬	BGM 入力ボリューム	BGM の入力レベルを調節するためのボリュームです。	
⑭	アンプ出力ジャック	放送用の音声などを、外部アンプ（放送設備）へ出力するためのジャックです。	・インピーダンス：600 Ω 、不平衡 ・レベル：0dBV（6.5mm ジャック）
⑮	接地端子	本装置を接地するための端子です。	

2. 各機器との接続のしかた



■放送用アンブとの接続

●音声 (アンブ) 信号

- ・シールドケーブルで接続してください。
- ・「本体装置の設定 3. 放送音量の設定」で、本体装置からの出力を調節します。13 ページを参照してください。

●アンブ装置起動信号

- ・無電圧メーク接点で出力します。
- ・接点容量は、DC30V500mA 以下です。

■チャイム装置との接続

●音声 (チャイム) 信号

- ・シールドケーブルで接続してください。
- ・本体装置後面の「チャイム入力ボリューム」で、本体装置への入力を調節します。

●チャイム装置起動信号

- ・無電圧メーク接点で出力します。
- ・接点容量は、DC30V500mA 以下です。

■BGM装置との接続

●音声 (BGM) 信号

- ・シールドケーブルで接続してください。
- ・本体装置後面の「BGM入力ボリューム」で、本体装置への入力を調節します。

●BGM装置起動信号

- ・無電圧メーク接点で出力します。
- ・接点容量は、DC30V500mA 以下です。

■電源の接続

添付の電源コードで、AC100V に接続してください。

- ・本体装置には、電源スイッチおよび電源ランプがありません。電源プラグを電源コンセントへ接続すると、ディスプレイに待機画面が表示されます。
- ・電源は、AC100V 以外に接続したり、たこ足配線をしてください。火災や感電の原因になります。

■アースの接続

雑音防止と安全のために、「接地端子」をACコンセントのアース端子へ接続してください。

- ・アース線は、絶対に、ガス管にはつながないでください。火災などの原因になります。

■LANの接続

本体装置と制御用パソコン、および別売のLANアダプタPBS-LA500をネットワーク接続して使用する場合にLANケーブルを接続します。

LANの仕様は次のとおりです。

- ・プロトコル : TCP/IP
- ・インターフェース : 10BASE-T/100BASE-TX

本体装置のIPアドレスなどの登録については、「本体装置編 本体装置の設定 2. ネットワークの設定」(11 ページ)を参照してください。また、LANアダプタPBS-LA500の接続、設定などについては、LANアダプタPBS-LA500の取扱説明書、および「共通編 LANアダプタPBS-LA500を使用する」(141 ページ)を参照してください。

■修正用時計との接続

●時刻修正信号

- ・無電圧メーク接点またはDC24Vで出力してください。《無電圧メーク接点の場合》
- ・接点容量は、DC10V10mA 以上あること。
- ・信号時間は、0.2 秒以上あること。《DC24V の場合》
- ・信号時間は、0.2 秒以上あること。

●修正動作

修正用時計から0.2 秒以上のメーク信号または電圧信号を受け取ると、本体装置の内蔵時計を「0 秒」に修正します。修正は、次の2つの方法があります。

◆± 30 秒で修正する

1 日 1 回程度、修正信号が来る修正用時計に接続してください。(30 秒ごとにパルスが来る時計には接続しないでください。誤動作の原因になります)

- ・本体装置の時計が0 秒から 29 秒のときは、0 秒に戻します。

- ・本体装置の時計が 30 秒から 59 秒のときは、1 分進めて0 秒に戻します。

例：13 時 12 分 12 秒→13 時 12 分 0 秒

13 時 12 分 39 秒→13 時 13 分 0 秒

◆ 50 秒から 10 秒以内で修正する

30 秒ごとにパルスが来る時計に接続してください。

- ・本体装置の時計が0 秒から 10 秒のときは、0 秒に戻します。

- ・本体装置の時計が 50 秒から 59 秒のときは、1 分進めて0 秒に戻します。

例：13 時 12 分 8 秒→13 時 12 分 0 秒

13 時 12 分 55 秒→13 時 13 分 0 秒

■リモート端子の接続

●リモート信号

- ・無電圧メーク接点で出力してください。
- ・接点容量は、DC10V10mA 以上あること。
- ・メーク時間は、0.2 秒以上あること。

●リモート放送

- ・SW 1 が「ON」になると、端子 1 にあらかじめ登録してあるチャンネルの内容を放送します。

- ・以下同様に、SW 2 は端子 2、SW 3 は端子 3、SW 4 は端子 4、SW 5 は端子 5 に、それぞれあらかじめ登録してあるチャンネルの内容を放送します。

■拡張端子の接続

別売のリモートアダプタPBS-D500 RAを接続します。

詳しくは、リモートアダプタPBS-D500 RAの取扱説明書を参照してください。



ワンポイント

- 時刻修正を行なう場合、修正する時刻は放送時間帯を避けてください。放送中に修正信号を受信すると、放送が途切れる場合があります。修正する時刻の設定については「装置設定の登録」(一般用 74 ページ、学校用 116 ページ)を参照してください。

3. 外部チャイムの音量調節

外部チャイムの音量調節は、チャイム入力ボリュームおよびチャイム装置の出力調節の両方で調節します。

■外部チャイムの再生と調節のしかた

- 待機画面のとき、**メニュー** を押し、
選択ロータリースイッチで、
【2 オナゲン】を選ぶ
* **メニュー** を押したとき、メニュー画面を
表示します。

2007/ 7/ 9 MON
13:37:30
1 スケジュール
2 オナゲン
3 セッテイ
4 ファイル
5 ファームウェアバージョン
- セット** を押す
選択ロータリースイッチで、【2-3
ガイフ】を選ぶ
* **セット** を押したとき【オナゲン】のメ
ニュー画面を表示します。

2-1 メッセージ
2-2 チャイム
2-3 ガイフ
2-4 ロウジカン
2-5 オナゲン スペシャル
- セット** を押す
* CHM/BGM の選択画面を表示します。
選択ロータリースイッチで、CHM
(チャイム) を選ぶ
* 「装置表示名」は固定です。
* 表示時間は、装置設定で登録した「外
部チャイムの継続時間」です。

外部チャイムの継続時間
CHM EXT 25s
【ガイフ チャイム】
装置表示名
- セット** を押す
* 装置設定で登録した「外部チャイム
の起動時間」を表示し、起動待ちに
なります。

CHM EXT
キドウジカン 5s [セット]

CHM EXT
.....5s

CHM EXT
.....5s

* 起動時間のカウントダウンのあと、
外部チャイムの再生が始まります。
(放送はされません。)
* 下段に再生レベルが表示されます。

5 ●音量調節

本体装置後面のチャイム入力ボリュームおよびチャイム装置の出力調節の両方で調節します。

- * レベルがオーバー表示にならないように調節してください。
- * 再生が終わると、CHM/BGM の選択画面に戻ります。

CHM EXT	25s
【ガイフ チャイム】	

6 **終了** を、必要回数押して待機

画面に戻す

- * 1 回押すごとに、前画面に戻ります。

2007/ 7/ 9 MON
13:38:03

ワンポイント

- 学校用でお使いのときは、手順 3 で次の表示となり、CHM/BGM の選択はできません。

CHM EXT	25s
【ガイフ チャイム】	

セット を押すか、選択ロータリースイッチを右に回して、手順 4 の起動待ちに進みます。

4. 外部 BGM の音量調節（一般用のみ）

外部 BGM の音量調節は、BGM 入力ボリュームおよび BGM 装置の出力調節の両方で調節します。

学校用でお使いのときは、BGM 放送の機能はありません。

■外部 BGM の再生と調節のしかた

- 待機画面のとき、**メニュー** を押し、
選択ロータリースイッチで、
【2 オナゲン】を選ぶ
* **メニュー** を押したとき、メニュー画面を
表示します。

2007/ 7/ 9 MON
13:37:30
1 スケジュール
2 オナゲン
3 セッテイ
4 ファイル
5 ファームウェアバージョン
- セット** を押す
選択ロータリースイッチで、【2-3
ガイフ】を選ぶ
* **セット** を押したとき【オナゲン】のメ
ニュー画面を表示します。

2-1 メッセージ
2-2 チャイム
2-3 ガイフ
2-4 ロウジカン
2-5 オナゲン スペシャル
- セット** を押す
* CHM/BGM の選択画面を表示します。
選択ロータリースイッチで、BGM
(外部 BGM) を選ぶ
* 「装置表示名」は固定です。

BGM EXT
【ガイフ BGM】
装置表示名
- セット** を押す
* 装置設定で登録した「BGM の起動時
間」を表示し、起動待ちになります。

BGM EXT
キドウジカン 5s [セット]

BGM EXT
.....5s

BGM EXT
.....5s

* 起動時間のカウントダウンのあと、
外部 BGM の再生が始まります。
(放送はされません。)
* 下段に再生レベルが表示されます。

5 ●音量調節

本体装置後面の BGM 入力ボリュームおよび BGM 装置の出力調節の両方で調節します。

- * レベルがオーバー表示にならないように調節してください。

6 外部 BGM の再生を終わるとき

は、**終了** を押します。

- * CHM/BGM の選択画面に戻ります。

BGM EXT
【ガイフ BGM】

7 **終了** を、必要回数押して待機

画面に戻す

- * 1 回押すごとに、前画面に戻ります。

2007/ 7/ 9 MON
13:38:03

ワンポイント

- 手順 4 で、本体装置のスピーカからの再生音はモニター音量ツマミで調節できますが、この調節では外部チャイムや外部 BGM の音量調節はできません。

第 2 章

データ入力ソフト 準備編

データを登録する前に

既存の放送設備を制御する放送スケジュールデータや本体装置の初期設定は、お手持ちのパソコンで行います。お手持ちのパソコンの動作環境や、放送スケジュールデータ作成の流れを理解した上でデータ作成を行ってください。

1. データ入力ソフトをセットアップする

1-1. パソコンの推奨仕様

お手持ちのパソコンが次の仕様に合っているかお確かめください。動作環境が違くと、正常にデータ作成ができない場合があります。

●パソコン本体

NEC PC98-NX または DOS/V 相当品をご使用ください。

●CPU

Pentium II、300MHz 相当以上のパソコンをご使用ください。

●メモリ

128MB 以上あることを推奨します。

●HDD（ハードディスクドライブ）の空き容量

100MB 以上の容量を確保してください。

・空き容量が少ないと、正常に登録ができない場合があります。

●OS

Microsoft Windows 2000 / XP/Vista 日本語版をご使用ください。

●ソフトウェア

Adobe Acrobat Reader 5.0 以上をご用意ください。

●ディスプレイ

解像度 1024 × 768 以上のディスプレイをご使用ください。

High Color（16bit）以上を推奨します。

・解像度が小さいと、登録画面の全体が表示されない場合があります。画面上に表示されていない作業領域を、スクロールバーを利用して表示する必要があります。

●USBポート（2.0 / 1.1）

データ媒体としての USB メモリは、添付品をご使用ください。

・放送プログラムデータや音源ファイルを USB メモリへ書き込むとき使用します。

●LANポート

ネットワーク機能を使用する場合に必要です。

・通信プロトコル：TCP/IP

・インターフェース：10BASE-T、100BASE-TX

●サウンド

録音方式の Wave ファイルが再生できること。

●CD-ROMドライブ

CD-ROMを読み込むことができるドライブをご用意ください。

・「PBS-D500」のデータ入力ソフトをインストールするとき使用します。

※ Windows 2000 / XP/Vista は米国 Microsoft Corporation の商標です。

※ Pentium は Intel Corporation の商標です。

1-2. データ入力ソフトをインストールする

お手持ちのパソコンへ、添付のCDから「PBS-D500 データ入力ソフト」をインストールします。他のソフトをすべて終了してからインストールを行なってください。以下は、Windows XP の場合の説明と画面例です。

■インストールのしかた

1

- ① 添付の「PBS-D500 データ入力ソフト」CD をCDドライブへ挿入します。
 - ・自動的に【Digital Program Chime セットアップ】画面が開きます。
- ② [PBS-D500 データ入力ソフト] ボタンをクリックします。
 - ・【PBS-D500 データ入力ソフトセットアップ】画面になります。
- ③ [次へ] ボタンをクリックします。
 - ・【使用許諾契約書の同意】の画面になります。

2

- ① 「使用許諾契約書」をお読みいただき、ご同意いただける場合は[同意する]を選択して[次へ] ボタンをクリックします。
 - ・【インストール先の指定】画面になります。

3

- ① 【インストール先の指定】画面で、そのままであれば[次へ] ボタンをクリックします。変更が必要であれば、[参照] ボタンをクリックしてインストール先を指定し、[次へ] ボタンをクリックします。
 - ・【追加タスクの選択】画面になります。

4

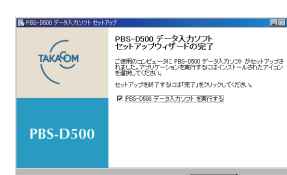
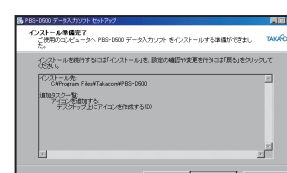
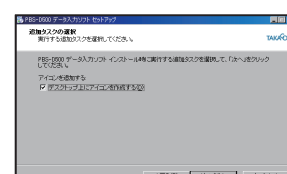
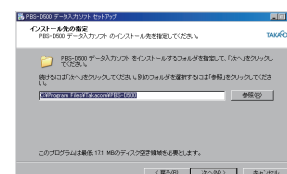
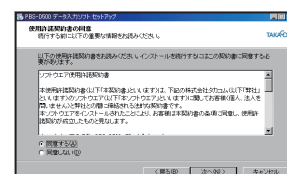
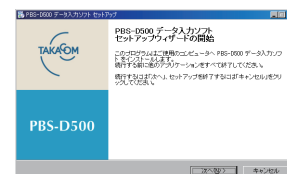
- ① デスクトップにアイコンを作成する場合はチェックをして、[次へ] ボタンをクリックします。
 - ・【インストール準備完了】画面になります。

5

- ① 内容を確認して、[インストール] ボタンをクリックします。
 - ・インストールが始まります。
 - ・インストールが終了すると【セットアップウィザード完了】の画面が表示されます。

6

- ① 「PBS-D500 データ入力ソフト」を、すぐに実行する場合は、チェックボックスにチェックを付けて、[完了] ボタンをクリックします。
 - ・「一般用または学校用ソフトの選択」手順2に進みます。
- ② 「PBS-D500 データ入力ソフト」を、あとで実行する場合は、チェックボックスのチェックを外して、[完了] ボタンをクリックします。
 - ・必要であればシステムを再起動します。



ワンポイント

「PBS-D500 データ入力ソフト」が自動で立ち上がらないときは、次の操作をしてください。

- ① デスクトップで、[スタート] ボタンをクリックします。
 - ・「スタートメニュー」が表示されます。
- ② 「スタートメニュー」の[ファイル名を指定して実行]をクリックします。
 - ・コマンド入力画面になります。
- ③ ダイアログボックスへ、「Q:¥AUTORUN」と入力し、[OK] ボタンをクリックします。
 - ・「Q:」は、CD ドライブ名です。
- ④ 以下、「インストールのしかた」の手順1の②から操作します。

ワンポイント

Windows2000/XP/Vista をご利用の場合は、次の点にご注意ください。

- ① 本ソフトのインストールおよび削除は、必ず、「Administrators（管理者）」としての権限を持つユーザーが行ってください。
- ② インストールするフォルダは、必ずフルコントロール（読み書き、削除等）ができるフォルダにしてください。

1-3. 一般用または学校用ソフトの選択

本ソフトは、一般用と学校用の2種類ありますが、両方同時にセットアップできません。最初に本ソフトを起動して、一般用でお使いになるか、または、学校用でお使いになるかを選択します。一旦、選択したあとは、以後、そのソフトで起動します。

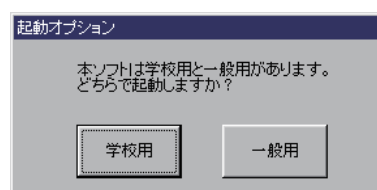
1

- ① [スタート] ボタンをクリックします。
・「スタートメニュー」が表示されます。
- ② [すべてのプログラム] → [TAKACOM] → [PBS-D500 データ入力ソフト] を選択してクリックします。
・一般用または学校用の選択画面が表示されます。



2

- ① 一般用または学校用を選択します。
● 一般用でお使いになるときは、[一般用] ボタンをクリックします。
● 学校用でお使いになるときは、[学校用] ボタンをクリックします。



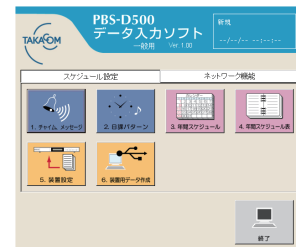
3

- ① 本ソフトが起動し、初期画面が表示されます。
- ② [終了] ボタンをクリックします。
・本ソフトを終了します。

【初期画面】学校用



【初期画面】一般用



ワンポイント

- 一般用と学校用は、最初の起動時にどちらか選択しますので、インストールされるファイルは同じものです。従って、一般用と学校用を同じフォルダにインストールすることはできません。
- セットアップ時に、お使いのパソコンによっては、メッセージウィンドウが表示されることがあります。メッセージに従って操作してください。

ワンポイント

- 学校用システムでは一般用で使える機能の内、以下の機能が使用できません。
- ・ BGM / 間隔放送
- ・ 連結放送
- ・ 時報放送
- ・ 時刻の最小単位 (秒)
- ・ 振替休日の日課パターン変更

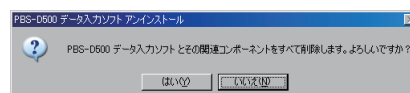
1-4. データ入力ソフトを削除する

一般用と学校用を間違えてインストールしたときや、本ソフトを削除したいときは、次の操作をします。

- ① [スタート] → [コントロールパネル] → [プログラムの追加と削除] を開き、表示される【プログラム一覧】の中から [PBS-D500 データ入力ソフト] を選択します。
- ② [削除] ボタンをクリックします。
アンインストールの確認画面を表示します。

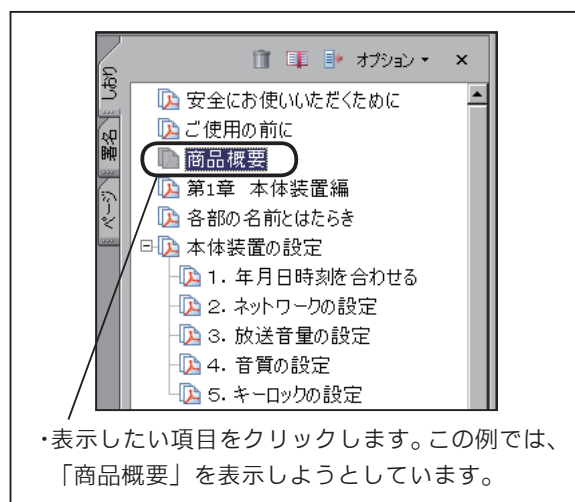


- ③ [はい] ボタンをクリックします。
あとは画面の指示に従って操作します。

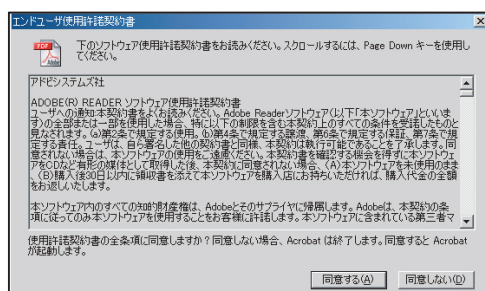


1-5. ヘルプについて

- 各操作画面の「ヘルプ」ボタン、またはタイトルバーの「ヘルプ」をクリックすると電子ファイル化された取扱説明書（ヘルプ）が画面に表示します。
ヘルプ画面左側の「しおり」の項目をクリックすると、該当項目の説明画面に移動します。
- ヘルプを表示中に制御用パソコンのほかの画面を操作するなどしてヘルプ画面が消えてしまったときは、もう一度「ヘルプ」ボタンをクリックしてください。再度、ヘルプが表示されます。



- 制御用パソコンのヘルプファイルを表示するためには「Adobe Reader」が必要です。最初に「Adobe Reader」を使用するときは、「Adobe Reader」の使用許諾書が表示されます。



- ・内容をご覧になった上、「同意する」ボタンをクリックしてください。

2. スケジュール作成作業の手順

「PBS-D500 データ入力ソフト」をインストールした後、次の手順で放送スケジュールを作成します。

手順	項目	作成内容
1	チャイム・メッセージを設定する	本体装置で作成したチャイムやメッセージの名前・送出回数などを設定します。
2	日課パターンを作成する	◆放送の基本となる日課パターンを作成します。 ・定時放送は、何時に何を（チャイム、メッセージ）放送するか、1日の放送内容を登録します。 ・BGM放送は、何時から何時まで、何を（外部音源／メッセージch）放送するかを登録します。 ・間隔放送は、何時から何時までの間、どのメッセージをどの順序で、何分ごとに放送するかを登録します。 ◆この日課パターンを、以下の各スケジュールに割り付けることで、そのスケジュールに従って自動放送します。 ※学校用でお使いの場合は、BGM放送および間隔放送は使用できません。
3	一般用：月間スケジュールを作成する 学校用：週間スケジュールを作成する	◆月間スケジュール（一般用でお使いのとき） 第何週の何曜日に、どの「日課パターン」を放送するかを登録します。 年間を通じての自動放送の基本となります。 ◆週間スケジュール（学校用でお使いのとき） 月ごとの何曜日に、どの「日課パターン」を放送するかを登録します。 年間を通じての自動放送の基本となります。 また、土曜日については、特定の週に、週間スケジュールと異なる日課パターン（放送休止など）を登録することができます。
4	祝日スケジュールを作成する	◆祝日の放送スケジュール（放送休止または他の日課パターン）を登録します。
5	休日スケジュールを作成する	◆祝日とは別の、行事のためなどの休日スケジュール（放送休止または他の日課パターン）を登録します。
6	特定日スケジュールを作成する	◆特定の日のみ、年月日を指定して臨時で放送するスケジュール（放送休止または他の日課パターン）を登録します。

スケジュールの優先度について

スケジュールが重なった場合の優先度は、下表の通りです。

一般用でお使いのとき				学校用でお使いのとき			
スケジュール名	画面の表示色	毎年の繰り返し	優先度	スケジュール名	画面の表示色	毎年の繰り返し	優先度
月間スケジュール	白	あり	低い	週間スケジュール	白	あり	低い
祝日スケジュール	赤	あり	↓	土曜日登録	白	あり	↓
休日スケジュール	橙	あり	↓	祝日スケジュール	赤	あり	↓
特定日スケジュール	緑	なし	高い	休日スケジュール	橙	あり	↓
				特定日スケジュール	緑	なし	高い

■スケジュールの種類

種類	通年スケジュール	臨時スケジュール		
		本日スケジュール	繰上げ・繰下げ／休止	年間スケジュール
内容	年間を通じて動作する、自動放送の基本となるスケジュールです。	本日のみに適用される臨時スケジュールです。	指定した日付に適用される臨時スケジュールです。指定日だけ動作します。	日付を指定して日課パターン番号を変更した臨時スケジュールです。指定日だけ動作します。
本体装置への書き込み方法	データ入力ソフト（装置用データ作成）で作成し、USBメモリから書き込み、またはLAN経由で制御用パソコンから書き込みます。	データ入力ソフト（ネットワーク機能）で作成し、LAN経由で本体装置に転送します。	本体装置で設定するか、またはデータ入力ソフト（ネットワーク機能）で作成し、LAN経由で本体装置に転送します。	本体装置で設定するか、またはデータ入力ソフト（ネットワーク機能）で作成し、LAN経由で本体装置に転送します。

データ入力ソフトを起動／終了する

「PBS-D500 データ入力ソフト」を起動すると、「データを登録する前に 1. PBS-D500 データ入力ソフトをセットアップをする 1-3 一般用または学校用ソフトの選択」(46 ページ)で選択した、「一般用」または「学校用」のデータ入力ソフトが立ち上がります。

1. 起動／終了のしかた

1

①タスクバーから、[スタート]→[すべてのプログラム]→[Takacom]→[PBS-D500 データ入力ソフト]を選択してクリックします。



クリックします。

2

①本ソフトが起動し、一般用または学校用の【初期画面】が表示されます。

②[スケジュール設定タブ] および[ネットワーク機能タブ]で登録選択ボタンを切り替えて、登録するボタンをクリックし、その登録画面を呼び出し、データを登録します。

・登録のしかたは、それぞれの説明をご覧ください。

3

①データ登録が終わるとき、およびネットワーク機能の使用を終了するときは、[終了]ボタンをクリックします。

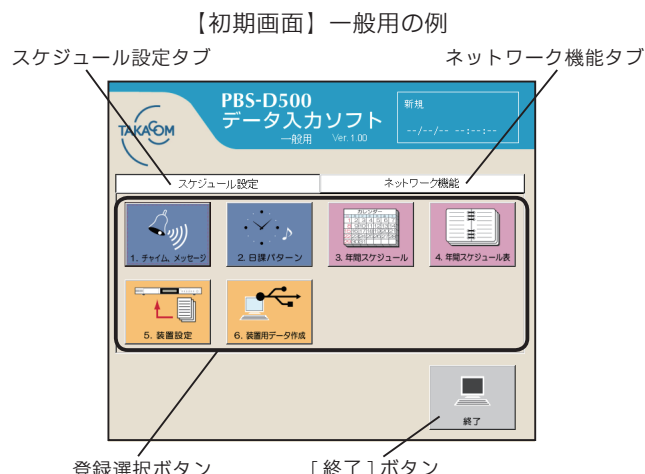
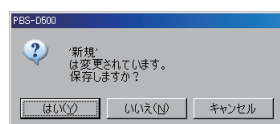
4

①[終了]ボタンをクリックしたとき、保存されていないデータがあると、保存確認の画面を表示します。

・[はい]ボタンをクリックすると、上書き保存をしてから終了します。

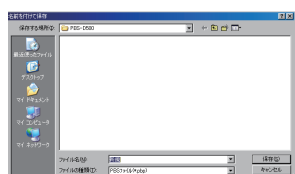
・[いいえ]ボタンをクリックすると、最後に保存された状態のまま終了します。

・[キャンセル]ボタンをクリックすると、終了をキャンセルして、初期画面に戻ります。



ワンポイント

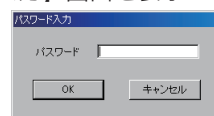
- 手順4で[終了]ボタンをクリックしたとき、データ入力ソフトをインストールして最初のデータ保存の場合は、ファイルの保存場所を指定する画面を表示します。



保存場所を指定して保存してください。以後は、自動的にそのフォルダに保存されます。

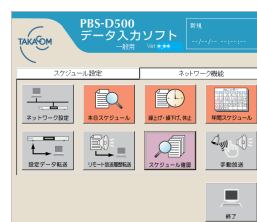
ワンポイント

- パスワードを設定している場合は、[PBS-D500 データ入力ソフト]を選択してクリックしたときに、[パスワード入力]画面を表示します。



パスワードを入力して[OK]ボタンをクリックすると、【初期画面】が表示されます。

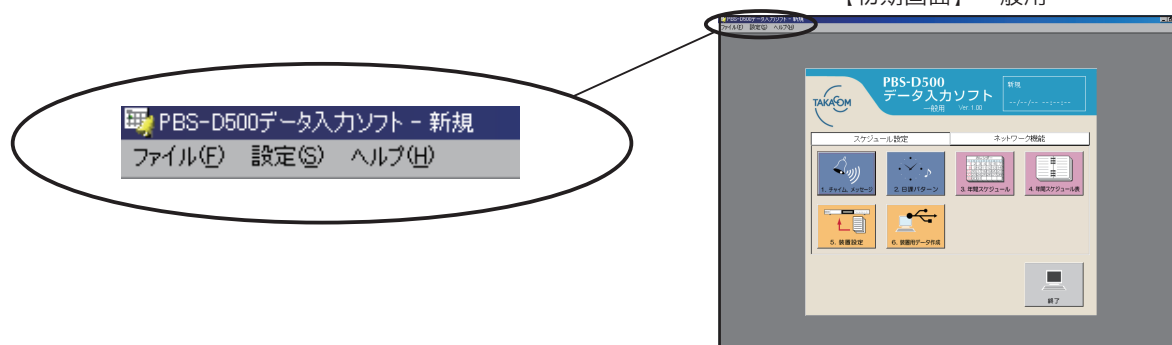
- 【初期画面】では、パスワード設定で使用を許可された項目の作業ボタンのみが使用できます。



※【初期画面の例】
ネットワーク機能で、スケジュールに関する操作が使用できます。

2. メニューバーについて

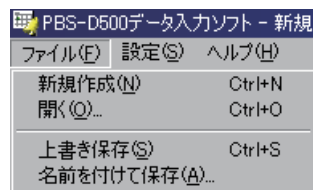
【初期画面】左上メニューには、次の機能ボタンがあります。



2-1. ファイル

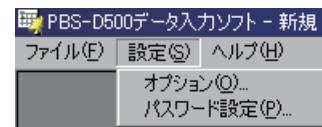
「データ入力ソフト」で作成したデータファイルを、制御用パソコンに「保存／開く」などの操作ができます。

[ファイル] ボタンをクリックすると、右のメニューが表示されます。機能・操作は Windows と同じです。



2-2. 設定

「設定」ボタンをクリックすると、右のメニューが表示されます。



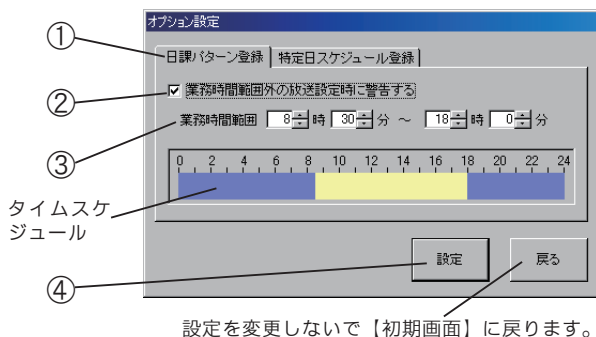
■オプション

放送スケジュールのデータを登録するときに、時間外の自動放送や休日の自動放送などの登録の間違いが発生しないように警告を表示することができます。

「オプション」ボタンをクリックすると、次の【オプション設定】画面（日課パターン登録と特定日スケジュール登録）を表示します。

●日課パターン登録

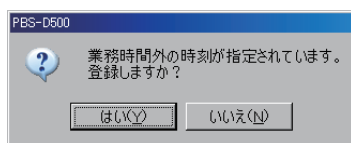
日課パターンを登録するときに、ここで設定した業務時間範囲外の時間帯に「定時放送・BGM／間隔」を指定すると、警告の画面を表示するように設定できます。



設定を変更しないで【初期画面】に戻ります。

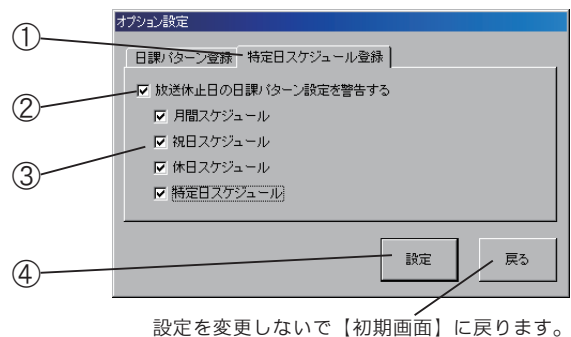
- ① 「日課パターン登録」タブをクリックします。
- ② 「業務時間範囲外の放送設定時に警告する」をクリックしてチェックを付けます。
- ③ 業務時間範囲を設定します。
 - ・タイムスケジュールに設定時刻範囲が表示されます。
- ④ 「設定」ボタンをクリックします。

※日課パターン表の登録で、設定時間範囲外に時刻設定しようとしたときの警告画面



●特定日スケジュール登録

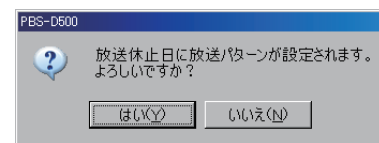
特定日スケジュールを登録するときに、放送休止に指定した日に登録しようとした場合に、警告の画面を表示するように設定できます。



設定を変更しないで【初期画面】に戻ります。

- ① 「特定日スケジュール登録」タブをクリックします。
- ② 「放送休止日の日課パターン設定を警告する」をクリックしてチェックを付けます。
- ③ 警告表示の対象とするスケジュールをクリックしてチェックを付けます。
- ④ 「設定」ボタンをクリックします。

※特定日スケジュールの登録で、放送休止日に特定日スケジュールを登録しようとしたときの警告画面



ワンポイント

- 上記は「データ入力ソフト 一般用」の場合です。「データ入力ソフト 学校用」の場合は、「業務時間」が「授業時間」に変わります。また「BGM／間隔」の登録はありません。

ワンポイント

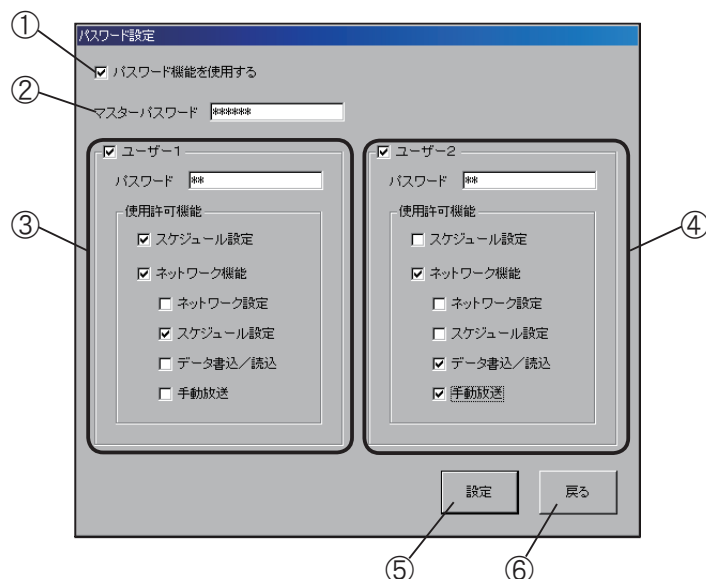
- 上記は「データ入力ソフト 一般用」の場合です。「データ入力ソフト 学校用」の場合は、「月間スケジュール」が「週間スケジュール」に変わります。

データ入力ソフトを起動・終了する

■パスワード設定

データ入力ソフトの「スケジュール設定」および「ネットワーク機能」で行う各操作を、パスワードで制限することができます。パスワードは、マスター・ユーザー1・ユーザー2の3種類が設定できます。

「パスワード設定」ボタンをクリックすると、次の【パスワード設定】画面を表示します。



※パスワードは半角英数で10文字まで設定できます。

①パスワード機能を使用する

パスワードで操作項目を制限するときにクリックしてチェックを付けます。

パスワード機能の使用を止める場合は、クリックしてチェックを外します。

②マスターパスワード

マスターとなるパスワードを設定します。このパスワードは、すべての操作項目が使用できます。

③ユーザー1パスワード

ユーザー1パスワードを使用するときにチェックしてパスワードを設定し、使用を許可する操作項目をチェックします。

マスターパスワードを設定したときに設定できます。

④ユーザー2パスワード

ユーザー2パスワードを使用するときにチェックしてパスワードを設定し、使用を許可する操作項目をチェックします。

マスターパスワードを設定したときに設定できます。

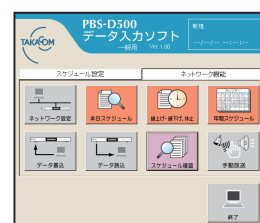
※左の例のパスワード登録のとき……

・ユーザー1でログインしたときの【初期画面】

【スケジュール登録画面】



【ネットワーク機能画面】



・ユーザー2でログインしたときの【初期画面】

【ネットワーク機能画面】



【スケジュール登録画面】は表示されません。

⑤「設定」ボタン

パスワードを設定するときにクリックします。

⑥「戻る」ボタン

登録した内容をキャンセルして【初期画面】に戻ります。

ワンポイント

- パスワードは忘れないように注意してください。本ソフトの操作ができなくなります。
- パスワードを削除・変更するときは、「マスターパスワード」でログインしてください。パスワードの設定画面で、表示されているパスワードを削除または変更して「設定」ボタンをクリックします。
- ユーザー1・ユーザー2のパスワードは設定しないで、マスターパスワードのみ設定して使用できます。

2-3. ヘルプ

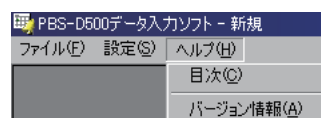
「ヘルプ」ボタンをクリックすると、右のメニューが表示されます。

■ヘルプ

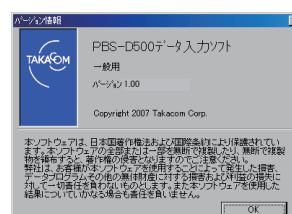
「ヘルプ」をクリックすると電子ファイル化された取扱説明書(ヘルプ)が画面に表示します。詳細は「データを登録する前に 1-5. ヘルプについて」(47 ページ)を参照してください。

■バージョン情報

「バージョン情報」をクリックすると「データ入力ソフト」のバージョンを表示します。



【バージョン情報】画面 一般用



第 3 章

データ入力ソフト 一般用編

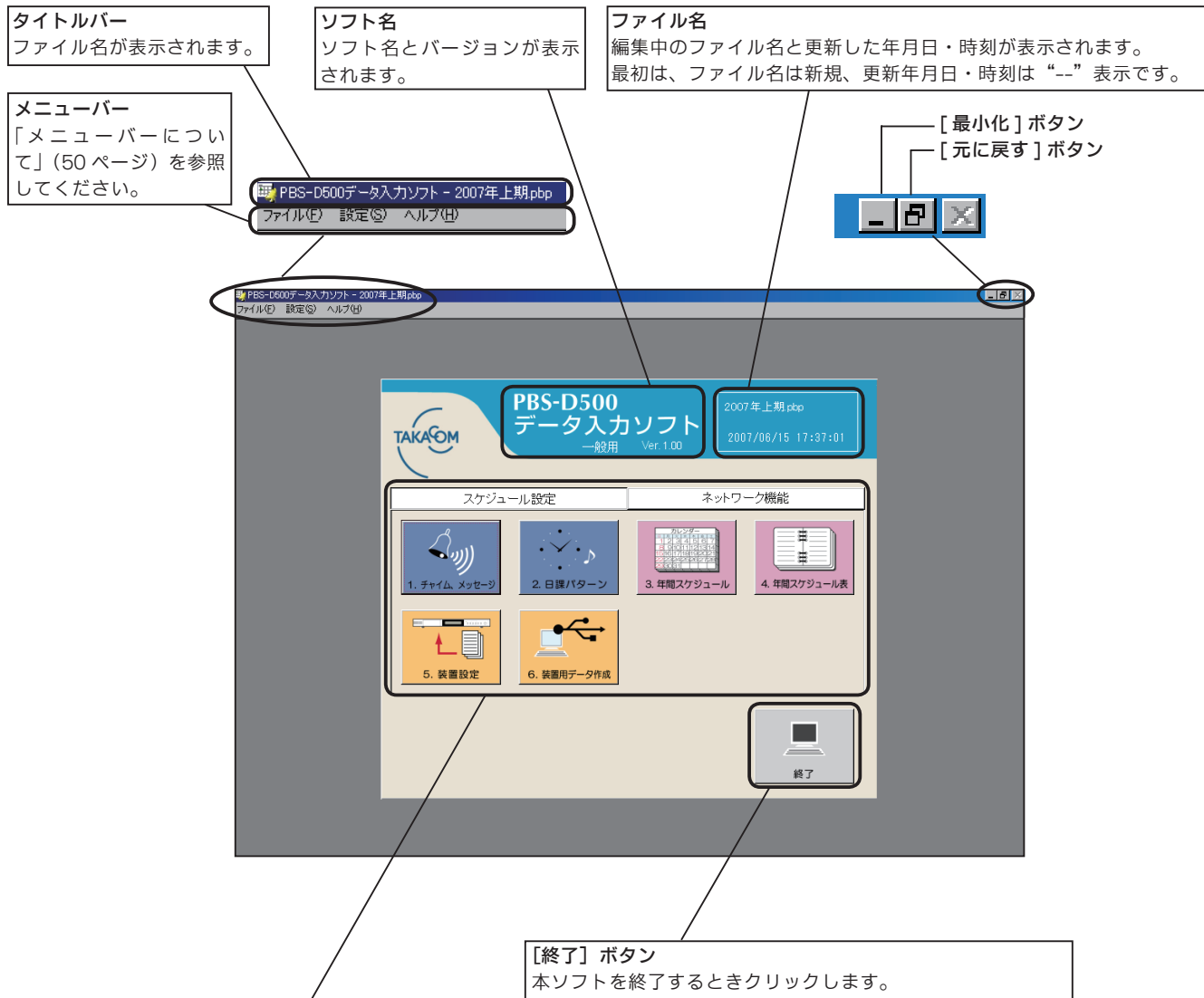
スケジュール設定（一般用）

自動放送で使用するチャイム、メッセージ、放送スケジュールなどの作成、および、本体装置の機能設定、装置用データの作成を行います。

■初期画面の構成

【初期画面】で【スケジュール設定】タブをクリックします。

・【スケジュール設定初期画面】を表示します。



登録選択ボタン

各登録は、次の登録選択ボタンをクリックすることから始めます。

- [1. チャイム、メッセージ] ボタン
チャイム一覧およびメッセージ一覧の登録画面を呼び出すときクリックします。
- [2. 日課パターン] ボタン
日課パターン一覧および日課パターン表の登録画面を呼び出すときクリックします。
- [3. 年間スケジュール] ボタン
年間スケジュールの登録画面を呼び出すときクリックします。

- [4. 年間スケジュール表] ボタン
年間スケジュールの確認画面を呼び出すときクリックします。
- [5. 装置設定] ボタン
装置設定の登録画面を呼び出すときクリックします。
- [6. 装置用データ作成] ボタン
装置へ入力するスケジュールデータなどをUSBフラッシュメモリへ書き込む画面を呼び出すときクリックします。

1. チャイム・メッセージの登録

自動放送などで使用する、チャイムおよびメッセージの名前などの登録を行います。なお、メッセージなどの録音は、本体装置で行います。

1-1. チャイムの登録

■登録画面の呼び出し

1. 【スケジュール設定初期画面】で、[1. チャイム、メッセージ] ボタンをクリックします。

・【チャイム、メッセージ】一覧の登録画面になります。

■登録のしかた

①チャイム登録の呼び出し
[チャイム] タブをクリックします。
・チャイムの登録画面になります。

②チャンネル番号の指定
《チャンネル指定》ボックスへチャンネル番号を入力します。
・チャイム一覧の選択された行が反転表示になります。
・次の方法でも指定できます。
A: [▲ / ▼] ボタンをクリックして、指定する。
B: チャイム一覧の行をクリックする。

③チャイム名の入力
《チャイム》ボックスへチャイム名を入力します。
・[▼] ボタンをクリックして、リストの中から指定することもできます。
・全角で、15文字以内です。

④装置表示の入力
チャイム名を入力すると、半角で自動表示されます。（この表示が装置のディスプレイに表示されます）
・修正したいときは、《装置表示》ボックスをクリックして、修正してください。半角の英数カナで18文字以内です。

⑤送出回数の指定
《送出回数》ボックスへ送出回数（1～9）を入力します。
・[▲ / ▼] ボタンをクリックして、指定することもできます。
・初期値は1回です。

⑥登録
[登録] ボタンをクリックすると、チャイム一覧に登録した内容が表示されます。
・続けて登録するときは、②～⑥を繰り返します。

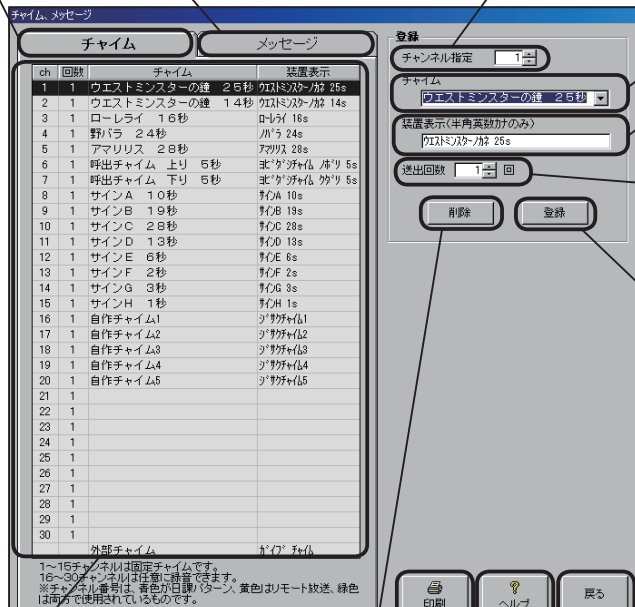
⑦登録の終了
登録が終わるとき [戻る] ボタンをクリックします。
・【スケジュール設定初期画面】に戻ります。

[ヘルプ] ボタン
クリックすると、電子ファイル（PDF）の取扱説明書が表示されます。

[印刷] ボタン
クリックすると、チャイム一覧を印刷します。詳しくは、「第5章 共通編 登録内容を印刷する」（138ページ）を参照してください。

チャイム一覧
登録内容を一覧で表示します。

[削除] ボタン



1～15チャンネルは固定チャイムです。
16～30チャンネルは自由に録音できます。
※チャンネル番号は、青色が日課パターン、黄色がリモート放送、緑色は両方で使用されているチャンネルです。

■修正をするには

1. 「登録のしかた」の手順②と同じ方法で、修正したいチャンネル番号を選び、修正します。
2. [登録] ボタンをクリックします。
3. 【上書きしますか?】と表示されます。
[はい] ボタンをクリックします。
・チャイム一覧に、修正された内容が表示されます。

■削除をするには

1. 「登録のしかた」の手順②と同じ方法で、削除したいチャンネル番号を選びます。
2. [削除] ボタンをクリックします。
3. 【選択行を削除しますか?】と表示されます。
[はい] ボタンをクリックします。
・チャイム一覧から削除されます。

ワンポイント

- チャイムのチャンネルは、ch1～30の30chと外部チャイムです。チャンネルの割り当ては次のとおりです。
 - ・ ch1～15は固定チャイムで、本体装置に内蔵しています。
 - ・ ch16～30は自作チャイムとして使用できます。
 - ・ 外部チャイムは外部チャイムを使用するときに指定します。
- チャンネル番号は、青色が日課パターン、黄色がリモート放送、緑色は両方で使用されているチャンネルです。

1-2. メッセージの登録

■登録画面の呼び出し

1. 【スケジュール設定初期画面】で、[1. チャイム、メッセージ] ボタンをクリックします。

・【チャイム、メッセージ】一覧の登録画面になります。

■登録のしかた

①メッセージ登録の呼び出し
[メッセージ] タブをクリックします。
・メッセージの登録画面になります。

②チャンネル番号の指定
《チャンネル指定》ボックスへチャンネル番号を入力します。
・メッセージ一覧の選択された行が反転表示になります。
・次の方法でも指定できます。
A: [▲/▼] ボタンをクリックして、指定する。
B: メッセージ一覧の行をクリックする。

③放送内容の入力
《放送内容》ボックスへメッセージの内容を入力します。
・[▼] ボタンをクリックして、リストの中から指定することもできます。
・全角で、15文字以内です。

④装置表示の入力
メッセージの内容を入力すると、半角で自動表示されます。（この表示が装置のディスプレイに表示されます）
・修正したいときは、《装置表示》ボックスをクリックして、修正してください。半角の英数カナで18文字以内です。

⑤登録
[登録] ボタンをクリックすると、メッセージ一覧に登録した内容が表示されます。
・続けて登録するときは、②～⑤を繰り返します。

⑥登録の終了
登録が終わるとき [戻る] ボタンをクリックします。
・【スケジュール設定初期画面】に戻ります。

[削除] ボタン

[ヘルプ] ボタン
クリックすると、電子ファイル（PDF）の取扱説明書が表示されます。

[印刷] ボタン
クリックすると、メッセージ一覧を印刷します。詳しくは、「第5章 共通編 登録内容を印刷する」(138 ページ)を参照してください。

メッセージ一覧
登録内容を一覧で表示します。

■修正をするには

1. 「登録のしかた」の手順②と同じ方法で、修正したいメッセージ番号を選び、修正します。
2. [登録] ボタンをクリックします。
3. 【上書きしますか?】と表示されます。
[はい] ボタンをクリックします。
・メッセージ一覧に、修正された内容が表示されます。

■削除をするには

1. 「登録のしかた」の手順②と同じ方法で、削除したいメッセージ番号を選びます。
2. [削除] ボタンをクリックします。
3. 【選択行を削除しますか?】と表示されます。
[はい] ボタンをクリックします。
・メッセージ一覧から削除されます。



ワンポイント

- メッセージは、99 種類（ch1～99）登録できます。
- チャンネル番号は、青色が日課パターン、黄色がリモート放送、緑色は両方で使用されているチャンネルです。

メモ

2. 日課パターンの登録

日課パターン一覧表に「パターン名」を、また日課パターン表に「放送内容」を登録します。

2-1. 日課パターン一覧表の登録

■登録画面の呼び出し

1. 【スケジュール設定初期画面】で、[2. 日課パターン] ボタンをクリックします。

・【日課パターン一覧表】の登録画面になります。

■登録のしかた

①パターン番号の指定
《パターン選択》ボックスへパターン番号を入力します。
・日課パターン一覧の選択された行が反転表示になります。
・次の方法でも指定できます。
A：[▲ / ▼] ボタンをクリックして、指定する。
B：日課パターン一覧の行をクリックする。

②パターン名の入力
《パターン名》ボックスへパターン名を入力します。
・ [▼] ボタンをクリックして、リストの中から指定することもできます。
・ 全角で、15 文字以内です。

③装置表示の入力
パターン名を入力すると、半角で自動表示されます。（この表示が装置のディスプレイに表示されます）
・ 修正したいときは、《装置表示》ボックスをクリックして、修正してください。半角の英数カナで 18 文字以内です。

④ 登録
[登録] ボタンをクリックすると、日課パターン一覧に登録した内容が表示されます。
・ 続けて登録するときは、①～④を繰り返します。

[削除] ボタン

[日課パターン表の登録] ボタン
日課パターン表を登録するとき、クリックします。
「日課パターン表の登録」（60 ページ）を参照してください。

コピー編集欄
日課パターンをコピー編集するとき、使用します。
次ページを参照してください。

⑤登録の終了
登録が終わるとき、[戻る] ボタンをクリックします。
・【スケジュール設定初期画面】に戻ります。

[印刷] ボタン
クリックすると、日課パターン一覧を印刷します。詳しくは、「第 5 章 共通編 登録内容を印刷する」（138 ページ）を参照してください。

[ヘルプ] ボタン
クリックすると、電子ファイル（PDF）の取扱説明書が表示されます。

戻る

※青色のパターン番号は、内容が登録してあります。
赤色のパターン番号は、スケジュール登録で使用されていて、内容が登録されていないものです。

パターン	パターン名	装置表示
OFF	放送休止	放送休止
1	通常業務	通常業務
2	短縮業務	短縮業務
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		

登録

パターン選択 1

パターン名 通常業務

装置表示(半角英数カナのみ) 通常業務

削除 登録

日課パターン表の登録

↑

パターンのコピー

コピー元

パターン選択 1

パターン名 通常業務

コピー

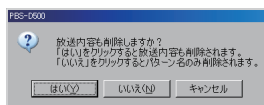
印刷 ヘルプ 戻る

■修正をするには

1. 「登録のしかた」の手順①と同じ方法で、修正したいパターン番号を選び修正します。
2. 「登録」ボタンをクリックします。
3. 「上書きしますか？」と表示されます。
「はい」ボタンをクリックします。
・日課パターン一覧に、修正された内容が表示されます。

■削除をするには

1. 「登録のしかた」の手順①と同じ方法で、削除したいパターン番号を選びます。
2. 「削除」ボタンをクリックします。
・削除の確認画面を表示します。



- ・パターン名と一緒に放送内容も削除する場合は、「はい」ボタンをクリックします。
 - ・パターン名だけを削除する場合は、「いいえ」ボタンをクリックします。
 - ・削除を中止するときは、「キャンセル」ボタンをクリックします。
3. 日課パターン一覧から削除されます。

ワンポイント

- 日課パターンは、1～99まで登録できます。

■パターンをコピー編集するには

登録済みの日課パターンの一部を修正して、新たな日課パターンとして登録することができます。

①コピー先のパターン番号の指定

- 《パターン選択》ボックスへコピー先のパターン番号を入力します。
- ・日課パターン一覧の選択された行が反転表示になります。
 - ・次の方法でも指定できます。
A：[▲/▼] ボタンをクリックして、指定する。
B：日課パターン一覧の行をクリックする。

②コピー元のパターン番号の指定

- 《パターン選択》ボックスへコピー元のパターン番号を入力します。
- ・次の方法でも指定できます。
A：[▲/▼] ボタンをクリックして、指定する。

③コピー

- [コピー] ボタンをクリックすると、コピー元のデータが、そのまま、コピー先へコピーされ日課パターン一覧に表示されます。
- ・続けてコピー編集するときは、①～③を繰り返します。
 - ・パターン名や日課パターンの内容を修正します。

ワンポイント

- コピー編集は、コピー元の日課パターンが未登録のときはコピーできません。
- コピー先にパターン名・装置名が登録されていない場合は、パターン名・装置名もコピーされます。パターン名・装置名が登録されている場合は、放送内容だけがコピーされます。

2-2. 日課パターン表の登録

日課パターン表には、定時放送、BGM および間隔放送の 3 種類の登録があります。

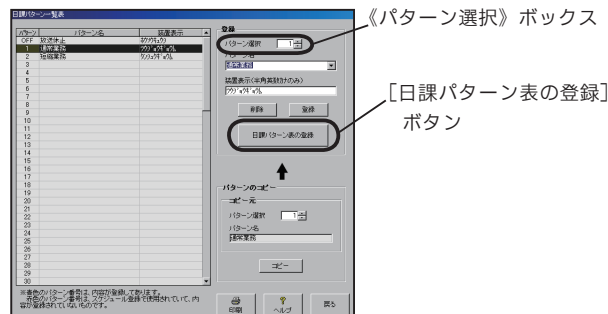
（１）定時放送の登録

指定した時刻（定時）に自動放送を行なうための登録を行ないます。

■登録画面の呼び出し

1. 【スケジュール設定初期画面】で、[2. 日課パターン] ボタンをクリックします。
 - ・日課パターン一覧表の登録画面になります。
2. 《パターン選択》ボックスへパターン番号を入力します。
 - ・日課パターン一覧の選択された行が反転表示になります。
 - ・次の方法でも選択できます。
 - A: [▲/▼] ボタンをクリックして、指定する。
 - B: 日課パターン一覧の行をクリックする。
3. [日課パターン表の登録] ボタンをクリックします。
 - ・日課パターン表の登録画面になります。
 - ・定時放送タブをクリックすると、定時放送の登録画面になります。

日課パターン一覧表の登録画面



■定時放送の登録のしかた

- ① 定時放送登録の呼び出し
[定時放送] タブをクリックします。
 - ・定時放送の登録画面になります。

[BGM / 間隔放送] タブ
BGM や間隔放送を登録するときクリックします。

- ② ステップの指定
定時放送一覧のステップをクリックします。
 - ・定時放送一覧の選択されたステップが反転表示になります。

日課パターン表示欄
登録中の日課パターンが表示されます。
・各ボックスで修正することもできます。

- ③ ステップのコメント入力
《コメント》ボックスへ、その時刻に放送する内容のコメントを入力します。
 - ・[▼] ボタンをクリックして、リストの中から指定することもできます。
 - ・全角で 15 文字以内です。

- ④ 放送時刻の入力
《時刻》ボックスへ、放送する時刻を入力します。
 - ・[▲/▼] ボタンをクリックして、指定することもできます。
 - ・時刻は 24 時間制で入力します。

- ⑤ チャイムの入力
《チャイム》ボックスへ、その時刻に放送するチャイム番号を入力します。
 - ・[▼] ボタンをクリックして、リストから指定することもできます。
 - ・放送しないときは、「0」を入力します。また、リストから指定するときは、「OFF」を指定します。

- ⑥ メッセージの入力
《メッセージ》ボックスへ、その時刻に放送するメッセージ番号を入力します。
 - ・[▼] ボタンをクリックして、リストから指定することもできます。
 - ・放送しないときは、「0」を入力します。また、リストから指定するときは、「OFF」を指定します。

- ⑦ 送出回数の入力
《送出回数》ボックスへ、メッセージの送出回数を入力します。
 - ・[▲/▼] ボタンをクリックして、指定することもできます。

- ⑧ 新規
[新規] ボタンをクリックすると、登録した内容が定時放送一覧に新しいステップとして表示されます。
 - ・続けて、登録するときは、②～⑧を繰り返します。

放送タイムチャート
放送時刻をタイムチャートで表示します。

定時放送一覧
ステップごとに放送内容を表示します。

[印刷] ボタン
クリックすると、日課パターン表を印刷します。詳しくは、「第 5 章 共通編 登録内容を印刷する」(138 ページ)を参照してください。

[ヘルプ] ボタン
クリックすると、電子ファイル (PDF) の取扱説明書が表示されます。

- ⑨ 登録の終了
登録が終わるとき、[戻る] ボタンをクリックします。
 - ・日課パターン一覧表の登録画面に戻ります。

■ 連結放送をするには

複数のチャンネルのチャイムやメッセージを連結して放送することができます。

1. 「登録のしかた」の手順②と同じ方法で、連結放送する最初のステップを選択します。
2. 「登録のしかた」の手順③および手順⑤～手順⑦と同じ方法で、連結するチャイムまたはメッセージを登録します。
3. [連結] ボタンをクリックします。
 - ・メッセージ一覧に、連結された内容が表示されます。

定時放送				
時刻	コメント	チャイム	メッセージ	回数
8:30:00	朝の音楽		11	1
8:45:00	ラジオ体操			1
8:45:00	↓ 連結チャイム	3		
8:55:00	業務開始予告	4	2	1

8時45分のラジオ体操に、チャイム（3ch）が連結された例
※連結放送は、最大 20 ステップまで登録できます。

■ 時報を放送するには

「装置設定 時報の使用」（74 ページ）を「する」に設定すると、設定した時刻に時報「午後（午前）〇時〇分をお知らせします。」を放送することができます。

1. 「定時放送の登録のしかた」の手順②～④のあと、[時報] をクリックしてチェックを付けます。
2. [新規] ボタンをクリックします。
 - ・定時放送一覧に、登録した内容が時報として表示されます。

11	17:40:00	業務終了	1		
12		休業		12	1
13	18:00:00	18時の時報	時報		

■ 修正をするには

1. 「定時放送の登録のしかた」の手順②と同じ方法で、修正したいステップを選び、修正します。
2. [変更] ボタンをクリックします。
3. 【上書きしますか?】と表示されます。
[はい] ボタンをクリックします。
 - ・メッセージ一覧に、修正された内容が表示されます。

■ 削除をするには

1. 「定時放送の登録のしかた」の手順②と同じ方法で、削除したいステップを選びます。
2. [削除] ボタンをクリックします。
3. 【選択行を削除しますか?】と表示されます。
[はい] ボタンをクリックします。
 - ・メッセージ一覧から削除されます。



ワンポイント

- 連続した複数行を選ぶには
最初の行をクリックします。
キーボードの「Shift」キーを押したままで、最後の行をクリックします。
- 連続しない複数行を選ぶには
キーボードの「Ctrl」キーを押したままで、希望の行をクリックします。

■ ステップを挿入するには

1. 「定時放送の登録のしかた」の手順④で、挿入したい放送時刻を入力します。
2. [新規] ボタンをクリックします。
 - ・入力した時刻で新しいステップが追加挿入されます。

■ 総稼働時間について

集計表示欄には、「登録のしかた」の手順③で、コメントが「開始」と付いた時刻から「終了」と付いた時刻までの合計時間が表示されます。

ワンポイント

- 定時放送は、1 パターンあたり最大 64 ステップまで登録できます。
- 「装置設定 時刻の最小単位」（74 ページ）で、[秒] を選択している場合は、放送時刻の入力欄が次の表示となり、秒単位で時刻設定ができます。
時刻 8時30分0秒
- 定時放送の放送時刻を秒単位で指定する場合は、直前のステップから 30 秒以上の間隔を開けてください。
- 連結放送の登録で、定時放送の設定のない時刻で [連結] ボタンをクリックすると、次の警告表示となり登録できません。



- 時報は、分単位で放送されます。放送時刻が秒まで設定されている場合、秒の単位は“0”になります。
- 時報に続けて他のチャンネルを連結放送することができますが、時報を連結放送に設定することはできません。

（２）BGM 放送の登録

BGM 放送では、外部の音源または本体装置内のメッセージチャンネルの音源が使用できます。

■登録画面の呼び出し

1. 【スケジュール設定初期画面】で、[2. 日課パターン] ボタンをクリックします。

・日課パターン一覧表の登録画面になります。

2. 《パターン選択》ボックスへパターン番号を入力します。

・日課パターン一覧の選択された行が反転表示になります。

・次の方法でも選択できます。

A: [▲/▼] ボタンをクリックして、指定する。

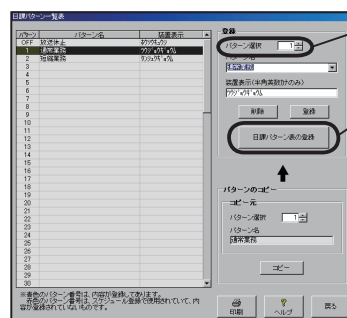
B: 日課パターン一覧の行をクリックする。

3. [日課パターン表の登録] ボタンをクリックします。

＊日課パターン表の登録画面になります。

＊BGM / 間隔放送タブをクリックすると、BGM / 間隔放送の登録画面になります。

日課パターン一覧表の登録画面



《パターン選択》ボックス

[日課パターン表の登録] ボタン

■BGM 放送の登録のしかた

[定時放送] タブ
定時放送を登録するとき
クリックします。

BGM 一覧
ステップごとに BGM 内
容を表示します。1 パター
ンあたり、最大 6 ステッ
プまで登録できます。

③開始時刻の入力
《開始時刻》ボックスへ、
BGM 開始時刻を入力し
ます。
・[▲/▼] ボタンをクリッ
クして、指定すること
もできます。
・時刻は、24 時間制で入
力します。

④終了時刻の入力
《終了時刻》ボックスへ、
BGM 終了時刻を入力し
ます。
・[▲/▼] ボタンをクリッ
クして、指定すること
もできます。
・時刻は、24 時間制で入
力します。

① BGM 放送登録の呼び出し
[BGM / 間隔放送] タブをクリックします。
・BGM / 間隔放送の登録画面になります。

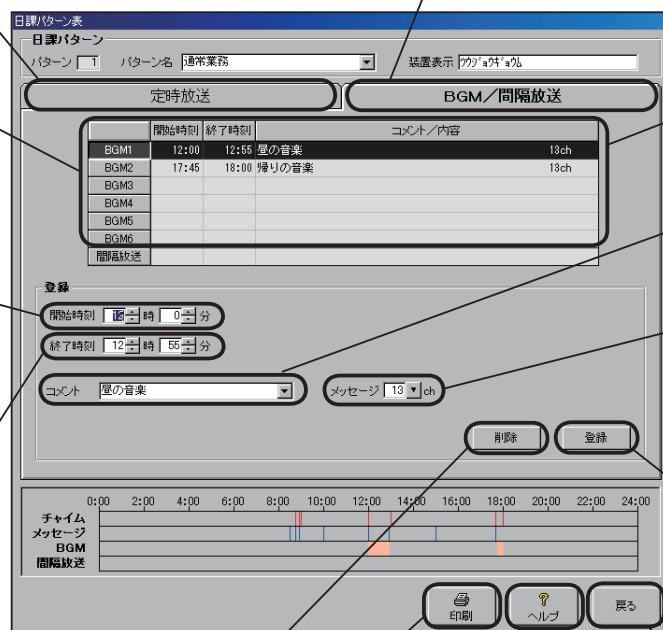
②ステップの指定
BGM 一覧のステップを
クリックします。
・BGM 一覧の選択された
ステップが反転表示に
なります。

⑤ BGM のコメント入力
《コメント》ボックスへ、
その時刻に放送する内
容のコメントを入力し
ます。
・[▼] ボタンをクリッ
クして、リストの中から
指定することもできます。
・全角で、15 文字以内です。

⑥ BGM 種類の選択
BGM として放送する
メッセージ ch または外
部音源を選択します。
・[▼] ボタンをクリッ
クして、リストの中から
指定します。

⑦登録
[登録] ボタンをクリッ
クすると、登録した内容
が BGM 一覧に表示され
ます。
・続けて登録するときは、
②～⑥を繰り返します。

⑧登録の終了
登録が終わるとき、[戻
る] ボタンをクリックし
ます。
・日課パターン一覧表の
登録画面に戻ります。



[削除] ボタン

[印刷] ボタン
クリックすると、日課パターン表を
印刷します。詳しくは、「第 5 章 共
通編 登録内容を印刷する」(138
ページ)を参照してください。

[ヘルプ] ボタン
クリックすると、電子ファイ
ル (PDF) の取扱説明書が表
示されます。

■修正をするには

1. 「BGM 放送の登録のしかた」の手順②と同じ方法で、修正したいステップを選び、修正します。

2. [登録] ボタンをクリックします。

3. 【上書きしますか?】と表示されます。

[はい] ボタンをクリックします。

・BGM 一覧に、修正された内容が表示されます。

■削除をするには

1. 「BGM 放送の登録のしかた」の手順②と同じ方法で、削除したいステップを選びます。

2. [削除] ボタンをクリックします。

3. 【選択行を削除しますか?】と表示されます。

[はい] ボタンをクリックします。

・BGM 一覧から削除されます。

（３）間隔放送の登録

間隔放送では、本体装置内のメッセージチャンネルの音源 6 種類が使用できます。

■登録画面の呼び出し

1. 【スケジュール設定初期画面】で、[2. 日課パターン] ボタンをクリックします。

・日課パターン一覧表の登録画面になります。

2. 《パターン選択》ボックスへパターン番号を入力します。

・日課パターン一覧の選択された行が反転表示になります。

・次の方法でも選択できます。

A: [▲/▼] ボタンをクリックして、指定する。

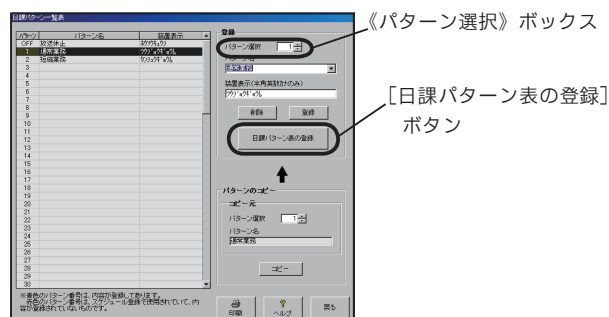
B: 日課パターン一覧の行をクリックする。

3. [日課パターン表の登録] ボタンをクリックします。

※日課パターン表の登録画面になります。

※BGM/間隔放送タブをクリックすると、BGM/間隔放送の登録画面になります。

日課パターン一覧表の登録画面



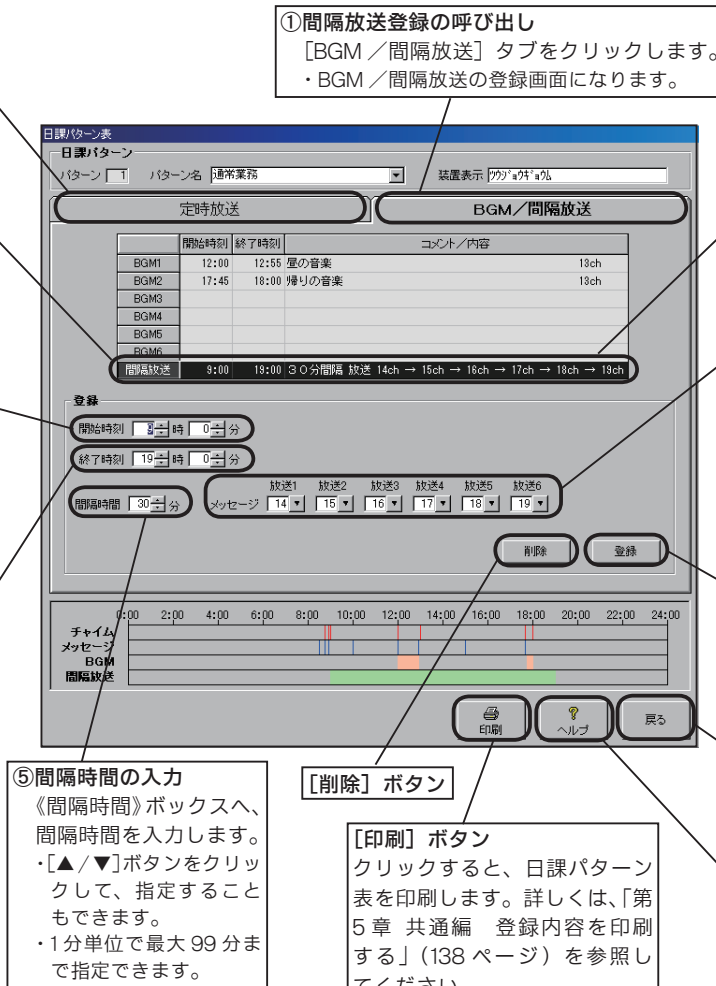
■間隔放送の登録のしかた

[定時放送] タブ
定時放送を登録するとき
クリックします。

間隔放送欄
間隔放送の内容を表示し
ます。1 パターンあたり、
1 ステップのみ登録でき
ます。

③開始時刻の入力
《開始時刻》ボックスへ、
放送開始時刻を入力し
ます。
・[▲/▼] ボタンをクリッ
クして、指定すること
もできます。
・時刻は、24 時間制で入
力します。

④終了時刻の入力
《終了時刻》ボックスへ、
放送終了時刻を入力し
ます。
・[▲/▼] ボタンをクリッ
クして、指定すること
もできます。
・時刻は、24 時間制で入
力します。



①間隔放送登録の呼び出し
[BGM/間隔放送] タブをクリックします。
・BGM/間隔放送の登録画面になります。

②間隔放送の指定
間隔放送欄をクリック
します。
・間隔放送欄が反転表示
になります。

⑥メッセージの入力
《メッセージ》ボックス
へ、放送1から順に、メッ
セージのチャンネル番
号を入力します。
・[▼] ボタンをクリッ
クして、リストの中から
指定することもでき
ます。
・放送しないボックスは、
「0」を入力します。また、
リストから指定する
ときは、「OFF」を指定し
ます。

⑦登録
[登録] ボタンをクリッ
クすると、登録した内容
が間隔放送欄に表示さ
れます。

⑧登録の終了
登録を終わるとき、[戻
る] ボタンをクリックし
ます。
・日課パターン一覧表の
登録画面に戻ります。

[ヘルプ] ボタン
クリックすると、電子ファ
イル (PDF) の取扱説明書
が表示されます。

※間隔放送は、開始時刻からカウント
した間隔時間で放送します。

■修正をするには

1. 間隔放送欄をクリックして選び、修正します。
2. [登録] ボタンをクリックします。
3. [上書きしますか?] と表示されます。
[はい] ボタンをクリックします。
・間隔放送欄に、修正された内容が表示されます。

■削除をするには

1. 間隔放送欄をクリックして選びます。
2. [削除] ボタンをクリックします。
3. [選択行を削除しますか?] と表示されます。
[はい] ボタンをクリックします。
・間隔放送欄から削除されます。

3. 年間スケジュールの登録

日課パターンの登録で作成した日課パターン番号をカレンダーに割り付けして、年間スケジュールを登録します。
年間スケジュールには、通年スケジュールと特定日スケジュールがあります。

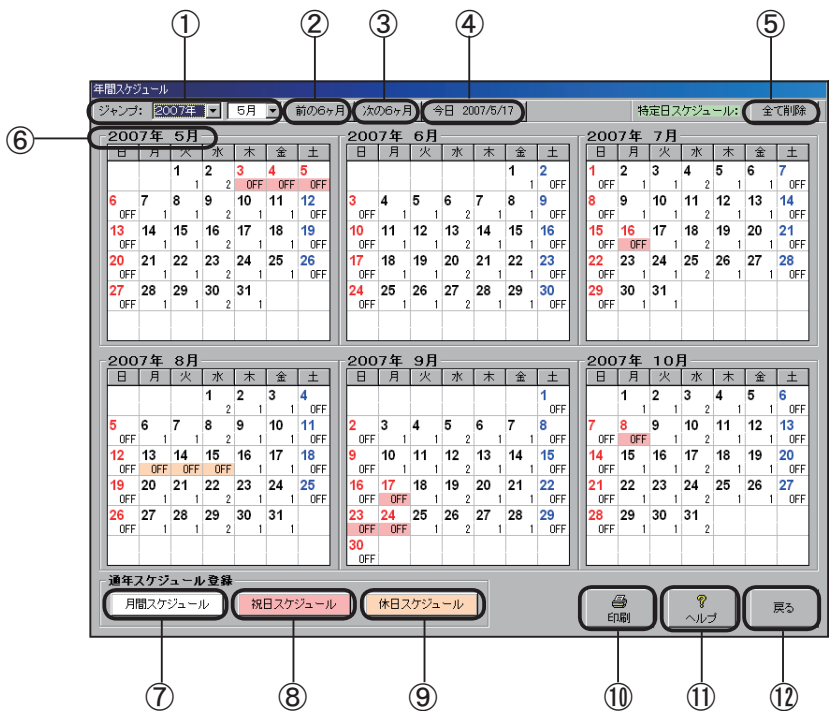
- ◆通年スケジュールは、毎年、繰り返されるスケジュールで、月間スケジュール・祝日スケジュール・休日スケジュールがあります。
- ◆特定日スケジュールは、臨時休業など指定した年月日にのみ、適用されます。

3-1. 年間スケジュール登録画面

■登録画面の呼び出し

1. 【スケジュール設定初期画面】で、[3. 年間スケジュール] ボタンをクリックします。
- ・[年間スケジュール] の登録画面になります。
 - ・登録画面は、月毎のカレンダーで 6 ヶ月分表示され、登録済みの日課パターン番号を表示します。

■登録画面の構成



名 前	機 能
① 《ジャンプ》ボックス	[▼] ボタンをクリックして年月を指定すると、その年月から 6 ヶ月分を表示します。 ※年は、現在の年から 9 年先まで指定できます。
② [前の 6 ヶ月] ボタン	クリックすると、《ジャンプ》ボックスで表示されている年月の、6 ヶ月前から 6 ヶ月分を表示します。
③ [次の 6 ヶ月] ボタン	クリックすると、《ジャンプ》ボックスで表示されている年月の、6 ヶ月後から 6 ヶ月分を表示します。
④ [今日] ボタン	クリックすると、今日の月から 6 ヶ月分を表示します。
⑤ [全て削除] ボタン	クリックすると、登録されている特定日スケジュールを全て削除します。
⑥ [カレンダー年月] タブ	タブをポイントすると、(+) の拡大アイコンが表示され、クリックするとその月を拡大表示します。拡大表示のときにタブをポイントすると、(-) のアイコンが表示され、クリックすると元に戻ります。
⑦ [月間スケジュール] ボタン	月間スケジュールを登録するときにクリックします。
⑧ [祝日スケジュール] ボタン	祝日スケジュールを登録するときにクリックします。
⑨ [休日スケジュール] ボタン	休日スケジュールを登録するときにクリックします。
⑩ [印刷] ボタン	特定日または年間スケジュールを印刷するときにクリックします。
⑪ [ヘルプ] ボタン	電子ファイル (PDF) の取扱説明書を表示します。
⑫ [戻る] ボタン	【スケジュール設定初期画面】に戻すときにクリックします。

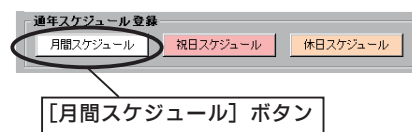
3-2. 月間スケジュールの登録

通年で使用する月間の曜日スケジュールを登録します。この月間スケジュールが自動放送の基本となります。

■登録画面の呼び出し

1. 【スケジュール設定初期画面】で、【3. 年間スケジュール】 ボタンをクリックします。
・【年間スケジュール】 の画面になります。
2. 【年間スケジュール】 画面左下の通年スケジュール登録欄で、【月間スケジュール】 ボタンをクリックします。
・月間スケジュールの登録画面になります。（【月間スケジュール】・【日課パターン一覧表】画面）

通年スケジュール登録欄



【月間スケジュール】 ボタン

■登録のしかた

①登録
【登録】 ボタンをクリックします。
・第何週の曜日をポイントすると、鉛筆のアイコンが表示されます。

②パターン番号の指定
登録する日課パターン番号をクリックします。
・反転表示になります。

③パターン番号の登録
第何週の該当曜日をクリックします。
・続けて登録するときは、②～③を繰り返します。
登録のしかたは、個々に登録する以外に次の方法があります。
* 【曜日】 ボタンをクリックすると、その曜日の全部の週に同じ日課パターンを登録します。
* 【週】 ボタンをクリックすると、その週の全曜日に同じ日課パターンを登録します。
* 【全選択】 ボタンをクリックすると、全曜日に同じ日課パターンを登録します。
* ドラッグすると、その範囲に同じ日課パターンを登録します。
削除も同様にできます。

④登録の終了
登録が終わるとき【戻る】 ボタンをクリックします。
・年間スケジュールの登録画面に戻ります。

《コメント》ボックス
コメントを登録しておく
* 該当曜日をポイントすると、登録したコメントがポップアップ表示されます。
* スケジュール確認画面のコメント欄に、登録したコメントが表示されます。
1. チェックボックスをクリックして「✓」印を付けます。
2. 《コメント》ボックスへコメントを入力します。
・【▼】 ボタンをクリックして、リストの中から指定することもできます。

【削除】 ボタン

【曜日】 ボタン

【全選択】 ボタン

【週】 ボタン

【印刷】 ボタン
クリックすると、月間スケジュールを印刷します。詳しくは、「第5章 共通編 登録内容を印刷する」（138ページ）を参照してください。

【ヘルプ】 ボタン
クリックすると、電子ファイル（PDF）の取扱説明書が表示されます。

【戻る】 ボタン

月間スケジュール

	日	月	火	水	木	金	土
第1	OFF	1	1	2	1	1	OFF
第2	OFF	1	1	2	1	1	OFF
第3	OFF	1	1	2	1	1	OFF
第4	OFF	1	1	2	1	1	OFF
第5	OFF	1	1	2	1	1	OFF

■スケジュールを削除するには

1. 日課パターン一覧表の、【削除】ボタンをクリックします。
・第何週の曜日をポイントすると、消しゴムのアイコンが表示されます。
2. 削除したい第何週の該当曜日をクリックします。
・前のスケジュールが削除され、「OFF（放送休止）」が表示されます。

ワンポイント

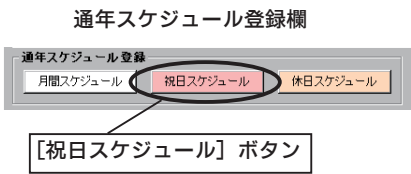
- 登録中の日課パターン番号は、赤色で表示されます。
【戻る】 ボタンなどをクリックして、再表示させると黒色になります。

3-3. 祝日スケジュールの登録

通年で使用する祝日スケジュールを登録します。国民の祝日は、あらかじめ登録されていますが、それ以外にも全体で 25 日分登録できます。

■登録画面の呼び出し

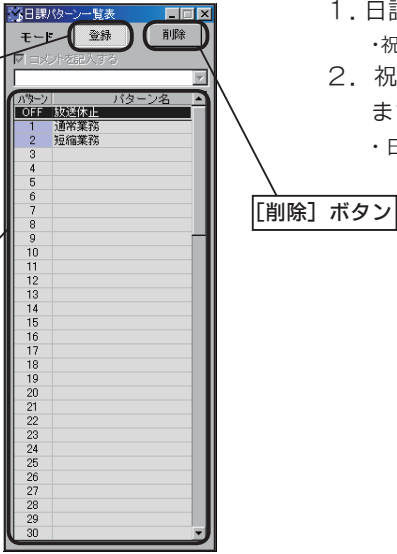
- 1. 【スケジュール設定初期画面】で、[3. 年間スケジュール] ボタンをクリックします。
 - ・[年間スケジュール] の画面になります。
- 2. 【年間スケジュール】画面左下の通年スケジュール登録欄で、[祝日スケジュール] ボタンをクリックします。
 - ・祝日スケジュールの登録画面になります。（[祝日スケジュール]・[日課パターン一覧表]画面）



■登録のしかた

①登録
[登録] ボタンをクリックします。
・祝日をポイントすると、鉛筆のアイコンが表示されます。

②パターン番号の指定
登録する日課パターン番号をクリックします。
・反転表示になります。



■スケジュールを削除するには

- 1. 日課パターン一覧表の、[削除]ボタンをクリックします。
 - ・祝日一覧をポイントすると、消しゴムのアイコンが表示されます。
- 2. 祝日一覧で削除したい日課パターン番号をクリックします。
 - ・日課パターン番号が空欄になります。



祝日一覧
祝日の内容を表示します。



③パターン番号の登録
該当の祝日をクリックします。
・続けて登録するときは、②～③を繰り返します。
登録のしかたは、個々に登録する以外に次の方法があります。
* [祝日] ボタンをクリックすると、全部の祝日に同じ日課パターンを登録します。
* [振替休日] ボタンをクリックすると、全振替休日に同じ日課パターンを登録します。
* [日曜祝日] ボタンをクリックすると、全日曜祝日に同じ日課パターンを登録します。
* [全選択] ボタンをクリックすると、祝日・振替休日・日曜祝日の全てに同じ日課パターンを登録します。
* ドラッグすると、その範囲に同じ日課パターンを登録します。
削除も同様にできます。

[祝日の編集] ボタン
祝日の変更や追加、削除するとき、クリックします。

[印刷] ボタン
クリックすると、祝日スケジュールを印刷します。詳しくは、「第5章 共通編 登録内容を印刷する」(138 ページ)を参照してください。

[ヘルプ] ボタン
クリックすると、電子ファイル (PDF) の取扱説明書が表示されます。

④登録の終了
登録が終わるとき [戻る] ボタンをクリックします。
・年間スケジュールの登録画面に戻ります。

■祝日の編集のしかた

国民の祝日に変更があったり、追加、削除があるときこの編集機能で登録します。

1. 【祝日スケジュール】画面で、[祝日の編集] ボタンをクリックします。

- ・祝日スケジュールの編集画面になります。

●祝日を追加する場合

①祝日行の指定

- 空欄行をクリックします。
- ・反転表示になります。

[削除] ボタン

②祝日名の入力

- 《祝日名》ボックスに祝日名を入力します。
- ・全角 15 文字以内です。

③祝日にする「月」の入力

- 《月》ボックスに祝日にする月を入力します。
- ・[▲/▼] ボタンをクリックして、指定することもできます。

④祝日にする「日」の入力

- ※固定日で登録するとき
[固定日] オプションボタンをクリックします。
《日》ボックスに祝日にする日を入力します。
- ・[▲/▼] ボタンをクリックして、指定することもできます。
- ※変動日で登録するとき
[変動日] オプションボタンをクリックします。
- ・[▼] ボタンをクリックして、週と曜日を指定します。

⑤登録

- [登録] ボタンをクリックします。
- ・祝日一覧に登録内容が表示されます。

⑥既定値として保存／既定値を読み込む

- [既定値として保存] ボタンをクリックすると、表示内容をパソコンに保存します。保存した内容は、[既定値を読み込む] ボタンをクリックすると画面に表示されます。
- ※祝日スケジュールは保存されません。

⑦日課パターンの登録

- [祝日の編集] ボタンをクリックします。
- ・祝日スケジュールの登録画面に戻ります。
- 祝日スケジュール登録画面で日課パターンを登録します。

●祝日を修正する場合

1. 祝日一覧の修正したい行をクリックします。

2. 修正したい項目を選んで、「祝日を追加する場合」の手順②～⑤と同じ手順で修正します。

- ・⑤で [登録] ボタンをクリックすると、「上書きしますか？」と表示されます。[はい] ボタンをクリックします。

3. [祝日の編集] ボタンをクリックして、祝日スケジュールの登録画面に戻り、日課パターン番号を登録します。

- ・月日順に並び替えて、祝日一覧に表示されます。

●祝日を削除する場合

1. 祝日一覧で削除したい行をクリックします。

2. [削除] ボタンをクリックします。

3. 【選択行を削除しますか?】と表示されます。

- [はい] ボタンをクリックします。

- ・祝日一覧から削除されます。

- 振替休日とは、祝日が日曜日と重なった場合、その直後の「国民の祝日でない日」をいいます。
- 日曜祝日とは、祝日が日曜日と重なった祝日をいいます。
- 変動日の祝日は、振替休日と日曜祝日がありません。



ワンポイント

- 登録中の日課パターン番号は、赤色で表示されます。[戻る] ボタン等をクリックして、再表示させると黒色になります。
- 祝日として登録できる日数は最大 25 日です。

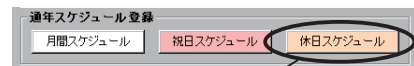
3-4. 休日スケジュールの登録

通年で使用する祝日以外のお客様独自の休日スケジュール（例えば、夏休みや正月休みなど）を登録します。

■登録画面の呼び出し

1. 【スケジュール設定初期画面】で、[3. 年間スケジュール] ボタンをクリックします。
・【年間スケジュール】の画面になります。
2. 【年間スケジュール】画面左下の通年スケジュール登録欄で、[休日スケジュール] ボタンをクリックします。
・休日スケジュールの登録画面になります。（[休日スケジュール]・[日課パターン一覧表]画面）

通年スケジュール登録欄



[休日スケジュール] ボタン

■登録のしかた

①登録
[登録] ボタンをクリックします。
・休日一覧の日付をポイントすると、鉛筆のアイコンが表示されます。

②パターン番号の指定
登録する日課パターン番号をクリックします。
・反転表示になります。

[削除] ボタン

《コメント》ボックス
コメントを登録しておく
* 該当休日をポイントすると、登録したコメントがポップアップ表示されます。
* スケジュール確認画面のコメント欄に、登録したコメントが表示されます。
1. チェックボックスをクリックして「✓」印を付けます。
2. 《コメント》ボックスへコメントを入力します。
・[▼] ボタンをクリックして、リストの中から指定することもできます。

[全選択] ボタン

[日] ボタン

[月] ボタン

休日一覧
年間の休日を表示します。

[印刷] ボタン
クリックすると、休日スケジュールを印刷します。詳しくは、「第5章 共通編 登録内容を印刷する」(138ページ)を参照してください。

[ヘルプ] ボタン
クリックすると、電子ファイル(PDF)の取扱説明書が表示されます。

③パターン番号の登録
該当の休日ををクリックします。
・続けて登録するときは、②～③を繰り返します。
登録のしかたは、個々に登録する以外に次の方法があります。
* [日] ボタンをクリックすると、全月のその日に同じ日課パターンを登録します。
* [月] ボタンをクリックすると、その月全部に同じ日課パターンを登録します。
* [全選択] ボタンをクリックすると、1年間の全てに同じ日課パターンを登録します。
* ドラッグすると、その範囲に同じ日課パターンを登録します。
削除も同様にできます。

④登録の終了
登録を終わるとき、[戻る] ボタンをクリックします。
・年間スケジュールの登録画面に戻ります。

■スケジュールを削除するには

1. 日課パターン一覧表の、[削除] ボタンをクリックします。
・休日一覧の日付をポイントすると、消しゴムのアイコンが表示されます。
2. 削除したい日付をクリックします。
・空欄になります。

ワンポイント

- 登録中の日課パターン番号は、赤色で表示されます。
[戻る] ボタン等をクリックして、再表示させると黒色になります。

3-5. 特定日スケジュールの登録

臨時休業など、指定した年月日のみに適用される特定日スケジュールを登録します。

■登録のしかた

登録画面は、年間スケジュールの登録画面を使います。

①カレンダー選択
カレンダーを選択します。くわしくは、「年間スケジュール登録画面」（64 ページ）をご覧ください。

②登録
[登録] ボタンをクリックします。
・年間カレンダーの日付をポイントすると、鉛筆のアイコンが表示されます。

③パターン番号の指定
登録する日課パターン番号をクリックします。
・反転表示になります。

《コメント》ボックス
コメントを登録しておく。
* 該当特定日をポイントすると、登録したコメントがポップアップ表示されます。
* スケジュール確認画面のコメント欄に、登録したコメントが表示されます。
1. チェックボックスをクリックして「✓」印を付けます。
2. 《コメント》ボックスへコメントを入力します。
・[▼] ボタンをクリックして、リストの中から指定することもできます。

[削除] ボタン

《コメント》ボックス

④パターン番号の登録
該当の日付をクリックします。
・続けて登録するときは、①～④を繰り返します。
登録のしかたは、個々に登録する以外に次の方法があります。
* [曜日] ボタンをクリックすると、その月の同じ曜日に同じ日課パターンを登録します。
* ドラッグすると、その範囲に同じ日課パターンを登録します。削除も同様にできます。

[曜日] ボタン

⑤登録の終了
登録が終わるとき、[戻る] ボタンをクリックします。
・[スケジュール設定初期画面] に戻ります。

[印刷] ボタン
クリックすると、特定日スケジュールを印刷します。詳しくは、「第5章 共通編 登録内容を印刷する」（138 ページ）を参照してください。

[ヘルプ] ボタン
クリックすると、電子ファイル（PDF）の取扱説明書が表示されます。

[全て削除] ボタン

■特定日スケジュールを削除するには

1. 「登録のしかた」の手順①と同じ操作で、特定日スケジュールを削除したいカレンダーを選びます。
2. 日課パターン一覧表の、[削除] ボタンをクリックします。
・年間カレンダーの日付をポイントすると、消しゴムのアイコンが表示されます。
3. 削除したいカレンダーの日付をクリックします。
・特定日スケジュールが削除され、通年のスケジュールで登録した日課パターン番号が表示されます。

■全ての特定日スケジュールを削除するには

1. [全て削除] ボタンをクリックします。
2. 【削除しますか？ 削除すると登録されている全ての特定日スケジュールが削除されます。】と表示されます。
[はい] ボタンをクリックします。
・全ての特定日スケジュールが削除され、通年のスケジュールで登録した日課パターン番号が表示されます。

ワンポイント

- [カレンダー年月] タブをポイントすると、〈+〉の拡大アイコンが表示され、クリックすると、その月のみ拡大表示します。
拡大表示のとき [カレンダー年月] タブをポイントすると、〈-〉の縮小アイコンが表示され、クリックすると、元に戻ります。
- 登録や削除をしたときは、パターン番号は赤色で表示されます。[戻る] ボタン等をクリックして、再表示させると黒色になります。

4. 年間スケジュール表の確認

登録してあるスケジュールを確認します。ここでは、登録や修正はできません。

■確認画面の呼び出し

1. 【スケジュール設定初期画面】で、[4. 年間スケジュール表] ボタンをクリックします。
- ・[年間スケジュール表] 画面（確認画面）になります。

■確認のしかた

①確認する年月の指定

- 年の指定
《ジャンプ》ボックスで、年の「▼」をクリックして、年を指定します。
・現在の年から9年先まで指定できます。
 - 月の指定
《ジャンプ》ボックスで、月の「▼」をクリックして、月を指定します。
・1月～12月まで指定できます。
- 年月を指定すると、その月から4ヶ月分のスケジュールを表示します。

コメント欄
スケジュール登録で登録したコメントが表示されます。

パターン欄
その日に放送する日課パターン番号または放送休止 (OFF) が表示されます。
・パターン欄は、表示項目欄で示している色で表示します。
白：月間スケジュール
赤：祝日スケジュール
橙：休日スケジュール
緑：特定日スケジュール

年間スケジュール表											
2007年 5月			2007年 6月			2007年 7月			2007年 8月		
曜日	コメント	パターン	曜日	コメント	パターン	曜日	コメント	パターン	曜日	コメント	パターン
1	火	OFF	金		1	日		OFF	水		2
2	水	OFF	土		OFF	月		1	木		1
3	木	OFF	日		OFF	火		1	金		3
4	金	OFF	月	憲法記念日	OFF	水		2	土		OFF
5	土	OFF	火	みどりの日	OFF	木		1	日		OFF
6	日	OFF	水	こどもの日	OFF	金		1	月		1
7	月	1	木		1	土		OFF	火		1
8	火	1	金		1	日		OFF	水		2
9	水	2	土		OFF	月		1	木		1
10	木	1	日		OFF	火		1	金		1
11	金	1	月		1	水		2	土		OFF
12	土	OFF	火		1	木		1	日		OFF
13	日	OFF	水		2	金		1	月		OFF
14	月	1	木		1	土		OFF	火		OFF
15	火	1	金		1	日		OFF	水		OFF
16	水	2	土		OFF	月	海の日	OFF	木		OFF
17	木	1	日		OFF	火		1	金		1
18	金	1	月		1	水		2	土		OFF
19	土	OFF	火		1	木		1	日		OFF
20	日	OFF	水		2	金		1	月		1
21	月	1	木		1	土		OFF	火		1
22	火	1	金		1	日		OFF	水		2
23	水	2	土		OFF	月		1	木		1
24	木	1	日		OFF	火		1	金		1
25	金	1	月		1	水		2	土		OFF
26	土	OFF	火		1	木		1	日		OFF
27	日	OFF	水		2	金		1	月		1
28	月	1	木		1	土		OFF	火		1
29	火	1	金		1	日		OFF	水		2
30	水	2	土		OFF	月		1	木		1
31	木	1	日		1	火		1	金		1
総稼動日数		19日	総稼動日数		21日	総稼動日数		21日	総稼動日数		19日
総稼動時間		145時間 15分	総稼動時間		160時間 45分	総稼動時間		160時間 45分	総稼動時間		145時間 15分
表示項目											
月間スケジュール			祝日スケジュール			休日スケジュール			特定日スケジュール		
印刷			ヘルプ			戻る					

総稼動表示欄
1ヶ月ごとの総稼動日数および総稼動時間が表示されています。

表示項目欄
パターン欄の背景色を示しています。
白：月間スケジュール
赤：祝日スケジュール
橙：休日スケジュール
緑：特定日スケジュール

[印刷] ボタン
クリックすると、年間スケジュール表を印刷します。詳しくは、「第5章 共通編 登録内容を印刷する」(138ページ)を参照してください。

[ヘルプ] ボタン
クリックすると、電子ファイル (PDF) の取扱説明書が表示されます。

②確認の終了
確認を終わるとき、[戻る] ボタンをクリックします。
・[スケジュール設定初期画面] に戻ります。

メモ

5. 装置設定の登録

本装置が接続される放送設備との信号のやりとりや、使用するチャイムの条件、リモート放送の設定などを登録します。

■装置設定の内容一覧

番号	項目	登録内容	設定可能範囲	初期値
1	アンプの起動時間	放送設備のアンプなどが起動してから、何秒後に音が出始めるか設定します。	0～15 秒	5 秒
2	BGM の起動時間	BGM 音源（外部音源装置）が起動してから、何秒後に音が出始めるか設定します。起動信号を必要としない場合は、“0” を登録します。	0～15 秒	5 秒
3	外部チャイムの起動時間	外部チャイムが起動してから、何秒後に音が出始めるか設定します。	0～15 秒	5 秒
4	外部チャイムの継続時間	外部チャイムの放送時に、外部チャイムを何秒間鳴らすか設定します。	1～999 秒	25 秒
5	外部チャイムの自己保持	外部チャイムの起動信号自己保持の有無を設定します。自己保持機能がある場合は「あり」に設定します。	なし／あり	なし
6	時刻修正	後面の時刻修正端子を使用するときに、時刻修正信号の種類によって設定します。	± 30 秒／50～10 秒／NTP サーバ	± 30 秒
7	NTP サーバ	ネットワークで時刻修正を行なう場合の NTP サーバアドレスを設定します。未使用の場合はすべて 0 を設定します。	—	設定なし
8	[± 30 秒／50～10 秒] 修正する時間帯	時刻修正を行なう時間帯を設定します。	0 時 0 分～23 時 59 分	0 時 50 分 1 時 10 分
	[NTP サーバ] 修正する時刻	時刻修正を行なう時刻を設定します。	0 時 0 分～23 時 59 分	1 時 0 分
9	時刻の最小単位	登録時刻の最小単位を設定します。	分／秒	分
10	時報の使用	日課パターンの設定で、音源に時報を使用するか設定します。	使用しない／使用する	使用しない
11	アナキーパー（※）	外部 BGM 放送中に定時放送が始まったときのフェードアウトした BGM の音量を設定します。完全にフェードアウトする場合は「なし」を登録します。	なし／小／中／大	なし
12	リモート放送の使用	後面のリモート端子を使った、リモート放送を使用する／使用しないを設定します。使用する場合はモードを選択します。	使用しない 使用する（標準：5） 使用する（オプション：31） 使用する（オプション：50）	使用しない

（※）外部チャイムを使用する場合は、アナキーパー機能は使用できません。「なし」に設定してください。
アナキーパーは、外部チャイムの放送に対してのみ動作します。

（※）NTP サーバによる時刻修正は、PBS-D500 本体と NTP サーバの日付が異なる場合には修正できません。

■登録画面の呼び出し

1. 【スケジュール設定初期画面】で、【5. 装置設定】ボタンをクリックします。
・【装置設定】の登録画面になります。

①設定項目の指定
設定する項目の行をクリックします。
・反転表示になります。

説明欄
設定内容が表示されます。

設定一覧
装置設定の項目を表示します。

【印刷】ボタン
クリックすると、装置設定を印刷します。詳しくは、「第5章 共通編 登録内容を印刷する」（138 ページ）を参照してください。

【ヘルプ】ボタン
クリックすると、電子ファイル（PDF）の取扱説明書が表示されます。

②登録
装置設定に対応した登録内容が表示されます。数値を入力したり、設定値を選択して登録します。
・続けて登録するときは、①～②を繰り返します。

表示例は、「アンプ起動時間」の例です。
各装置設定の登録のしかたは、下記を参照してください。

③登録の終了
登録を終わるとき【戻る】ボタンをクリックします。
・【スケジュール設定初期画面】に戻ります。

番号	項目	登録内容
1	アンプの起動時間	5秒
2	BGMの起動時間	5秒
3	外部チャイムの起動時間	5秒
4	外部チャイムの継続時間	25秒
5	外部チャイムの自己保持	なし
6	時刻修正	±30秒
7	NTPサーバ	設定なし
8	修正する時刻	0時50分～ 1時10分
9	時刻の最小単位	分
10	時報の使用	使用しない
11	アナキーパー	なし
12	リモート放送の使用	使用しない

■登録のしかた

●アンプ・BGM・外部チャイムの起動時間／外部チャイムの継続時間（項目番号：1～4）

1. 設定一覧の該当する行をクリックします。
・右の登録画面を表示します。
2. 【テンキー】をクリックして秒数を入力します。
・登録内容欄に入力した内容が表示されます。
・【クリア】ボタンをクリックすると、最小値が登録されます。

登録

7	8	9
4	5	6
1	2	3
0	クリア	

●外部チャイムの自己保持（項目番号：5）

1. 設定一覧の「項目番号5」の行をクリックします。
・右の登録画面を表示します。
2. 【なし】または【あり】のオプションボタンをクリックします。
・登録内容欄に入力した内容が表示されます。

登録

☒ なし

☐ あり

●時刻修正（項目番号：6）

1. 設定一覧の「項目番号6」の行をクリックします。
・右の登録画面を表示します。
2. 【±30秒】、【50～10秒】、【NTPサーバ】のオプションボタンをクリックして選択します。
・登録内容欄に入力した内容が表示されます。

登録

☒ ±30秒で修正する

☐ 50秒から10秒以内で修正する
※親時計（0秒、30秒毎の駆動信号）で修正する場合

☐ NTPサーバ

スケジュール設定（一般用）

●NTP サーバ（項目番号：7）

「項目番号 6：時刻修正」で「NTP サーバ」を選択したときに有効になります。

1. 設定一覧の「項目番号 7」の行をクリックします。
 - ・右の登録画面を表示します。
2. NTP サーバの IP アドレスを登録します。
 - ・登録内容欄に入力した内容が表示されます。

※ [クリア] ボタンをクリックすると、すべて 0 に設定されます。

A screenshot of the NTP server registration screen. It features a text input field containing the IP address '0.0.0.0' and a 'クリア' (Clear) button below it.

●修正する時刻（項目番号：8）

◆「項目番号 6：時刻修正」が「± 30 秒」、[50 ～ 10 秒] の場合

1. 設定一覧の「項目番号 8」の行をクリックします。
 - ・右の登録画面を表示します。
2. 時および分の[▼]をクリックして、時分を登録します。
 - ・登録内容欄に入力した内容が表示されます。

※修正する時間帯は、放送時間帯を避けて登録してください。

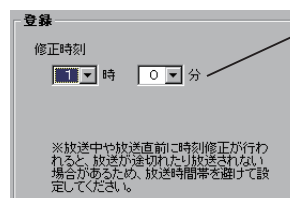
A screenshot of the time range registration screen. It shows two rows of time selection. The first row is for '修正時刻範囲' (Correction time range) with '0' hours and '60' minutes. The second row is for '修正時刻' (Correction time) with '1' hour and '10' minutes. An arrow points from the text '修正を行なう時間帯を範囲指定します。' to the first row.

修正を行なう時間帯を範囲指定します。

◆「項目番号 6：時刻修正」が「NTP サーバ」の場合

1. 設定一覧の「項目番号 8」の行をクリックします。
 - ・右の登録画面を表示します。
2. 時および分の[▼]をクリックして、時分を登録します。
 - ・登録内容欄に入力した内容が表示されます。

※修正する時刻は、放送時間帯を避けて登録してください。

A screenshot of the time registration screen. It shows a single row for '修正時刻' (Correction time) with '1' hour and '0' minutes. An arrow points from the text '修正を行なう時刻を指定します。' to the '0' minute field. Below the input fields, there is a note: '※放送中や放送直前に時刻修正が行われると、放送が切りれたり放送されない場合があります。ため、放送時間帯を避けて設定してください。'

修正を行なう時刻を指定します。

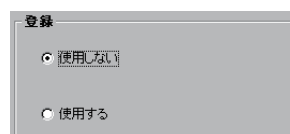
●時刻の最小単位（項目番号：9）

1. 設定一覧の「項目番号 9」の行をクリックします。
 - ・右の登録画面を表示します。
2. 日課パターン登録時の時刻設定の最小単位 [分] または [秒] のオプションボタンをクリックします。
 - ・登録内容欄に入力した内容が表示されます。
 - ・[秒] を選択すると【日課パターン表】の登録画面で、時刻の設定が「時」「分」「秒」で登録できます。

A screenshot of the minimum time unit selection screen. It has two radio buttons: '分' (Minutes) which is selected, and '秒' (Seconds).

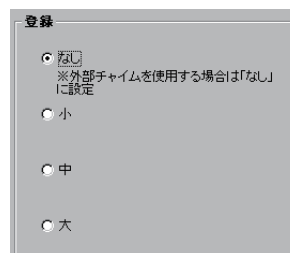
●時報の使用（項目番号：10）

1. 設定一覧の「項目番号 10」の行をクリックします。
 - ・右の登録画面を表示します。
2. 日課パターン登録時、音源に時報を使用「する／しない」のオプションボタンをクリックします。
 - ・登録内容欄に入力した内容が表示されます。
 - ・[する] を選択すると【日課パターン表】の登録画面で、時報の設定ができます。

A screenshot of the time signal usage selection screen. It has two radio buttons: '使用しない' (Do not use) which is selected, and '使用する' (Use).

●アナキーパー（項目番号：11）

1. 設定一覧の「項目番号 11」の行をクリックします。
 - ・右の登録画面を表示します。
2. 「なし」、[小]、[中]、[大] のオプションボタンをクリックします。
 - ・登録内容欄に入力した内容が表示されます。
 - ・外部チャイムを使用する場合は、アナキーパー機能は使用できません。[なし] に設定します。

A screenshot of the analog keyer selection screen. It has four radio buttons: 'なし' (None) which is selected, '小' (Small), '中' (Medium), and '大' (Large). A note below the 'なし' button says: '※外部チャイムを使用する場合は「なし」に設定'

●リモート放送の使用（項目番号：12）

- 設定一覧の「項目番号 12」の行をクリックします。
・右の登録画面を表示します。
- [使用しない]、[使用する（標準：5）]、[使用する（オプション：31）] または [使用する（オプション：50）] のオプションボタンをクリックします。
・登録内容欄に入力した内容が表示されます。
・[使用する] を選択すると、設定一覧にリモート端子番号を表示します。

リモート端子番号を
表示します。

●リモート端子の設定（標準：5の例）

- 設定一覧の「項目番号 13～17」（リモート1～5）の設定する行をクリックします。
・右の登録画面を表示します。
- [開始チャイム] および [終了チャイム] を使用する場合は、チャイムのチャンネル番号を入力します。
・[▼] ボタンをクリックして、リストから指定することもできます。
・登録内容欄に入力した内容が表示されます。
- メッセージ一覧で、放送するメッセージをクリックして選択します。
・送出回数設定欄が有効になります。
・メッセージ放送をしない場合は [OFF] を選択します。
- メッセージの送出回数をクリックして選択します。
・登録内容欄に入力した内容が表示されます。

続けて他のリモート端子の設定を行なう場合は、1～4を繰り返します。

クリックすると、チャイム一覧を表示します。

チャイム一覧

メッセージを選択して、送出回数を指定します。

ワンポイント

- リモート放送で、別売の「リモートアダプタ PBS-D500 RA」、または「LAN アダプタ PBS-LA500」を使用する場合は、（項目番号 12：リモート放送の使用）を“使用する（オプション：50）”に設定してください。（オプション：31）は使用できません。

6. 装置用データの作成

本ソフトで作成した放送スケジュールデータやメッセージなどを、本体装置で読み込むための装置用データを作成します。装置用データは、USB メモリを使用して本体装置で読み込みます。

1 個の USB メモリには 1 種類の装置用データが書き込みできます。複数の装置用データを書き込むことはできません。

■登録画面の呼び出し

1. USB メモリを接続します。
2. 【スケジュール設定初期画面】で、【6. 装置用データ作成】ボタンをクリックします。
・【装置用データ作成】画面になります。

●スケジュールデータの作成

①スケジュール名の登録
スケジュールチェックボックスをクリックしてチェックを付け、スケジュール名を入力します。
・スケジュール名は、半角英数字で 15 文字まで入力できます。

作成対象
装置用データとして作成されるデータのアイコンを表示します。グレー表示のデータは作成されません。
・スケジュールチェックボックスをチェックすると、スケジュールのアイコンが有効表示します。

③作成
【作成】ボタンをクリックします。
・案内メッセージを表示します。

②作成先選択
【▼】をクリックして、USB メモリを接続したドライブを指定します。
・ドライブ名が表示されない場合は【更新】ボタンをクリックします。

【音源ファイルの割り付け】ボタン
外部音源を自作チャイムやメッセージに割り付けるときクリックします。

【ヘルプ】ボタン
クリックすると、電子ファイル（PDF）の取扱説明書が表示されます。

④装置用データ作成の終了
装置用データ作成が終わるとき【戻る】ボタンをクリックします。
・【スケジュール設定初期画面】に戻ります。

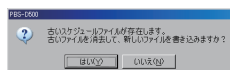
【OK】ボタンをクリックします。
・データの作成を開始します。
・案内メッセージを表示します。

【OK】ボタンをクリックします。
・【スケジュール設定初期画面】に戻ります。
・ハードウェア取り外しの案内メッセージを表示します。

装置用データ作成時の確認画面について

スケジュールデータを作成するとき、USB メモリに以前に作成したスケジュールファイルなどがある場合には、次の様な確認画面が表示されることがあります。案内の指示に従って操作してください。

- ・古いスケジュールファイルがある場合



- 【はい】ボタンをクリックすると、新しいスケジュールファイルに書き換わります。
- 【いいえ】ボタンをクリックすると、【装置用データの作成】画面に戻ります。

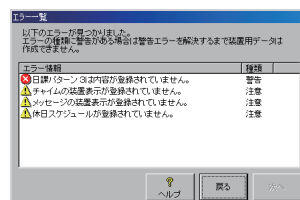
ワンポイント

- USB メモリを接続するドライブ名は、あらかじめ確認しておいてください。
- 作成先ドライブを制御用パソコンのハードディスクなど、USB メモリ以外に指定することもできます。
- チャイムやメッセージの音源も同時に作成する場合は、【音源ファイルの割付】ボタンをクリックして割付画面を開いた状態にしてください。音源の割り付けを行なっても、画面を閉じるとデータの作成ができません。

エラー表示について

作成したデータに不合理があると、エラー一覧として表示されます。

- 警告：この表示があるときは、エラーが解決するまで、装置用データの作成ができません。データを確認してください。
 - 注意：運用上、問題がないか確認してください。問題がなければ【次へ】ボタンをクリックすると装置用データの作成を継続します。
- ・エラー表示例



●音源ファイルの割り付け

外部で録音した音源を、自作チャイムやメッセージに割り付けて装置用データとして作成します。

スケジュールデータを作成しない場合は、スケジュールチェックボックスのチェックを外します。

スケジュールデータと同時に作成する場合は、「スケジュールデータの作成」手順①のあとに以下の操作で行ないます。

◆自作チャイムの作成

①作成先選択

「▼」をクリックして、USBメモリを接続したドライブを指定します。

- ・ドライブ名が表示されない場合は「更新」ボタンをクリックします。

②【音源ファイルの割り付け】画面の呼び出し

「音源ファイルの割り付け」ボタンをクリックします。

- ・【音源ファイルの割り付け】画面を表示します。

③【チャイム】画面の呼び出し

「チャイム」タブをクリックします。

- ・【自作チャイム一覧】画面を表示します。

作成対象

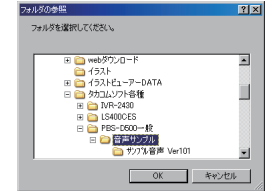
装置用データとして作成されるデータのアイコンを表示します。グレー表示のデータは作成されません。

- ・自作チャイムに音源を割り付けると、チャイムのアイコンが有効となり、ファイル数を表示します。

④音源ファイルフォルダの選択

フォルダアイコンをクリックします。

- ・【フォルダの参照】画面を表示します。



音源が保存されているフォルダを選択して「OK」ボタンをクリックします。

・「音源ファイル一覧」に有効な音源ファイルを表示します。

⑤音源の割り付け

チャイム一覧でチャンネル番号を選択し、音源ファイルで割り付けたい音源を選択して「割り付け」ボタンをクリックします。

・チャイム一覧の「ファイル名／再生時間」欄に、選択した音源のファイル名と再生時間を表示します。

(A) 割り付けの解除

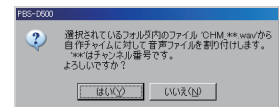
割り付けを解除したいチャンネル番号を選択して、「解除」ボタンをクリックします。

・チャイム一覧の「ファイル名／再生時間」欄の表示が消えます。

(B) 音源の一括割付

複数の音源ファイルを一括して割り付けるときに「一括割付」ボタンをクリックします。

・一括割付の確認画面を表示します。



・「はい」ボタンをクリックします。

※一括割付を行なう場合は、あらかじめ音源のファイル名を「CHM_*.wav」として作成してください。*は自作チャイムのチャンネル番号（ch16～30）です。それぞれ該当のチャンネルに割り付けられます。

総録音時間（標準音質換算の時間）

自作チャイムとメッセージで割り付けた録音合計時間を表示します。録音時間が満杯になると、赤文字で表示します。

【再生／停止】ボタン

チャイムまたはメッセージを再生するときに、該当ファイルをクリックして「▶」ボタンをクリックします。

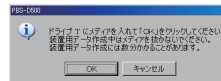
再生を止めるときは「■」ボタンをクリックします。

・再生音量はパソコンのスピーカーボリュームで調整します。

⑥作成

「作成」ボタンをクリックします。

・案内メッセージを表示します。



「OK」ボタンをクリックします。

・データの作成を開始します。

・案内メッセージを表示します。



「OK」ボタンをクリックします。

・【スケジュール設定初期画面】に戻ります。

・ハードウェア取り外しの案内メッセージを表示します。



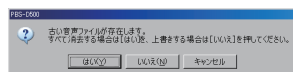
USBメモリが接続されたドライブを選択して「停止」ボタンをクリックします。

・USBメモリが安全に取り外しできます。

装置用データ作成時の確認画面について

音声データを作成するとき、USBメモリに以前に作成した音声ファイルなどがある場合には、次のような確認画面が表示されることがあります。案内の指示に従って操作してください。

・古い音声ファイルがある場合



「はい」ボタンをクリックすると、古い音声ファイルをすべて消去した上で、新しい音声ファイルを作成します。

「いいえ」ボタンをクリックすると、古い音声ファイルは残したまま、新しい音声ファイルを上書きします。

「キャンセル」ボタンをクリックすると、【装置用データの作成】画面に戻ります。

⑦装置用データ作成の終了

登録が終わるとき「戻る」ボタンをクリックします。

・【スケジュール設定初期画面】に戻ります。

◆メッセージの作成

①作成先選択

「▼」をクリックして、USBメモリを接続したドライブを指定します。
・ドライブ名が表示されない場合は「更新」ボタンをクリックします。

②【音源ファイルの割り付け】画面の呼び出し

「音源ファイルの割り付け」ボタンをクリックします。
・「音源ファイルの割り付け」画面を表示します。

総録音時間

（標準音質換算の時間）
自作チャイムとメッセージで割り付けた録音合計時間を表示します。録音時間が満杯になると、赤文字で表示します。

③【メッセージ】画面の呼び出し

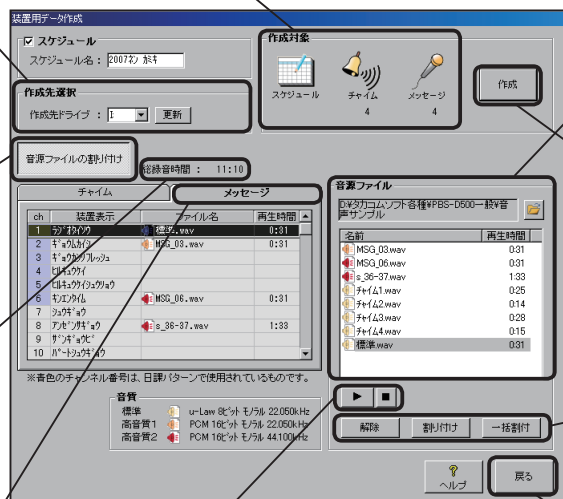
「メッセージ」タブをクリックします。
・「メッセージ一覧」画面を表示します。

【再生/停止】ボタン

チャイムまたはメッセージを再生するときに、該当ファイルをクリックして「▶」ボタンをクリックします。
再生を止めるときは「■」ボタンをクリックします。
・再生音量はパソコンのスピーカーボリュームで調整します。

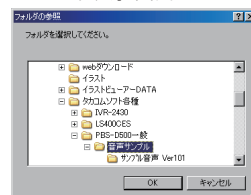
作成対象

装置用データとして作成されるデータのアイコンを表示します。グレー表示のデータは作成されません。
・メッセージに音源を割り付けると、メッセージのアイコンが有効となり、ファイル数を表示します。



④音源ファイルフォルダの選択

フォルダアイコンをクリックします。
・「フォルダの参照」画面を表示します。



音源が保存されているフォルダを選択して「OK」ボタンをクリックします。
・「音源ファイル一覧」に有効な音源ファイルを表示します。

⑤音源の割り付け

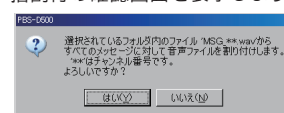
メッセージ一覧でチャンネル番号を選択し、音源ファイルで割り付けたい音源を選択して「割り付け」ボタンをクリックします。
・メッセージ一覧の「ファイル名/再生時間」欄に、選択した音源のファイル名と再生時間を表示します。

(A) 割り付けの解除

割り付けを解除したいチャンネル番号を選択して、「解除」ボタンをクリックします。
・メッセージ一覧の「ファイル名/再生時間」欄の表示が消えます。

(B) 音源の一括割付

複数の音源ファイルを一括して割り付けるときに「一括割付」ボタンをクリックします。
・一括割付の確認画面を表示します。



・「はい」ボタンをクリックします。

※一括割付を行なう場合は、あらかじめ音源のファイル名を「MSG_*.wav」として作成してください。*はメッセージのチャンネル番号 (ch1～99) です。それぞれ該当のチャンネルに割り付けられます。

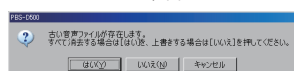
⑦装置用データ作成の終了

登録が終わるとき「戻る」ボタンをクリックします。
・「スケジュール設定初期画面」に戻ります。

装置用データ作成時の確認画面について

音声データを作成するとき、USBメモリに以前に作成した音声ファイルなどがある場合には、次の様な確認画面が表示されることがあります。案内の指示に従って操作してください。

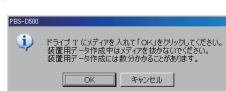
・古い音声ファイルがある場合



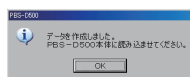
「はい」ボタンをクリックすると、古い音声ファイルをすべて消去した上で、新しい音声ファイルを作成します。
「いいえ」ボタンをクリックすると、古い音声ファイルは残したまま、新しい音声ファイルを上書きします。
「キャンセル」ボタンをクリックすると、「装置用データの作成」画面に戻ります。

⑥作成

「作成」ボタンをクリックします。
・案内メッセージを表示します。



「OK」ボタンをクリックします。
・データの作成を開始します。
・案内メッセージを表示します。



「OK」ボタンをクリックします。
・「スケジュール設定初期画面」に戻ります。
・ハードウェア取り外しの案内メッセージを表示します。



USBメモリが接続されたドライブを選択して「停止」ボタンをクリックします。
・USBメモリが安全に取り外しできます。

ワンポイント

●本システムで使用できる音源ファイルは、次の形式の音源ファイルです。

- ・μ-law 8ビットモノラル 22.050kHz
- ・PCM 16ビットモノラル 22.050kHz
- ・PCM 16ビットモノラル 44.100kHz

本体装置以外で音源を作成する場合は、上記のファイル形式で作成してください。

ネットワーク機能（一般用）

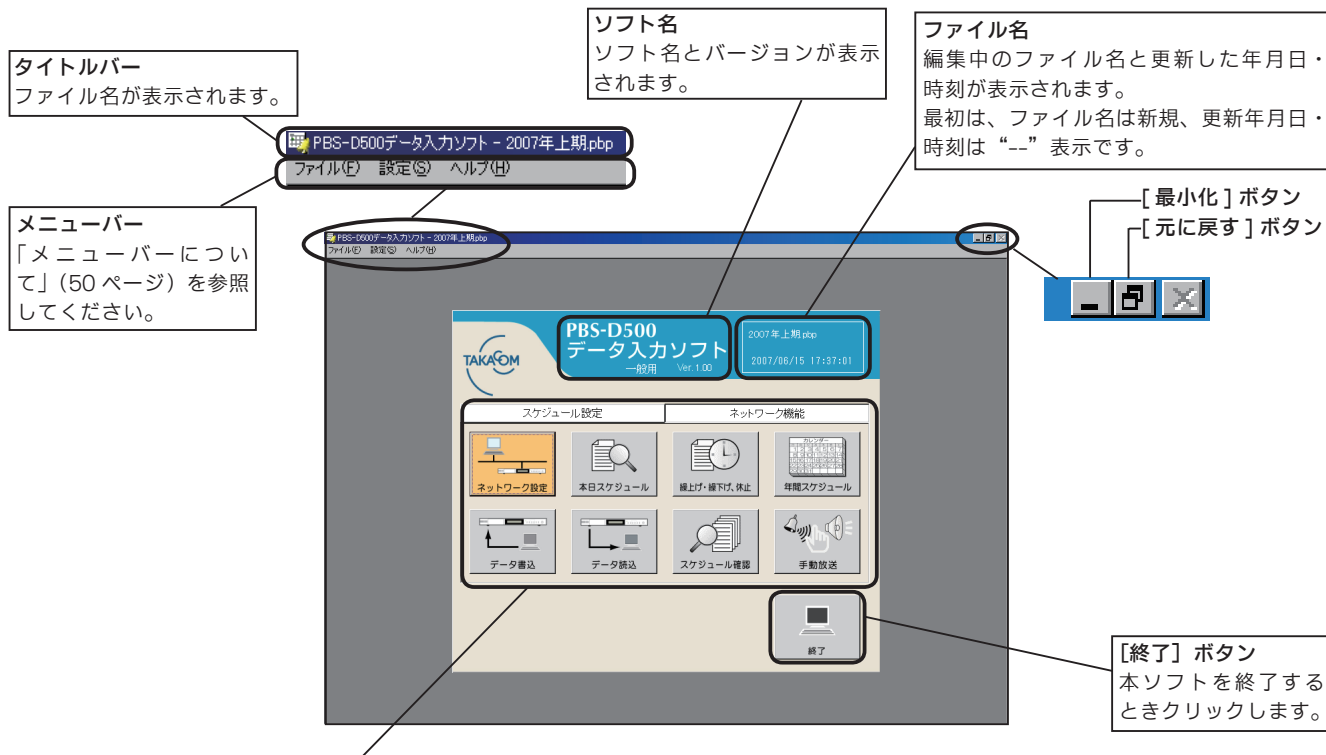
本体装置と制御用パソコンを同じネットワーク（LAN）に接続して、放送スケジュールの臨時変更やデータの転送、自動放送の開始／停止、手動放送などを、制御用パソコンからネットワーク経由で行うことができます。

これらのネットワーク経由の操作は、本体装置が自動放送セット中でも行なうことができます。

■初期画面の構成

【初期画面】で[ネットワーク機能]タブをクリックします。

・【ネットワーク機能初期画面】を表示します。



操作選択ボタン

各操作は、次の操作選択ボタンをクリックすることから始めます。

グレー表示のボタンは、ネットワーク設定で「ネットワーク接続を使用する」に設定すると有効になります。

●【ネットワーク設定】ボタン

ネットワーク機能を「使用する／使用しない」、IP アドレスの登録など、ネットワーク接続の登録画面を呼び出すときにクリックします。

●【本日スケジュール】ボタン

本日スケジュールのステップ変更や、放送時間の繰上げ・繰下げ／休止の登録画面を呼び出すときにクリックします。

●【繰上げ、繰下げ、休止】ボタン

設定済みのスケジュールを、翌日以降の指定した日付単位で「繰上げ、繰下げまたは放送休止」する登録画面を呼び出すときにクリックします。

●【年間スケジュール】ボタン

年間スケジュールで、特定日を登録する画面を呼び出すときにクリックします。

●【データ書込】ボタン

スケジュールやメッセージなどのデータを、制御用パソコンから本体装置へ書き込むときの操作画面を呼び出すときにクリックします。

●【データ読込】ボタン

本体装置に登録されているスケジュールやメッセージなどのデータや、リモート放送の履歴を制御用パソコンに読み込むときの操作画面を呼び出すときにクリックします。

●【スケジュール確認】ボタン

本体装置に登録されているスケジュールを確認するときにクリックします。

●【手動放送】ボタン

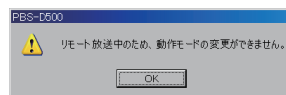
制御用パソコンからネットワーク（LAN）経由で手動放送する操作画面を表示するときにクリックします。

●STOPお願い

●自動放送セット中にネットワーク機能でデータの転送や書き込みを行なうと、自動放送は一旦解除され、転送が終了すると自動的に再セットされます。従って定時放送などの放送中は放送が中断されます。放送中の操作は避けていただくことをお勧めします。

また、転送が終了したときに、本体装置がリモート放送を行なっている場合は、右の表示となり、自動再セットができません。

【自動放送】ボタンをクリックして、再セットしてください。



1. ネットワーク設定の登録

本体装置と制御用パソコンをLAN 接続で使用する場合はネットワーク接続の登録を行ないます。

■登録画面の呼び出し

1. 【ネットワーク機能初期画面】で、[ネットワーク設定] ボタンをクリックします。

・【ネットワーク接続の設定】画面になります。

■登録のしかた

①ネットワーク接続を使用する

チェックボックスをクリックして「ネットワークを使用する」にします。

・接続先ネットワーク情報および[接続テスト] ボタンが有効になります。

②接続先ネットワーク情報

本体装置のIP アドレスを入力します。

通常、ポート番号は変更しないでください。

③登録

[登録] ボタンをクリックすると、【ネットワーク機能初期画面】（下図）を表示します。

・操作選択ボタンは、全てのボタンが有効になります。

④ネットワーク接続設定の終了

ネットワーク接続設定が終わるときに[戻る] ボタンをクリックします。

・【ネットワーク機能初期画面】に戻ります。

接続テスト

[接続テスト] ボタンをクリックすると、本体装置との接続確認ができます。

・接続ができると、次の表示となります。



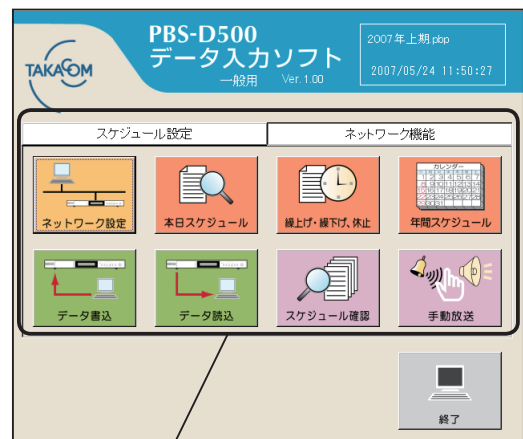
[OK] ボタンをクリックすると、【ネットワーク接続設定】画面に戻ります。

・接続できない場合は、次の表示となります。



[OK] ボタンをクリックすると、【ネットワーク接続設定画面】に戻ります。本体装置の登録などを確認してください。

【ネットワーク機能初期画面】



【操作選択】ボタン

パスワードを設定していないとき、およびマスターパスワードでログインしたときは、全てのボタンが選択できます。

ワンポイント

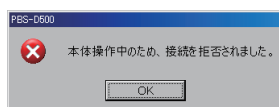
- ネットワーク機能を使用して、本日スケジュールの臨時変更や設定データの転送などを行なう場合、本体装置と接続できるパソコンは1台のみです。同時に2台以上のパソコンで操作することはできません。

・上記の場合でも、別のパソコンから「スケジュール確認」、「LAN 手動放送」の操作はできます。

- ネットワーク機能を使用しない場合は、チェックボックスのチェックを外して[登録] ボタンをクリックします。[ネットワーク設定] ボタン以外の操作選択ボタンがグレー表示の【ネットワーク機能初期画面】になります。

ワンポイント

- 本体装置で操作中は、「ネットワーク設定」以外のネットワーク機能は操作できません。[操作選択] ボタンをクリックすると、次の画面を表示します。



LAN 接続中の本体装置の表示

LAN 接続でご使用の場合、制御用パソコンでの操作により本体装置に次のように表示される場合があります。このときは、本体装置での操作はできません。

＜LAN セッティング中＞
本機はLANに接続されています

ただし、自動放送およびリモート放送は動作します。

2. 本日スケジュールの変更登録

制御用パソコンからネットワーク（LAN）経由で本日のスケジュール変更ができます。本日スケジュール変更には「定時放送ステップの変更」、「BGM／間隔放送の変更」、「定時放送 繰上げ・繰下げ／休止の変更」の3種類があります。

■登録画面の呼び出し

1. 【ネットワーク機能初期画面】で、[本日スケジュール] ボタンをクリックします。

・本体装置と接続して、【本日スケジュール】の変更登録画面になります。（本体装置内の本日のスケジュールを表示します。）

■変更登録のしかた

●定時放送ステップの変更

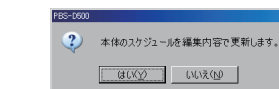
【本体操作パネル】画面
パネル上のボタンをクリックして、
本体装置を操作します。

①定時放送画面の呼び出し
[定時放送] タブをクリックします。
・定時放送のスケジュール画面になります。

②ステップ変更画面の呼び出し
[ステップ変更] タブをクリックします。
・ステップ変更画面になります。

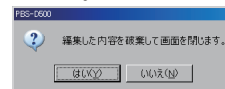
③放送内容の変更
定時放送の登録・修正・削除（60ページ）と同じ方法で変更します。
・コメントの変更はできません。
・定時放送一覧に変更した内容を表示します。

④転送
変更内容に間違いがないことを確認して、[転送] ボタンをクリックします。
・確認画面を表示します。

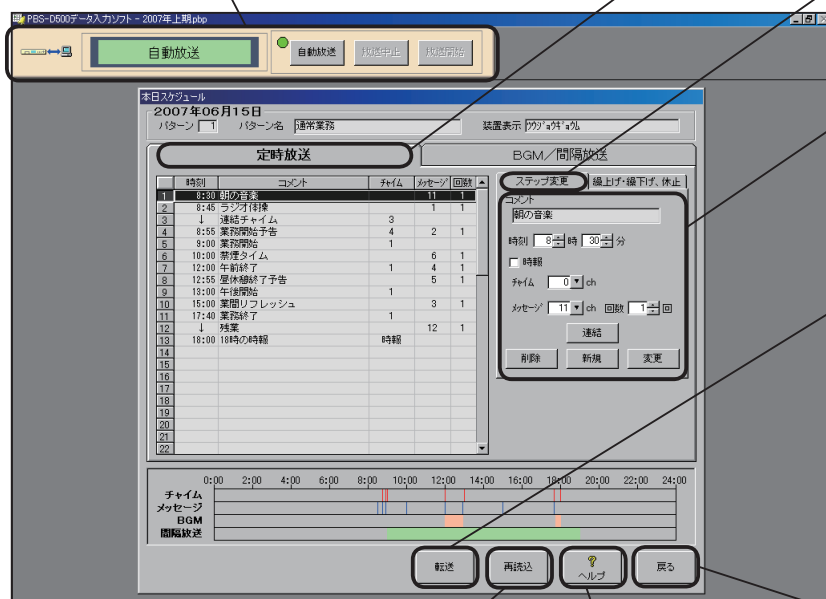


・[はい] ボタンをクリックすると、
変更したデータが本体装置に転送
されます。

⑤変更登録の終了
変更登録が終わるとき [戻る] ボタンをクリックします。
・【ネットワーク機能初期画面】に戻ります。
・本体装置に変更データを転送する前にクリックすると、確認画面を表示します。



[はい] ボタンをクリックすると、変更した内容をキャンセルして【ネットワーク機能初期画面】に戻ります。



[再読み込み] ボタン
本体装置のデータを読み込む
ときにクリックします。

[ヘルプ] ボタン
クリックすると、電子ファイル(PDF)
の取扱説明書が表示されます。

変更されたパターンには、“*”が付きます。

パターン 1*

変更された内容が表示
されます。
・コメント欄は空欄にな
ります。

転送後の【本日スケジュール】画面



— 本日スケジュール変更時の本体装置の表示 —

ネットワークで本日スケジュールの変更を行なうと、本体装置のパターン番号は、LANと表示します。

《本日スケジュール確認時の例》

2007/ 7/ 9 MON LAN
[LANスケジュール]

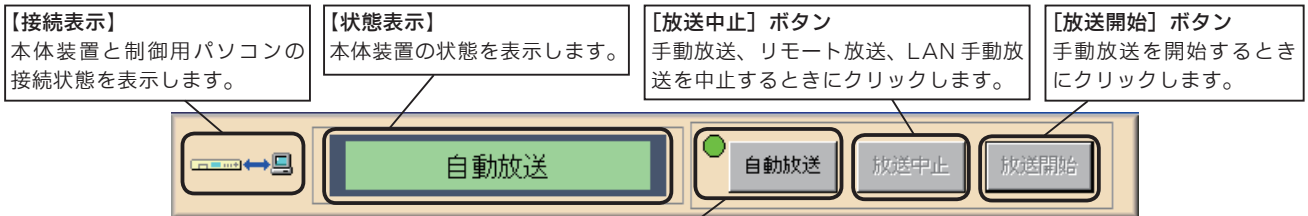
《自動放送中の例》

7/ 9 MON 13:45:08 LAN
15:00 CHM 2, MSG10(1)

本体操作パネル画面について

【ネットワーク機能初期画面】の【ネットワーク設定】ボタン以外の操作ボタンをクリックすると、次の【本体操作パネル】画面を表示します。

※スケジュール確認のときは、【本体操作パネル】画面はグレー表示となります。

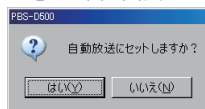


【自動放送】ボタン・ランプ

自動放送を開始／停止するときをクリックします。

●自動放送の開始

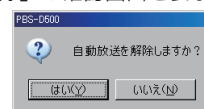
- ①待機中に【自動放送】ボタンをクリックします。
・「自動放送セット」の確認画面を表示します。



- ②【はい】ボタンをクリックすると自動放送を開始します。
・自動放送ランプが緑色に変わり、状態表示に【自動放送】と表示します。

●自動放送の停止

- ①自動放送中に【自動放送】ボタンをクリックします。
・「自動放送解除」の確認画面を表示します。



- ②【はい】ボタンをクリックすると自動放送を停止します。
・自動放送ランプが黒色に変わります。

●BGM/ 間隔放送の変更



① BGM / 間隔放送画面の呼び出し

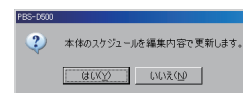
- 【BGM / 間隔放送】タブをクリックします。
・BGM / 間隔放送のスケジュール画面になります。

② 放送内容の変更

- BGM / 間隔放送の登録・修正・削除（62、63 ページ）と同じ方法で変更します。
・コメントの変更はできません。
・BGM / 間隔放送一覧に変更した内容を表示します。

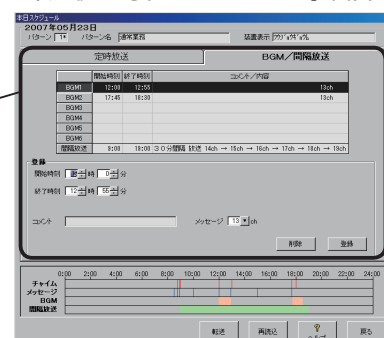
③ 転送

- 変更内容に間違いがないことを確認して、【転送】ボタンをクリックします。
・確認画面を表示します。



- ・【はい】ボタンをクリックすると、変更したデータが本体装置に転送されます。

転送後の【本日スケジュール】画面



- 変更された内容が表示されます。
・コメント欄は空欄になります。

ネットワーク機能（一般用）

● 定時放送（繰上げ・繰下げ、休止の変更）

放送時間の繰上げ・繰下げおよび放送休止の変更は、定時放送およびBGM／間隔放送の両方に適用されます。

① 定時放送画面の呼び出し

- 「定時放送」タブをクリックします。
- ・定時放送のスケジュール画面になります。



② 繰上げ・繰下げ、休止画面の呼び出し

- 「繰上げ・繰下げ、休止」タブをクリックします。

③ 時刻の指定

- 《時刻》ボックスへ、繰上げ・繰下げ、休止を開始する時刻を入力します。
- ・「▲／▼」ボタンをクリックして、指定することもできます。
- ・時刻は24時間制で入力します。

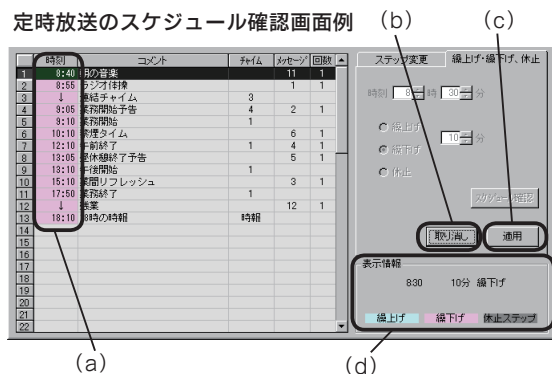
④ 繰上げ・繰下げ、休止の指定

- 繰上げ／繰下げ／休止いずれかのオプションボタンをクリックします。
- 繰上げ・繰下げの場合は、その時間を入力します。
- ・「▲／▼」ボタンをクリックして、指定することもできます。
- ・時間は1～60分の範囲で入力できます。

⑤ スケジュールの確認

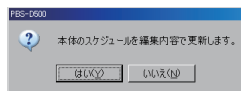
- 「スケジュール確認」ボタンをクリックすると、繰上げ、繰下げまたは休止を行なったスケジュールの確認ができます。

- (a) 繰上げまたは繰下げされた時刻を表示します。
- ・休止の場合は、該当のステップが網掛けになります。



⑥ 転送

- 変更内容に間違いがないことを確認して、「転送」ボタンをクリックします。
- ・確認画面を表示します。



- ・「はい」ボタンをクリックすると、変更したデータが本体装置に転送されます。

休止のスケジュール確認画面例

《スケジュール確認したとき》



休止のステップが網掛けになります。

《「適用」ボタンをクリックしたとき》



休止のステップは表示されません。

(b) 「取り消し」ボタン

- ・設定を取り消して、繰上げ・繰下げ、休止画面に戻ります。

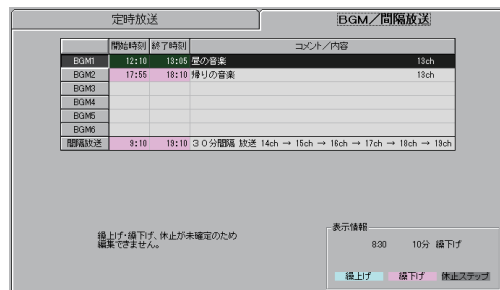
(c) 「適用」ボタン

- ・設定を適用して、繰上げ・繰下げ、休止画面に戻ります。

(d) 表示情報

- ・定時放送一覧に表示されている、スケジュールの情報を表します。

BGM／間隔放送のスケジュール確認画面例



ワンポイント

- BGM／間隔放送の「開始時刻」または「終了時刻」が休止の時間帯に重なる場合は、休止時間帯での放送は行ないません。
- 「装置設定 時刻の最小単位」を「秒」でご使用の場合は、繰上げ・繰下げはできません。

3. 繰上げ・繰下げ、休止の変更登録

制御用パソコンからネットワーク（LAN）経由で、翌日以降の放送スケジュールの繰上げ・繰下げ、休止の変更ができます。

■登録画面の呼び出し

1. 【ネットワーク機能初期画面】で、[繰上げ・繰下げ、休止] ボタンをクリックします。

・本体装置と接続して、[繰上げ・繰下げ、休止] の変更登録画面になります。（本体装置内の繰上げ・繰下げ／休止内容を表示します。）

■変更登録のしかた

●繰上げ・繰下げの変更登録

①繰上げ・繰下げ変更画面の呼び出し
[繰上げ・繰下げ] タブをクリックします。
・繰上げ・繰下げ変更画面になります。

繰上げ・繰下げ一覧
繰上げまたは繰下げする日付・時刻・時間（分）などを表示します。
・繰上げ・繰下げの変更は、10日間まで登録できます。

②登録行の指定
繰上げ・繰下げ一覧で空欄をクリックします。

繰上げ・繰下げ、休止

繰上げ・繰下げ

休止

変更

日付 2007年 5月 31日

時刻 0時 0分

繰上げ 繰下げ

10分

スケジュール参照

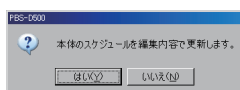
削除 登録

転送 再読込 ヘルプ 戻る

[削除] ボタン

⑧転送

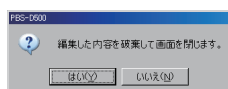
変更内容に間違いがないことを確認して、[転送] ボタンをクリックします。
・確認画面を表示します。



・[はい] ボタンをクリックすると、変更したデータが本体装置に転送されます。

⑨変更登録の終了

変更登録を終わるとき [戻る] ボタンをクリックします。
・【ネットワーク機能初期画面】に戻ります。
・本体装置に変更データを転送する前にクリックすると、確認画面を表示します。



[はい] ボタンをクリックすると、変更した内容をキャンセルして【ネットワーク機能初期画面】に戻ります。

●繰上げ・繰下げ登録を削除するには

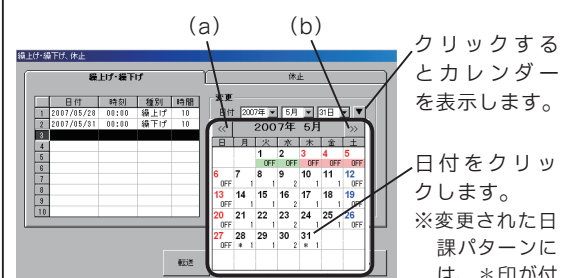
1. 繰上げ・繰下げ一覧の、削除したい日付を選びます。
2. [削除] ボタンをクリックします。
3. 【選択行を削除しますか?】と表示されます。
[はい] ボタンをクリックします。
・繰上げ・繰下げ一覧から削除されます。
4. [転送] ボタンをクリックします。

③日付の指定

《日付》ボックスへ、変更する日付（年、月、日）を入力します。

- ・翌日以降の日付が入力できます。
- ・年、月、日の各 [▼] ボタンをクリックして、表示されるリストから指定することもできます。

日付指定欄右端の [▼] ボタンをクリックしてカレンダーを表示し、日付を指定することもできます。



(a) [◀] ボタン

・クリックすると表示月が戻ります。

(b) [▶] ボタン

・クリックすると表示月が進みます。

④時刻の入力

《時刻》ボックスへ、変更を開始する時刻を入力します。
・[▲/▼] ボタンをクリックして、指定することもできます。
・時刻は 24 時間制で入力します。

⑤繰上げ・繰下げ時間の入力

繰上げまたは繰下げ、いずれかのオプションボタンをクリックして、その時間を入力します。
・[▲/▼] ボタンをクリックして、指定することもできます。
・時間は 1～60 分の範囲で入力できます。

⑥スケジュール参照

[スケジュール参照] ボタンをクリックすると、該当日の変更後の放送スケジュールが確認できます。

・[定時放送] [BGM / 間隔放送] タブで画面を切替えて確認します。



⑦登録

[登録] ボタンをクリックすると、繰上げ・繰下げ一覧に登録した内容が表示されます。
・続けて登録するときは、②～⑦を繰り返します。

ワンポイント

- 「装置設定 時刻の最小単位」を「秒」でご使用の場合は、繰上げ・繰下げはできません。

●休止の変更登録

休止登録一覧
放送を休止する日付・時刻を表示します。
・放送休止は、10日間まで登録できます。

①休止登録画面の呼び出し
[休止] タブをクリックします。
・休止登録画面になります。

②登録行の指定
休止登録一覧で空欄をクリックします。

③日付の指定
《日付》ボックスへ、放送休止する日付（年、月、日）を入力します。
・翌日以降の日付が入力できます。
・年、月、日の各 [▼] ボタンをクリックして、表示されるリストから指定することもできます。

日付指定欄右端の [▼] ボタンをクリックしてカレンダーを表示し、日付を指定することもできます。

(a) [《】 ボタン
・クリックすると表示月が戻ります。

(b) [《】 ボタン
・クリックすると表示月が進みます。

クリックするとカレンダーを表示します。
日付をクリックします。
※変更された日課パターンには、*印が付きます。

④時刻の入力
《時刻》ボックスへ、休止を開始する時刻を入力します。
・[▲/▼]ボタンをクリックして、指定することもできます。
・時刻は24時間制で入力します。

⑤スケジュール参照
[スケジュール参照] ボタンをクリックすると、該当日の放送休止のスケジュールが確認できます。

・[定時放送] [BGM / 間隔放送] タブで画面を切替えて確認します。

⑥登録
[登録] ボタンをクリックすると、休止登録一覧に登録した内容が表示されます。
・続けて登録するときは、②～⑥を繰り返します。

⑦転送
変更内容に間違いがないことを確認して、[転送] ボタンをクリックします。
・確認画面を表示します。

・[はい] ボタンをクリックすると、変更したデータが本体装置に転送されます。

⑧変更登録の終了
変更登録が終わるとき [戻る] ボタンをクリックします。
・[ネットワーク機能初期画面] に戻ります。
・本体装置に変更データを転送する前にクリックすると、確認画面を表示します。

[はい] ボタンをクリックすると、変更した内容をキャンセルして [ネットワーク機能初期画面] に戻ります。

●休止登録を削除するには

1. 休止登録一覧の、削除したい日付を選びます。
2. [削除] ボタンをクリックします。
3. 【選択行を削除しますか?】と表示されます。
[はい] ボタンをクリックします。
・休止登録一覧から削除されます。
4. [転送] ボタンをクリックします。

— 繰上げ・繰下げ、休止変更時の本体装置の表示 —

ネットワークで繰上げ・繰下げ、休止の変更を行なうと、本体装置の該当日のパターン番号にマークが付きます。
《年間スケジュール確認時の例》

2007/ 7/ 9 MON *PT 1
[*****]

スケジュール変更マーク

4. 年間スケジュールの変更登録

制御用パソコンからネットワーク（LAN）経由で年間スケジュールの特定日の変更ができます。

■登録画面の呼び出し

1. 【ネットワーク機能初期画面】で、[年間スケジュール] ボタンをクリックします。
・本体装置と接続して、[年間スケジュール] の特定日変更登録画面になります。（本体装置内の特定日カレンダーを表示します。）

■変更登録のしかた

登録方法は、「スケジュール設定 3. 年間スケジュールの登録 3-5. 特定日スケジュールの登録」（69 ページ）と同じです。

①カレンダー選択
カレンダーを選択します。

[曜日] ボタン

[全て削除] ボタン

②登録
[登録] ボタンをクリックします。
・年間カレンダーの日付をポイントすると、鉛筆のアイコンが表示されます。

[削除] ボタン

《コメント》ボックス
コメントを登録しておく
* 該当特定日をポイントすると、登録したコメントがポップアップ表示されます。
* スケジュール確認画面のコメント欄に、登録したコメントが表示されます。
1. チェックボックスをクリックして「✓」印を付けます。
2. 《コメント》ボックスへコメントを入力します。
・[▼] ボタンをクリックして、リストの中から指定することもできます。

●特定日スケジュールを削除するには

1. 「登録のしかた」の手順①と同じ操作で、特定日スケジュールを削除したいカレンダーを選びます。
2. 日課パターン一覧表の、[削除] ボタンをクリックします。
・年間カレンダーの日付をポイントすると、消しゴムのアイコンが表示されます。
3. 削除したいカレンダーの日付をクリックします。
・特定日スケジュールが削除され、通年のスケジュールで登録した日課パターン番号が表示されます。

●全ての特定日スケジュールを削除するには

1. [全て削除] ボタンをクリックします。
2. [削除しますか？ 削除すると登録されている全ての特定日スケジュールが削除されます。] と表示されます。
[はい] ボタンをクリックします。
・全ての特定日スケジュールが削除され、通年のスケジュールで登録した日課パターン番号が表示されます。



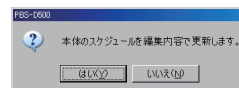
ワンポイント

- 本日スケジュールの変更登録、繰上げ・繰下げ／休止の変更登録によって変更された日課パターンには、番号の前に*印が付いて表示されます。（例：*1、*2）
- 変更されている日課パターンの中、本日分については特定日を登録することで元の日課パターンに戻ります。

- ③パターン番号の指定
登録する日課パターン番号をクリックします。
・反転表示になります。

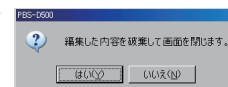
- ④パターン番号の登録
該当の日付をクリックします。
・続けて登録するときは、①～④を繰り返します。
登録のしかたは、個々に登録する以外に次の方法があります。
* [曜日] ボタンをクリックすると、その月の同じ曜日に同じ日課パターンを登録します。
* ドラッグすると、その範囲に同じ日課パターンを登録します。
削除も同様にできます。

- ⑤転送
変更内容に間違いがないことを確認して、[転送] ボタンをクリックします。
・確認画面を表示します。



- ・[はい] ボタンをクリックすると、変更したデータが本体装置に転送されます。

- ⑥変更登録の終了
変更登録を終わるとき [戻る] ボタンをクリックします。
・【ネットワーク機能初期画面】に戻ります。
・本体装置に変更データを転送する前にクリックすると、確認画面を表示します。



- [はい] ボタンをクリックすると、変更した内容をキャンセルして【ネットワーク機能初期画面】に戻ります。

5. 装置用データの書き込み

本ソフトで作成したスケジュールなどの装置用データを、ネットワーク（LAN）経由で本体装置に書き込みできます。

■データ書き込み画面の呼び出し

1. 【ネットワーク機能初期画面】で、[データ書込] ボタンをクリックします。
・ 本体装置と接続して、【装置用データ書込】画面になります。（編集中のスケジュール内容を表示します。）

■書き込みのしかた

●スケジュールデータの書き込み

①スケジュール名の登録

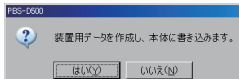
スケジュールチェックボックスをクリックしてチェックを付け、スケジュール名を入力します。
・ スケジュール名は、半角英数字で15文字まで入力できます。

書込対象

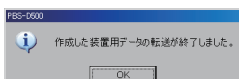
本体装置に書き込むデータのアイコンを表示します。グレー表示のデータは書き込みません。
・ スケジュールチェックボックスをチェックすると、スケジュールのアイコンが有効表示します。

②書き込み

[書込]ボタンをクリックします。
・ 確認メッセージを表示します。



[はい]ボタンをクリックします。
・ データの書き込みを開始します。
・ 書き込みを終了すると、案内メッセージを表示します。



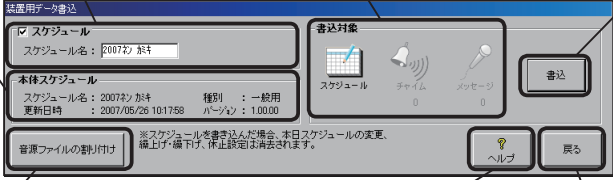
[OK] ボタンをクリックします。
・ 【装置用データ書込】画面に戻ります。
・ 本体スケジュールの表示は、新しく書き込んだスケジュールの情報を表示します。

③装置用データ書込の終了

装置用データの書き込みを終了するとき [戻る] ボタンをクリックします。
・ 【ネットワーク機能初期画面】に戻ります。

本体スケジュール

本体装置に登録されているスケジュール名、更新日時などが表示されます。



※スケジュールを書き込んだ場合、本日スケジュールの変更、繰上げ・繰下げ、停止設定は消去されます。

[音源ファイルの割り付け] ボタン

外部音源を自作チャイムやメッセージに割り付けるときクリックします。

[ヘルプ] ボタン

クリックすると、電子ファイル（PDF）の取扱説明書が表示されます。

ワンポイント

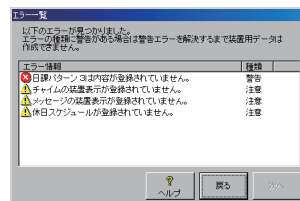
- スケジュールデータを書き込みしたときは、本体装置に設定されている「本日スケジュールの変更登録」、「繰上げ・繰下げ／休止の変更登録」は、全て消去されます。変更が必要な場合は、再度、変更登録してください。

エラー表示について

作成したデータに不合理があると、エラー一覧として表示されます。

- 警告：この表示があるときは、エラーが解決するまで、装置用データの作成ができません。データを確認してください。
- 注意：運用上、問題がないか確認してください。問題がなければ [次へ] ボタンをクリックすると装置用データの作成を継続します。

・ エラー表示例



●音源ファイルの割り付け

外部で録音した音源を、自作チャイムやメッセージに割り付けて本体装置に書き込みます。

スケジュールデータを書き込みしない場合は、スケジュールチェックボックスのチェックを外します。

スケジュールデータと同時に書き込みする場合は、「スケジュールデータの書き込み」手順①のあとに以下の操作で行ないます。

◆自作チャイムの書き込み

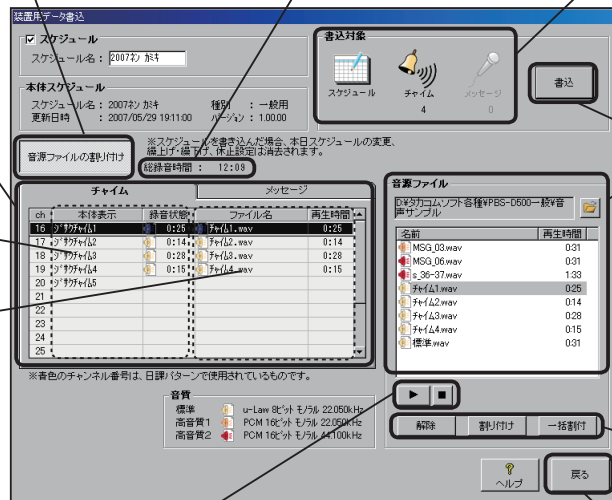
- ①【音源ファイルの割り付け】画面の呼び出し
「音源ファイルの割り付け」ボタンをクリックします。
・【音源ファイルの割り付け】画面を表示します。

総録音時間（標準音質換算の時間）
本体装置内の自作チャイムとメッセージの合計時間を表示します。
・外部音源のチャイムを割り付けしたときは、その録音時間で計算されます。録音時間が満杯になると、赤字で表示します。

書込対象
本体装置に書き込むデータのアイコンを表示します。グレー表示のデータは書き込みません。
・自作チャイムに音源を割り付けると、チャイムのアイコンが有効となり、ファイル数を表示します。

- ②【チャイム】画面の呼び出し
「チャイム」タブをクリックします。
・【チャイム一覧】画面を表示します。

- 本体装置内の自作チャイム情報
割り付けした外部音源のチャイム情報

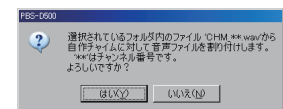


- ③音源ファイルフォルダの選択
フォルダアイコンをクリックします。
・【フォルダの参照】画面を表示します。
音源が保存されているフォルダを選択して【OK】ボタンをクリックします。
・「音源ファイル一覧」に有効な音源ファイルを表示します。

- ④音源の割り付け
チャイム一覧でチャンネル番号を選択し、音源ファイルで割り付けたい音源を選択して【割り付け】ボタンをクリックします。
・チャイム一覧の「ファイル名／再生時間」欄に、選択した音源のファイル名と再生時間を表示します。

- (A) 割り付けの解除
割り付けを解除したいチャンネル番号を選択して、【解除】ボタンをクリックします。
・チャイム一覧の「ファイル名／再生時間」欄の表示が消えます。

- (B) 音源の一括割り付け
複数の音源ファイルを一括して割り付けるときに【一括割り付け】ボタンをクリックします。
・一括割り付けの確認画面を表示します。

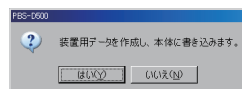


- ・【はい】ボタンをクリックします。

※一括割り付けを行なう場合は、あらかじめ音源のファイル名を「CHM_*.wav」として作成してください。*は自作チャイムのチャンネル番号（ch16～30）です。それぞれ該当のチャンネルに割り付けされます。

- 【再生／停止】ボタン
チャイムまたはメッセージを再生するときに、該当ファイルをクリックして【▶】ボタンをクリックします。
再生を止めるときは【■】ボタンをクリックします。
・再生音量はパソコンのスピーカーボリュームで調整します。

- ⑤書き込み
【書込】ボタンをクリックします。
・確認メッセージを表示します。



- 【はい】ボタンをクリックします。
・データの書き込みを開始します。
・書き込みを終了すると、案内メッセージを表示します。



- 【OK】ボタンをクリックします。
・【装置用データ書込】画面に戻ります。
・本体表示の録音状態は、割り付けた音源の録音時間になります。
・総録音時間が再計算されて表示されます。

ワンポイント

- 録音時間が満杯の状態、【書込】ボタンをクリックすると、「作成音声の総録音時間が60分を超えています。」と表示されて、書き込みができません。

- ⑥自作チャイム書込の終了
自作チャイムの書き込みを終了するとき【戻る】ボタンをクリックします。
・【ネットワーク機能初期画面】に戻ります。

◆メッセージの書き込み

- ①【音源ファイルの割り付け】画面の呼び出し
 [音源ファイルの割り付け] ボタンをクリックします。
 ・[音源ファイルの割り付け] 画面を表示します。

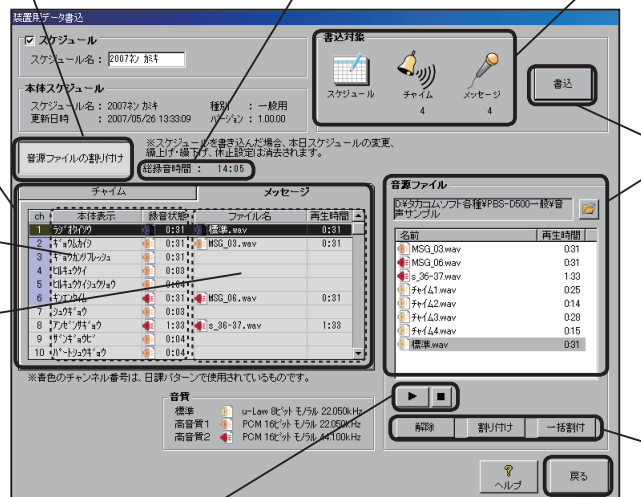
総録音時間（標準音質換算の時間）
 本体装置内の自作チャイムとメッセージの合計時間を表示します。
 ・外部音源のメッセージを割り付けしたときは、その録音時間で計算されます。録音時間が満杯になると、赤字で表示します。

書込対象

本体装置に書き込むデータのアイコンを表示します。グレー表示のデータは書き込みません。
 ・メッセージに音源を割り付けると、メッセージのアイコンが有効となり、ファイル数を表示します。

- ②【メッセージ】画面の呼び出し
 [メッセージ] タブをクリックします。
 ・【メッセージ一覧】画面を表示します。

本体装置内のメッセージ情報
 割り付けた外部音源のメッセージ情報



- ③音源ファイルフォルダの選択
 フォルダアイコンをクリックします。
 ・【フォルダの参照】画面を表示します。
 音源が保存されているフォルダを選択して [OK] ボタンをクリックします。
 ・「音源ファイル一覧」に有効な音源ファイルを表示します。

④音源の割り付け

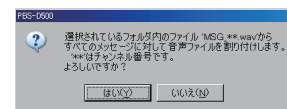
メッセージ一覧でチャンネル番号を選択し、音源ファイルで割り付けたい音源を選択して [割り付け] ボタンをクリックします。
 ・メッセージ一覧の「ファイル名/再生時間」欄に、選択した音源のファイル名と再生時間を表示します。

(A) 割り付けの解除

割り付けを解除したいチャンネル番号を選択して、[解除] ボタンをクリックします。
 ・メッセージ一覧の「ファイル名/再生時間」欄の表示が消えます。

(B) 音源の一括割り付

複数の音源ファイルを一括して割り付けるときに [一括割り付] ボタンをクリックします。
 ・一括割り付の確認画面を表示します。



・[はい] ボタンをクリックします。

※一括割り付を行なう場合は、あらかじめ音源のファイル名を「MSG_*.wav」として作成してください。*はメッセージのチャンネル番号（ch1～99）です。それぞれ該当のチャンネルに割り付けされます。

⑥メッセージ書込の終了

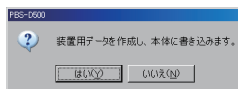
メッセージの書き込みを終わるとき [戻る] ボタンをクリックします。
 ・【ネットワーク機能初期画面】に戻ります。

【再生/停止】ボタン

チャイムまたはメッセージを再生するときに、該当ファイルをクリックして [▶] ボタンをクリックします。
 再生を止めるときは [■] ボタンをクリックします。
 ・再生音量はパソコンのスピーカーボリュームで調整します。

⑤書き込み

[書込] ボタンをクリックします。
 ・確認メッセージを表示します。



[はい] ボタンをクリックします。
 ・データの書き込みを開始します。
 ・書き込みを終了すると、案内メッセージを表示します。



[OK] ボタンをクリックします。
 ・【装置用データ書込】画面に戻ります。
 ・本体表示の録音状態は、割り付けた音源の録音時間に変わります。
 ・総録音時間が再計算されて表示されます。

ワンポイント

- 本システムで利用できる音源ファイルは、次の形式の音源ファイルです。
 - ・μ-law 8 ビットモノラル 22.050kHz
 - ・PCM 16 ビットモノラル 22.050kHz
 - ・PCM 16 ビットモノラル 44.100kHz
 本体装置以外で音源を作成する場合は、上記のファイル形式で作成してください。
- 録音時間が満杯の状態、[書込] ボタンをクリックすると、「作成音声の総録音時間が 60 分を超えています。」と表示されて、書き込みができません。

6. データの読み込み

本体装置内のスケジュールデータや音源ファイル、および本体装置でリモート放送を行なった履歴（CSV形式のファイル）などを、ネットワーク（LAN）経由で制御用パソコンに読み込みできます。

■データ読み込み画面の呼び出し

1. 【ネットワーク機能初期画面】で、[データ読込] ボタンをクリックします。

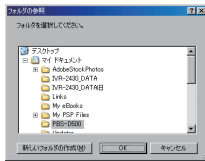
・本体装置と接続して、[データ読込] 画面になります。（本体装置内のスケジュール、チャイム、メッセージ情報を表示します。）

■読み込みのしかた

①保存先の指定

[保存先指定] ボタンをクリックして、本体装置データを保存するフォルダを指定します。

- ・表示される【フォルダの参照】画面で指定します。



読み込対象

読み込みするデータのアイコンを表示します。

- ・チャイム、メッセージは選択されたファイル数を表示します。
- ・選択されていないデータのアイコンは、グレー表示になります。

[全選択/選択反転/全解除] ボタン

[全選択] : クリックすると、表示されている全てのファイルが選択されてチェックが付きます。

[選択反転] : クリックすると、選択ファイルと否選択ファイルが入れ替わります。

[全解除] : クリックすると、選択されている全てのファイルの選択が解除されてチェックが外れます。

②スケジュールの選択

スケジュールデータを読み込む場合は、スケジュールチェックボックスをクリックしてチェックを付けます。

- ・スケジュール名、更新日時などが表示されています。

③チャイム、メッセージの選択

読み込みする自作チャイムおよびメッセージの選択欄をクリックしてチェックを付けます。

- ・チェックを外すときは、もう一度クリックします。
- ・[全選択/選択反転/全解除] ボタンで選択することもできます。

④リモート放送履歴の選択

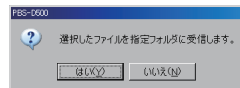
リモート放送の履歴を読み込む場合は、チェックボックスをクリックしてチェックを付けます。

- ・必要であればファイル名を変更します。

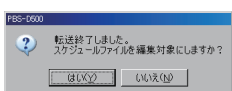
⑤読み込み

選択した内容に間違いがないことを確認して、[読込] ボタンをクリックします。

- ・確認画面を表示します。



- ・[はい] ボタンをクリックすると、データが指定したフォルダに読み込まれます。
- ・読み込みが終了すると、編集対象に「する/しない」の確認画面を表示します。



- ・[はい] ボタンをクリックすると、読み込んだファイルが本ソフトで開かれ、編集ができます。
- ・[いいえ] ボタンをクリックした場合は、あとで保存フォルダからファイルを開いて編集します。



[ログ消去] ボタン

[ヘルプ] ボタン

クリックすると、電子ファイル (PDF) の取扱説明書が表示されます。

⑥データ読込の終了

データの読み込みを終わるとき [戻る] ボタンをクリックします。

- ・【ネットワーク機能初期画面】に戻ります。

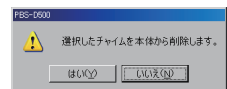
[再生/停止] ボタン

[削除] ボタン

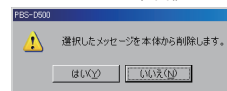
本体装置内の自作チャイムまたはメッセージを削除するときに、該当ファイルをクリックして [削除] ボタンをクリックします。

- ・確認画面を表示します。

《チャイム削除の場合》



《メッセージ削除の場合》



- ・[はい] ボタンをクリックすると、録音は消去され、チャイム、メッセージ一覧から削除されます。

ワンポイント

- リモート放送履歴を読み込むときに、本体装置でリモート放送がない場合は、[読込] ボタンをクリックすると、次の画面を表示します。



●読み込んだチャイム、メッセージを再生するには

チャイムおよびメッセージを選択して読み込みを終了すると、[再生/停止] ボタンが有効になります。
再生したいファイルをクリックして [▶] ボタンをクリックすると再生が始まります。
再生を止めるときは [■] ボタンをクリックします。
・再生音量はパソコンのスピーカボリュームで調整します。

●リモート放送履歴を確認するには

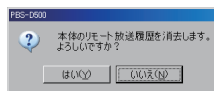
読み込まれたリモート放送履歴は、指定した保存先に CSV 形式のファイルで、次のように書き込まれます。
・ファイル名：REMOTE.CSV
※ファイル名は、保存時に変更できます。
リモート放送履歴は、表計算ソフトで確認できます。

《リモート放送履歴の例》

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1	放送開始日	放送開始時刻	リモート番号	開始チャイム	メッセージ	送出回数	終了チャイム	要求元	結果
2	2007/5/18	17:12:03	1	1	1	1	0	リモート端子	放送
3	2007/5/21	17:32:12	1	1	1	1	0	リモート端子	放送

●リモート放送履歴を消去するには

リモート放送履歴は、本体装置に 100 件まで記録され、以後は古い履歴から削除されます。
ネットワークで読み込みしても消去されません。消去するには、[ログ消去] ボタンをクリックします。



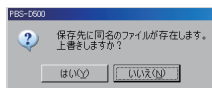
- ・[はい] ボタンをクリックすると、本体装置内のリモート放送履歴は全て消去されます。

ワンポイント

- 本体装置から読み込まれたチャイムおよびメッセージは、Wave ファイルとして指定したフォルダに保存されます。
ファイル名は、自動的に各チャンネル番号により次のように付けられます。
・チャイム : CHM_**.wav
(** はチャンネル番号 16 ~ 30)
・メッセージ : MSG_**.wav
(** はチャンネル番号 01 ~ 99)
- 「データ読み込み」で読み込んだチャイムおよびメッセージは、そのときの【データ読み込み】画面を開いている間のみ再生ができます。

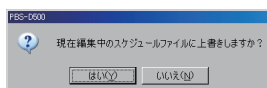
データ読み込み時の確認画面について

データを読み込むとき、保存先フォルダに以前に作成したファイルがある場合には、次の様な確認画面が表示されます。



- ・[はい] ボタンをクリックすると、ファイルを上書きしてデータを読み込みます。
- ・[いいえ] ボタンをクリックすると、データ読み込みを中止します。保存先を変更してください。

スケジュールデータを読み込むとき、現在編集集中のスケジュールの場合には、次の様な確認画面が表示されます。



- ・[はい] ボタンをクリックすると、ファイルを上書きしてデータを読み込みます。
- ・[いいえ] ボタンをクリックすると、データ読み込みを中止します。保存先を変更してください。

7. スケジュール確認

制御用パソコンからネットワーク（LAN）経由で本日スケジュールの確認ができます。この画面では、スケジュールの変更などの操作はできません。

■ 確認画面の呼び出し

1. 【ネットワーク機能初期画面】で、[スケジュール確認] ボタンをクリックします。
・【スケジュール確認】画面になります。

■ 確認のしかた

● 定時放送の確認

- ① 【定時放送画面】の呼び出し
[定時放送] タブをクリックします。
・定時放送の登録画面になります。

定時放送一覧
本日の放送スケジュールが表示されます。
・スクロールバーで画面をスクロールして確認できます。

放送タイムチャート
放送時刻がタイムチャートで表示されます。



日課パターン情報表示欄

日付、パターン番号、パターン名、装置表示名が表示されます。

[再読み込み] ボタン
クリックすると最新の
情報に更新されます。

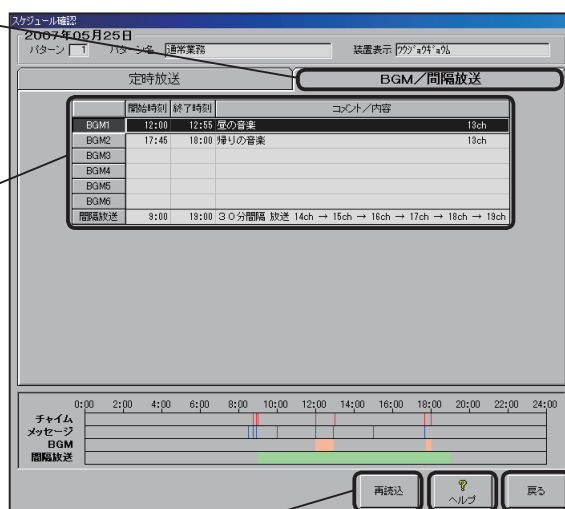
[ヘルプ] ボタン
クリックすると、電子
ファイル（PDF）の取扱
説明書が表示されます。

- ② 定時放送確認の終了
定時放送の確認を終わるとき [戻る] ボタンをクリックします。
・【ネットワーク機能初期画面】に戻ります。

● BGM / 間隔放送の確認

- ① 【BGM 放送画面】の呼び出し
[BGM / 間隔放送] タブをクリックします。
・BGM / 間隔放送の登録画面になります。

BGM / 間隔放送一覧
本日の放送スケジュールが表示されます。



[再読み込み] ボタン
クリックすると最新の
情報に更新されます。

[ヘルプ] ボタン
クリックすると、電子
ファイル（PDF）の取扱
説明書が表示されます。

- ② BGM / 間隔放送確認の終了
BGM / 間隔放送の確認を終わるとき [戻る] ボタンをクリックします。
・【ネットワーク機能初期画面】に戻ります。

8. LAN 手動放送

制御用パソコンからネットワーク（LAN）経由で手動放送ができます。

■手動放送画面の呼び出し

1. 【ネットワーク機能初期画面】で、[手動放送] ボタンをクリックします。

・【手動放送】画面になります。

■放送のしかた

①放送パターンの指定

放送パターン一覧で放送するパターンをクリックします。
・反転表示になります。

②放送開始

[放送開始] ボタンをクリックします。
・放送を開始します。

放送パターン一覧

設定されている放送パターン（開始チャイム・メッセージ／送出回数・終了チャイム）を表示します。
・放送パターンは、10種類まで登録できます。

放送パターンの設定

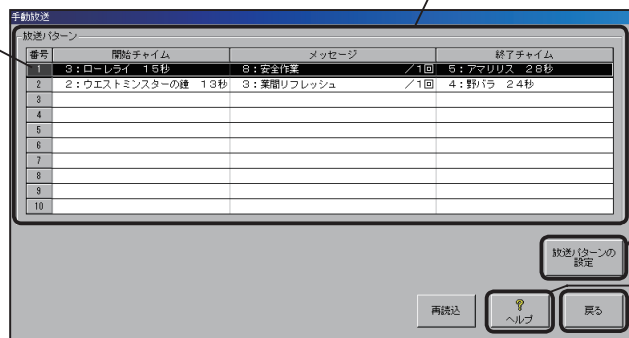
放送パターンを設定するときにクリックします。
・設定方法は、次ページを参照してください。

【ヘルプ】ボタン

クリックすると、電子ファイル（PDF）の取扱説明書が表示されます。

③ LAN 手動放送の終了

LAN 手動放送の操作が終わるとき [戻る] ボタンをクリックします。
・【ネットワーク機能初期画面】に戻ります。



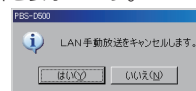
● LAN 手動放送を中止するとき

【状態表示】画面
LAN 手動放送中の表示です。



①放送中止

[放送中止] ボタンをクリックします。
・確認画面を表示します。



・[はい] ボタンをクリックすると、放送を終了します。

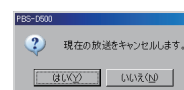
本体装置が放送中に、LAN 手動放送を行なったとき……

《定時放送／間隔放送／BGM 放送を放送中の場合》



[放送開始] ボタンをクリックすると……

・右の確認画面を表示します。
・[はい] ボタンをクリックすると、現在の放送を中止して、LAN 手動放送を行ないます。（※）



《本体装置で手動放送中の場合》



[放送開始] ボタンをクリックすると……

・右の確認画面を表示します。
・[はい] ボタンをクリックすると、現在の放送を中止して、LAN 手動放送を行ないます。

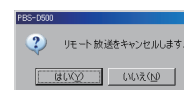


《リモート放送中の場合》



[放送開始] ボタンをクリックすると……

・右の確認画面を表示します。
・[はい] ボタンをクリックすると、現在の放送を中止して、LAN 手動放送を行ないます。



※アナキーパー機能を使用している場合は、BGM 放送は音量を下げて放送を継続します。

■放送パターンを設定するには

①設定画面の呼び出し
 「放送パターンの設定」ボタンをクリックします。
 ・「パターン登録」画面が表示されます。
 ・もう一度クリックすると、「パターン登録」画面が閉じます。

②放送パターンの指定
 放送パターン一覧で設定するパターン番号（空欄）をクリックします。
 ・反転表示になります。

③パターンの登録
 《開始チャイム》、《メッセージ》、《終了チャイム》の各ボックスへ、放送するチャイム番号、メッセージ番号を入力します。
 ・「▼」ボタンをクリックして、リストから指定することもできます。
 ・放送しないときは、「0」を入力します。また、リストから指定するときは、「OFF」を指定します。
 送出回数は、メッセージ番号を登録したときに有効になります。《送出回数》ボックスへ、メッセージの送出回数を入力します。
 ・「▲／▼」ボタンをクリックして、指定することもできます。

④登録
 「登録」ボタンをクリックすると、登録した内容が放送パターン一覧に表示されます。
 ・続けて、登録するときは、②～④を繰り返します。

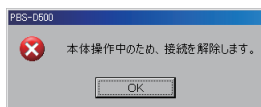
[削除] ボタン

■放送パターンを削除するには

1. 放送パターンの設定画面で、削除したい放送パターンをクリックします。
2. 「削除」ボタンをクリックします。
3. 「選択行を削除しますか？」と表示されます。
 「はい」ボタンをクリックします。
 ・放送パターン一覧から削除されます。

■LAN 手動放送の操作中に、本体装置でボタン操作を行なうと……

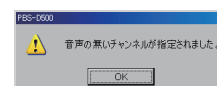
本体装置と接続してLAN 手動放送の操作を行なっているときに、本体装置でボタン操作が行なわれると、次の表示となり接続が切断されます。



- ・本体装置の状態を確認してください。

ワンポイント

- 手順4で「登録」ボタンをクリックしたとき、選択したチャンネルが録音されていない場合は、次のように表示します。



該当チャンネルに録音をしてください。

第 4 章

データ入力ソフト 学校用編

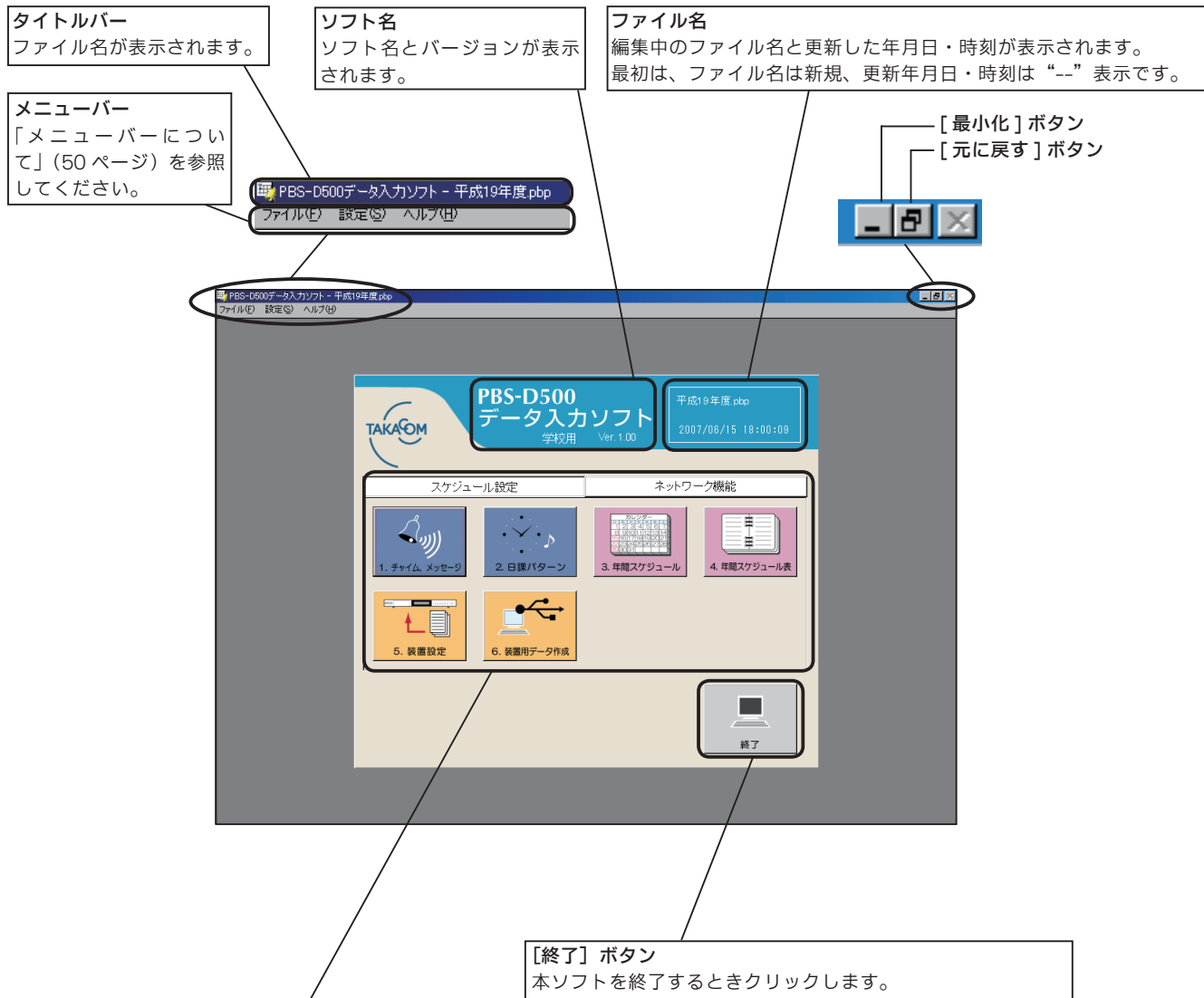
スケジュール設定（学校用）

自動放送で使用するチャイム、メッセージ、放送スケジュールなどの作成、および、本体装置の機能設定、装置用データの作成を行います。

■初期画面の構成

【初期画面】で「スケジュール設定」タブをクリックします。

・【スケジュール設定初期画面】を表示します。



登録選択ボタン

各登録は、次の登録選択ボタンをクリックすることから始めます。

- [1. チャイム、メッセージ] ボタン
チャイム一覧およびメッセージ一覧の登録画面を呼び出すときクリックします。
- [2. 日課パターン] ボタン
日課パターン一覧および日課パターン表の登録画面を呼び出すときクリックします。
- [3. 年間スケジュール] ボタン
年間スケジュールの登録画面を呼び出すときクリックします。

- [4. 年間スケジュール表] ボタン
年間スケジュールの確認画面を呼び出すときクリックします。
- [5. 装置設定] ボタン
装置設定の登録画面を呼び出すときクリックします。
- [6. 装置用データ作成] ボタン
装置へ入力するスケジュールデータなどを USB フラッシュメモリへ書き込む画面を呼び出すときクリックします。

1. チャイム・メッセージの登録

自動放送などで使用する、チャイムおよびメッセージの名前などの登録を行います。なお、メッセージなどの録音は、本体装置で行います。

1-1. チャイムの登録

■登録画面の呼び出し

1. 【スケジュール設定初期画面】で、[1. チャイム、メッセージ] ボタンをクリックします。

・【チャイム、メッセージ】一覧の登録画面になります。

■登録のしかた

①チャイム登録の呼び出し
[チャイム] タブをクリックします。
・チャイムの登録画面になります。

②チャンネル番号の指定
《チャンネル指定》ボックスへチャンネル番号を入力します。
・チャイム一覧の選択された行が反転表示になります。
・次の方法でも指定できます。
A: [▲/▼] ボタンをクリックして、指定する。
B: チャイム一覧の行をクリックする。

③チャイム名の入力
《チャイム》ボックスへチャイム名を入力します。
・[▼] ボタンをクリックして、リストの中から指定することもできます。
・全角で、15文字以内です。

④装置表示の入力
チャイム名を入力すると、半角で自動表示されます。（この表示が装置のディスプレイに表示されます）
・修正したいときは、《装置表示》ボックスをクリックして、修正してください。半角の英数カナで18文字以内です。

⑤送出回数の指定
《送出回数》ボックスへ送出回数（1～9）を入力します。
・[▲/▼] ボタンをクリックして、指定することもできます。
・初期値は1回です。

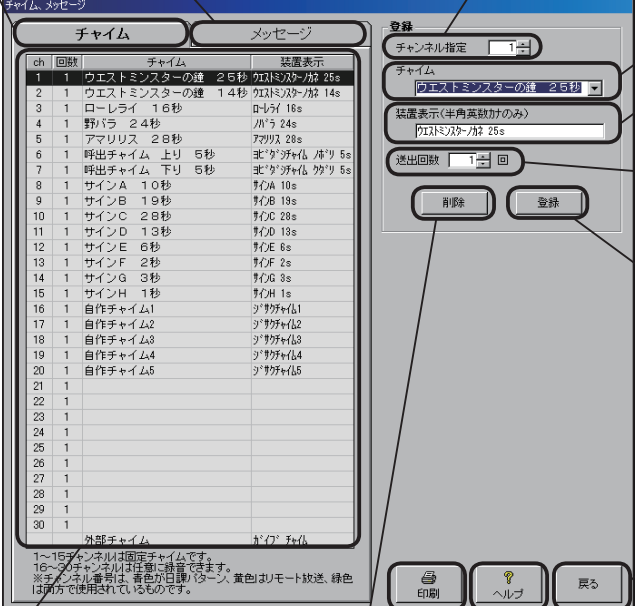
⑥登録
[登録] ボタンをクリックすると、チャイム一覧に登録した内容が表示されます。
・続けて登録するときは、②～⑥を繰り返します。

⑦登録の終了
登録を終わるとき [戻る] ボタンをクリックします。
・【スケジュール設定初期画面】に戻ります。

[メッセージ] タブ
メッセージを登録するときクリックします。

チャイム一覧
登録内容を一覧で表示します。

[削除] ボタン



チャイム登録画面のスクリーンショット。左側には「チャイム」タブと「メッセージ」タブがあり、「チャイム」タブが選択されています。中央にはチャイム一覧の表があり、各項目にはチャンネル番号、チャイム名、装置表示、送出回数が設定されています。右側には「登録」ボタンと「戻る」ボタンがあります。下部には「印刷」ボタンと「ヘルプ」ボタンがあります。

■修正をするには

1. 「登録のしかた」の手順②と同じ方法で、修正したいチャンネル番号を選び、修正します。
2. [登録] ボタンをクリックします。
3. 【上書きしますか?】と表示されます。
[はい] ボタンをクリックします。
・チャイム一覧に、修正された内容が表示されます。

■削除をするには

1. 「登録のしかた」の手順②と同じ方法で、削除したいチャンネル番号を選びます。
2. [削除] ボタンをクリックします。
3. 【選択行を削除しますか?】と表示されます。
[はい] ボタンをクリックします。
・チャイム一覧から削除されます。

ワンポイント

- チャイムのチャンネルは、ch1～30の30chと外部チャイムです。チャンネルの割り当ては次のとおりです。
 - ・ch1～15は固定チャイムで、本体装置に内蔵しています。
 - ・ch16～30は自作チャイムとして使用できます。
 - ・外部チャイムは外部チャイムを使用するときに指定します。
- チャンネル番号は、青色が日課パターン、黄色がリモート放送、緑色は両方で使用されているチャンネルです。

1-2. メッセージの登録

■登録画面の呼び出し

1. 【スケジュール設定初期画面】で、[1. チャイム、メッセージ] ボタンをクリックします。

・【チャイム、メッセージ】一覧の登録画面になります。

■登録のしかた

①メッセージ登録の呼び出し
[メッセージ] タブをクリックします。
・メッセージの登録画面になります。

②チャンネル番号の指定
《チャンネル指定》ボックスへチャンネル番号を入力します。
・メッセージ一覧の選択された行が反転表示になります。
・次の方法でも指定できます。
A: [▲/▼] ボタンをクリックして、指定する。
B: メッセージ一覧の行をクリックする。

③放送内容の入力
《放送内容》ボックスへメッセージの内容を入力します。
・[▼] ボタンをクリックして、リストの中から指定することもできます。
・全角で、15文字以内です。

④装置表示の入力
メッセージの内容を入力すると、半角で自動表示されます。（この表示が装置のディスプレイに表示されます）
・修正したいときは、《装置表示》ボックスをクリックして、修正してください。半角の英数カナで18文字以内です。

⑤登録
[登録] ボタンをクリックすると、メッセージ一覧に登録した内容が表示されます。
・続けて登録するときは、②～⑤を繰り返します。

⑥登録の終了
登録が終わるとき [戻る] ボタンをクリックします。
・【スケジュール設定初期画面】に戻ります。

[削除] ボタン

[ヘルプ] ボタン
クリックすると、電子ファイル（PDF）の取扱説明書が表示されます。

[印刷] ボタン
クリックすると、メッセージ一覧を印刷します。詳しくは、「第5章 共通編 登録内容を印刷する」(138 ページ)を参照してください。

メッセージ一覧
登録内容を一覧で表示します。

メッセージ登録画面のスクリーンショット

ch	放送内容	装置表示
1	朝の音楽	朝の音楽
2	朝の放送	朝の放送
3	ラジオ体操	ラジオ体操
4	朝礼予告放送	朝礼予告放送
5	朝の会	朝の会
6	授業開始	授業開始
7	給食開始	給食開始
8	掃除開始	掃除開始
9	下校	下校
10	一斉下校	一斉下校
11	最終下校	最終下校
12	星休み終了予告	星休み終了予告
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		
31		
32		

※チャンネル番号は、青色が日課パターン、黄色がリモート放送、緑色は両方で使用されているものです。

■修正をするには

1. 「登録のしかた」の手順②と同じ方法で、修正したいメッセージ番号を選び、修正します。

2. [登録] ボタンをクリックします。

3. 【上書きしますか?】と表示されます。

[はい] ボタンをクリックします。

・メッセージ一覧に、修正された内容が表示されます。

■削除をするには

1. 「登録のしかた」の手順②と同じ方法で、削除したいメッセージ番号を選びます。

2. [削除] ボタンをクリックします。

3. 【選択行を削除しますか?】と表示されます。

[はい] ボタンをクリックします。

・メッセージ一覧から削除されます。



ワンポイント

- メッセージは、99種類（ch1～99）登録できます。
- チャンネル番号は、青色が日課パターン、黄色がリモート放送、緑色は両方で使用されているチャンネルです。

メモ

2. 日課パターンの登録

日課パターン一覧表に「パターン名」を、また日課パターン表に「放送内容」を登録します。

2-1. 日課パターン一覧表の登録

■登録画面の呼び出し

1. 【スケジュール設定初期画面】で、[2. 日課パターン] ボタンをクリックします。

・【日課パターン一覧表】の登録画面になります。

■登録のしかた

①パターン番号の指定
《パターン選択》ボックスへパターン番号を入力します。
・日課パターン一覧の選択された行が反転表示になります。
・次の方法でも指定できます。
A：[▲ / ▼] ボタンをクリックして、指定する。
B：日課パターン一覧の行をクリックする。

②パターン名の入力
《パターン名》ボックスへパターン名を入力します。
・ [▼] ボタンをクリックして、リストの中から指定することもできます。
・ 全角で、15 文字以内です。

③装置表示の入力
パターン名を入力すると、半角で自動表示されます。（この表示が装置のディスプレイに表示されます）
・ 修正したいときは、《装置表示》ボックスをクリックして、修正してください。半角の英数カナで 18 文字以内です。

④ 登録
[登録] ボタンをクリックすると、日課パターン一覧に登録した内容が表示されます。
・ 続けて登録するときは、①～④を繰り返します。

[削除] ボタン

[日課パターン表の登録] ボタン
日課パターン表を登録するとき、クリックします。
「日課パターン表の登録」（104 ページ）を参照してください。

コピー編集欄
日課パターンをコピー編集するとき、使用します。
次ページを参照してください。

⑤登録の終了
登録が終わるとき、[戻る] ボタンをクリックします。
・【スケジュール設定初期画面】に戻ります。

[印刷] ボタン
クリックすると、日課パターン一覧を印刷します。詳しくは、「第 5 章 共通編 登録内容を印刷する」（138 ページ）を参照してください。

[ヘルプ] ボタン
クリックすると、電子ファイル（PDF）の取扱説明書が表示されます。

日課パターン一覧
登録内容を一覧で表示します。

※青色のパターン番号は、内容が登録してあります。
赤色のパターン番号は、スケジュール登録で使用されていて、内容が登録されていないものです。

日課パターン一覧表

パターン	パターン名	装置表示
OFF	放送休止	おやすみ
1	通常日課6時間授業	通常日課6時間授業
2	通常日課5時間授業	通常日課5時間授業
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		

登録

パターン選択 1

パターン名 通常日課6時間授業

装置表示(半角英数カナのみ) 通常日課6時間授業

削除 登録

日課パターン表の登録

↑

パターンのコピー

コピー元

パターン選択 1

パターン名 通常日課6時間授業

コピー

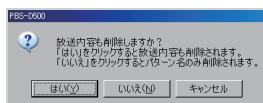
印刷 ヘルプ 戻る

■修正をするには

1. 「登録のしかた」の手順①と同じ方法で、修正したいパターン番号を選び修正します。
2. [登録] ボタンをクリックします。
3. [上書きしますか?] と表示されます。
[はい] ボタンをクリックします。
・日課パターン一覧に、修正された内容が表示されます。

■削除をするには

1. 「登録のしかた」の手順①と同じ方法で、削除したいパターン番号を選びます。
2. [削除] ボタンをクリックします。
・削除の確認画面を表示します。



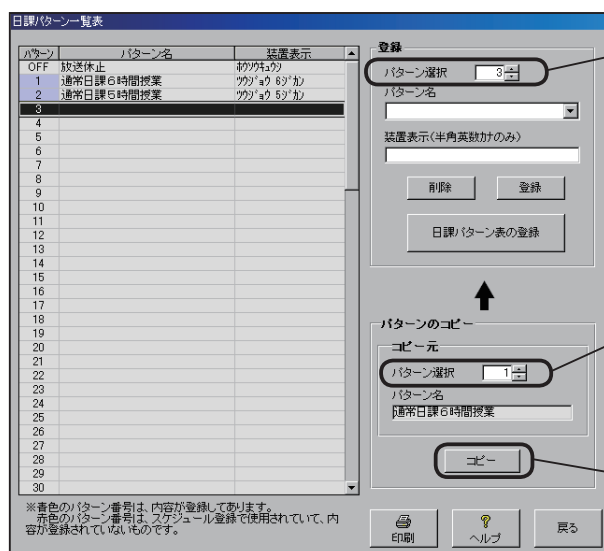
- ・パターン名と一緒に放送内容も削除する場合は、[はい] ボタンをクリックします。
 - ・パターン名だけを削除する場合は、[いいえ] ボタンをクリックします。
 - ・削除を中止するときは、[キャンセル] ボタンをクリックします。
3. 日課パターン一覧から削除されます。

ワンポイント

- 日課パターンは、1～99 まで登録できます。

■パターンをコピー編集するには

登録済みの日課パターンの一部を修正して、新たな日課パターンとして登録することができます。



①コピー先のパターン番号の指定

《パターン選択》ボックスへコピー先のパターン番号を入力します。

- ・日課パターン一覧の選択された行が反転表示になります。
- ・次の方法でも指定できます。
A: [▲/▼] ボタンをクリックして、指定する。
B: 日課パターン一覧の行をクリックする。

②コピー元のパターン番号の指定

《パターン選択》ボックスへコピー元のパターン番号を入力します。

- ・次の方法でも指定できます。
A: [▲/▼] ボタンをクリックして、指定する。

③ コピー

[コピー] ボタンをクリックすると、コピー元のデータが、そのまま、コピー先へコピーされ日課パターン一覧に表示されます。

- ・続けてコピー編集するときは、①～③を繰り返します。
- ・パターン名や日課パターンの内容を修正します。

ワンポイント

- コピー編集は、コピー元の日課パターンが未登録のときはコピーできません。
- コピー先にパターン名・装置名が登録されていない場合は、パターン名・装置名もコピーされます。パターン名・装置名が登録されている場合は、放送内容だけがコピーされます。

2-2. 日課パターン表の登録

日課パターン表は、定時放送を登録します。

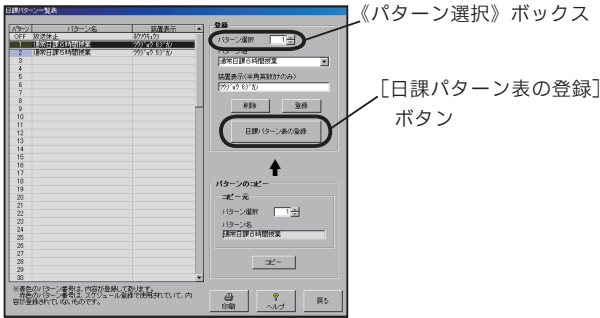
(1) 定時放送の登録

指定した時刻（定時）に自動放送を行なうための登録を行ないます。

■登録画面の呼び出し

- 1. 【スケジュール設定初期画面】で、[2. 日課パターン] ボタンをクリックします。
 - ・日課パターン一覧表の登録画面になります。
- 2. 《パターン選択》ボックスへパターン番号を入力します。
 - ・日課パターン一覧の選択された行が反転表示になります。
 - ・次の方法でも選択できます。
 - A：[▲/▼] ボタンをクリックして、指定する。
 - B：日課パターン一覧の行をクリックする。
- 3. [日課パターン表の登録] ボタンをクリックします。
 - ・日課パターン表の登録画面になります。

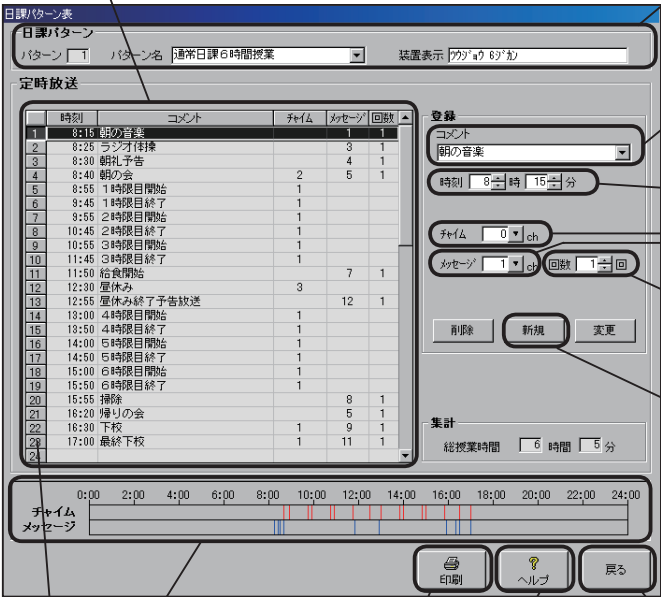
日課パターン一覧表の登録画面



■定時放送の登録のしかた

- ①ステップの指定
定時放送一覧のステップをクリックします。
 - ・定時放送一覧の選択されたステップが反転表示になります。

- 日課パターン表示欄
登録中の日課パターンが表示されます。
 - ・各ボックスで修正することもできます。



- ②ステップのコメント入力
《コメント》ボックスへ、その時刻に放送する内容のコメントを入力します。
 - ・[▼] ボタンをクリックして、リストの中から指定することもできます。
 - ・全角で 15 文字以内です。

- ③放送時刻の入力
《時刻》ボックスへ、放送する時刻を入力します。
 - ・[▲/▼] ボタンをクリックして、指定することもできます。
 - ・時刻は 24 時間制で入力します。

- ④チャイムの入力
《チャイム》ボックスへ、その時刻に放送するチャイム番号を入力します。
 - ・[▼] ボタンをクリックして、リストから指定することもできます。
 - ・放送しないときは、「0」を入力します。また、リストから指定するときは、「OFF」を指定します。

- ⑤メッセージの入力
《メッセージ》ボックスへ、その時刻に放送するメッセージ番号を入力します。
 - ・[▼] ボタンをクリックして、リストから指定することもできます。
 - ・放送しないときは、「0」を入力します。また、リストから指定するときは、「OFF」を指定します。

- ⑥送出回数を入力
《送出回数》ボックスへ、メッセージの送出回数を入力します。
 - ・[▲/▼] ボタンをクリックして、指定することもできます。

- ⑦新規
[新規] ボタンをクリックすると、登録した内容が定時放送一覧に新しいステップとして表示されます。
 - ・続けて、登録するときは、①～⑦を繰り返します。

- 放送タイムチャート
放送時刻をタイムチャートで表示します。

- 定時放送一覧
ステップごとに放送内容を表示します。

- [印刷] ボタン
クリックすると、日課パターン表を印刷します。詳しくは、「第 5 章 共通編 登録内容を印刷する」(138 ページ)を参照してください。

- [ヘルプ] ボタン
クリックすると、電子ファイル (PDF) の取扱説明書が表示されます。

- ⑧登録の終了
登録を終わるとき、[戻る] ボタンをクリックします。
 - ・日課パターン一覧表の登録画面に戻ります。

■修正をするには

1. 「定時放送の登録のしかた」の手順①と同じ方法で、修正したいステップを選び、修正します。
2. [変更] ボタンをクリックします。
3. 【上書きしますか？】と表示されます。
[はい] ボタンをクリックします。
・メッセージ一覧に、修正された内容が表示されます。

■削除をするには

1. 「定時放送の登録のしかた」の手順①と同じ方法で、削除したいステップを選びます。
2. [削除] ボタンをクリックします。
3. 【選択行を削除しますか？】と表示されます。
[はい] ボタンをクリックします。
・メッセージ一覧から削除されます。

■ステップを挿入するには

1. 「定時放送の登録のしかた」の手順③で、挿入したい放送時刻を入力します。
2. [新規] ボタンをクリックします。
・入力した時刻で新しいステップが追加挿入されます。

■総授業時間について

集計表示欄には、「登録のしかた」の手順②で、コメントが「開始」と付いた時刻から「終了」と付いた時刻までの合計時間が表示されます。



ワンポイント

- 連続した複数行を選ぶには
最初の行をクリックします。
キーボードの「Shift」キーを押したままで、最後の行をクリックします。
- 連続しない複数行を選ぶには
キーボードの「Ctrl」キーを押したままで、希望の行をクリックします。
- 定時放送は、1 パターンあたり最大 64 ステップまで登録できます。

3. 年間スケジュールの登録

日課パターンの登録で作成した日課パターン番号をカレンダーに割り付けして、年間スケジュールを登録します。
年間スケジュールには、通年スケジュールと特定日スケジュールがあります。

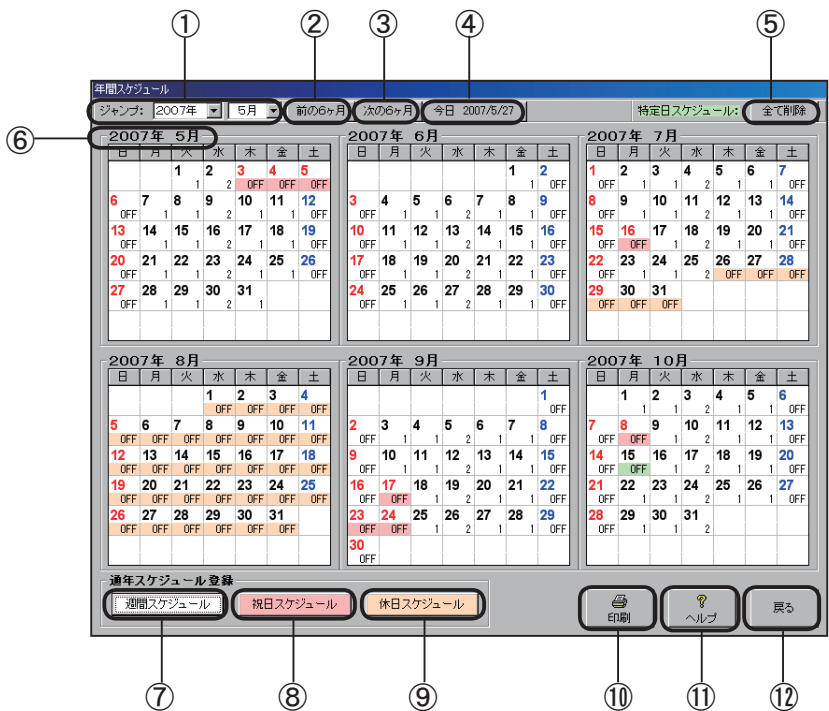
- ◆通年スケジュールは、毎年、繰り返されるスケジュールで、週間スケジュール・祝日スケジュール・休日スケジュールがあります。
- ◆特定日スケジュールは、臨時休校など指定した年月日にのみ、適用されます。

3-1. 年間スケジュール登録画面

■登録画面の呼び出し

1. 【スケジュール設定初期画面】で、[3. 年間スケジュール] ボタンをクリックします。
 - ・[年間スケジュール] の登録画面になります。
 - ・登録画面は、月毎のカレンダーで6ヶ月分表示され、登録済みの日課パターン番号を表示します。

■登録画面の構成



名 前	機 能
① 《ジャンプ》ボックス	[▼] ボタンをクリックして年月を指定すると、その年月から6ヶ月分を表示します。 ※年は、現在の年から9年先まで指定できます。
② [前の6ヶ月] ボタン	クリックすると、《ジャンプ》ボックスで表示されている年月の、6ヶ月前から6ヶ月分を表示します。
③ [次の6ヶ月] ボタン	クリックすると、《ジャンプ》ボックスで表示されている年月の、6ヶ月後から6ヶ月分を表示します。
④ [今日] ボタン	クリックすると、今日の月から6ヶ月分を表示します。
⑤ [全て削除] ボタン	クリックすると、登録されている特定日スケジュールを全て削除します。
⑥ [カレンダー年月] タブ	タブをポイントすると、(+) の拡大アイコンが表示され、クリックするとその月を拡大表示します。拡大表示のときにタブをポイントすると、(-) のアイコンが表示され、クリックすると元に戻ります。
⑦ [週間スケジュール] ボタン	週間スケジュールを登録するときにクリックします。
⑧ [祝日スケジュール] ボタン	祝日スケジュールを登録するときにクリックします。
⑨ [休日スケジュール] ボタン	休日スケジュールを登録するときにクリックします。
⑩ [印刷] ボタン	特定日または年間スケジュールを印刷するときにクリックします。
⑪ [ヘルプ] ボタン	電子ファイル (PDF) の取扱説明書を表示します。
⑫ [戻る] ボタン	【スケジュール設定初期画面】に戻すときにクリックします。

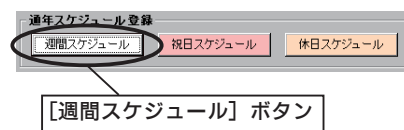
3-2. 週間スケジュールの登録

通年で使用する月ごとの曜日スケジュールを登録します。この週間スケジュールが自動放送の基本となります。

■登録画面の呼び出し

1. 【スケジュール設定初期画面】で、【3. 年間スケジュール】 ボタンをクリックします。
・【年間スケジュール】の画面になります。
2. 【年間スケジュール】画面左下の通年スケジュール登録欄で、【週間スケジュール】 ボタンをクリックします。
・週間スケジュールの登録画面になります。（【週間スケジュール】・【日課パターン一覧表】画面）

通年スケジュール登録欄



■登録のしかた

①登録
[登録] ボタンをクリックします。
・月の該当曜日をポイントすると、鉛筆のアイコンが表示されます。

②パターン番号の指定
登録する日課パターン番号をクリックします。
・反転表示になります。

④土曜日の登録
該当土曜日をクリックします。
・続けて登録するときは、②～④を繰り返します。

③パターン番号の登録
月の該当曜日をクリックします。
・続けて登録するときは、②～③を繰り返します。
登録のしかたは、個々に登録する以外に次の方法があります。
* [曜日] ボタンをクリックすると、その曜日の全部の月に同じ日課パターンを登録します。
* [月] ボタンをクリックすると、その月の全曜日に同じ日課パターンを登録します。
* [全選択] ボタンをクリックすると、一年間、同じ日課パターンを登録します。
* ドラッグすると、その範囲に同じ日課パターンを登録します。
削除も同様にできます。

⑤登録の終了
登録を終わるとき [戻る] ボタンをクリックします。
・年間スケジュールの登録画面に戻ります。

《コメント》ボックス
コメントを登録しておく
* 該当曜日をポイントすると、登録したコメントがポップアップ表示されます。
* スケジュール確認画面のコメント欄に、登録したコメントが表示されます。
1. チェックボックスをクリックして「✓」印を付けます。
2. 《コメント》ボックスへコメントを入力します。
・[▼] ボタンをクリックして、リストの中から指定することもできます。

[全選択] ボタン

[曜日] ボタン

[月] ボタン

[印刷] ボタン
クリックすると、週間スケジュールを印刷します。詳しくは、「第5章 共通編 登録内容を印刷する」(138ページ)を参照してください。

[ヘルプ] ボタン
クリックすると、電子ファイル (PDF) の取扱説明書が表示されます。

■スケジュールを削除するには

1. 日課パターン一覧表の、[削除]ボタンをクリックします。
・月の該当曜日をポイントすると、消しゴムのアイコンが表示されます。
2. 削除したい月の該当曜日をクリックします。
・前のスケジュールが削除され、「OFF (放送休止)」が表示されます。

ワンポイント

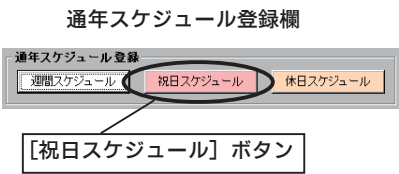
- 登録中の日課パターン番号は、赤色で表示されます。
[戻る] ボタンなどをクリックして、再表示させると黒色になります。

3-3. 祝日スケジュールの登録

通年で使用する祝日スケジュールを登録します。国民の祝日は、あらかじめ登録されていますが、それ以外にも全体で 25 日分登録できます。

■登録画面の呼び出し

- 1. 【スケジュール設定初期画面】で、[3. 年間スケジュール] ボタンをクリックします。
 - ・【年間スケジュール】の画面になります。
- 2. 【年間スケジュール】画面左下の通年スケジュール登録欄で、[祝日スケジュール] ボタンをクリックします。
 - ・祝日スケジュールの登録画面になります。（[祝日スケジュール]・[日課パターン一覧表]画面）



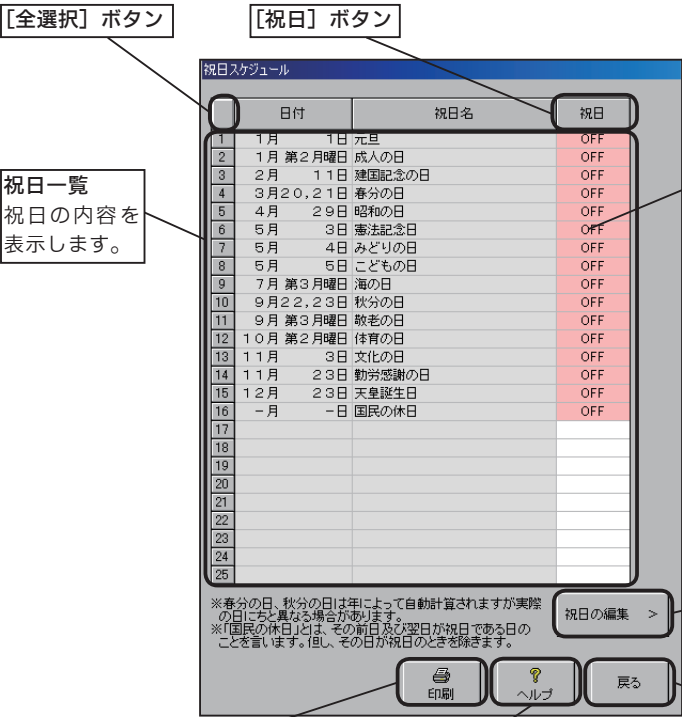
■登録のしかた

- ①登録
[登録] ボタンをクリックします。
 - ・祝日をポイントすると、鉛筆のアイコンが表示されます。
- ②パターン番号の指定
登録する日課パターン番号をクリックします。
 - ・反転表示になります。



■スケジュールを削除するには

- 1. 日課パターン一覧表の、[削除] ボタンをクリックします。
 - ・祝日一覧をポイントすると、消しゴムのアイコンが表示されます。
- 2. 祝日一覧で削除したい日課パターン番号をクリックします。
 - ・日課パターン番号が空欄になります。



- ③パターン番号の登録
該当の祝日をクリックします。
 - ・続けて登録するときは、②～③を繰り返します。登録のしかたは、個々に登録する以外に次の方法があります。
 - * [祝日] ボタンをクリックすると、全部の祝日に同じ日課パターンを登録します。
 - * [全選択] ボタンをクリックすると、全部の祝日に同じ日課パターンを登録します。
 - * ドラッグすると、その範囲に同じ日課パターンを登録します。削除も同様にできます。

- [祝日の編集] ボタン
祝日の変更や追加、削除するとき、クリックします。

- ④登録の終了
登録が終わるとき [戻る] ボタンをクリックします。
 - ・年間スケジュールの登録画面に戻ります。

- [印刷] ボタン
クリックすると、祝日スケジュールを印刷します。詳しくは、「第5章 共通編 登録内容を印刷する」(138 ページ)を参照してください。

- [ヘルプ] ボタン
クリックすると、電子ファイル (PDF) の取扱説明書が表示されます。

■祝日の編集のしかた

国民の祝日に変更があったり、追加、削除があるときこの編集機能で登録します。

1. 【祝日スケジュール】画面で、[祝日の編集] ボタンをクリックします。

・ 祝日スケジュールの編集画面になります。

●祝日を追加する場合

①祝日行の指定

空欄行をクリックします。
・ 反転表示になります。

[削除] ボタン

②祝日名の入力

《祝日名》ボックスに祝日名を入力します。
・ 全角 15 文字以内です。

③祝日にする「月」の入力

《月》ボックスに祝日にする月を入力します。
・ [▲ / ▼] ボタンをクリックして、指定することもできます。

④祝日にする「日」の入力

※ 固定日で登録するとき
[固定日] オプションボタンをクリックします。
《日》ボックスに祝日にする日を入力します。
・ [▲ / ▼] ボタンをクリックして、指定することもできます。
※ 変動日で登録するとき
[変動日] オプションボタンをクリックします。
・ [▼] ボタンをクリックして、週と曜日を指定します。

⑤登録

[登録] ボタンをクリックします。
・ 祝日一覧に登録内容が表示されます。

⑥既定値として保存／既定値を読み込む

[既定値として保存] ボタンをクリックすると、表示内容をパソコンに保存します。保存した内容は、[既定値を読み込む] ボタンをクリックすると画面に表示されます。
※ 祝日スケジュールは保存されません。

⑦日課パターンの登録

[祝日の編集] ボタンをクリックします。
・ 祝日スケジュールの登録画面に戻ります。
祝日スケジュール登録画面で日課パターンを登録します。

●祝日を修正する場合

1. 祝日一覧の修正したい行をクリックします。

2. 修正したい項目を選んで、「祝日を追加する場合」の手順②～⑤と同じ手順で修正します。

・ ⑤で [登録] ボタンをクリックすると、「上書きしますか？」と表示されます。[はい] ボタンをクリックします。

3. [祝日の編集] ボタンをクリックして、祝日スケジュールの登録画面に戻り、日課パターン番号を登録します。

・ 月日順に並び替えて、祝日一覧に表示されます。

●祝日を削除する場合

1. 祝日一覧で削除したい行をクリックします。

2. [削除] ボタンをクリックします。

3. 【選択行を削除しますか?】と表示されます。

[はい] ボタンをクリックします。

・ 祝日一覧から削除されます。



ワンポイント

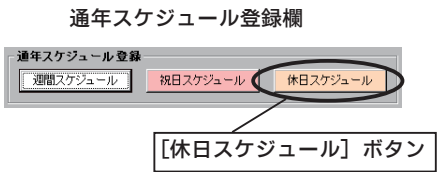
- 登録中の日課パターン番号は、赤色で表示されます。
[戻る] ボタン等をクリックして、再表示させると黒色になります。
- 祝日として登録できる日数は最大 25 日です。
- 祝日が日曜日と重なった場合、その直後の「国民の祝日でない日」は振替休日となり、祝日で登録したパターン番号が放送されます。

3-4. 休日スケジュールの登録

通年で使用する祝日以外の学校独自の休日スケジュール（例えば、夏休みや春休みなど）を登録します。

■登録画面の呼び出し

- 1. 【スケジュール設定初期画面】で、【3. 年間スケジュール】 ボタンをクリックします。
 - ・【年間スケジュール】 の画面になります。
- 2. 【年間スケジュール】 画面左下の通年スケジュール登録欄で、【休日スケジュール】 ボタンをクリックします。
 - ・休日スケジュールの登録画面になります。（【休日スケジュール】・【日課パターン一覧表】 画面）



■登録のしかた

①登録

【登録】 ボタンをクリックします。

- ・休日一覧の日付をポイントすると、鉛筆のアイコンが表示されます。

②パターン番号の指定

登録する日課パターン番号をクリックします。

- ・反転表示になります。

③パターン番号の登録

該当の休日をクリックします。

- ・続けて登録するときは、②～③を繰り返します。

登録のしかたは、個々に登録する以外に次の方法があります。

- ＊【日】 ボタンをクリックすると、全月のその日に同じ日課パターンを登録します。
- ＊【月】 ボタンをクリックすると、その月全部に同じ日課パターンを登録します。
- ＊【全選択】 ボタンをクリックすると、1年間の全てに同じ日課パターンを登録します。
- ＊ドラッグすると、その範囲に同じ日課パターンを登録します。

削除も同様にできます。

④登録の終了

登録を終わるとき、【戻る】 ボタンをクリックします。

- ・年間スケジュールの登録画面に戻ります。

《コメント》ボックス

コメントを登録しておく

- ＊該当休日をポイントすると、登録したコメントがポップアップ表示されます。
- ＊スケジュール確認画面のコメント欄に、登録したコメントが表示されます。

1. チェックボックスをクリックして「✓」印を付けます。
2. 《コメント》ボックスへコメントを入力します。

- ・【▼】 ボタンをクリックして、リストの中から指定することもできます。

【全選択】 ボタン

【日】 ボタン

【月】 ボタン

休日一覧

年間の休日を表示します。

【印刷】 ボタン

クリックすると、休日スケジュールを印刷します。詳しくは、「第5章 共通編 登録内容を印刷する」(138ページ)を参照してください。

【ヘルプ】 ボタン

クリックすると、電子ファイル（PDF）の取扱説明書が表示されます。

【削除】 ボタン

モード 登録 削除

コメントを記入する

パターン名

パターン名

OFF 放送休止

1 通常日課6時間授業

2 通常日課5時間授業

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29

30

31

印刷 ヘルプ 戻る

■スケジュールを削除するには

- 1. 日課パターン一覧表の、【削除】ボタンをクリックします。
 - ・休日一覧の日付をポイントすると、消しゴムのアイコンが表示されます。
- 2. 削除したい日付をクリックします。
 - ・空欄になります。

ワンポイント

- 登録中の日課パターン番号は、赤色で表示されます。

【戻る】 ボタン等をクリックして、再表示させると黒色になります。

3-5. 特定日スケジュールの登録

臨時休校など、指定した年月日のみに適用される特定日スケジュールを登録します。

■登録のしかた

登録画面は、年間スケジュールの登録画面を使います。

①カレンダー選択
カレンダーを選択します。くわしくは、「年間スケジュール登録画面」（106 ページ）をご覧ください。

②登録
[登録] ボタンをクリックします。
・年間カレンダーの日付をポイントすると、鉛筆のアイコンが表示されます。

③パターン番号の指定
登録する日課パターン番号をクリックします。
・反転表示になります。

《コメント》ボックス
コメントを登録しておく
* 該当特定日をポイントすると、登録したコメントがポップアップ表示されます。
* スケジュール確認画面のコメント欄に、登録したコメントが表示されます。
1. チェックボックスをクリックして「✓」印を付けます。
2. 《コメント》ボックスへコメントを入力します。
・[▼] ボタンをクリックして、リストの中から指定することもできます。

[削除] ボタン

《全て削除》ボタン

④パターン番号の登録
該当の日付をクリックします。
・続けて登録するときは、①～④を繰り返します。
登録のしかたは、個々に登録する以外に次の方法があります。
* [曜日] ボタンをクリックすると、その月の同じ曜日に同じ日課パターンを登録します。
* ドラッグすると、その範囲に同じ日課パターンを登録します。削除も同様にできます。

[曜日] ボタン

⑤登録の終了
登録が終わるとき、[戻る] ボタンをクリックします。
・[スケジュール設定初期画面] に戻ります。

[印刷] ボタン
クリックすると、特定日スケジュールを印刷します。詳しくは、「第5章 共通編 登録内容を印刷する」（138 ページ）を参照してください。

[ヘルプ] ボタン
クリックすると、電子ファイル（PDF）の取扱説明書が表示されます。

■特定日スケジュールを削除するには

1. 「登録のしかた」の手順①と同じ操作で、特定日スケジュールを削除したいカレンダーを選びます。
2. 日課パターン一覧表の、[削除] ボタンをクリックします。
・年間カレンダーの日付をポイントすると、消しゴムのアイコンが表示されます。
3. 削除したいカレンダーの日付をクリックします。
・特定日スケジュールが削除され、通年のスケジュールで登録した日課パターン番号が表示されます。

■全ての特定日スケジュールを削除するには

1. [全て削除] ボタンをクリックします。
2. 【削除しますか？ 削除すると登録されている全ての特定日スケジュールが削除されます。】と表示されます。
[はい] ボタンをクリックします。
・全ての特定日スケジュールが削除され、通年のスケジュールで登録した日課パターン番号が表示されます。

ワンポイント

- [カレンダー年月] タブをポイントすると、〈+〉の拡大アイコンが表示され、クリックすると、その月のみ拡大表示します。
拡大表示のとき [カレンダー年月] タブをポイントすると、〈-〉の縮小アイコンが表示され、クリックすると、元に戻ります。
- 登録や削除をしたときは、パターン番号は赤色で表示されます。[戻る] ボタン等をクリックして、再表示させると黒色になります。

4. 年間スケジュール表の確認

登録してあるスケジュールを確認します。ここでは、登録や修正はできません。

■確認画面の呼び出し

- 1. 【スケジュール設定初期画面】で、[4. 年間スケジュール表] ボタンをクリックします。
 - ・[年間スケジュール表] 画面（確認画面）になります。

■確認のしかた

①確認する年月の指定

●年の指定

《ジャンプ》ボックスで、年の「▼」をクリックして、年を指定します。

- ・現在の年から9年先まで指定できます。

●月の指定

《ジャンプ》ボックスで、月の「▼」をクリックして、月を指定します。

- ・1月～12月まで指定できます。

年月を指定すると、その月から4ヶ月分のスケジュールを表示します。

コメント欄

スケジュール登録で登録したコメントが表示されます。

パターン欄

その日に放送する日課パターン番号または放送休止 (OFF) が表示されます。

- ・パターン欄は、表示項目欄で示している色で表示します。
白：週間スケジュール
赤：祝日スケジュール
橙：休日スケジュール
緑：特定日スケジュール

年間スケジュール表

2007年 5月			2007年 6月			2007年 7月			2007年 8月		
曜日	コメント	パターン	曜日	コメント	パターン	曜日	コメント	パターン	曜日	コメント	パターン
1	火	1	金		1	日		OFF	水		OFF
2	水	2	土		OFF	月	火	1	木		OFF
3	木	OFF	日		OFF	火		1	金		OFF
4	金	OFF	月	火	1	水		2	土		OFF
5	土	OFF	火	水	1	木		1	日		OFF
6	日	OFF	水	木	2	金		1	月		OFF
7	月	1	木	金	1	土		OFF	火		OFF
8	火	1	金		1	日		OFF	水		OFF
9	水	2	土		OFF	月	火	1	木		OFF
10	木	1	日		OFF	火		1	金		OFF
11	金	1	月	火	1	水		2	土		OFF
12	土	OFF	火	水	1	木		1	日		OFF
13	日	OFF	水	木	2	金		1	月		OFF
14	月	1	木	金	1	土		OFF	火		OFF
15	火	1	土		1	日		OFF	水		OFF
16	水	2	日		OFF	月	海の日	OFF	木		OFF
17	木	1	月	火	1	火		1	金		OFF
18	金	1	水	木	1	水		2	土		OFF
19	土	OFF	火	水	1	木		1	日		OFF
20	日	OFF	水		2	金		1	月		OFF
21	月	1	木		1	土		OFF	火		OFF
22	火	1	金		1	日		OFF	水		OFF
23	水	2	土		OFF	月	火	1	木		OFF
24	木	1	日		OFF	火		1	金		OFF
25	金	1	月	火	1	水		2	土		OFF
26	土	OFF	火	水	1	木		OFF	日		OFF
27	日	OFF	水	木	2	金		OFF	月		OFF
28	月	1	木	金	1	土		OFF	火		OFF
29	火	1	土		1	日		OFF	水		OFF
30	水	2	日		OFF	月	火	OFF	木		OFF
31	木	1	月	火		水		OFF	金		OFF
総授業日数 21日			総授業日数 21日			総授業日数 17日			総授業日数 0日		
総授業時間 298時間 20分			総授業時間 298時間 10分			総授業時間 241時間 30分			総授業時間 0時間 0分		
表示項目											
週間スケジュール 祝日スケジュール 休日スケジュール 特定日スケジュール											
印刷 ヘルプ 戻る											

表示項目欄

パターン欄の背景色を示しています。

- 白：週間スケジュール
- 赤：祝日スケジュール
- 橙：休日スケジュール
- 緑：特定日スケジュール

[印刷] ボタン

クリックすると、年間スケジュール表を印刷します。詳しくは、「第5章 共通編 登録内容を印刷する」(138 ページ)を参照してください。

[ヘルプ] ボタン

クリックすると、電子ファイル (PDF) の取扱説明書が表示されます。

②確認の終了

確認を終わるとき、[戻る] ボタンをクリックします。

- ・【スケジュール設定初期画面】に戻ります。

メモ

5. 装置設定の登録

本装置が接続される放送設備との信号のやりとりや、使用するチャイムの条件、リモート放送の設定などを登録します。

■装置設定の内容一覧

番号	項目	登録内容	設定可能範囲	初期値
1	アンプの起動時間	放送設備のアンプなどが起動してから、何秒後に音が出始めるか設定します。	0 ～ 15 秒	5 秒
2	BGM の起動時間	(一般用のみ)	—	—
3	外部チャイムの起動時間	外部チャイムが起動してから、何秒後に音が出始めるか設定します。	0 ～ 15 秒	5 秒
4	外部チャイムの継続時間	外部チャイムの放送時に、外部チャイムを何秒間鳴らすか設定します。	1 ～ 999 秒	25 秒
5	外部チャイムの自己保持	外部チャイムの起動信号自己保持の有無を設定します。自己保持機能がある場合は「あり」に設定します。	なし／あり	なし
6	時刻修正	後面の時刻修正端子を使用するときに、時刻修正信号の種類によって設定します。	± 30 秒／50 ～ 10 秒／NTP サーバ	± 30 秒
7	NTP サーバ	ネットワークで時刻修正を行なう場合の NTP サーバアドレスを設定します。未使用の場合はすべて 0 を設定します。	—	設定なし
8	[± 30 秒／50 ～ 10 秒] 修正する時間帯	時刻修正を行なう時間帯を設定します。	0 時 0 分～23 時 59 分	0 時 50 分 1 時 10 分
	[NTP サーバ] 修正する時刻	時刻修正を行なう時刻を設定します。	0 時 0 分～23 時 59 分	1 時 0 分
9	時刻の最小単位	(一般用のみ)	—	—
10	時報の使用	(一般用のみ)	—	—
11	アナキーパー	(一般用のみ)	—	—
12	リモート放送の使用	後面のリモート端子を使った、リモート放送を使用する／使用しないを設定します。使用する場合はモードを選択します。	使用しない 使用する（標準：5） 使用する（オプション：31） 使用する（オプション：50）	使用しない

(※)NTP サーバによる時刻修正は、PBS-D500 本体と NTP サーバの日付が異なる場合には修正できません。

■登録画面の呼び出し

1. 【スケジュール設定初期画面】で、[5. 装置設定] ボタンをクリックします。
・【装置設定】の登録画面になります。

①設定項目の指定
設定する項目の行をクリックします。
・反転表示になります。

説明欄
設定内容が表示されます。

番号	項目	登録内容	説明
1	アンプの起動時間	5 秒	説明欄 設定内容が表示されます。
2	BGMの起動時間	（一般用のみ）	
3	外部チャイムの起動時間	5 秒	
4	外部チャイムの継続時間	2 5 秒	
5	外部チャイムの自己保持	なし	
6	時刻修正	± 3 0 秒	
7	NTPサーバ	設定なし	
8	修正する時刻	0 時 5 0 分 ~ 1 時 1 0 分	
9	時刻の最小単位	（一般用のみ）	
10	時報の使用	（一般用のみ）	
11	アナキーパー	（一般用のみ）	
12	リモート放送の使用	使用しない	

②登録
装置設定に対応した登録内容が表示されます。
数値を入力したり、設定値を選択して登録します。
・続けて登録するときは、①～②を繰り返します。

表示例は、「アンプ起動時間」の例です。
各装置設定の登録のしかたは、下記を参照してください。

③登録の終了
登録を終わるとき [戻る] ボタンをクリックします。
・【スケジュール設定初期画面】に戻ります。

設定一覧
装置設定の項目を表示します。

[印刷] ボタン
クリックすると、装置設定を印刷します。詳しくは、「第 5 章 共通編 登録内容を印刷する」(138 ページ)を参照してください。

[ヘルプ] ボタン
クリックすると、電子ファイル (PDF) の取扱説明書が表示されます。

■登録のしかた

●アンプ・外部チャイムの起動時間／外部チャイムの継続時間（項目番号：1,3,4）

1. 設定一覧の該当する行をクリックします。
・右の登録画面を表示します。
2. [テンキー] をクリックして秒数を入力します。
・登録内容欄に入力した内容が表示されます。
・[クリア] ボタンをクリックすると、最小値が登録されます。

登録

7	8	9
4	5	6
1	2	3
0	クリア	

●外部チャイムの自己保持（項目番号：5）

1. 設定一覧の「項目番号 5」の行をクリックします。
・右の登録画面を表示します。
2. [なし] または [あり] のオプションボタンをクリックします。
・登録内容欄に入力した内容が表示されます。

登録

☒ なし

☐ あり

●時刻修正（項目番号：6）

1. 設定一覧の「項目番号 6」の行をクリックします。
・右の登録画面を表示します。
2. [± 30 秒]、[50 ～ 10 秒]、[NTP サーバ] のオプションボタンをクリックして選択します。
・登録内容欄に入力した内容が表示されます。

登録

☒ ± 30 秒で修正する

☐ 50 秒から 10 秒以内で修正する
※ 観時計 (0 秒、30 秒毎の駆動信号) で修正する場合

☐ NTP サーバ

スケジュール設定（学校用）

●NTP サーバ（項目番号：7）

「項目番号 6：時刻修正」で「NTP サーバ」を選択したときに有効になります。

- 1. 設定一覧の「項目番号 7」の行をクリックします。
 - ・右の登録画面を表示します。
- 2. NTP サーバの IP アドレスを登録します。
 - ・登録内容欄に入力した内容が表示されます。

※ [クリア] ボタンをクリックすると、すべて 0 に設定されます。



●修正する時刻（項目番号：8）

◆「項目番号 6：時刻修正」が [± 30 秒]、[50 ～ 10 秒] の場合

- 1. 設定一覧の「項目番号 8」の行をクリックします。
 - ・右の登録画面を表示します。
- 2. 時および分の [▼] をクリックして、時分を登録します。
 - ・登録内容欄に入力した内容が表示されます。

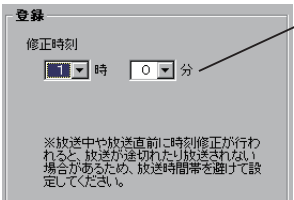
※修正する時間帯は、放送時間帯を避けて登録してください。



◆「項目番号 6：時刻修正」が [NTP サーバ] の場合

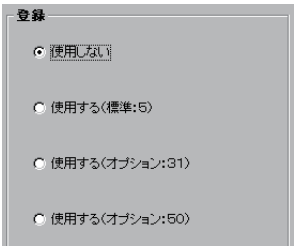
- 1. 設定一覧の「項目番号 8」の行をクリックします。
 - ・右の登録画面を表示します。
- 2. 時および分の [▼] をクリックして、時分を登録します。
 - ・登録内容欄に入力した内容が表示されます。

※修正する時刻は、放送時間帯を避けて登録してください。

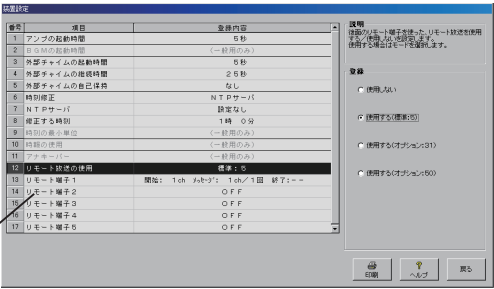


●リモート放送の使用（項目番号：12）

- 1. 設定一覧の「項目番号 12」の行をクリックします。
 - ・右の登録画面を表示します。
- 2. [使用しない]、[使用する（標準：5）]、[使用する（オプション：31）] または [使用する（オプション：50）] のオプションボタンをクリックします。
 - ・登録内容欄に入力した内容が表示されます。
 - ・[使用する] を選択すると、設定一覧にリモート端子番号を表示します。



リモート端子番号を表示します。



●リモート端子の設定（標準：5の例）

1. 設定一覧の「項目番号13～17」（リモート1～5）の設定する行をクリックします。
 - ・右の登録画面を表示します。
2. 「開始チャイム」および「終了チャイム」を使用する場合は、チャイムのチャンネル番号を入力します。
 - ・「▼」ボタンをクリックして、リストから指定することもできます。
 - ・登録内容欄に入力した内容が表示されます。
3. メッセージ一覧で、放送するメッセージをクリックして選択します。
 - ・送出回数設定欄が有効になります。
 - ・メッセージ放送をしない場合は「OFF」を選択します。
4. メッセージの送出回数をクリックして選択します。
 - ・登録内容欄に入力した内容が表示されます。

続けて他のリモート端子の設定を行なう場合は、1～4を繰り返します。

クリックすると、チャイム一覧を表示します。

チャイム一覧

メッセージを選択して、送出回数を指定します。



ワンポイント

- リモート放送で、別売の「リモートアダプタ PBS-D500 RA」、または「LAN アダプタ PBS-LA500」を使用する場合は、（項目番号 12:リモート放送の使用）を“使用する（オプション：50）”に設定してください。（オプション：31）は使用できません。

6. 装置用データの作成

本ソフトで作成した放送スケジュールデータやメッセージなどを、本体装置で読み込むための装置用データを作成します。装置用データは、USB メモリを使用して本体装置で読み込みます。

1 個の USB メモリには 1 種類の装置用データが書き込みできます。複数の装置用データを書き込むことはできません。

■登録画面の呼び出し

1. USB メモリを接続します。
2. 【スケジュール設定初期画面】で、【6. 装置用データ作成】ボタンをクリックします。
・【装置用データ作成】画面になります。

●スケジュールデータの作成

①スケジュール名の登録
スケジュールチェックボックスをクリックしてチェックを付け、スケジュール名を入力します。
・スケジュール名は、半角英数字で 15 文字まで入力できます。

作成対象
装置用データとして作成されるデータのアイコンを表示します。グレー表示のデータは作成されません。
・スケジュールチェックボックスをチェックすると、スケジュールのアイコンが有効表示します。

③作成
【作成】ボタンをクリックします。
・案内メッセージを表示します。

②作成先選択
【▼】をクリックして、USB メモリを接続したドライブを指定します。
・ドライブ名が表示されない場合は【更新】ボタンをクリックします。

【音源ファイルの割り付け】ボタン
外部音源を自作チャイムやメッセージに割り付けるときクリックします。

【ヘルプ】ボタン
クリックすると、電子ファイル（PDF）の取扱説明書が表示されます。

④装置用データ作成の終了
装置用データ作成が終わるとき【戻る】ボタンをクリックします。
・【スケジュール設定初期画面】に戻ります。

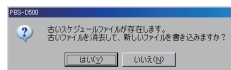
③作成 (続)
【OK】ボタンをクリックします。
・データの作成を開始します。
・案内メッセージを表示します。

③作成 (続)
【OK】ボタンをクリックします。
・【スケジュール設定初期画面】に戻ります。
・ハードウェア取り外しの案内メッセージを表示します。

— 装置用データ作成時の確認画面について —

スケジュールデータを作成するとき、USB メモリに以前に作成したスケジュールファイルなどがある場合には、次の様な確認画面が表示されることがあります。案内の指示に従って操作してください。

- ・古いスケジュールファイルがある場合



- 【はい】ボタンをクリックすると、新しいスケジュールファイルに書き換わります。
- 【いいえ】ボタンをクリックすると、【装置用データの作成】画面に戻ります。

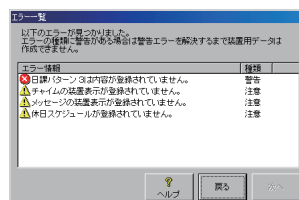
ワンポイント

- USB メモリを接続するドライブ名は、あらかじめ確認しておいてください。
- 作成先ドライブを制御用パソコンのハードディスクなど、USB メモリ以外に指定することもできます。
- チャイムやメッセージの音源も同時に作成する場合は、【音源ファイルの割付】ボタンをクリックして割付画面を開いた状態にしてください。音源の割り付けを行なっても、画面を閉じるとデータの作成ができません。

— エラー表示について —

作成したデータに不合理があると、エラー一覧として表示されます。

- 警告：この表示があるときは、エラーが解決するまで、装置用データの作成ができません。データを確認してください。
 - 注意：運用上、問題がないか確認してください。問題がなければ【次へ】ボタンをクリックすると装置用データの作成を継続します。
- ・エラー表示例



●音源ファイルの割り付け

外部で録音した音源を、自作チャイムやメッセージに割り付けて装置用データとして作成します。

スケジュールデータを作成しない場合は、スケジュールチェックボックスのチェックを外します。

スケジュールデータと同時に作成する場合は、「スケジュールデータの作成」手順①のあとに以下の操作で行ないます。

◆自作チャイムの作成

①作成先選択

「▼」をクリックして、USBメモリを接続したドライブを指定します。

- ・ドライブ名が表示されない場合は「更新」ボタンをクリックします。

②【音源ファイルの割り付け】画面の呼び出し

「音源ファイルの割り付け」ボタンをクリックします。

- ・【音源ファイルの割り付け】画面を表示します。

③【チャイム】画面の呼び出し

「チャイム」タブをクリックします。

- ・【自作チャイム一覧】画面を表示します。

作成対象

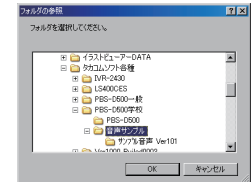
装置用データとして作成されるデータのアイコンを表示します。グレー表示のデータは作成されません。

- ・自作チャイムに音源を割り付けると、チャイムのアイコンが有効となり、ファイル数を表示します。

④音源ファイルフォルダの選択

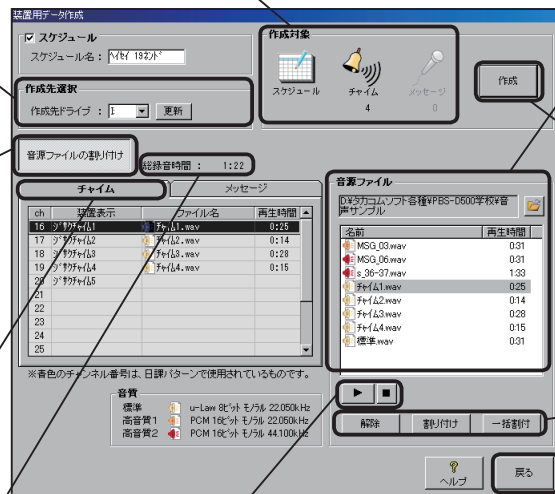
フォルダアイコンをクリックします。

- ・【フォルダの参照】画面を表示します。



音源が保存されているフォルダを選択して「OK」ボタンをクリックします。

- ・「音源ファイル一覧」に有効な音源ファイルを表示します。



⑤音源の割り付け

チャイム一覧でチャンネル番号を選択し、音源ファイルで割り付けたい音源を選択して「割り付け」ボタンをクリックします。

- ・チャイム一覧の「ファイル名／再生時間」欄に、選択した音源のファイル名と再生時間を表示します。

(A) 割り付けの解除

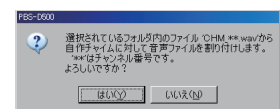
割り付けを解除したいチャンネル番号を選択して、「解除」ボタンをクリックします。

- ・チャイム一覧の「ファイル名／再生時間」欄の表示が消えます。

(B) 音源の一括割付

複数の音源ファイルを一括して割り付けるときに「一括割付」ボタンをクリックします。

- ・一括割付の確認画面を表示します。



「はい」ボタンをクリックします。

※一括割付を行なう場合は、あらかじめ音源のファイル名を「CHM_*.wav」として作成してください。「*」は自作チャイムのチャンネル番号（ch16～30）です。それぞれ該当のチャンネルに割り付けられます。

総録音時間（標準音質換算の時間）

自作チャイムとメッセージで割り付けた録音合計時間を表示します。録音時間が満杯になると、赤文字で表示します。

【再生／停止】ボタン

チャイムまたはメッセージを再生するときに、該当ファイルをクリックして「▶」ボタンをクリックします。

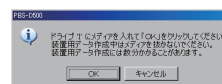
再生を止めるときは「■」ボタンをクリックします。

- ・再生音量はパソコンのスピーカーボリュームで調整します。

⑥作成

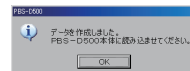
「作成」ボタンをクリックします。

- ・案内メッセージを表示します。



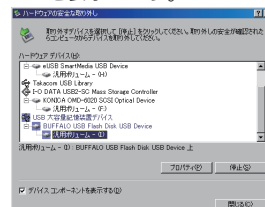
「OK」ボタンをクリックします。

- ・データの作成を開始します。
- ・案内メッセージを表示します。



「OK」ボタンをクリックします。

- ・【スケジュール設定初期画面】に戻ります。
- ・ハードウェア取り外しの案内メッセージを表示します。



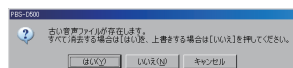
USBメモリが接続されたドライブを選択して「停止」ボタンをクリックします。

- ・USBメモリが安全に取り外しできます。

装置用データ作成時の確認画面について

音声データを作成するとき、USBメモリに以前に作成した音声ファイルなどがある場合には、次のような確認画面が表示されることがあります。案内の指示に従って操作してください。

・古い音声ファイルがある場合



「はい」ボタンをクリックすると、古い音声ファイルをすべて消去した上で、新しい音声ファイルを作成します。

「いいえ」ボタンをクリックすると、古い音声ファイルは残したまま、新しい音声ファイルを上書きします。

「キャンセル」ボタンをクリックすると、【装置用データの作成】画面に戻ります。

⑦装置用データ作成の終了

登録が終わるとき「戻る」ボタンをクリックします。

- ・【スケジュール設定初期画面】に戻ります。

スケジュール設定（学校用）

◆メッセージの作成

①作成先選択

「▼」をクリックして、USBメモリを接続したドライブを指定します。
・ドライブ名が表示されない場合は「更新」ボタンをクリックします。

②【音源ファイルの割り付け】画面の呼び出し

「音源ファイルの割り付け」ボタンをクリックします。
・「音源ファイルの割り付け」画面を表示します。

総録音時間

（標準音質換算の時間）
自作チャイムとメッセージで割り付けた録音合計時間を表示します。録音時間が満杯になると、赤字で表示します。

③【メッセージ】画面の呼び出し

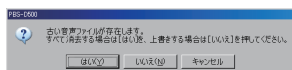
「メッセージ」タブをクリックします。
・「メッセージ一覧」画面を表示します。

【再生/停止】ボタン

チャイムまたはメッセージを再生するときに、該当ファイルをクリックして「▶」ボタンをクリックします。
再生を止めるときは「■」ボタンをクリックします。
・再生音量はパソコンのスピーカーボリュームで調整します。

装置用データ作成時の確認画面について

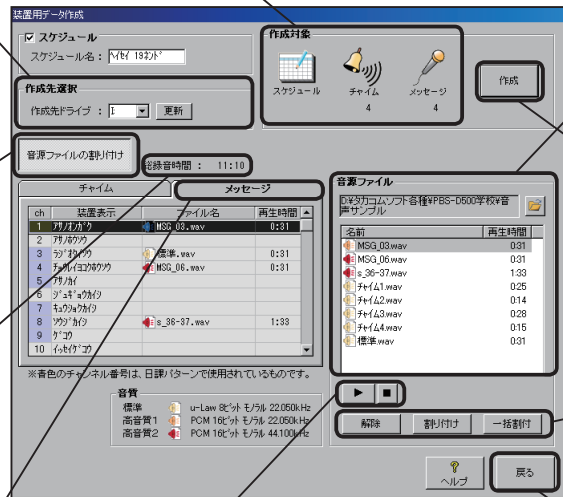
音声データを作成するとき、USBメモリに以前に作成した音声ファイルなどがある場合には、次の様な確認画面が表示されることがあります。案内の指示に従って操作してください。
・古い音声ファイルがある場合



「はい」ボタンをクリックすると、古い音声ファイルをすべて消去した上で、新しい音声ファイルを作成します。
「いいえ」ボタンをクリックすると、古い音声ファイルは残したまま、新しい音声ファイルを上書きします。
「キャンセル」ボタンをクリックすると、「装置用データの作成」画面に戻ります。

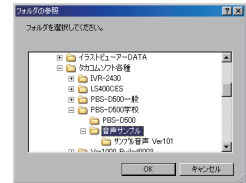
作成対象

装置用データとして作成されるデータのアイコンを表示します。グレー表示のデータは作成されません。
・メッセージに音源を割り付けると、メッセージのアイコンが有効となり、ファイル数を表示します。



④音源ファイルフォルダの選択

フォルダアイコンをクリックします。
・「フォルダの参照」画面を表示します。



音源が保存されているフォルダを選択して「OK」ボタンをクリックします。
・「音源ファイル一覧」に有効な音源ファイルを表示します。

⑤音源の割り付け

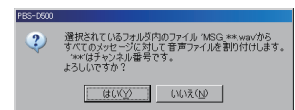
メッセージ一覧でチャンネル番号を選択し、音源ファイルで割り付けたい音源を選択して「割り付け」ボタンをクリックします。
・メッセージ一覧の「ファイル名/再生時間」欄に、選択した音源のファイル名と再生時間を表示します。

(A) 割り付けの解除

割り付けを解除したいチャンネル番号を選択して、「解除」ボタンをクリックします。
・メッセージ一覧の「ファイル名/再生時間」欄の表示が消えます。

(B) 音源の一括割付

複数の音源ファイルを一括して割り付けるときに「一括割付」ボタンをクリックします。
・一括割付の確認画面を表示します。



・「はい」ボタンをクリックします。

※一括割付を行なう場合は、あらかじめ音源のファイル名を「MSG_*.wav」として作成してください。*はメッセージのチャンネル番号（ch1～99）です。それぞれ該当のチャンネルに割り付けられます。

⑦装置用データ作成の終了

登録が終わるとき「戻る」ボタンをクリックします。
・「スケジュール設定初期画面」に戻ります。

ワンポイント

●本システムで使用できる音源ファイルは、次の形式の音源ファイルです。

- ・μ-law 8ビットモノラル 22.050kHz
- ・PCM 16ビットモノラル 22.050kHz
- ・PCM 16ビットモノラル 44.100kHz

本体装置以外で音源を作成する場合は、上記のファイル形式で作成してください。

ネットワーク機能（学校用）

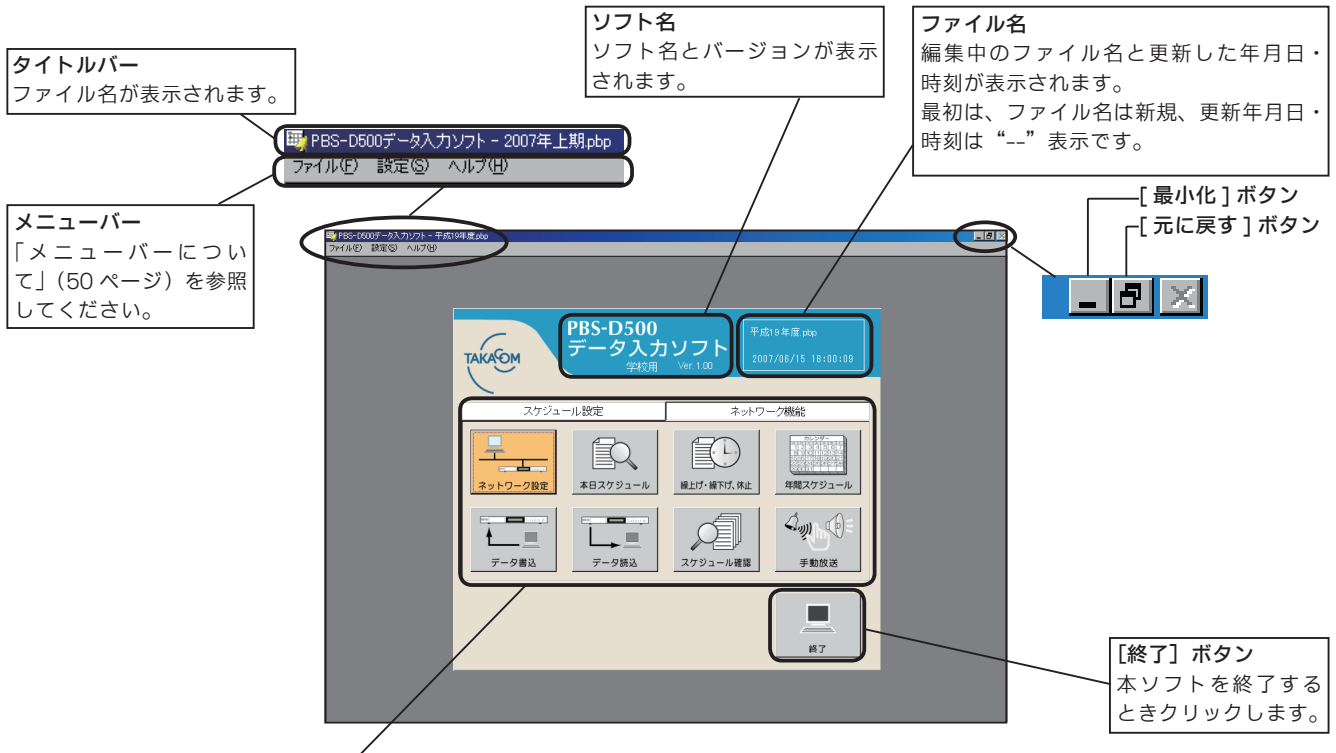
本体装置と制御用パソコンを同じネットワーク（LAN）に接続して、放送スケジュールの臨時変更やデータの転送、自動放送の開始／停止、手動放送などを、制御用パソコンからネットワーク経由で行うことができます。

これらのネットワーク経由の操作は、本体装置が自動放送セット中でも行なうことができます。

■初期画面の構成

【初期画面】で【ネットワーク機能】タブをクリックします。

・【ネットワーク機能初期画面】を表示します。



操作選択ボタン

各操作は、次の操作選択ボタンをクリックすることから始めます。

グレー表示のボタンは、ネットワーク設定で「ネットワーク接続を使用する」に設定すると有効になります。

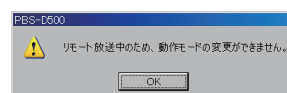
- **【ネットワーク設定】ボタン**
ネットワーク機能を「使用する／使用しない」、IP アドレスの登録など、ネットワーク接続の登録画面を呼び出すときクリックします。
- **【本日スケジュール】ボタン**
本日スケジュールのステップ変更や、放送時間の繰上げ・繰下げ／休止の登録画面を呼び出すときにクリックします。
- **【繰上げ、繰下げ、休止】ボタン**
設定済みのスケジュールを、翌日以降の指定した日付単位で「繰上げ、繰下げまたは放送休止」する登録画面を呼び出すときにクリックします。
- **【年間スケジュール】ボタン**
年間スケジュールで、特定日を登録する画面を呼び出すときにクリックします。
- **【データ書込】ボタン**
スケジュールやメッセージなどのデータを、制御用パソコンから本体装置へ書き込むときの操作画面を呼び出すときにクリックします。
- **【データ読込】ボタン**
本体装置に登録されているスケジュールやメッセージなどのデータや、リモート放送の履歴を制御用パソコンに読み込むときの操作画面を呼び出すときにクリックします。
- **【スケジュール確認】ボタン**
本体装置に登録されているスケジュールを確認するときにクリックします。
- **【手動放送】ボタン**
制御用パソコンからネットワーク（LAN）経由で手動放送する操作画面を表示するときにクリックします。

STOP お願い

- 自動放送セット中にネットワーク機能でデータの転送や書き込みを行なうと、自動放送は一旦解除され、転送が終了すると自動的に再セットされます。従って定時放送などの放送中は放送が中断されます。放送中の操作は避けていただくことをお勧めします。

また、転送が終了したときに、本体装置がリモート放送を行なっている場合は、右の表示となり、自動再セットができません。

【自動放送】ボタンをクリックして、再セットしてください。



1. ネットワーク設定の登録

本体装置と制御用パソコンをLAN 接続で使用する場合はネットワーク接続の登録を行ないます。

■登録画面の呼び出し

1. 【ネットワーク機能初期画面】で、[ネットワーク設定] ボタンをクリックします。

・【ネットワーク接続の設定】画面になります。

■登録のしかた

①ネットワーク接続を使用する

チェックボックスをクリックして「ネットワークを使用する」にします。
・接続先ネットワーク情報および「接続テスト」ボタンが有効になります。

②接続先ネットワーク情報

本体装置のIPアドレスを入力します。
通常、ポート番号は変更ししないでください。

③登録

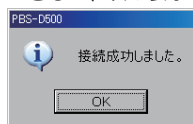
「登録」ボタンをクリックすると、【ネットワーク機能初期画面】（下図）を表示します。
・操作選択ボタンは、全てのボタンが有効になります。

④ネットワーク接続設定の終了

ネットワーク接続設定が終わるときに「戻る」ボタンをクリックします。
・【ネットワーク機能初期画面】に戻ります。

接続テスト

「接続テスト」ボタンをクリックすると、本体装置との接続確認ができます。
・接続ができると、次の表示となります。



「OK」ボタンをクリックすると、【ネットワーク接続設定】画面に戻ります。

・接続できない場合は、次の表示となります。



「OK」ボタンをクリックすると、【ネットワーク接続設定画面】に戻ります。本体装置の登録などを確認してください。

ワンポイント

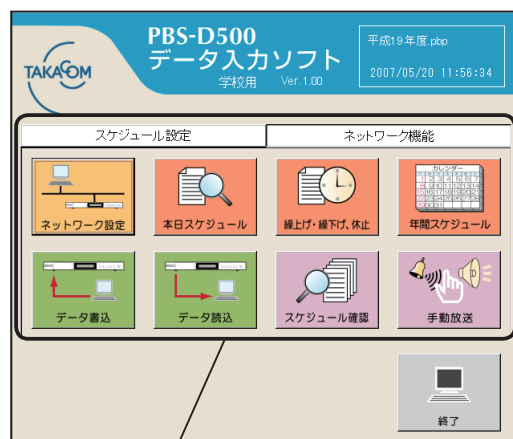
- ネットワーク機能を使用して、本日スケジュールの臨時変更や設定データの転送などを行なう場合、本体装置と接続できるパソコンは1台のみです。同時に2台以上のパソコンで操作することはできません。
・上記の場合でも、別のパソコンから「スケジュール確認」、「LAN 手動放送」の操作はできます。
- ネットワーク機能を使用しない場合は、チェックボックスのチェックを外して「登録」ボタンをクリックします。「登録」ボタン以外の操作選択ボタンがグレー表示の【ネットワーク機能初期画面】になります。

ワンポイント

- 本体装置で操作中は、「ネットワーク設定」以外のネットワーク機能は操作できません。「操作選択」ボタンをクリックすると、次の画面を表示します。



【ネットワーク機能初期画面】



「操作選択」ボタン

パスワードを設定していないとき、およびマスターパスワードでログインしたときは、全てのボタンが選択できます。

LAN 接続中の本体装置の表示

LAN 接続でご使用の場合、制御用パソコンでの操作により本体装置に次のように表示される場合があります。このときは、本体装置での操作はできません。

＜LAN セットアップ中＞
ネットワークが接続されています

ただし、自動放送およびリモート放送は動作します。

2. 本日スケジュールの変更登録

制御用パソコンからネットワーク（LAN）経由で本日のスケジュール変更ができます。本日スケジュール変更には「定時放送ステップの変更」、「定時放送 繰上げ・繰下げ／休止の変更」の2種類があります。

■登録画面の呼び出し

1. 【ネットワーク機能初期画面】で、[本日スケジュール] ボタンをクリックします。

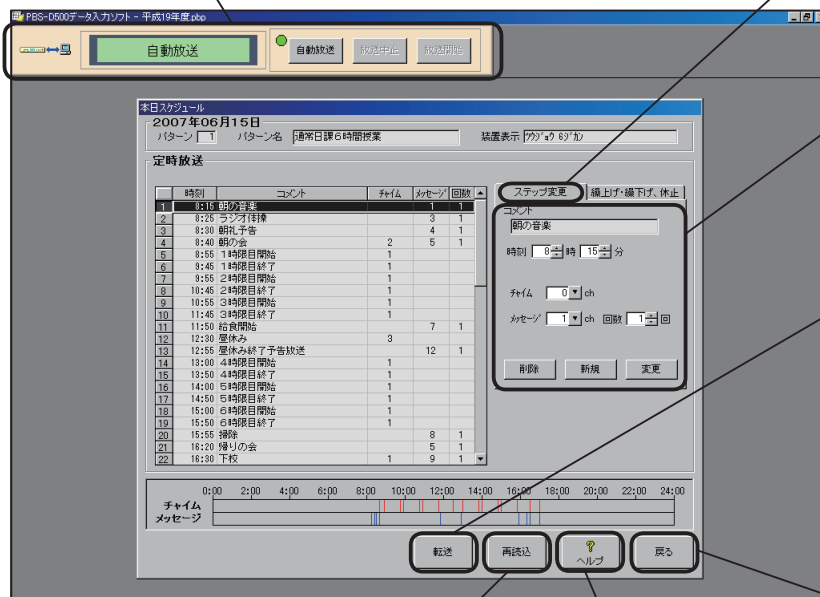
・本体装置と接続して、【本日スケジュール】の変更登録画面になります。（本体装置内の本日のスケジュールを表示します。）

■変更登録のしかた

●定時放送ステップの変更

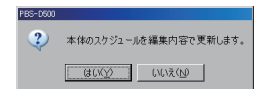
【本体操作パネル】画面
パネル上のボタンをクリックして、
本体装置を操作します。

①ステップ変更画面の呼び出し
[ステップ変更]タブをクリックします。
・ステップ変更画面になります。



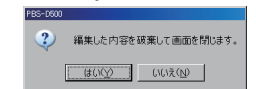
②放送内容の変更
定時放送の登録・修正・削除（104ページ）と同じ方法で変更します。
・コメントの変更はできません。
・定時放送一覧に変更した内容を表示します。

③転送
変更内容に間違いがないことを確認して、[転送] ボタンをクリックします。
・確認画面を表示します。



・[はい] ボタンをクリックすると、変更したデータが本体装置に転送されます。

④変更登録の終了
変更登録が終わるとき [戻る] ボタンをクリックします。
・【ネットワーク機能初期画面】に戻ります。
・本体装置に変更データを転送する前にクリックすると、確認画面を表示します。



[はい] ボタンをクリックすると、変更した内容をキャンセルして【ネットワーク機能】画面に戻ります。

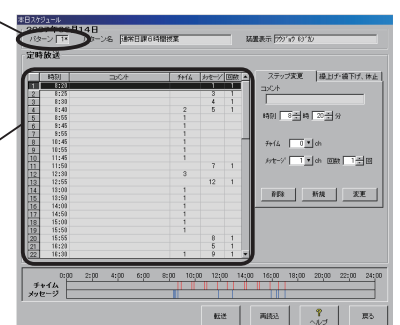
[再読込] ボタン
本体装置のデータを読み込むときにクリックします。

[ヘルプ] ボタン
クリックすると、電子ファイル (PDF) の取扱説明書が表示されます。

変更されたパターンには、“*”が付きます。
パターン 1*

変更された内容が表示されます。
・コメント欄は空欄になります。

転送後の【本日スケジュール】画面



— 本日スケジュール変更時の本体装置の表示 —

ネットワークで本日スケジュールの変更を行なうと、本体装置のパターン番号は、LAN と表示します。

《本日スケジュール確認時の例》

2007/ 7/ 9 MON LAN
[LANスケジュール]

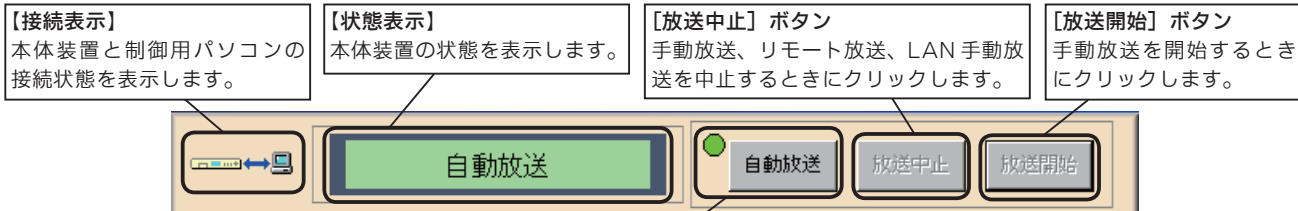
《自動放送中の例》

7/ 9 MON 13:45:08 LAN
15:00 CHM 2, MSG10(1)

本体操作パネル画面について

【ネットワーク機能初期画面】の【ネットワーク設定】ボタン以外の操作ボタンをクリックすると、次の【本体操作パネル】画面を表示します。

※スケジュール確認のときは、【本体操作パネル】画面はグレー表示となります。

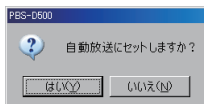


【自動放送】ボタン・ランプ

自動放送を開始／停止するときをクリックします。

●自動放送の開始

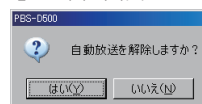
- ①待機中に【自動放送】ボタンをクリックします。
・「自動放送セット」の確認画面を表示します。



- ②【はい】ボタンをクリックすると自動放送を開始します。
・自動放送ランプが緑色に変わり、状態表示に【自動放送】と表示します。

●自動放送の停止

- ①自動放送中に【自動放送】ボタンをクリックします。
・「自動放送解除」の確認画面を表示します。



- ②【はい】ボタンをクリックすると自動放送を停止します。
・自動放送ランプが黒色に変わります。

● 定時放送（繰上げ・繰下げ、休止の変更）

本日スケジュールの繰上げ・繰下げおよび放送休止の変更ができます。



① 繰上げ・繰下げ、休止画面の呼び出し

「繰上げ・繰下げ、休止」タブをクリックします。

② 時刻の指定

《時刻》ボックスへ、繰上げ・繰下げ、休止を開始する時刻を入力します。

- ・「▲／▼」ボタンをクリックして、指定することもできます。
- ・時刻は24時間制で入力します。

③ 繰上げ・繰下げ、休止の指定

繰上げ／繰下げ／休止いずれかのオプションボタンをクリックします。

繰上げ・繰下げの場合は、その時間を入力します。

- ・「▲／▼」ボタンをクリックして、指定することもできます。
- ・時間は1～60分の範囲で入力できます。

④ スケジュールの確認

「スケジュール確認」ボタンをクリックすると、繰上げ、繰下げまたは休止を行なったスケジュールの確認ができます。

(a) 繰上げまたは繰下げされた時刻を表示します。

- ・休止の場合は、該当のステップが網掛けになります。

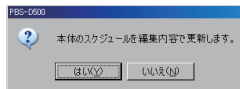
スケジュール確認画面例



⑤ 転送

変更内容に間違いがないことを確認して、「転送」ボタンをクリックします。

- ・確認画面を表示します。



- ・「はい」ボタンをクリックすると、変更したデータが本体装置に転送されます。

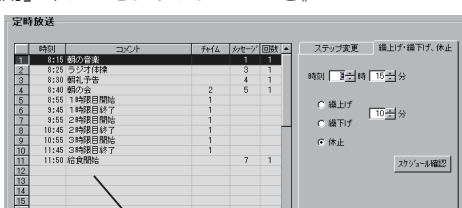
休止のスケジュール確認画面例

《スケジュール確認したとき》



休止のステップが網掛けになります。

《「適用」ボタンをクリックしたとき》



休止のステップは表示されません。

3. 繰上げ・繰下げ、休止の変更登録

制御用パソコンからネットワーク（LAN）経由で、翌日以降の放送スケジュールの繰上げ・繰下げ、休止の変更ができます。

■登録画面の呼び出し

1. 【ネットワーク機能初期画面】で、[繰上げ・繰下げ、休止] ボタンをクリックします。

・本体装置と接続して、[繰上げ・繰下げ、休止] の変更登録画面になります。（本体装置内の繰上げ・繰下げ/休止内容を表示します。）

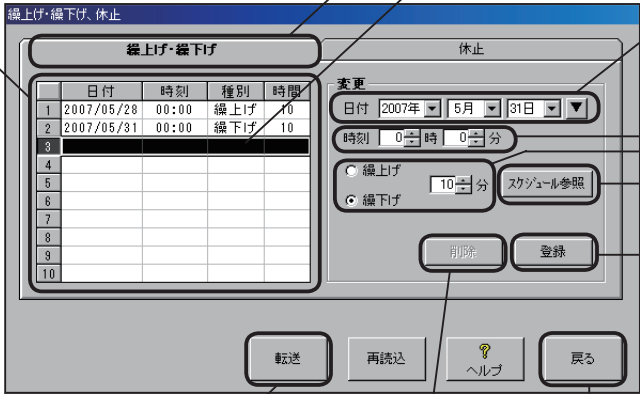
■変更登録のしかた

●繰上げ・繰下げの変更登録

①繰上げ・繰下げ変更画面の呼び出し
[繰上げ・繰下げ] タブをクリックします。
・繰上げ・繰下げ変更画面になります。

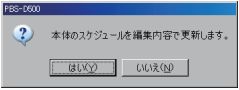
②登録行の指定
繰上げ・繰下げ一覧で空欄をクリックします。

繰上げ・繰下げ一覧
繰上げまたは繰下げする日付・時刻・時間（分）などを表示します。
・繰上げ・繰下げの変更は、10 日間まで登録できます。



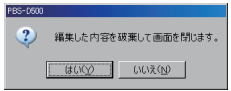
[削除] ボタン

⑧転送
変更内容に間違いがないことを確認して、[転送] ボタンをクリックします。
・確認画面を表示します。



・[はい] ボタンをクリックすると、変更したデータが本体装置に転送されます。

⑨変更登録の終了
変更登録を終わるとき [戻る] ボタンをクリックします。
・【ネットワーク機能初期画面】に戻ります。
・本体装置に変更データを転送する前にクリックすると、確認画面を表示します。



[はい] ボタンをクリックすると、変更した内容をキャンセルして【ネットワーク機能初期画面】に戻ります。

●繰上げ・繰下げ登録を削除するには

- 繰上げ・繰下げ一覧の、削除したい日付を選びます。
- [削除] ボタンをクリックします。
- 【選択行を削除しますか?】と表示されます。
[はい] ボタンをクリックします。
・繰上げ・繰下げ一覧から削除されます。
- [転送] ボタンをクリックします。

③日付の指定

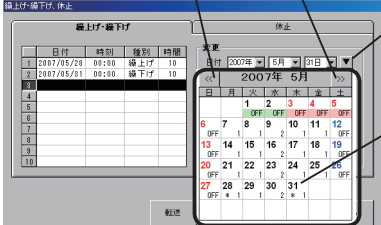
《日付》ボックスへ、変更する日付（年、月、日）を入力します。

- ・翌日以降の日付が入力できます。
- ・年、月、日の各 [▼] ボタンをクリックして、表示されるリストから指定することもできます。

日付指定欄右端の [▼] ボタンをクリックしてカレンダーを表示し、日付を指定することもできます。

(a) [《】 ボタン
・クリックすると表示月が戻ります。

(b) [】 ボタン
・クリックすると表示月が進みます。



クリックするとカレンダーを表示します。
日付をクリックします。

④時刻の入力

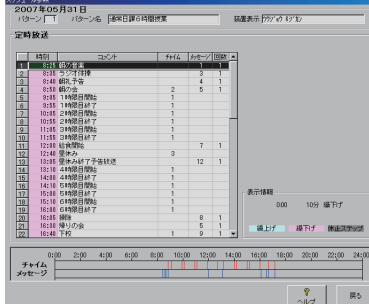
《時刻》ボックスへ、変更を開始する時刻を入力します。
・[▲/▼] ボタンをクリックして、指定することもできます。
・時刻は 24 時間制で入力します。

⑤繰上げ・繰下げ時間の入力

繰上げまたは繰下げ、いずれかのオプションボタンをクリックして、その時間を入力します。
・[▲/▼] ボタンをクリックして、指定することもできます。
・時間は 1～60 分の範囲で入力できます。

⑥スケジュール参照

[スケジュール参照] ボタンをクリックすると、該当日の変更後の放送スケジュールが確認できます。



⑦登録

[登録] ボタンをクリックすると、繰上げ・繰下げ一覧に登録した内容が表示されます。
・続けて登録するときは、②～⑦を繰り返します。

●休止の変更登録

休止登録一覧
放送を休止する日付・時刻を表示します。
・放送休止は、10日間まで登録できます。

①休止登録画面の呼び出し
[休止] タブをクリックします。
・休止登録画面になります。

②登録行の指定
休止登録一覧で空欄をクリックします。

③日付の指定
《日付》ボックスへ、放送休止する日付（年、月、日）を入力します。
・翌日以降の日付が入力できます。
・年、月、日の各 [▼] ボタンをクリックして、表示されるリストから指定することもできます。

日付指定欄右端の [▼] ボタンをクリックしてカレンダーを表示し、日付を指定することもできます。

クリックするとカレンダーを表示します。
日付をクリックします。
※変更された日課パターンには、*印が付きます。

(a) [左] ボタン
・クリックすると表示月が戻ります。
(b) [右] ボタン
・クリックすると表示月が進みます。

④時刻の入力
《時刻》ボックスへ、休止を開始する時刻を入力します。
・[▲/▼]ボタンをクリックして、指定することもできます。
・時刻は24時間制で入力します。

⑤スケジュール参照
[スケジュール参照] ボタンをクリックすると、該当日の放送休止のスケジュールが確認できます。

⑥登録
[登録] ボタンをクリックすると、休止登録一覧に登録した内容が表示されます。
・続けて登録するときは、②～⑥を繰り返します。

⑦転送
変更内容に間違いがないことを確認して、[転送] ボタンをクリックします。
・確認画面を表示します。

・[はい] ボタンをクリックすると、変更したデータが本体装置に転送されます。

⑧変更登録の終了
変更登録が終わるとき [戻る] ボタンをクリックします。
・【ネットワーク機能初期画面】に戻ります。
・本体装置に変更データを転送する前にクリックすると、確認画面を表示します。

[はい] ボタンをクリックすると、変更した内容をキャンセルして【ネットワーク機能初期画面】に戻ります。

●休止登録を削除するには

1. 休止登録一覧の、削除したい日付を選びます。
2. [削除] ボタンをクリックします。
3. 【選択行を削除しますか?】と表示されます。
[はい] ボタンをクリックします。
・休止登録一覧から削除されます。
4. [転送] ボタンをクリックします。

繰上げ・繰下げ、休止変更時の本体装置の表示

ネットワークで繰上げ・繰下げ、休止の変更を行なうと、本体装置の該当日のパターン番号にマークが付きます。
《年間スケジュール確認時の例》

スケジュール変更マーク
2007/ 7/ 9 MON ▶PT 1
[*****]

4. 年間スケジュールの変更登録

制御用パソコンからネットワーク（LAN）経由で年間スケジュールの特定日の変更ができます。

■登録画面の呼び出し

1. 【ネットワーク機能初期画面】で、[年間スケジュール] ボタンをクリックします。
・本体装置と接続して、【年間スケジュール】の特定日変更登録画面になります。（本体装置内の特定日カレンダーを表示します。）

■変更登録のしかた

登録方法は、「スケジュール設定 3. 年間スケジュールの登録 3-5. 特定日スケジュールの登録」（111 ページ）と同じです。

①カレンダー選択
カレンダーを選択します。

[曜日] ボタン [全て削除] ボタン

②登録
[登録] ボタンをクリックします。
・年間カレンダーの日付をポイントすると、鉛筆のアイコンが表示されます。

③パターン番号の指定
登録する日課パターン番号をクリックします。
・反転表示になります。

④パターン番号の登録
該当の日付をクリックします。
・続けて登録するときは、①～④を繰り返します。
登録のしかたは、個々に登録する以外に次の方法があります。
＊ [曜日] ボタンをクリックすると、その月の同じ曜日に同じ日課パターンを登録します。
＊ ドラッグすると、その範囲に同じ日課パターンを登録します。
削除も同様にできます。

⑤転送
変更内容に間違いがないことを確認して、[転送] ボタンをクリックします。
・確認画面を表示します。

⑥変更登録の終了
変更登録が終わるとき [戻る] ボタンをクリックします。
・【ネットワーク機能初期画面】に戻ります。
・本体装置に変更データを転送する前にクリックすると、確認画面を表示します。

●特定日スケジュールを削除するには

1. 「登録のしかた」の手順①と同じ操作で、特定日スケジュールを削除したいカレンダーを選びます。
2. 日課パターン一覧表の、[削除] ボタンをクリックします。
・年間カレンダーの日付をポイントすると、消しゴムのアイコンが表示されます。
3. 削除したいカレンダーの日付をクリックします。
・特定日スケジュールが削除され、通年のスケジュールで登録した日課パターン番号が表示されます。

●全ての特定日スケジュールを削除するには

1. [全て削除] ボタンをクリックします。
2. [削除しますか？ 削除すると登録されている全ての特定日スケジュールが削除されます。] と表示されます。
[はい] ボタンをクリックします。
・全ての特定日スケジュールが削除され、通年のスケジュールで登録した日課パターン番号が表示されます。

ワンポイント

- 本日スケジュールの変更登録、繰上げ・繰下げ／休止の変更登録によって変更された日課パターンには、番号の前に＊印が付いて表示されます。（例：＊1、＊2）
- 変更されている日課パターンの中、本日分については特定日を登録することで元の日課パターンに戻ります。

5. 装置用データの書き込み

本ソフトで作成したスケジュールなどの装置用データを、ネットワーク（LAN）経由で本体装置に書き込みできます。

■データ書き込み画面の呼び出し

1. 【ネットワーク機能初期画面】で、[データ書込] ボタンをクリックします。
・ 本体装置と接続して、【装置用データ書込】画面になります。（編集中のスケジュール内容を表示します。）

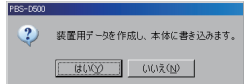
■書き込みのしかた

●スケジュールデータの書き込み

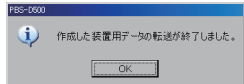
①スケジュール名の登録
スケジュールチェックボックスをクリックしてチェックを付け、スケジュール名を入力します。
・ スケジュール名は、半角英数字で 15 文字まで入力できます。

書込対象
本体装置に書き込むデータのアイコンを表示します。グレー表示のデータは書き込みません。
・ スケジュールチェックボックスをチェックすると、スケジュールのアイコンが有効表示します。

②書き込み
[書込] ボタンをクリックします。
・ 確認メッセージを表示します。



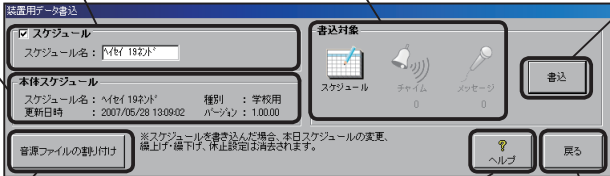
[はい] ボタンをクリックします。
・ データの書き込みを開始します。
・ 書き込みを終了すると、案内メッセージを表示します。



[OK] ボタンをクリックします。
・ 【装置用データ書込】画面に戻ります。
・ 本体スケジュールの表示は、新しく書き込んだスケジュールの情報を表示します。

③装置用データ書込の終了
装置用データの書き込みを終了するとき [戻る] ボタンをクリックします。
・ 【ネットワーク機能初期画面】に戻ります。

本体スケジュール
本体装置に登録されているスケジュール名、更新日時などが表示されます。



【音源ファイルの割り付け】ボタン
外部音源を自作チャイムやメッセージに割り付けるときクリックします。

【ヘルプ】ボタン
クリックすると、電子ファイル（PDF）の取扱説明書が表示されます。

ワンポイント

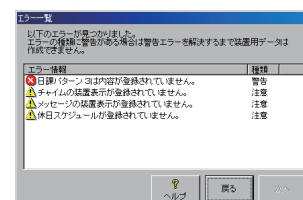
- スケジュールデータを書き込みしたときは、本体装置に設定されている「本日スケジュールの変更登録」、「繰上げ・繰下げ／休止の変更登録」は、全て消去されます。変更が必要な場合は、再度、変更登録してください。

エラー表示について

作成したデータに不合理があると、エラー一覧として表示されます。

- 警告：この表示があるときは、エラーが解決するまで、装置用データの作成ができません。データを確認してください。
- 注意：運用上、問題がないか確認してください。問題がなければ [次へ] ボタンをクリックすると装置用データの作成を続けます。

・ エラー表示例



●音源ファイルの割り付け

外部で録音した音源を、自作チャイムやメッセージに割り付けて本体装置に書き込みます。

スケジュールデータを書き込みしない場合は、スケジュールチェックボックスのチェックを外します。

スケジュールデータと同時に書き込みする場合は、「スケジュールデータの書き込み」手順①のあとに以下の操作で行ないます。

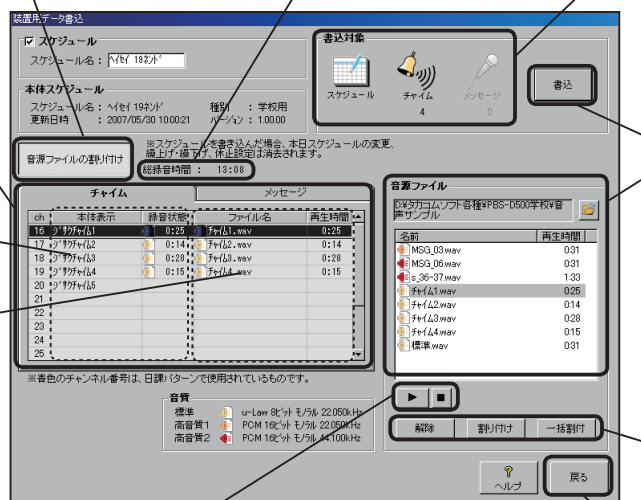
◆自作チャイムの書き込み

- ①【音源ファイルの割り付け】画面の呼び出し
「音源ファイルの割り付け」ボタンをクリックします。
・【音源ファイルの割り付け】画面を表示します。

総録音時間（標準音質換算の時間）
本体装置内の自作チャイムとメッセージの合計時間を表示します。
・外部音源のチャイムを割り付けしたときは、その録音時間で計算されます。録音時間が満杯になると、赤文字で表示します。

書込対象
本体装置に書き込むデータのアイコンを表示します。グレー表示のデータは書き込みません。
・自作チャイムに音源を割り付けると、チャイムのアイコンが有効となり、ファイル数を表示します。

- ②【チャイム】画面の呼び出し
「チャイム」タブをクリックします。
・【チャイム一覧】画面を表示します。



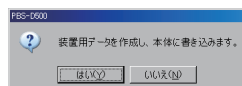
- ③音源ファイルフォルダの選択
フォルダアイコンをクリックします。
・【フォルダの参照】画面を表示します。
音源が保存されているフォルダを選択して【OK】ボタンをクリックします。
・「音源ファイル一覧」に有効な音源ファイルを表示します。

- 本体装置内の自作チャイム情報
割り付けた外部音源のチャイム情報

- ④音源の割り付け
チャイム一覧でチャンネル番号を選択し、音源ファイルで割り付けたい音源を選択して【割り付け】ボタンをクリックします。
・チャイム一覧の「ファイル名／再生時間」欄に、選択した音源のファイル名と再生時間を表示します。

- 【再生／停止】ボタン
チャイムまたはメッセージを再生するときに、該当ファイルをクリックして【▶】ボタンをクリックします。
再生を止めるときは【■】ボタンをクリックします。
・再生音量はパソコンのスピーカボリュームで調整します。

- ⑤書き込み
【書き込】ボタンをクリックします。
・確認メッセージを表示します。



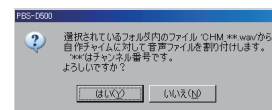
- 【はい】ボタンをクリックします。
・データの書き込みを開始します。
・書き込みを終了すると、案内メッセージを表示します。



- 【OK】ボタンをクリックします。
・【装置用データ書込】画面に戻ります。
・本体表示の録音状態は、割り付けた音源の録音時間に変わります。
・総録音時間が再計算されて表示されます。

- (A) 割り付けの解除
割り付けを解除したいチャンネル番号を選択して、【解除】ボタンをクリックします。
・チャイム一覧の「ファイル名／再生時間」欄の表示が消えます。

- (B) 音源の一括割付
複数の音源ファイルを一括して割り付けるときに【一括割付】ボタンをクリックします。
・一括割付の確認画面を表示します。



- ・【はい】ボタンをクリックします。

※一括割付を行なう場合は、あらかじめ音源のファイル名を「CHM_*.wav」として作成してください。"*"は自作チャイムのチャンネル番号（ch16～30）です。それぞれ該当のチャンネルに割り付けされます。

ワンポイント

- 録音時間が満杯の状態で、【書き込】ボタンをクリックすると、「作成音声の総録音時間が60分を超えています。」と表示されて、書き込みができません。

- ⑥自作チャイム書込の終了
自作チャイムの書き込みが終わるとき【戻る】ボタンをクリックします。
・【ネットワーク機能初期画面】に戻ります。

◆メッセージの書き込み

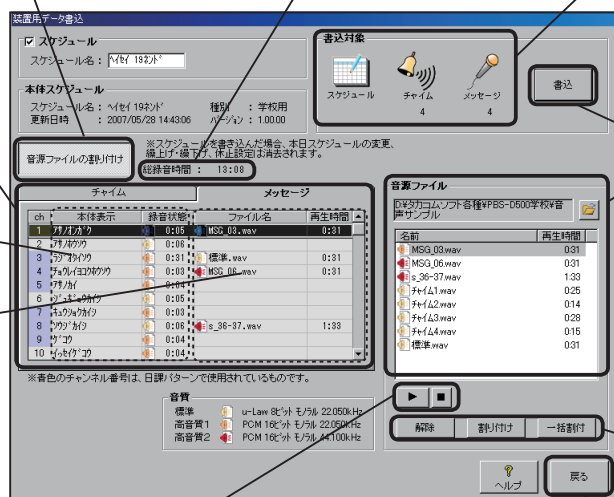
- ①【音源ファイルの割り付け】画面の呼び出し
[音源ファイルの割り付け] ボタンをクリックします。
・【音源ファイルの割り付け】画面を表示します。

総録音時間（標準音質換算の時間）
本体装置内の自作チャームとメッセージの合計時間を表示します。
・外部音源のメッセージを割り付けしたときは、その録音時間で計算されます。録音時間が満杯になると、赤字で表示します。

書込対象
本体装置に書き込むデータのアイコンを表示します。グレー表示のデータは書き込みません。
・メッセージに音源を割り付けると、メッセージのアイコンが有効となり、ファイル数を表示します。

- ②【メッセージ】画面の呼び出し
[メッセージ] タブをクリックします。
・【メッセージ一覧】画面を表示します。

本体装置内のメッセージ情報
割り付けした外部音源のメッセージ情報

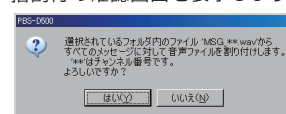


- ③音源ファイルフォルダの選択
フォルダアイコンをクリックします。
・【フォルダの参照】画面を表示します。
音源が保存されているフォルダを選択して [OK] ボタンをクリックします。
・「音源ファイル一覧」に有効な音源ファイルを表示します。

- ④音源の割り付け
メッセージ一覧でチャンネル番号を選択し、音源ファイルで割り付けた音源を選択して [割り付け] ボタンをクリックします。
・メッセージ一覧の「ファイル名/再生時間」欄に、選択した音源のファイル名と再生時間を表示します。

- (A) 割り付けの解除
割り付けを解除したいチャンネル番号を選択して、[解除] ボタンをクリックします。
・メッセージ一覧の「ファイル名/再生時間」欄の表示が消えます。

- (B) 音源の一括割付
複数の音源ファイルを一括して割り付けるときに [一括割付] ボタンをクリックします。
・一括割付の確認画面を表示します。

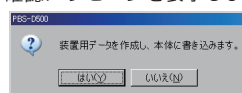


- ・[はい] ボタンをクリックします。

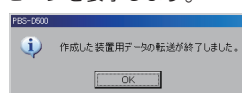
※一括割付を行なう場合は、あらかじめ音源のファイル名を「MSG_*.wav」として作成してください。“*”はメッセージのチャンネル番号（ch1～99）です。それぞれ該当のチャンネルに割り付けされます。

- [再生/停止] ボタン
チャームまたはメッセージを再生するときに、該当ファイルをクリックして [▶] ボタンをクリックします。
再生を止めるときは [■] ボタンをクリックします。
・再生音量はパソコンのスピーカーボリュームで調整します。

- ⑤書き込み
[書込] ボタンをクリックします。
・確認メッセージを表示します。



- [はい] ボタンをクリックします。
・データの書き込みを開始します。
・書き込みを終了すると、案内メッセージを表示します。



- [OK] ボタンをクリックします。
・【装置用データ書込】画面に戻ります。
・本体表示の録音状態は、割り付けた音源の録音時間になります。
・総録音時間が再計算されて表示されます。

- ⑥メッセージ書込の終了
メッセージの書き込みを終るとき [戻る] ボタンをクリックします。
・【ネットワーク機能初期画面】に戻ります。

ワンポイント

- 本システムで利用できる音源ファイルは、次の形式の音源ファイルです。
 - ・μ-law 8 ビットモノラル 22.050kHz
 - ・PCM 16 ビットモノラル 22.050kHz
 - ・PCM 16 ビットモノラル 44.100kHz
 本体装置以外で音源を作成する場合は、上記のファイル形式で作成してください。
- 録音時間が満杯の状態で、[書込] ボタンをクリックすると、「作成音声の総録音時間が 60 分を超えています。」と表示されて、書き込みができません。

6. データの読み込み

本体装置内のスケジュールデータや音源ファイル、および本体装置でリモート放送を行なった履歴（CSV形式のファイル）などを、ネットワーク（LAN）経由で制御用パソコンに読み込みできます。

■データ読み込み画面の呼び出し

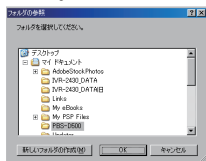
1. 【ネットワーク機能初期画面】で、[データ読込] ボタンをクリックします。

・本体装置と接続して、【データ読込】画面になります。（本体装置内のスケジュール、チャイム、メッセージ情報を表示します。）

■読み込みのしかた

①保存先の指定

[保存先指定] ボタンをクリックして、本体装置データを保存するフォルダを指定します。
・表示される【フォルダの参照】画面で指定します。



②スケジュールの選択

スケジュールデータを読み込む場合は、スケジュールチェックボックスをクリックしてチェックを付けます。
・スケジュール名、更新日時などが表示されています。

③チャイム、メッセージの選択

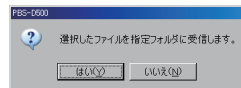
読み込みする自作チャイムおよびメッセージの選択欄をクリックしてチェックを付けます。
・チェックを外すときは、もう一度クリックします。
・[全選択/選択反転/全解除] ボタンで選択することもできます。

④リモート放送履歴の選択

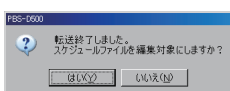
リモート放送の履歴を読み込む場合は、チェックボックスをクリックしてチェックを付けます。
・必要であればファイル名を変更します。

⑤読み込み

選択した内容に間違いがないことを確認して、[読込] ボタンをクリックします。
・確認画面を表示します。



・[はい] ボタンをクリックすると、データが指定したフォルダに読み込まれます。
・読み込みが終了すると、編集対象に「する/しない」の確認画面を表示します。



・[はい] ボタンをクリックすると、読み込んだファイルが本ソフトで開かれ、編集ができます。
・[いいえ] ボタンをクリックした場合は、あとで保存フォルダからファイルを開いて編集します。

読み込対象

読み込みするデータのアイコンを表示します。

・チャイム、メッセージは選択されたファイル数を表示します。
・選択されていないデータのアイコンは、グレー表示になります。

[全選択/選択反転/全解除] ボタン

[全選択] : クリックすると、表示されている全てのファイルが選択されてチェックが付きます。

[選択反転] : クリックすると、選択ファイルと否選択ファイルが入れ替わります。

[全解除] : クリックすると、選択されている全てのファイルの選択が解除されてチェックが外れます。



[ログ消去] ボタン

[再生/停止] ボタン

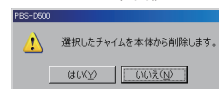
[ヘルプ] ボタン

クリックすると、電子ファイル（PDF）の取扱説明書が表示されます。

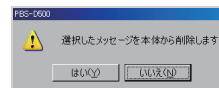
[削除] ボタン

本体装置内の自作チャイムまたはメッセージを削除するときに、該当ファイルをクリックして[削除] ボタンをクリックします。

・確認画面を表示します。
《チャイム削除の場合》



《メッセージ削除の場合》



・[はい] ボタンをクリックすると、録音は消去され、チャイム、メッセージ一覧から削除されます。

ワンポイント

●リモート放送履歴を読み込むときに、本体装置でリモート放送がない場合は、[読込] ボタンをクリックすると、次の画面を表示します。



●読み込んだチャイム、メッセージを再生するには

チャイムおよびメッセージを選択して読み込みを終了すると、[再生/停止] ボタンが有効になります。

再生したいファイルをクリックして [▶] ボタンをクリックすると再生が始まります。

再生を止めるときは [■] ボタンをクリックします。

- ・再生音量はパソコンのスピーカボリュームで調整します。

●リモート放送履歴を確認するには

読み込まれたリモート放送履歴は、指定した保存先に CSV 形式のファイルで、次のように書き込まれます。

- ・ファイル名：REMOTE.CSV

※ファイル名は、保存時に変更できます。

リモート放送履歴は、表計算ソフトで確認できます。

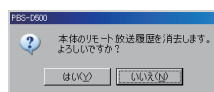
《リモート放送履歴の例》

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1	放送開始日	放送開始時刻	リモート番号	開始チャイム	メッセージ	送出回数	終了チャイム	要求元	結果
2	2007/5/18	17:12:03	1	1	1	1	0	リモート端子	放送
3	2007/5/21	17:32:12	1	1	1	1	0	リモート端子	放送

●リモート放送履歴を消去するには

リモート放送履歴は、本体装置に 100 件まで記録され、以後は古い履歴から削除されます。

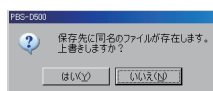
ネットワークで読み込みしても消去されません。消去するには、[ログ消去] ボタンをクリックします。



- ・[はい] ボタンをクリックすると、本体装置内のリモート放送履歴は全て消去されます。

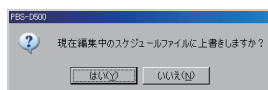
データ読み込み時の確認画面について

データを読み込むとき、保存先フォルダに以前に作成したファイルがある場合には、次のような確認画面が表示されます。



- ・[はい] ボタンをクリックすると、ファイルを上書きしてデータを読み込みます。
- ・[いいえ] ボタンをクリックすると、データ読み込みを中止します。保存先を変更してください。

スケジュールデータを読み込むとき、現在編集集中のスケジュールの場合には、次の様な確認画面が表示されます。



- ・[はい] ボタンをクリックすると、ファイルを上書きしてデータを読み込みます。
- ・[いいえ] ボタンをクリックすると、データ読み込みを中止します。保存先を変更してください。

ワンポイント

- 本体装置から読み込まれたチャイムおよびメッセージは、Wave ファイルとして指定したフォルダに保存されます。

ファイル名は、自動的に各チャンネル番号により次のように付けられます。

- ・チャイム : CHM_**.wav
(** はチャンネル番号 16 ~ 30)
- ・メッセージ : MSG_**.wav
(** はチャンネル番号 01 ~ 99)

- 「データ読込」で読み込んだチャイムおよびメッセージは、そのときの【データ読込】画面を開いている間のみ再生ができます。

7. スケジュール確認

制御用パソコンからネットワーク（LAN）経由で本日スケジュールの確認ができます。この画面では、スケジュールの変更などの操作はできません。

■確認画面の呼び出し

1. 【ネットワーク機能初期画面】で、[スケジュール確認] ボタンをクリックします。
・[スケジュール確認] 画面になります。

■確認のしかた

●定時放送の確認

日課パターン情報表示欄
日付、パターン番号、パターン名、装置表示名が表示されます。

定時放送一覧
本日の放送スケジュールが表示されます。
・スクロールバーで画面をスクロールして確認できます。

放送タイムチャート
放送時刻がタイムチャートで表示されます。

[再読み込み] ボタン
クリックすると最新の
情報に更新されます。

[ヘルプ] ボタン
クリックすると、電子
ファイル（PDF）の取扱
説明書が表示されます。

①スケジュール確認の終了
本日スケジュールの確認が終わるとき [戻る] ボタンをクリックします。
・【ネットワーク機能初期画面】に戻ります。



8. LAN 手動放送

制御用パソコンからネットワーク（LAN）経由で手動放送ができます。

■手動放送画面の呼び出し

1. 【ネットワーク機能初期画面】で、[手動放送] ボタンをクリックします。

・【手動放送】画面になります。

■放送のしかた

①放送パターンの指定

放送パターン一覧で放送するパターンをクリックします。
・反転表示になります。

放送パターン一覧

設定されている放送パターン（開始チャイム・メッセージ／送出回数・終了チャイム）を表示します。
・放送パターンは、10 種類まで登録できます。

放送パターンの設定

放送パターンを設定するときにクリックします。
・設定方法は、次ページを参照してください。

②放送開始

[放送開始] ボタンをクリックします。
・放送を開始します。

【ヘルプ】ボタン

クリックすると、電子ファイル（PDF）の取扱説明書が表示されます。

③ LAN 手動放送の終了

LAN 手動放送の操作が終わるとき [戻る] ボタンをクリックします。
・【ネットワーク機能初期画面】に戻ります。

● LAN 手動放送を中止するとき

【状態表示】画面

LAN 手動放送中の表示です。

①放送中止

[放送中止] ボタンをクリックします。
・確認画面を表示します。



・[はい] ボタンをクリックすると、放送を終了します。

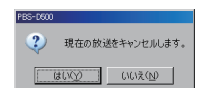
本体装置が放送中に、LAN 手動放送を行なったとき……

《定時放送を放送中の場合》



[放送開始] ボタンをクリックすると……

・右の確認画面を表示します。
[はい] ボタンをクリックすると、現在の放送を中止して、LAN 手動放送を行ないます。

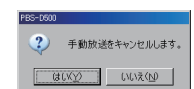


《本体装置で手動放送中の場合》



[放送開始] ボタンをクリックすると……

・右の確認画面を表示します。
[はい] ボタンをクリックすると、現在の放送を中止して、LAN 手動放送を行ないます。

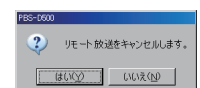


《リモート放送中の場合》



[放送開始] ボタンをクリックすると……

・右の確認画面を表示します。
[はい] ボタンをクリックすると、現在の放送を中止して、LAN 手動放送を行ないます。



■放送パターンを設定するには

①設定画面の呼び出し
 [放送パターンの設定] ボタンをクリックします。
 ・[パターン登録] 画面が表示されます。
 ・もう一度クリックすると、[パターン登録] 画面が閉じます。

②放送パターンの指定
 放送パターン一覧で設定するパターン番号（空欄）をクリックします。
 ・反転表示になります。

③パターンの登録
 《開始チャイム》、《メッセージ》、《終了チャイム》の各ボックスへ、放送するチャイム番号、メッセージ番号を入力します。
 ・[▼] ボタンをクリックして、リストから指定することもできます。
 ・放送しないときは、「O」を入力します。また、リストから指定するときは、「OFF」を指定します。
 送出回数は、メッセージ番号を登録したときに有効になります。《送出回数》ボックスへ、メッセージの送出回数を入力します。
 ・[▲ / ▼] ボタンをクリックして、指定することもできます。

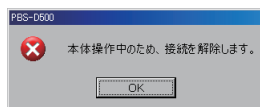
④登録
 [登録] ボタンをクリックすると、登録した内容が放送パターン一覧に表示されます。
 ・続けて、登録するときは、①～④を繰り返します。

■放送パターンを削除するには

1. 放送パターンの設定画面で、削除したい放送パターンをクリックします。
2. [削除] ボタンをクリックします。
3. 【選択行を削除しますか？】と表示されます。
 [はい] ボタンをクリックします。
 ・放送パターン一覧から削除されます。

■ LAN 手動放送の操作中に、本体装置でボタン操作を行なうと……

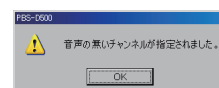
本体装置と接続して LAN 手動放送の操作を行なっているときに、本体装置でボタン操作が行なわれると、次の表示となり接続が切断されます。



- ・本体装置の状態を確認してください。

ワンポイント

- 手順 4 で「登録」ボタンをクリックしたとき、選択したチャンネルが録音されていない場合は、次のように表示します。



該当チャンネルに録音をしてください。

第 5 章

共通編

登録内容を印刷する

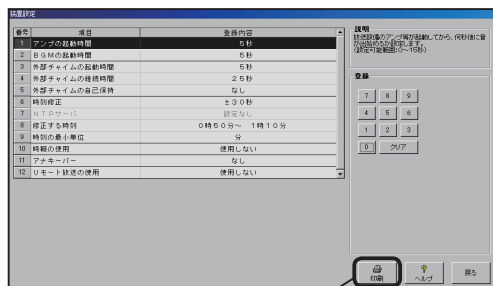
スケジュール設定の各登録画面で「印刷」ボタンをクリックすると、登録内容を印刷することができます。あらかじめプリンタの電源を入れて、A4用紙をセットしてください。

1. 印刷画面の設定

■印刷画面の呼び出し

各登録画面の「印刷」ボタンをクリックして【印刷】画面を表示し、プリンタの設定などを行います。

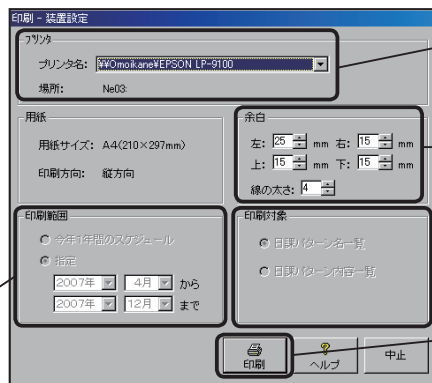
【装置設定】画面の例



「印刷」ボタン

印刷範囲指定欄

【印刷】画面の例



①プリンタ
印刷するプリンタ
を選択します。

②余白
印刷時の余白など
を変更できます。
用紙はA4で固定
です。

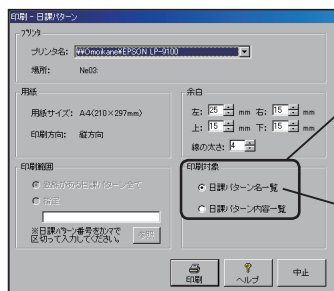
印刷対象指定欄

③「印刷」ボタン
クリックすると、
印刷を開始します。

■印刷範囲・印刷対象について

【日課パターン一覧表】、【年間スケジュール】、【年間スケジュール表】の各画面で「印刷」ボタンをクリックすると、【印刷範囲】または【印刷対象】の指定欄が有効になります。内容に従って印刷項目を選択して印刷してください。

●「日課パターン一覧表」の【印刷画面】



①印刷対象
日課パターン名だけの印刷
か、パターンの内容も印刷
するかを、オプションボタ
ンで選択します。

日課パターン名一覧
日課パターン名だけを
一覧で印刷するときにクリ
ックします。

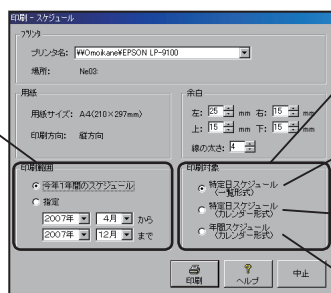


日課パターン内容一覧
日課パターンの内容を一
覧で印刷するときにクリ
ックします。

②印刷範囲
登録されている全ての日課パターンの印刷か、指定した日課パターンの印刷かを、オプションボタンで選択します。
《指定》を選択した場合は、パターン番号を入力します。
・「参照」ボタンをクリックして、表示される「日課パターン一覧表」から選択して登録することもできます。

●「年間スケジュール」の【印刷画面】

①印刷範囲
本年分のスケジュールの印刷か、指定した年月の期間分のスケジュールの印刷かを、オプションボタンで選択します。
《指定》を選択した場合は、開始年月と終了年月を入力します。
・《年・月》の各ボックスで「▼」ボタンをクリックして、リストから指定することもできます。
・年は、本年から10年分が指定できます。



②印刷対象
特定日スケジュールだけの印刷かまたは年間スケジュール全ての印刷か、および印刷の形式をオプションボタンで選択します。

特定日スケジュール（一覧形式）

特定日スケジュールを一覧で印刷します。

特定日スケジュール（カレンダー形式）

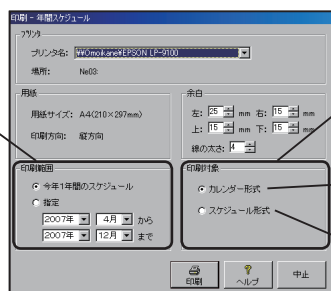
特定日スケジュールをカレンダー形式で印刷します。

年間スケジュール（カレンダー形式）

年間スケジュールをカレンダー形式で印刷します。

●「年間スケジュール表」の【印刷画面】

①印刷範囲
本年分のスケジュール表の印刷か、指定した年月の期間分のスケジュール表の印刷かを、オプションボタンで選択します。
《指定》を選択した場合は、開始年月と終了年月を入力します。
・《年・月》の各ボックスで「▼」ボタンをクリックして、リストから指定することもできます。
・年は、本年から10年分が指定できます。



②印刷対象
印刷対象をカレンダー形式で印刷するか、スケジュール帳形式で印刷するかをオプションボタンで選択します。

カレンダー形式

カレンダー形式で印刷します。

スケジュール形式

スケジュール帳形式で印刷します。

2. 印刷例

■一般用の場合

●日課パターン一覧

日課パターン表一覧

日課パターン番号：1 パターン名：通常業務

装置表示：カウゾウ34h

定時放送

No.	時刻	コメント	チャム	マイナー	送出回数
1	8:30	朝の音楽		11	1
2	8:45	ラジオ体操		1	1
3		連続チャイム	3		
4	8:55	業務開始予告	4	2	1
5	9:00	業務開始	1		
6	10:00	昼休みタイム		6	1
7	12:00	午前終了	1	4	1
8	12:55	昼休憩終了予告		5	1
9	13:00	午後開始	1		
10	15:00	業間リフレッシュ		3	1
11	17:40	業務終了	1		
12		残業		12	1
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
31					
32					
33					
34					
35					
36					
37					
38					
39					

BGM

No.	開始時刻	終了時刻	コメント	秒
1	12:00	12:55	昼の音楽	13
2	17:45	18:00	夕方の音楽	14
3				
4				
5				
6				

間隔放送

No.	開始時刻	終了時刻	間隔時間	放送1	放送2	放送3	放送4	放送5	放送6
1	9:00	19:00	30分	14	15	16	17	18	19

●年間スケジュール一覧

年間スケジュール一覧

2007年 7月

日	月	火	水	木	金	土
1 OFF	2 1	3 4	5 1	6 2	7 3	OFF
8 OFF	9 1	10 2	11 3	12 4	13 1	OFF
15 OFF	16 OFF	17 1	18 2	19 3	20 4	OFF
22 OFF	23 1	24 2	25 3	26 4	27 1	OFF
29 OFF	30 1	31 2				

2007年 8月

日	月	火	水	木	金	土
			1 2	2 3	3 4	OFF
5 OFF	6 1	7 2	8 3	9 4	10 1	OFF
12 OFF	13 OFF	14 1	15 2	16 3	17 4	OFF
19 OFF	20 1	21 2	22 3	23 4	24 1	OFF
26 OFF	27 1	28 2	29 3	30 4	31 1	

2007年 9月

日	月	火	水	木	金	土
						1 OFF
2 OFF	3 1	4 2	5 3	6 4	7 1	OFF
9 OFF	10 1	11 2	12 3	13 4	14 1	OFF
16 OFF	17 OFF	18 1	19 2	20 3	21 4	OFF
23 OFF	24 OFF	25 1	26 2	27 3	28 4	OFF
30 OFF						

2007年 10月

日	月	火	水	木	金	土
	1 1	2 2	3 3	4 4	5 1	6 OFF
7 OFF	8 OFF	9 1	10 2	11 3	12 4	OFF
14 OFF	15 1	16 2	17 3	18 4	19 OFF	OFF
21 OFF	22 1	23 2	24 3	25 4	26 1	OFF
28 OFF	29 1	30 2				

2007年 11月

日	月	火	水	木	金	土
				1 2	2 3	OFF
4 OFF	5 1	6 2	7 3	8 4	9 1	OFF
11 OFF	12 1	13 2	14 3	15 4	16 1	OFF
18 OFF	19 1	20 2	21 3	22 4	23 OFF	OFF
25 OFF	26 1	27 2	28 3	29 4	30 1	

2007年 12月

日	月	火	水	木	金	土
						1 OFF
2 OFF	3 1	4 2	5 3	6 4	7 1	OFF
9 OFF	10 1	11 2	12 3	13 4	14 OFF	OFF
16 OFF	17 1	18 2	19 3	20 4	21 OFF	OFF
23 OFF	24 OFF	25 1	26 2	27 3	28 4	OFF
30 OFF	31 OFF					

●装置設定一覧

装置設定一覧			ファイル名：2007年上期.ppt 印刷日時 2007/12/11 09:40
No.	項目	登録内容	
1	アンプの起動時間	5秒	
2	BGMの起動時間	5秒	
3	外部チャイムの起動時間	5秒	
4	外部チャイムの継続時間	25秒	
5	外部チャイムの自己保持	なし	
6	時刻修正	±30秒	
7	NTPサーバ	設定なし	
8	修正する時刻	0時50分～1時10分	
9	時刻の最小単位	分	
10	時報の使用	使用する	
11	アナキーパー	なし	
12	リモート放送の使用	使用しない	

●祝日スケジュール一覧

祝日スケジュール一覧				ファイル名 : 2007/05 上期_p10p 印刷日時 : 2007/05/28 16:48		
No.	日付	祝日名	祝日	振替休日	日曜祝日	
1	1 月 1 日	元旦	OFF	OFF	OFF	
2	1 月 第2月曜日	成人の日	OFF	—	—	
3	2 月 1 1 日	建国記念の日	OFF	OFF	OFF	
4	3 月 2 0 . 2 1 日	春分の日	OFF	OFF	OFF	
5	4 月 2 9 日	昭和の日	OFF	OFF	OFF	
6	5 月 3 日	憲法記念日	OFF	OFF	OFF	
7	5 月 4 日	みどりの日	OFF	OFF	OFF	
8	5 月 5 日	こどもの日	OFF	OFF	OFF	
9	7 月 第3月曜日	海の日	OFF	—	—	
10	9 月 2 2 . 2 3 日	秋分の日	OFF	OFF	OFF	
11	9 月 第3月曜日	敬老の日	OFF	—	—	
12	1 0 月 第2月曜日	体育の日	OFF	—	—	
13	1 1 月 3 日	文化の日	OFF	OFF	OFF	
14	1 1 月 2 3 日	勤労感謝の日	OFF	OFF	OFF	
15	1 2 月 2 3 日	天皇誕生日	OFF	OFF	OFF	
16	一 月 一 日	国民の休日	OFF			
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						

●チャイム一覧

チャイム一覧			ファイル名: 2007/06/上期_pbp 印刷日時: 2007/06/14 17:28
ch	送出回数	チャイム名	装置表示
2	1	ウエストミンスター の鐘 2 5秒	ウエストミンスター 25s
2	1	ウエストミンスター の鐘 1 4秒	ウエストミンスター 14s
3	1	ローレイ 1 6秒	ローレイ 16s
4	1	野バ 2 4秒	J/V 24s
5	1	アマリリス 2 8秒	アマリリス 28s

●メッセージ一覧

メッセージ一覧		ファイル名 : 2007年上期_pbp 印刷日時 2007/05/28 16:42
ch	放送内容	装置表示
1	ラジオ体操	ﾗｼﾞｵ ｵﾀｲｸﾞ
2	業務開始	ｷﾞｵｶﾝｶｲｼ
3	寒間リフレッシュ	ｷﾞｵｶﾝｸﾞﾚｯｼｭ
4	昼休憩	ﾋﾅｸﾀｲ
5	昼休憩終了	ﾋﾅｸﾀｲｼｭｸﾘｼｵ
6	昼寝タイム	ﾋﾞｽﾞﾅｲﾑ
7	終業	ｼｭﾀﾞｲ ｵﾌ
8	安全作業	ｱﾚﾝ ｵﾔﾃ ｵﾌ
9	残業日	ﾀﾞﾝﾎﾞ ｵﾔﾃ
10	パート終業	ﾊｰﾄﾞｼｭﾀﾞｲ ｵﾌ
11	朝の音楽	ｱﾏﾉｵﾝｸﾞ ｸ
12	ノー残業デー	ﾉｰﾀﾞﾝﾎﾞ ｵﾔﾃ
13		

登録内容を印刷する

■学校用の場合

●日課パターン一覧

日課パターン表一覧						ファイル名：平成19年度.pbp 印刷日時 2007/06/14 11:34					
日課パターン番号： 1 パターン名：通常日課6時間授業 装置表示：ワジヨ 6ジカ											
定時放送											
No.	時刻	コメント	ファイル	メッセージ	送出回数	No.	時刻	コメント	ファイル	メッセージ	送出回数
1	8:15	朝の音楽		1	1	40					
2	8:25	ラジオ体操		3	1	41					
3	8:30	朝礼予告		4	1	42					
4	8:40	朝の会	2	5	1	43					
5	8:55	1時間目開始	1			44					
6	9:45	1時間目終了	1			45					
7	9:55	2時間目開始	1			46					
8	10:45	2時間目終了	1			47					
9	10:55	3時間目開始	1			48					
10	11:45	3時間目終了	1			49					
11	11:50	給食開始		7	1	50					
12	12:30	昼休み	3			51					
13	12:55	昼休み終了予告放送		12	1	52					
14	13:00	4時間目開始	1			53					
15	13:50	4時間目終了	1			54					
16	14:00	5時間目開始	1			55					
17	14:50	5時間目終了	1			56					
18	15:00	6時間目開始	1			57					
19	15:50	6時間目終了	1			58					
20	15:55	掃除		8	1	59					
21	16:20	帰りの会		5	1	60					
22	16:30	下校	1	9	1	61					
23	17:00	最終下校	1	11	1	62					
24						63					
25						64					
26											
27											
28											
29											
30											
31											
32											
33											
34											
35											
36											
37											
38											
39											

●年間スケジュール一覧

年間スケジュール一覧														ファイル名：平成19年度.pbp 印刷日時 2007/05/28 17:07	
2007年 7月															
1	2	3	4	5	6	7	OFF								
OFF	1	1	2	1	1										
8	9	10	11	12	13	14	OFF								
OFF	1	1	2	1	1										
15	16	17	18	19	20	21	OFF								
OFF	OFF														
22	23	24	25	26	27	28	OFF								
OFF	1	1	2	OFF	OFF	OFF									
29	30	31					OFF								
OFF	OFF	OFF													
2007年 8月															
								1	2	3	4				
								OFF	OFF	OFF					
5	6	7	8	9	10	11									
OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF									
12	13	14	15	16	17	18									
OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF									
19	20	21	22	23	24	25									
OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF									
26	27	28	29	30	31										
OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF										
2007年 9月															
												1	OFF		
2	3	4	5	6	7	8									
OFF	1	1	2	1	1	OFF									
9	10	11	12	13	14	15									
OFF	1	1	2	1	1	OFF									
16	17	18	19	20	21	22									
OFF	OFF	1	2	1	1	OFF									
23	24	25	26	27	28	29									
OFF	OFF	1	2	1	1	OFF									
30															
OFF															
2007年 10月															
								1	2	3	4	5	6		
								1	1	2	1	1	OFF		
7	8	9	10	11	12	13									
OFF	OFF	OFF	1	2	1	1	OFF								
14	15	16	17	18	19	20									
OFF	OFF	1	2	1	1	OFF									
21	22	23	24	25	26	27									
OFF	1	1	2	1	1	OFF									
28	29	30	31												
OFF	1	1	2												
2007年 11月															
												1	2	3	OFF
												1	1		
4	5	6	7	8	9	10									
OFF	1	1	2	1	1	OFF									
11	12	13	14	15	16	17									
OFF	1	1	2	1	1	OFF									
18	19	20	21	22	23	24									
OFF	1	1	2	1	1	OFF									
25	26	27	28	29	30										
OFF	1	1	2	1	1										
2007年 12月															
													1	OFF	
2	3	4	5	6	7	8									
OFF	1	1	2	1	1	OFF									
9	10	11	12	13	14	15									
OFF	1	1	2	1	1	OFF									
16	17	18	19	20	21	22									
OFF	1	1	2	1	1	OFF									
23	24	25	26	27	28	29									
OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF									
30	31														
OFF	OFF														

●装置設定一覧

装置設定一覧			ファイル名：メイ 1941.pbp 印刷日時 2007/12/11 10:00	
No.	項目	登録内容		
1	アンプの起動時間	5秒		
2	BGMの起動時間	(一般用のみ)		
3	外部チャイムの起動時間	5秒		
4	外部チャイムの継続時間	25秒		
5	外部チャイムの自己保持	なし		
6	時刻修正	±30秒		
7	NTPサーバー	設定なし		
8	修正する時刻	0時50分～ 1時10分		
9	時刻の最小単位	(一般用のみ)		
10	時報の使用	(一般用のみ)		
11	アナキーパー	(一般用のみ)		
12	リモート放送の使用	使用しない		

●祝日スケジュール一覧

祝日スケジュール一覧

ファイル名：平成19年度.pbp
印刷日時 2007/05/28 17:11

No.	日付	祝日名	祝日
1	1月 1日	元旦	OFF
2	1月 第2月曜日	成人の日	OFF
3	2月 11日	建国記念の日	OFF
4	3月20、21日	春分の日	OFF
5	4月 29日	昭和の日	OFF
6	5月 3日	憲法記念日	OFF
7	5月 4日	みどりの日	OFF
8	5月 5日	こどもの日	OFF
9	7月 第3月曜日	海の日	OFF
10	9月22、23日	秋分の日	OFF
11	9月 第3月曜日	敬老の日	OFF
12	10月 第2月曜日	体育の日	OFF
13	11月 3日	文化の日	OFF
14	11月 23日	勤労感謝の日	OFF
15	12月 23日	天皇誕生日	OFF
16	一月 一日	国民の休日	OFF
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			

LAN アダプタ PBS-LA500 を使用する

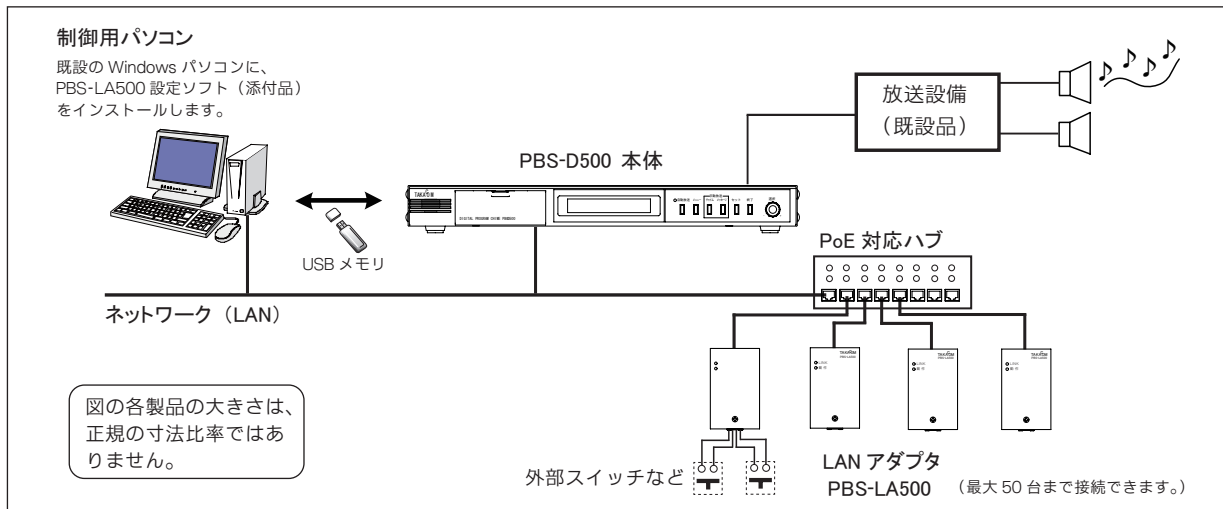
■概要

別売の LAN アダプタ PBS-LA500（以下、PBS-LA500 と記します。）を使用すると、外部の非常スイッチなどからの信号を、ネットワーク（LAN）経由で PBS-D500 本体に送信して、リモート放送することができます。

PBS-LA500 は、ネットワーク上で、一台の PBS-D500 に最大 50 台まで接続できます。また、1 台の PBS-LA500 には、外部からの接点信号が 2 種類入力できます。

PBS-LA500 の設定などは、「PBS-D500 データ入力ソフト」の CD に添付の「PBS-LA500 設定ソフト」で行ないます。

■ PBS-LA500 使用時のシステム概要図



■お使いになるまでの手順

PBS-LA500 を使用してリモート放送を行なうには、あらかじめ次の準備が必要です。

1 PBS-LA500 設定ソフトのインストール（142 ページ）

添付の CD で、お手持ちのパソコンに「PBS-LA500 設定ソフト」をインストールします。

2 PBS-LA500 のデータ設定（144 ページ）

「PBS-LA500 設定ソフト」で、使用するすべての PBS-LA500 のデータ（IP アドレス・リモート放送番号など）を登録します。

3 PBS-LA500 のデータを PBS-D500 本体に読み込む（145 ページ）

登録した PBS-LA500 のデータ（以下、LA 設定データと記します。）を、PBS-D500 本体に読み込みます。
・USB メモリを使用する、またはネットワーク（LAN）経由で読み込みます。

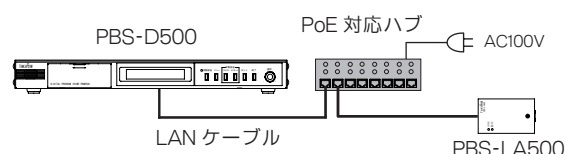
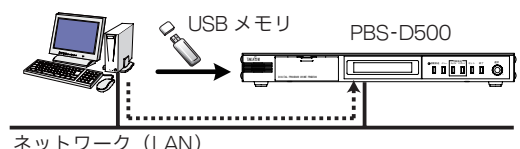
4 LA 設定データを PBS-LA500 に設定（149 ページ）

PBS-D500 本体と PBS-LA500 を、PoE ハブを介して LAN ケーブルで接続し、PBS-D500 本体から PBS-LA500 にデータ設定を行ないます。

※ PBS-LA500 は、必ず 1 台ずつ接続して設定してください。

5 PBS-LA500 の設定とリモート放送動作を確認（150,151 ページ）

PBS-LA500 をネットワーク（LAN）に接続して、【状態監視】画面ですべての PBS-LA500 の状態を確認します。また、リモート放送動作を確認します。



PBS-D500 と PBS-LA500 は、必ず、1 対 1 で
接続してください。



ワンポイント

- PBS-LA500 を新規に追加するときは、PBS-D500 本体の LAN ケーブルを抜いて（ネットワークから切り離して）から、PoE 対応ハブと新規設定する装置を、別の LAN ケーブルで PBS-D500 本体に接続して設定してください。（右上の図を参照してください。）

STOP お願い

- PBS-LA500 のリモート放送機能は、本システムが下記のバージョン以降の製品でご利用いただけます。
 - ・ PBS-D500 本体 : Ver. 1.20 以降
 - ・ データ入力ソフト : Ver. 1.10 以降

1. PBS-LA500 設定ソフトのインストール

お手持ちのパソコンへ、添付のCDから「PBS-LA500 設定ソフト」をインストールします。他のソフトをすべて終了してからインストールを行なってください。以下は、Windows XP の場合の説明と画面例です。

■インストールのしかた

1

- ① 添付の「PBS-D500 データ入力ソフト」CD をCDドライブへ挿入します。
 - ・自動的に【Digital Program Chime セットアップ】画面が開きます。
- ② 【PBS-LA500 設定ソフト】ボタンをクリックします。
 - ・【PBS-LA500 設定ソフトセットアップ】画面になります。
- ③ 【次へ】ボタンをクリックします。
 - ・【使用許諾契約書の同意】の画面になります。

2

- ① 「使用許諾契約書」をお読みいただき、ご同意いただける場合は【同意する】を選択して【次へ】ボタンをクリックします。
 - ・【インストール先の指定】画面になります。

3

- ① 【インストール先の指定】画面で、そのままであれば【次へ】ボタンをクリックします。変更が必要であれば、【参照】ボタンをクリックしてインストール先を指定し、【次へ】ボタンをクリックします。
 - ・【追加タスクの選択】画面になります。

4

- ① “デスクトップ上にアイコンを作成する” 場合、および “スタートアップにアイコンを登録する” 場合はチェックをして、【次へ】ボタンをクリックします。
 - ・【インストール準備完了】画面になります。

5

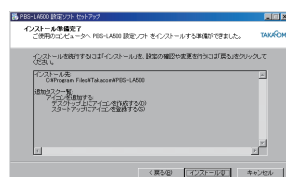
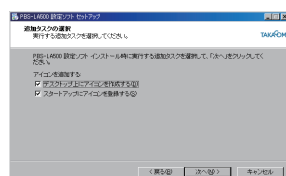
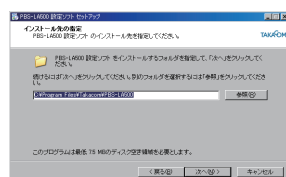
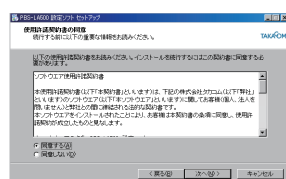
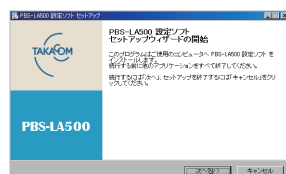
- ① 内容を確認して、【インストール】ボタンをクリックします。
 - ・インストールが始まります。
 - ・インストールが終了すると【セットアップウィザードの完了】の画面が表示されます。

6

- ① 「PBS-LA500 設定ソフトを実行する」場合は、チェックボックスにチェックを付けて、【完了】ボタンをクリックします。
 - ・【オプション設定】画面を表示します。

7

- ① 本ソフトで設定・登録したLA設定データを読み込むPBS-D500本体のIPアドレスなどを、【オプション設定】画面で登録します。詳しくは「4-2. ネットワーク (LAN) で本体に転送して読み込む」147ページを参照してください。
- ② オプション設定を後で行なう場合は、【戻る】ボタンをクリックします。



【オプション設定】画面

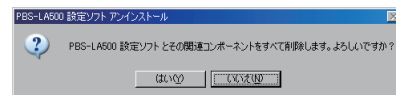
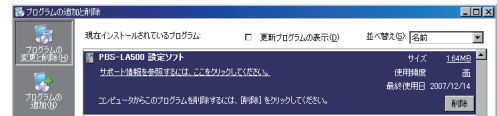
ワンポイント

- 状態監視機能を使用する場合は、本ソフトをスタートアップに登録することをお勧めします。パソコンの再起動時などに、自動的に状態監視を開始します。
- 【オプション設定】画面は、本ソフトをインストールしたあとの、初回起動時に自動表示します。以後は、タスクトレイのアイコンを右クリックして、メニューから表示できます。

■ PBS-LA500 設定ソフトを削除するには

本ソフトが起動している（タスクトレイにアイコンを表示している）場合は、下記の「PBS-LA500 設定ソフトの起動と終了」の「終了」で本ソフトを終了してから、次の手順で削除を行ってください。

- ① [スタート] → [コントロールパネル] → [プログラムの追加と削除] を開き、表示される【プログラム一覧】の中から [PBS-LA500 設定ソフト] を選択します。
- ② [削除] ボタンをクリックします。
・アンインストールの確認画面を表示します。
- ③ [はい] ボタンをクリックします。
あとは画面の指示に従って操作します。



2. PBS-LA500 設定ソフトの起動と終了

■ 起動

スタートアップに登録されている場合は、特別な操作は必要ありません。また、デスクトップにショートカットが作成されている場合は、ショートカットをダブルクリックします。（タスクトレイにアイコンが表示されます。）

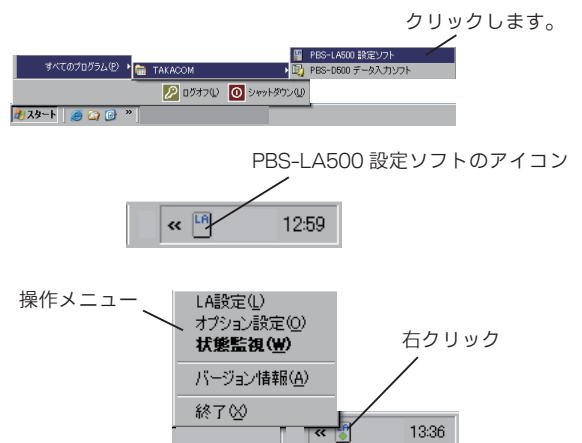
スタートアップに登録されていない場合は以下の操作で起動します。

1

- ①タスクバーから、[スタート] → [すべてのプログラム] → [TAKACOM] → [PBS-LA500 設定ソフト] を選択してクリックします。（WindowsXP の例）

2

- ①本ソフトが起動し、タスクトレイにアイコンが表示されます。
- ② PBS-LA500 設定ソフトのデータ登録などを行なう場合は、アイコンを右クリックします。
・表示される「メニュー」から操作を選択して登録します。
・登録のしかたは、それぞれの説明をご覧ください。



■ 終了

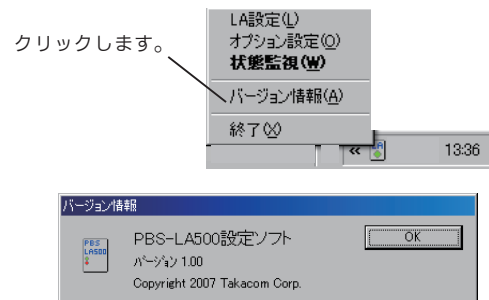
1

- ① LA のデータ設定、オプション設定などを終了するときは、[終了] ボタンをクリックします。

■ ソフトのバージョン情報について

1

- ①メニューのバージョン情報をクリックすると、本ソフトのバージョンが確認できます。

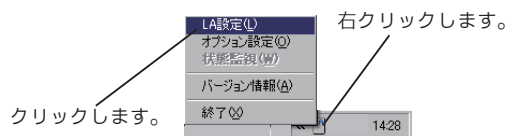


3. PBS-LA500 のデータ設定

PBS-LA500 のデータを設定します。最大 50 台までの PBS-LA500 が設定できます。

■設定画面の呼び出し

- タスクトレイのアイコンを右クリックし、操作メニューで [LA 設定] をクリックします。
・ [PBS-LA500 設定作成] 画面になります。



■登録のしかた

- [新規作成] を選択し、[OK] ボタンをクリックします。
・ [PBS-LA500 設定] 画面になります。



① PBS-LA500 の選択

登録する PBS-LA500 の [号機番号] の行をクリックします。
・ 反転表示になります。

② ネットワーク情報の登録

PBS-LA500 ごとの、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを入力します。

IPアドレス	サブネットマスク	デフォルトゲートウェイ	リモート番号	コメント	装置表示
192.168.11.148	255.255.255.0	192.168.11.254	1	中止	守衛室
192.168.11.97	255.255.255.0	192.168.11.254	2	中止	会議室1

PBS-LA500 設定一覧
登録内容を一覧で表示します。

[削除] ボタン

[印刷] ボタン
クリックすると、PBS-LA500 設定一覧を印刷します。詳しくは、「PBS-LA500 設定一覧の印刷例」(154 ページ)を参照してください。

③ リモート放送情報の登録

起動信号の入力端子 1, 2 に、リモート端子番号 (1 ~ 50) を入力します。
・ [▲ / ▼] ボタンをクリックして、指定することもできます。
・ 初期値は 0 (設定なし) です。
・ [中止] にチェックを付けると、リモート放送の中止信号になります。

④ コメント、装置表示名の登録

《コメント》ボックスに、装置ごとのコメントを入力します。コメントを入力すると、《装置表示》ボックスに半角で自動表示されます。
・ コメントは、全角で 15 文字、半角で 30 文字以内です。
・ 装置表示を修正したいときは、《装置表示》ボックスをクリックして、修正してください。半角の英数カナで 18 文字以内です。

⑤ 登録

[登録] ボタンをクリックすると、PBS-LA500 設定一覧に登録した内容が表示されます。
・ 続けて登録するときは、① ~ ⑤ を繰り返します。

⑥ PBS-D500 の通信設定

ここで設定した PBS-LA500 からの起動信号で、リモート放送を行なう PBS-D500 の、IP アドレスを設定します。
・ 通常、ポート番号は変更しないでください。

■修正をするには

- 「登録のしかた」の手順①と同じ方法で、修正したい PBS-LA500 の号機番号を選び、修正します。
- [登録] ボタンをクリックします。
- 【上書きしますか?】と表示されます。
[はい] ボタンをクリックします。
・ PBS-LA500 設定一覧に、修正された内容が表示されます。

■削除をするには

- 「登録のしかた」の手順①と同じ方法で、削除したい PBS-LA500 の号機番号を選びます。
- [削除] ボタンをクリックします。
- 【選択行を削除しますか?】と表示されます。
[はい] ボタンをクリックします。
・ PBS-LA500 設定一覧から削除されます。



ワンポイント

- リモート端子番号へのチャイム・メッセージなどの登録内容は、「PBS-D500 データ入力ソフト」の [装置設定] で確認してください。また、登録方法は「装置設定の登録 リモート放送の使用」(一般用 75 ページ、学校用 116 ページ)を参照してください。
- ネットワーク情報の各数値は、ネットワーク管理者にご確認ください。

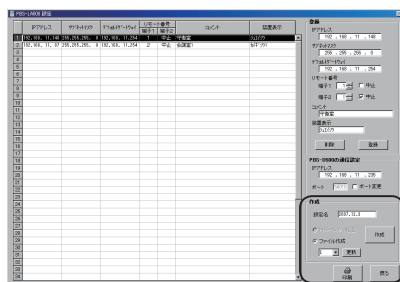
4. LA 設定データを PBS 本体に読み込む

3項の「PBS-LA500 のデータ設定」で登録した LA 設定データを、PBS-D500 本体に読み込みます。
(各々の PBS-LA500 本体へのデータ設定は、この PBS-D500 本体の操作で行ないます。後述の「LA 設定データを PBS-LA500 に設定する」を参照してください。)

4-1. USB メモリに作成して本体に読み込む

■ LA 設定データを USB メモリに作成する

1. USB メモリを接続します。
2. 【PBS-LA500 設定】画面の【作成】欄で、USB メモリのドライブを指定してデータファイルを作成します。



①設定名の登録

作成する LAN 設定データの設定名を入力します。
・設定名は、半角英数字で 15 文字まで入力できます。

③作成

【作成】ボタンをクリックします。
・案内メッセージを表示します。

【OK】ボタンをクリックします。
・データの作成を開始します。
・案内メッセージを表示します。

【OK】ボタンをクリックします。
・【PBS-LA500 設定】画面を終了します。
・ハードウェア取り外しの案内メッセージを表示します。

USB メモリが接続されたドライブを選択して【停止】ボタンをクリックします。
・USB メモリが安全に取り外しできます。

②作成先選択

【ファイル作成】を選択します。
[▼] をクリックして、USB メモリを接続したドライブを指定します。
・ドライブ名が表示されない場合は【更新】ボタンをクリックします。

【戻る】ボタン

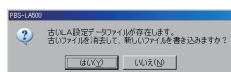
PBS-LA500 のデータ登録が終わるとき【戻る】ボタンをクリックします。
・【PBS-LA500 設定】画面を終了します。
・LA 設定データを作成する前にクリックすると、確認画面を表示します。

【はい】ボタンをクリックすると、作成した内容をキャンセルして【PBS-LA500 設定】画面を終了します。

LA 設定データ作成時の確認画面について

LA 設定データを作成するとき、USB メモリに以前に作成したデータファイルなどがある場合には、次の様な確認画面が表示されます。案内の指示に従って操作してください。

- ・古いデータファイルがある場合



【はい】ボタンをクリックすると、新しいデータファイルに書き換わります。
【いいえ】ボタンをクリックすると、【PBS-LA500 設定】画面に戻ります。

ワンポイント

- USB メモリを接続するドライブ名は、あらかじめ確認しておいてください。
- 作成先ドライブを制御用パソコンのハードディスクなど、USB メモリ以外に指定することもできます。

■ USB メモリの LA 設定データを本体に読み込む

- 1 本体装置のフロントカバーを開け、LA 設定データが書き込まれた USB メモリを、USB コネクタにセットします。

2 待機画面のとき、**メニュー** を押し、選択ロータリースイッチで、**【4 ファイル】** を選ぶ

2007/ 7/ 9 MON
13:37:30

1 スケジュール
2 オンゲン
3 セッテイ
4 ファイル
5 ファームウェア バージョン

* **メニュー** を押したとき、メニュー画面を表示します。

3 **セット** を押す

選択ロータリースイッチで、**【4-1 USBメモリ → PBS テンソウ】** を選ぶ

4-1 USBメモリ → PBS テンソウ
4-2 PBS → USBメモリ テンソウ

* **セット** を押したとき **【ファイル】** のメニュー画面を表示します。

4 **セット** を押す

選択ロータリースイッチで、**【4-1-4 LA セッテイデータ】** を選ぶ

4-1-1 スケジュール
4-1-2 オンゲン
4-1-3 スケジュール・オンゲン
4-1-4 LA セッテイデータ

* **セット** を押したとき、**【USBメモリ → PBS テンソウ】** のメニュー画面を表示します。

5 **セット** を押す

* 「USBメモリ ニンギョウデス」 「シバク オマチ クダサイ」のあと、USB と PBS（本体装置）の設定名を表示します。

* PBS（本体装置）にデータファイルがない場合は、「---」表示となります。

確認のあと **セット** を押す

* データの読み込みが始まります。

* 読み込みが終了すると、**【USBメモリ → PBS テンソウ】** のメニュー選択画面に戻ります。

4-1-4 LA セッテイデータ
USBメモリ ニンギョウデス
4-1-4 LA セッテイデータ
シバク オマチ クダサイ
USB:セッテイデータA
PBS:セッテイデータB [セット]
USB:セッテイデータA
■■■■■■■■ I I
4-1-3 スケジュール・オンゲン
4-1-4 LA セッテイデータ

6 **終了** を、必要回数押して待機画面に戻す

2007/ 7/ 9 MON
13:38:03

* 1 回押すごとに、前画面に戻ります。

ワンポイント

- 読み込みのしかたの手順5で、USBメモリが挿入されていないときは、「USBメモリ ヲ ソウユウ シタダサイ」と表示します。USBメモリを挿入してください。
- LA 設定データを読み込むときに、USBメモリにデータがない場合は、「ピッ・ピッ…」と鳴って「テンソウデータガ アリマセン」と表示します。USBメモリ内のデータを確認してください。

STOP お願い

- データの読み込み中は、USBメモリを抜かないでください。データが破損することがあります。

参考：

本体の LA 設定データを USB メモリに書き込むには

- 1 本体装置のフロントカバーを開け、USBメモリを、USB コネクタにセットします。

2 待機画面のとき、**メニュー** を押し、選択ロータリースイッチで、**【4 ファイル】** を選ぶ

2007/ 7/ 9 MON
13:37:30

1 スケジュール
2 オンゲン
3 セッテイ
4 ファイル
5 ファームウェア バージョン

* **メニュー** を押したとき、メニュー画面を表示します。

3 **セット** を押す

選択ロータリースイッチで、**【4-2 PBS → USBメモリ テンソウ】** を選ぶ

4-1 USBメモリ → PBS テンソウ
4-2 PBS → USBメモリ テンソウ

* **セット** を押したとき **【ファイル】** のメニュー画面を表示します。

4 **セット** を押す

選択ロータリースイッチで、**【4-2-5 LA セッテイデータ】** を選ぶ

4-2-1 スケジュール
4-2-2 オンゲン
4-2-3 スケジュール・オンゲン
4-2-4 リモートネットワーク リレキ
4-2-5 LA セッテイデータ

* **セット** を押したとき、**【PBS → USBメモリ テンソウ】** のメニュー画面を表示します。

5 **セット** を押す

* 「USBメモリ ニンギョウデス」 「シバク オマチ クダサイ」のあと、PBS（本体装置）と USB の設定名を表示します。

* USBメモリにデータファイルがない場合は、「---」表示となります。

確認のあと **セット** を押す

* データの書き込みが始まります。

* 書き込みが終了すると、**【PBS → USBメモリ テンソウ】** のメニュー選択画面に戻ります。

4-2-5 LA セッテイデータ
USBメモリ ニンギョウデス
4-2-5 LA セッテイデータ
シバク オマチ クダサイ
PBS:セッテイデータB
USB:セッテイデータA [セット]
PBS:セッテイデータB
■■■■■■■■ I I
4-2-5 LA セッテイデータ

6 **終了** を、必要回数押して待機画面に戻す

2007/ 7/ 9 MON
13:38:03

* 1 回押すごとに、前画面に戻ります。

ワンポイント

- 書き込みのしかたの手順5で、USBメモリが挿入されていないときは、「USBメモリ ヲ ソウユウ シタダサイ」と表示します。USBメモリを挿入してください。

STOP お願い

- データの書き込み中は、USBメモリを抜かないでください。データが破損することがあります。

4-2. ネットワーク（LAN）で本体に転送して読み込む

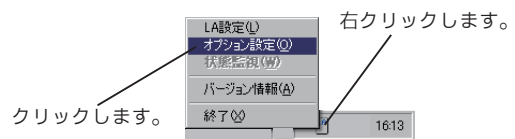
本ソフトをインストールしたパソコンと PBS-D500 本体が、同じネットワーク（LAN）上に接続されている場合は、ネットワーク（LAN）経由で LA 設定データを PBS-D500 本体に転送することができます。

■ PBS-D500 本体のネットワーク情報を設定する

●設定のしかた

1. タスクトレイのアイコンを右クリックし、操作メニューで「オプション設定」をクリックします。

・【オプション設定】画面になります。



①ネットワーク接続を使用する
チェックボックスをクリックして「ネットワークを使用する」にします。
・接続先 PBS-D500 通信設定および「接続テスト」ボタンが有効になります。

状態監視設定
ネットワークに接続されている、PBS-LA500 の状態が確認できます。詳しくは、「PBS-LA500 の状態監視」（151 ページ）を参照してください。

②接続先 PBS-D500 通信設定
PBS-D500 本体の IP アドレスを入力します。通常、ポート番号は変更しないでください。

③登録
設定を確定するとき「登録」ボタンをクリックします。
・【オプション設定】画面を終了します。

「戻る」ボタン
オプション設定を終わるときに「戻る」ボタンをクリックします。

接続テスト

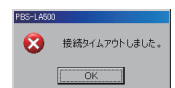
「接続テスト」ボタンをクリックすると、PBS-D500 本体との接続確認ができます。

・接続ができると、右の表示となります。

「OK」ボタンをクリックすると、【オプション設定】画面に戻ります。

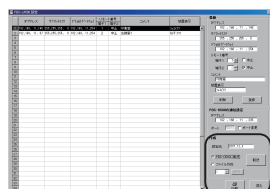


・接続できない場合は、右の表示となります。
「OK」ボタンをクリックすると、【オプション設定】画面に戻ります。PBS-D500 本体の登録などを確認してください。

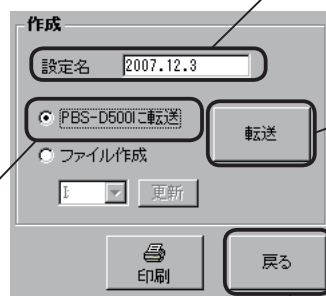


■ LA 設定データを PBS-D500 本体に転送する

1. 【PBS-LA500 設定】画面の【作成】欄で、【PBS-D500 に転送】を指定してデータファイルを転送します。

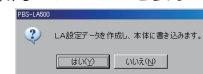


② PBS-D500 に転送
【PBS-D500 に転送】を指定します。
・【作成】ボタンが「転送」になります。



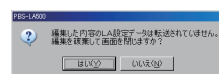
①設定名の登録
作成する LAN 設定データの設定名を入力します。
・設定名は、半角英数字で 15 文字まで入力できます。

③転送
「転送」ボタンをクリックします。
・案内メッセージを表示します。



「はい」ボタンをクリックすると、LA 設定データが PBS-D500 本体に転送されます。

④ PBS-LA500 設定の終了
LA 設定データの転送が終わるとき「戻る」ボタンをクリックします。
・【PBS-LA500 設定】画面を終了します。
・LA 設定データを転送する前にクリックすると、確認画面を表示します。



「はい」ボタンをクリックすると、作成した内容をキャンセルして【PBS-LA500 設定】画面を終了します。

ワンポイント

- 自動放送セット中または定時放送などの放送中に LA 設定データの転送を行なうと、「自動放送を解除しますか？」または「現在の放送をキャンセルします。」などの確認画面を表示します。
「はい」ボタンをクリックすると、放送中は放送を中断して LA 設定データを転送し、転送が終了すると自動的に自動放送が再セットされます。

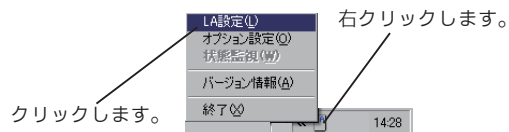
5. LA 設定データを修正する

作成済みの LA 設定データの修正は、以下の方法で行ないます。

■設定画面の呼び出し

1. タスクトレイのアイコンを右クリックし、操作メニューで [LA 設定] をクリックします。

・ [PBS-LA500 設定作成] 画面になります。



■作成済みの LA 設定データを開く

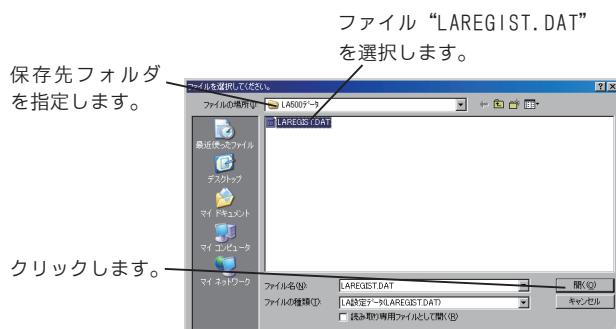
●保存先のフォルダから開く

1. [ファイルを開く] を選択し、[OK] ボタンをクリックします。



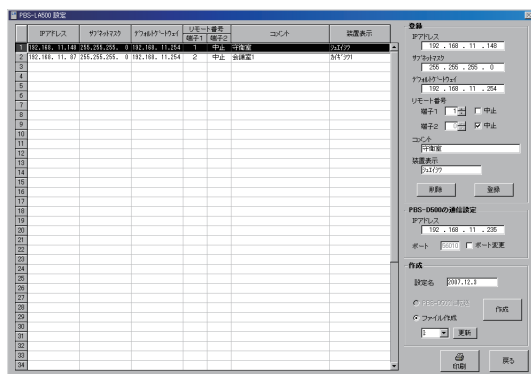
・ ファイル選択の画面になります。

2. 「ファイルの場所」で保存先のフォルダを指定して、ファイルを選択します。



3. [開く] ボタンをクリックします。

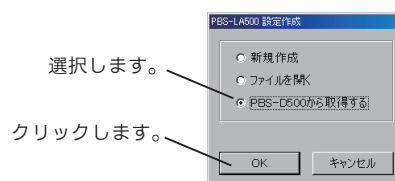
・ [PBS-LA500 設定] 画面になり、設定済みのデータを表示します。



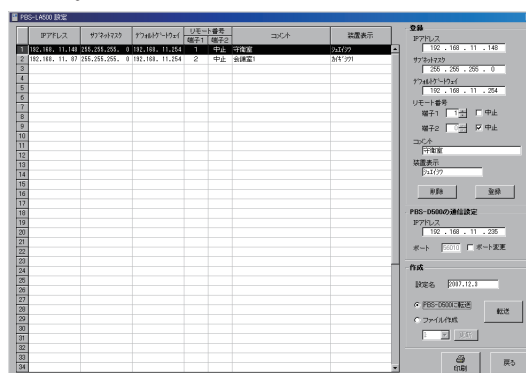
●PBS-D500 本体から開く

ネットワークを使用して PBS-D500 本体と接続している場合は、本体のデータを取得して修正することができます。

1. [PBS-D500 から取得する] を選択し、[OK] ボタンをクリックします。



・ [PBS-LA500 設定] 画面になり、設定済みのデータを表示します。



ワンポイント

- ネットワークを使用しないで PBS-D500 本体のデータを修正するには、LA 設定データを USB メモリに書き込みしたあとパソコンに読み込んで行ないます。前項の保存先フォルダで USB メモリを指定し、ファイル「LAREGIST.DAT」を開きます。
- PBS-D500 本体から USB メモリへのデータ書き込み方法は、「参考：本体の LA 設定データを USB メモリに書き込むには」(146 ページ)を参照してください。

■ LA 設定データを修正する

3 項「PBS-LA500 のデータ設定 登録のしかた」と同じ方法で、修正したい PBS-LA500 の号機番号を選び、修正します。

6. LA 設定データを PBS-LA500 に設定する

PBS-D500 本体に読み込んだ LA 設定データを、PBS-LA500 に設定します。

■準備

- 右図のように、PoE 対応ハブ（市販品）を介して PBS-D500 本体と PBS-LA500 本体を LAN ケーブルを使用して 1 対 1 で接続します。
- PBS-D500 および PoE 対応ハブの電源を入れます。

※ PBS-LA500 の取り扱いについては、「LAN アダプタ PBS-LA500」取扱説明書を参照してください。

※ PoE 対応ハブの取り扱いについては、ご利用製品の取扱説明書を参照してください。

■設定のしかた

1 待機画面のとき、**メニュー** を押し、
選択ロータリースイッチで、
【3 セッティ】を選ぶ

2007/ 7/ 9 MON
13:37:30

1 スケジュール
2 オンゲ
3 セッティ
4 ファイル
5 フォームウェアバージョン

※ **メニュー** を押したとき、メニュー画面を表示します。

2 **セット** を押す
選択ロータリースイッチで、
【3-6 LA セッティ】を選ぶ

3-1 ニチジ
3-2 ネットワーク
3-3 ネットワーク
3-4 ネットワーク
3-5 キーロック
3-6 LA セッティ

※ **セット** を押したとき、【セッティ】のメニュー画面を表示します。

3 **セット** を押す
選択ロータリースイッチで、
【3-6-1 セッティ】を選ぶ

3-6-1 セッティ
3-6-2 カン

※ **セット** を押したとき、【LA セッティ】のメニュー画面を表示します。

4 **セット** を押す

※ PBS-LA500 の接続を確認し、認識を終了すると、設定内容を表示して、設定待ちになります。

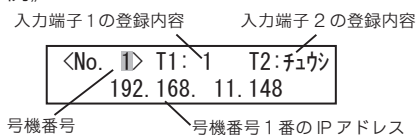
※ 号機番号は、PBS-D500 に読み込まれた LA 設定データの最も若い番号を表示します。

3-6-1 セッティ
シバウオチカグサイ

<No. 1>
LA ヲセツクシタグサイ

<No. 1>
LA ニシキチュウデス

《設定待ち表示例》



選択ロータリースイッチで、設定する号機番号を選ぶ

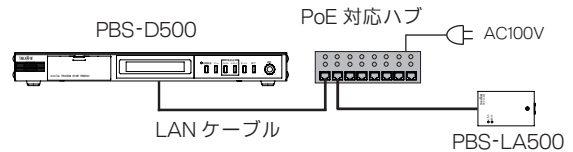
※ 号機番号は、LA 設定データに登録されている若い番号順に表示します。

5 **セット** を押す

※ データの設定を開始します。

※ データの設定が完了すると、PBS-LA500 の取り外し案内を表示します。

<No. 1> セッティ カンヨウ デス
LA ヲトリハス シタグサイ



PBS-D500 と PBS-LA500 は、必ず、1 対 1 で接続してください。

6 PBS-LA500 を取り外すと、続けて次に若い号機番号の設定ができます。

手順 4～5 を繰り返して設定します。

<No. 2>
LA ヲセツクシタグサイ

7 PBS-LA500 の設定を終了するとき、**終了** を押す

※ 【LA セッティ】のメニュー画面に戻ります。

LA / セッティ ヲ シュウリョウ シマス
シバウオチカグサイ

3-6-1 セッティ
3-6-2 カン

8 **終了** を、必要回数押して待機画面に戻す

2007/ 7/ 9 MON
13:38:03

※ 1 回押すごとに、前画面に戻ります。

STOP お願い

- PBS-LA500 の号機番号は、複数の装置に同じ番号を設定しないでください。同じネットワーク上で使用することができなくなります。

ワンポイント

- 手順 4 で表示される号機番号で、既に PBS-LA500 に設定されている場合は「*」印が付きます。

設定済み *<No. 1> T1: 1 T2: チュウ
192.168. 11.148

- 手順 4 の設定待ちのときに、**メニュー** を押すと、押している間、PBS-LA500 設定ソフトで登録した「コメント」が確認できます。

コメント <No. 1> T1: 1 T2: チュウ
「シュエイツ」

- 手順 5 で **セット** を押したとき、接続した PBS-LA500 に既にデータ設定されている場合は、上書き確認の案内を表示します。

<No. 1> T1: 1 T2: チュウ
ウガキ シマス [セツト]

セット を押すと、新しいデータが上書きされます。

- 手順 4 で **セット** を押したとき、ネットワーク上に PBS-LA500 が 2 台以上接続されていると、「LA / セツク カンニシタグサイ」と表示します。

- 手順 4 で **セット** を押したとき、PBS-D500 本体に LA 設定データがない場合は、「セッティデータ カ アリマセン」と表示します。

■確認のしかた

1 待機画面のとき、**メニュー** を押し、選択ロータリースイッチで、**【3 セッティ】** を選ぶ

※ **メニュー** を押したとき、メニュー画面を表示します。

2007/ 7/ 9 MON 13:37:30
↓
1 スケジュール
2 オンゲン
3 セッティ
4 ファイル
5 ファームウェア バージョン

2 **セット** を押し
選択ロータリースイッチで、**【3-6 LA セッティ】** を選ぶ

※ **セット** を押したとき、【セッティ】のメニュー画面を表示します。

3-1 ニチン
3-2 ネットワーク
3-3 ホウソウ オンリョウ
3-4 オンシツ
3-5 キーロック
3-6 LAセッティ

3 **セット** を押し
選択ロータリースイッチで、**【3-6-2 カニン】** を選ぶ

※ **セット** を押したとき、【LAセッティ】のメニュー画面を表示します。

3-6-1 セッティ
3-6-2 カニン

4 **セット** を押し
※ PBS-LA500 の接続を確認し、認識を終了すると、PBS-LA500 内の設定内容を表示します。

3-6-2 カニン シバラク オマチ クダサイ
↓
3-6-2 カニン LA ヲ セツゾク シテクダサイ
↓
3-6-2 カニン LA ニンシキチュウ デス

設定内容は、選択ロータリースイッチで次の8種類が確認できます。

《設定内容の表示例》

- | | |
|--------------------------------|------------------------------------|
| ① PBS-LA500 の「IP アドレス」です。 | 1) IPアドレス
192.168. 11.148 |
| ② PBS-LA500 の「サブネットマスク」です。 | 2) サブネットマスク
255.255.255. 0 |
| ③ PBS-LA500 の「ゲートウェイ」です。 | 3) ゲートウェイ
192.168. 11.254 |
| ④ 通信用の「ポート番号」です。 | 4) ポート番号
56010 |
| ⑤ PBS-D500 本体の「IP アドレス」です。 | 5) PBS IPアドレス
192.168. 11.235 |
| ⑥ PBS-LA500 の「MAC アドレス」です。 | 6) MACアドレス
00-1A-48-01-02-12 |
| ⑦ PBS-LA500 の「ファームウェアバージョン」です。 | 7) ファームウェアバージョン
Ver. 1.00 |
| ⑧ PBS-LA500 にデータ設定した「日時」です。 | 8) セッティ ニチン
2007/12/ 5 17:10:20 |

続けて他の PBS-LA500 を確認する場合は、PBS-LA500 を取り外して差し替え、手順 4 を繰り返します。

※ PBS-LA500 を取り外したとき、右の画面を表示します。

3-6-2 カニン LA ヲ セツゾク シテクダサイ

5 PBS-LA500 の設定内容の確認を終了するときは、**終了** を押し
※ 【LAセッティ】のメニュー画面に戻ります。

LA / カニン ヲ シュクリョウ シマス シバラク オマチ クダサイ
↓
3-6-1 セッティ
3-6-2 カニン

6 **終了** を、必要回数押して待機画面に戻す
※ 1 回押すごとに、前画面に戻ります。

2007/ 7/ 9 MON 13:38:03

7. リモート放送の動作を確認する

■準備

- PBS-D500 本体と PBS-LA500 本体をネットワーク (LAN) に接続します。PBS-LA500 本体は PoE 対応ハブ (市販品) を介して接続します。
- PBS-D500 および PoE 対応ハブの電源を入れます。

■リモート放送動作の確認

- PBS-LA500 本体の入力端子 1 または 2 をスイッチなどで“ON”にします。
・動作ランプが約 3 秒間点灯します。
- PBS-D500 のリモート放送が始まり、設定されているチャイムやメッセージが放送されることを確認します。

※ PBS-LA500 の設定内容や接続状態に異常が無いかを、【状態監視】画面で確認することができます。詳しくは次項「PBS-LA500 の状態監視」を参照してください。
※ リモート放送動作の詳細は、「放送 3. リモート放送」(37 ページ) を参照してください。



ワンポイント

- PBS-LA500 本体の [LINK] ランプが、早い点滅を続けている場合は、PBS-LA500 によるリモート放送ができません。以下の確認を行なってください。
・本ソフトの「LA 設定」で【PBS-LA500 設定一覧】に、該当の PBS-LA500 本体の IP アドレスなどが正しく設定されているかを確認します。
・LAN ケーブルなどの接続が外れていないかを確認します。
・PBS-D500 本体の「リモート放送使用」設定が、「使用する (オプション: 50)」に設定されているかを確認します。

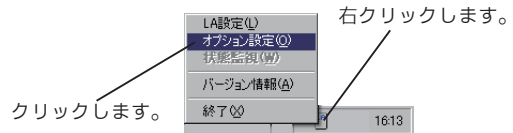
8. PBS-LA500 の状態監視

本ソフトをインストールしたパソコンで、ネットワーク（LAN）上に接続された PBS-LA500 の状態を確認することができます。この機能は、「オプション設定」で「ネットワーク接続を使用する」に設定したときに有効になります。

■状態監視設定を設定する

●設定のしかた

1. タスクトレイのアイコンを右クリックし、操作メニューで「オプション設定」をクリックします。
・「オプション設定」画面になります。

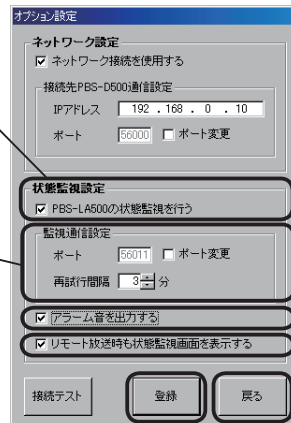


①状態監視設定

チェックボックスをクリックして「PBS-LA500 の状態監視を行う」にします。
・「アラーム音を出力する」および「リモート放送時も状態監視画面を表示する」が有効になります。

②監視通信設定

- ・ポート：通常、ポート番号は変更しないでください。
- ・再試行間隔：PBS-D500 と接続できなかったときの、再接続動作の間隔時間を設定します。（設定範囲：1～60 分 初期値 3 分）



③アラーム音を出力する

監視中に異常が発生したときにパソコンでアラーム音を鳴らしたいときに、チェックボックスをクリックして「✓」印を付けます。

④リモート放送時も状態監視画面を表示する

状態監視画面を表示していないときでも、PBS-LA500 からのリモート放送があると、状態監視画面を表示する場合に、チェックボックスをクリックして「✓」印を付けます。

⑤登録

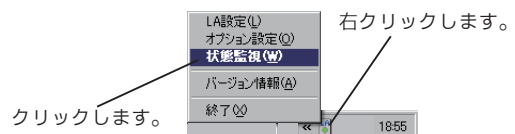
設定を確定するとき「登録」ボタンをクリックします。
・「オプション設定」画面を終了します。

「戻る」ボタン

オプション設定が終わるときに「戻る」ボタンをクリックします。

■状態監視画面の呼び出し

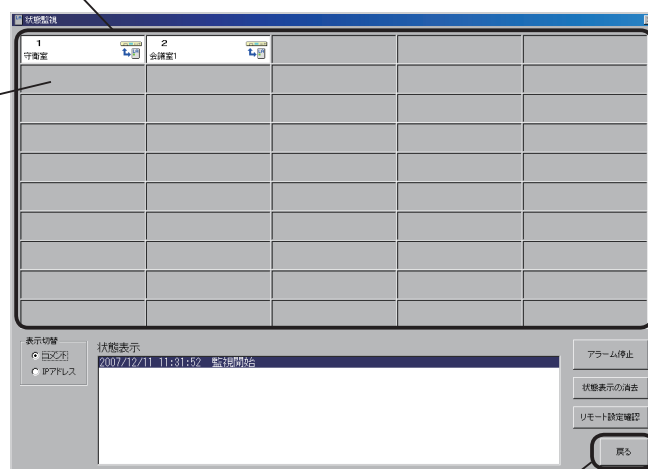
1. タスクトレイのアイコンを右クリックし、操作メニューで「状態監視」をクリックします。
・「状態監視」画面になります。



状態監視欄

PBS-LA500 の状態を一覧で表示します。ネットワーク（LAN）で運用されているすべての装置が号機番号別に表示されます。

号機番号表示位置				
1	2	3	4	5
6	7	8	9	10
11	12	13	14	15
16	17	18	19	20
21	22	23	24	25
26	27	28	29	30
31	32	33	34	35
36	37	38	39	40
41	42	43	44	45
46	47	48	49	50



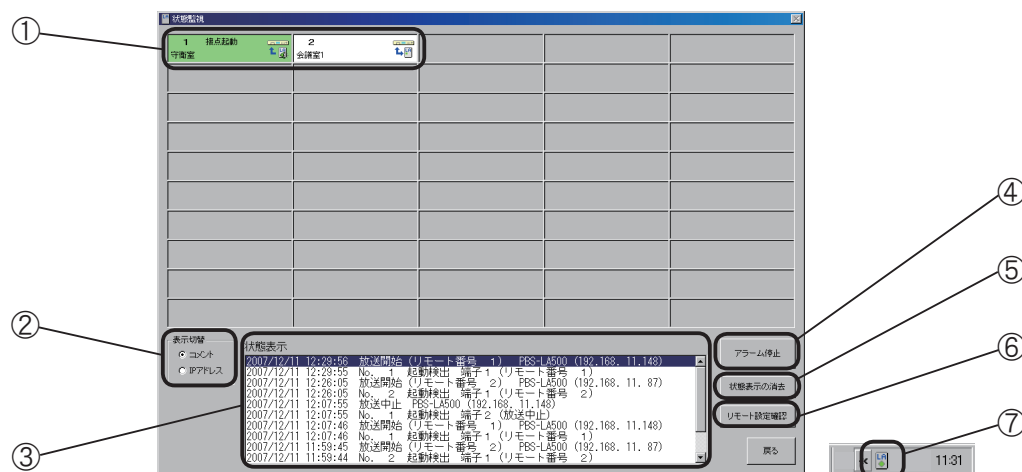
ワンポイント

- 状態監視の機能は、2 台以上のパソコン（ユーザ）で同時に使用することはできません。

「戻る」ボタン

「状態監視」画面を閉じるときにクリックします。

■状態監視欄のみかた



① 状態の種類

PBS-LA500 の状態には、次の 2 種類があります。

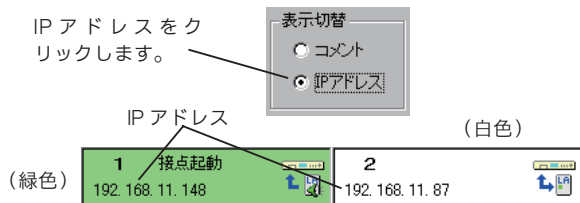


PBS-LA500 の入力端子に起動信号があると、《接続起動》状態の表示になり、PBS-D500 でのリモート放送動作が始まります。

・《接続起動》状態の表示は、PBS-D500 のリモート放送が終了しても状態表示を継続し、別の事象が発生したとき、または [戻る] ボタンで [状態監視] 画面を閉じたときに《接続待機》状態の表示に戻ります。

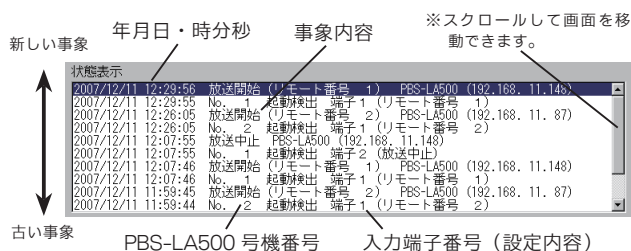
② 表示の切り替え (コメント⇔IP アドレス)

表示切替のオプションボタンで、表示中の PBS-LA500 を、コメントと IP アドレスのいずれかで識別できます。



③ 状態表示欄

PBS-LA500 の動作状態を、事象の発生ごとに時系列で順番に表示します。



④ [アラーム停止] ボタン

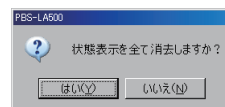
PBS-LA500 でのリモート放送システムで異常が発生すると、アラーム音 (ピッピッ、ピッピッ...) が鳴ります。[アラーム停止] ボタンをクリックすると止まります。

・アラーム音は、異常が復旧しても鳴り続けます。[アラーム停止] ボタンで止めてください。

⑤ [状態表示の消去] ボタン

状態表示欄には、事象発生のごと、その記録が表示されていきます。この表示内容を消去するときに [状態表示の消去] ボタンをクリックします。

・消去の確認画面を表示します。

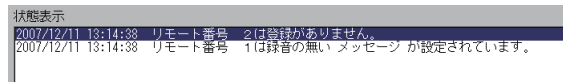


[はい] ボタンをクリックすると、状態表示を消去します。また、同時に状態監視欄の《接続起動》状態表示も《接続待機》状態に戻ります。

⑥ [リモート設定確認] ボタン

PBS-D500 のリモート放送設定や PBS-LA500 の LA 設定データが正しく設定されているかを確認するときに [リモート設定確認] ボタンをクリックします。

・設定異常の PBS-LA500 が有ると、状態表示欄に表示します。正しく設定し直してください。



・設定異常が無い場合



⑦ タスクトレイのアイコンについて

タスクトレイの「PBS-LA500 設定ソフト」のアイコンは、使用状態によって以下の表示になります。

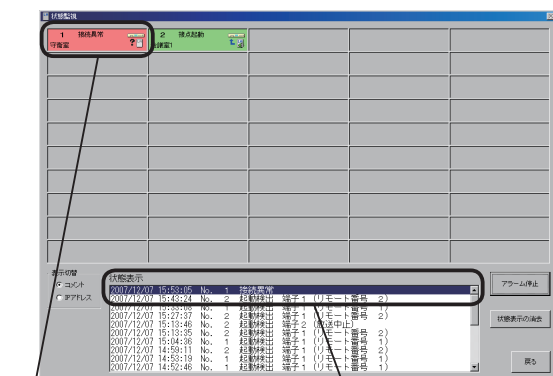
アイコン表示	状 態
	状態監視をしていないとき。
 (灰色)	状態監視を開始して、PBS-D500 本体からの監視情報を待っているとき。
 (緑色)	PBS-LA500 の状態を監視中。
 (赤色)	PBS-D500 本体との接続ができないとき。(交互に表示します) ・ネットワーク設定、LAN ケーブルの接続、PBS-D500 本体が操作中ではないか、などを確認してください。

■異常発生時の状態表示

●《接続異常》の状態表示

PBS-LA500 との接続 (通信) ができないときに表示します。

- ・ネットワーク設定 (IP アドレスなど)、LAN ケーブルの接続などを確認してください。



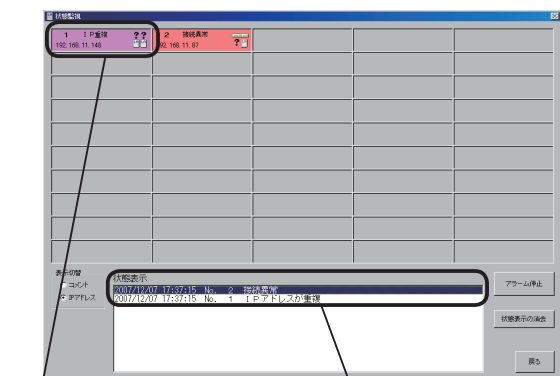
1 接続異常
守衛室 (赤色)

[2007/12/07 11:45:45 No. 1 接続異常]

●《IP 重複》の状態表示

IP アドレスの値が同じ PBS-LA500 が複数あります。

- ・PBS-LA500 のネットワーク設定 (IP アドレス) を確認してください。



1 IP重複
192.168.11.148 (紫色)

[2007/12/07 17:37:15 No. 1 IPアドレスが重複]

●その他の主な異常状態案内

以下の様な案内が状態表示欄に表示される場合は、【状態監視】画面が自動的に表示されます。

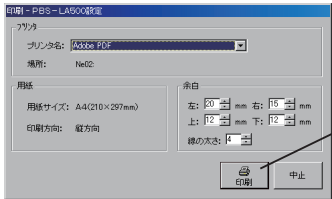
表示内容	状態	対処方法
接続タイムアウトしました。	PBS-D500 本体との接続ができません。	・ネットワーク設定、LAN ケーブルの接続などを確認します。
本体操作中のため、監視解除します。	PBS-D500 本体が操作されたため、状態監視が解除されました。	・PBS-D500 本体の操作を終了し、状態監視を再起動します。 ・再試行間隔時間で状態監視が自動的に再起動します。このとき本体が操作中でなければ監視状態になります。
装置設定「リモート放送の使用」が「オプション：50」になっていません。	PBS-D500 本体の装置設定「リモート放送の使用」が、「使用する (オプション：50)」以外に設定されています。	・装置設定「リモート放送の使用」を、「使用する (オプション：50)」に設定します。

■ PBS-LA500 設定一覧の印刷例

【PBS-LA500 設定】画面で [印刷] ボタンをクリックすると、設定一覧を印刷することができます。あらかじめプリンタの電源を入れて、A4 用紙をセットしてください。

● 「PBS-LA500 設定」の【印刷画面】

- 1. 【PBS-LA500 設定】画面の [印刷] ボタンをクリックします。
 - ・【印刷 -PBS-LA500 設定】下面を表示します。
- 2. [印刷] ボタンをクリックします。
 - ・印刷を開始します。



PBS-LA500 設定一覧						印刷日時 2007/12/11 14:49
No.	IPアドレス	サブネットマスク	デフォルトゲートウェイ	リモート番号		コメント
				端子 1	端子 2	
1	192.168. 11. 148	255.255.255. 0	192.168. 11. 254	1	中止	守衛室
2	192.168. 11. 87	255.255.255. 0	192.168. 11. 254	2	中止	会議室1
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						
31						
32						
33						
34						
35						
36						
37						
38						
39						
40						
41						
42						
43						
44						
45						
46						
47						
48						
49						
50						

故障とお考えになる前に

故障とお考えになる前に、次のことをお調べください。

本体装置の操作

現 象	点検項目	対 策	関連ページ
自動放送のセットができない。	【スケジュール データ ヲ カン シテクサイ】と表示される。	制御用パソコンで作成したスケジュールデータを本体装置に読み込み／転送してください。	35 (16)
	【チャム ロウ カ アリセシ】、【メッセー ジ クオ カ アリセシ】と表示される。	ディスプレイに表示されるチャンネルの録音をしてください。	35 (20)
手動放送で、放送したいチャンネルが指定できない。	指定したいチャンネルに録音されていますか？	録音されていないチャンネルは、選択できません。録音してください。	36 (20)
録音ができない。	【ロウ ニウリヨ カ アリセシ】と表示される。	マイク、テープレコーダが接続されていません。接続してください。	21 (20)
	【アキ カン カ アリセシ】と表示される。	録音時間一杯に録音されています。不要なメッセージなどを消去してください。	21 23
放送の頭が切れる。	アンプ起動時間の設定が正しく行なわれていません。	放送設備に合わせて、正しく設定してください。	73 115
スケジュールデータの読み込ができない。	【テソウ データ ガ アリセシ】と表示される。	装置用データ作成の操作で出力したスケジュールだけが読み込みできます。	76 118
スケジュールデータの変更ができない。	自動放送にセットされていませんか？	自動放送にセットされているときは、スケジュールの確認はできますが、変更はできません。	34
繰上げ・繰下げの操作ができない。	時刻の最小単位が「秒」に設定されていませんか？（一般用）	「秒」に設定した時は、繰上げ・繰下げ機能は使用できません。	30
ボタン操作を受け付けない。	ディスプレイに、鍵マークを表示していませんか？	簡易キーロックが設定されています。キーロックを解除して操作してください。	14
制御用パソコンと、データ転送などの操作ができない。	LANの設定は正しくされていませんか？	IP アドレスなどの設定を確認してください。	11

データ入力ソフトの操作

現 象	点検項目	対 策	関連ページ
パソコンが動作しない。	パソコンの動作環境は合っていますか？	OS やメモリ容量などを確認してください。	44
装置用データの作成で、作成先ドライブに、USB メモリをセットしたドライブが表示されない。	パソコンが、USB ドライブを認識していない可能性があります。	「更新」 ボタンをクリックしてください。	76 118
時刻の最小単位を「秒」に設定しているのに、放送時刻の設定が細かくできない。（一般用）	設定時刻の間隔を、30 秒以内に設定していませんか？	定時放送の時刻設定には、30 秒以上の間隔が必要です。	61
ネットワーク機能で、繰上げ・繰下げの設定ができない。（一般用）	時刻の最小単位が「秒」に設定されていませんか？	「秒」に設定した時は、繰上げ／繰下げ機能は使用できません。	84 85 (74)
装置用データの作成で、割り付けたい wave ファイルが音源ファイル一覧に表示されない。	作成した音源ファイルは、本システムで使えるファイル形式で作成されていますか。	割り付けする音源ファイルは、次のいずれかのファイル形式で作成してください。 ・ μ-law 8 ビットモノラル 22.050kHz ・ PCM 16 ビットモノラル 22.050kHz ・ PCM 16 ビットモノラル 44.100kHz	78 90 120 131

主な取り扱い方法 PBS-D500

本体装置での操作

今、すぐチャイムを鳴らしたい (P36 参照)

- ① 手動放送の「チャイム」ボタンを押す。
- ② 選択ロータリースイッチで、チャイムのチャンネルを選ぶ。
- ③ 「セット」ボタンを押す。
 - *途中で止めるときは、「終了」ボタンを押す。
 - *鳴り終わると、元の状態に戻ります。

自動放送を停止したい (P34 参照)

- ① 「自動放送」ボタンを押す。
- ② 「セット」ボタンを押す。
 - *自動放送が解除され、自動放送ランプが消灯します。

自動放送にしたい (P34 参照)

- ① 「自動放送」ボタンを押す。
- ② 「セット」ボタンを押す。
 - *自動放送がセットされ、自動放送ランプが点灯します。

今日以降のスケジュールを変更したい (P28 参照)

- ① 待機画面にします。(自動放送になっているときは、解除します。)
- ② 「メニュー」ボタンを押す。
- ③ 選択ロータリースイッチで、「1 スケジュール」を選ぶ。
- ④ 「セット」ボタンを押す。
- ⑤ 選択ロータリースイッチで、「1-1 ネット スケジュール」を選ぶ。
- ⑥ 「セット」ボタンを押す。
- ⑦ 選択ロータリースイッチと「セット」ボタンで、年月日およびパターン番号を変更する。
 - * 選択ロータリースイッチで「年」を選び、「セット」を押す。
 - * 選択ロータリースイッチで「月」を選び、「セット」を押す。
 - * 選択ロータリースイッチで「日」を選び、「セット」を押す。
 - * 選択ロータリースイッチで「パターン番号」を選び、「セット」を押す。
- ⑧ 「終了」ボタンを、必要回数押して待機画面に戻す。
 - * 1 回押すごとに前画面に戻ります。
- ⑨ 自動放送を解除した場合は、自動放送にセットします。

今日以降のスケジュールを 繰上げ／繰下げしたい (P30 参照)

- ① 待機画面にします。(自動放送になっているときは、解除します。)
- ② 「メニュー」ボタンを押す。
- ③ 選択ロータリースイッチで、「1 スケジュール」を選ぶ。
- ④ 「セット」ボタンを押す。
- ⑤ 選択ロータリースイッチで、「1-3 クリア / クリサ」を選ぶ。
- ⑥ 「セット」ボタンを押す。
- ⑦ 「セット」ボタンと選択ロータリースイッチで、年月日、繰上げ／繰下げ開始時刻、繰上げ／繰下げ時間を設定する。
 - * 「セット」を押して、選択ロータリースイッチで「年」を選ぶ。
 - * 「セット」を押して、選択ロータリースイッチで「月」を選ぶ。
 - * 同様に、「時間」まで選び「セット」を押す。
- ⑧ 2 つ目以降の設定があれば、⑦を繰り返す。
- ⑨ 「終了」ボタンを、必要回数押して待機画面に戻す。
 - * 1 回押すごとに前画面に戻ります。
- ⑩ 自動放送を解除した場合は、自動放送にセットします。

今日以降のスケジュールを放送休止したい (P31 参照)

- ① 待機画面にします。(自動放送になっているときは、解除します。)
- ② 「メニュー」ボタンを押す。
- ③ 選択ロータリースイッチで、「1 スケジュール」を選ぶ。
- ④ 「セット」ボタンを押す。
- ⑤ 選択ロータリースイッチで、「1-4 キュウ」を選ぶ。
- ⑥ 「セット」ボタンを押す。
- ⑦ 「セット」ボタンと選択ロータリースイッチで、年月日、放送休止の開始時刻を設定する。
 - * 「セット」を押して、選択ロータリースイッチで「年」を選ぶ。
 - * 「セット」を押して、選択ロータリースイッチで「月」を選ぶ。
 - * 同様に、「分」まで選び「セット」を押す。
- ⑧ 2 つ目以降の設定があれば、⑦を繰り返す。
- ⑨ 「終了」ボタンを、必要回数押して待機画面に戻す。
 - * 1 回押すごとに前画面に戻ります。
- ⑩ 自動放送を解除した場合は、自動放送にセットします。

ネットワーク機能での操作

今すぐチャイム、メッセージを鳴らしたい (P94、135 参照)

- ① [手動放送] ボタンをクリックする。
- ② 鳴らしたい放送パターンを選びクリックする。
- ③ [放送開始] ボタンをクリックする。
*途中で止めるときは、[放送中止] ボタンをクリックする。
- ④ [戻る] ボタンをクリックして【待機画面】にする。

自動放送を中止したい (P83、124 参照)

- ① [本日スケジュール] ボタンをクリックする。
- ② [自動放送] ボタンをクリックする。
- ③ [はい] ボタンをクリックする。
*自動放送が解除され、自動放送ランプが消灯します。

自動放送にしたい (P83、124 参照)

- ① [本日スケジュール] ボタンをクリックする。
- ② [自動放送] ボタンをクリックする。
- ③ [はい] ボタンをクリックする。
*自動放送がセットされ、自動放送ランプが点灯します。

本日のスケジュールを変更したい (P82、123 参照)

- ① [本日スケジュール] ボタンをクリックする。
- 定時放送のステップ変更
 - ② [定時放送] タブおよび [ステップ変更] タブをクリックする。
 - ③ 定時放送一覧で、変更するステップをクリックする。
 - ④ 変更する内容を設定して [変更] / [新規] / [削除] / [連結] の該当ボタンをクリックする。
 - ⑤ 2 つ目以降の設定があれば、③～④を繰り返す。
 - ⑥ [転送] ボタンをクリックする。
 - ⑦ [はい] ボタンをクリックする。
*変更データが転送されます。
 - ⑧ [戻る] ボタンをクリックして【待機画面】にする。
- 定時放送の繰上げ・繰下げ、休止変更
 - ② [定時放送] タブおよび [繰上げ・繰下げ、休止変更] タブをクリックする。
 - ③ 変更する内容を設定して [スケジュール確認] ボタンをクリックする。
 - ④ [適用] ボタンをクリックする。
 - ⑤ [転送] ボタンをクリックする。
 - ⑥ [はい] ボタンをクリックする。
*変更データが転送されます。
 - ⑦ [戻る] ボタンをクリックして【待機画面】にする。

- BGM / 間隔放送の変更 (一般用)
 - ② [BGM / 間隔放送] タブをクリックする。
 - ③ 変更する内容を設定して [登録] ボタンをクリックする。
 - ④ [転送] ボタンをクリックする。
 - ⑤ [はい] ボタンをクリックする。
*変更データが転送されます。
 - ⑥ [戻る] ボタンをクリックして【待機画面】にする。

今日以降のスケジュールを変更したい (P87、128 参照)

- ① [年間スケジュール] ボタンをクリックする。
- ② 日課パターン一覧表で [登録] ボタンをクリックし、変更するパターン番号をクリックする。
- ③ 年間スケジュールのカレンダーの変更したい日付をクリックする。
- ④ [転送] ボタンをクリックする。
- ⑤ [はい] ボタンをクリックする。
*変更データが転送されます。
- ⑥ [戻る] ボタンをクリックして【待機画面】にする。

翌日以降のスケジュールを 繰上げ／繰下げしたい (P85、126 参照)

- ① [繰上げ・繰下げ、休止] ボタンをクリックする。
- ② [繰上げ・繰下げ] タブをクリックする。
- ③ 年月日、開始時刻、繰上げ／繰下げの種別、繰時間を設定する。
- ④ [登録] ボタンをクリックする。
- ⑤ 2 つ目以降の設定があれば、③～④を繰り返す。
- ⑥ [転送] ボタンをクリックする。
- ⑦ [はい] ボタンをクリックする。
*変更データが転送されます。
- ⑧ [戻る] ボタンをクリックして【待機画面】にする。

翌日以降のスケジュールを放送休止したい (P86、127 参照)

- ① [繰上げ・繰下げ、休止] ボタンをクリックする。
- ② [休止] タブをクリックする。
- ③ 年月日、開始時刻を設定する。
- ④ [登録] ボタンをクリックする。
- ⑤ 2 つ目以降の設定があれば、③～④を繰り返す。
- ⑥ [転送] ボタンをクリックする。
- ⑦ [はい] ボタンをクリックする。
*変更データが転送されます。
- ⑧ [戻る] ボタンをクリックして【待機画面】にする。

主な仕様

項 目		仕 様	備 考
ディスプレイ	サイズ	24 文字（半角）× 2 行	バックライト付きLCD
	表示文字	カナ、数字、記号、アルファベット	
録音再生	録音媒体	内蔵フラッシュメモリ	
	録音方式	μ-law 8 ビットモノラル 22.050kHz（標準） PCM 16 ビットモノラル 22.050kHz（高音質 1） PCM 16 ビットモノラル 44.100kHz（高音質 2）	チャンネルごとに設定可
	録音時間	標準：約 60 分、高音質 1：約 30 分、高音質 2：約 15 分	
	チャンネル数	メッセージ：99ch、自作チャイム：15ch	
	S／N 比	65dB 以上	1kHz / 0dBV 録音時（テープ）
音声入力	マイク入力端子	600 Ω 不平衡、-60dBV、6.5mm ジャック	
	テープ入力端子	47 K Ω 不平衡、0dBV、3.5mm ジャック	
	チャイム入力端子	10 K Ω 不平衡、-10 dBV、ピンジャック	
	BGM 入力端子	10 K Ω 不平衡、-10 dBV、ピンジャック	
音声出力	アンプ音声出力端子	600 Ω、0dBV、6.5mm ジャック	
	イヤホン端子	16 ～ 32 Ω	
制御出力	アンプ制御端子	無電圧メーク出力（接点容量：DC30V, 500mA 以下）	
	チャイム制御端子	無電圧メーク出力（接点容量：DC30V, 500mA 以下）	
	BGM 制御端子	無電圧メーク出力（接点容量：DC30V, 500mA 以下）	
制御入力	リモート放送端子	無電圧メーク入力（接点容量：DC10V, 10mA 以上）	最小信号時間 200ms 以上
	拡張端子	リモートアダプタ PBS-D500 RA 起動信号	
	時刻修正端子	無電圧メーク入力（接点容量：DC10V, 10mA 以上） DC24V 電圧入力	最小信号時間 200ms 以上
放送系統		1 系統	
データ登録	パソコン	PBS-D500 データ入力ソフト（添付品）	OS:Windows 2000/XP/Vista
	転送媒体	USB フラッシュメモリ	
自動放送	日課パターン	99 種類	
	定時放送スケジュール	1 日課パターンあたり、64 ステップ	
	BGM 放送スケジュール	1 日課パターンあたり、6 ステップ	一般用のみ
	間隔放送スケジュール	1 日課パターンあたり、1 ステップ、6ch	一般用のみ
	繰上げ・繰下げ／休止	繰上げ・繰下げ：10 ステップ、休止：10 ステップ	
	月間スケジュール	月の第 1 週～第 5 週単位	一般用のみ
	週間スケジュール	月別の週単位／土曜日登録	学校用のみ
	祝日スケジュール	国民の祝日 15 日、予備 9 日、国民の休日	ハッピーマンデー対応
	休日スケジュール	年の日単位	
特定日スケジュール	特定日スケジュール	10 年分の日単位	登録年から 10 年分
手動放送		チャイム、メッセージ	
リモート放送		標準：5 入力、オプション：31、オプション：50	別売アダプタが必要
LAN 仕様	通信プロトコル	TCP／IP	
	インターフェース	10BASE-T / 100BASE-TX	
ネットワーク機能	スケジュール変更	本日スケジュール、繰上げ・繰下げ／休止、 年間スケジュール	
	設定データ転送	スケジュールデータ、音源データ	
	リモート放送履歴転送	CSV 形式ファイル	
	スケジュール確認	本日スケジュール確認	
	手動放送	放送パターン：10 種類	
電源	電圧（周波数）	AC100V ± 10V（50 / 60Hz）	（本体装置）
	消費電力	約 8 W（最大）	（本体装置）
	停電保証	年月日・時刻は、10 年以上	
時計精度		月差 ± 5 秒（25℃、通電時）	（本体装置）
外観	寸法（mm）	430（幅）× 226（奥行き）× 44（高さ）	（本体装置）突起物含まず
	質量（kg）	約 2.2	（本体装置）

アフターサービスについて

- 本書は、下記記載の保証条件で無料修理を行うことをお約束するものです。保証期間内に故障した場合には、本書を提示のうえ、お買い上げ店または当社営業所に修理をご依頼ください。
- 保証期間後の修理は、修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。お買い上げ店または当社営業所へお問い合わせください。
- 本品の故障・誤操作または不具合により、放送などにおいて利用の機会を逸したために発生した損害等の付随的損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

型名 / 保証期間	自動放送機能付プログラムチャイム PBS-D500 / お買い上げから1年間		
お買い上げ日	年 月 日		
保 証 書	お名前		
	ご住所	〒	
	電話番号		
	名前		
販 売 店	住所	〒	
	電話番号		

保証条件

1 保証書記載の保証期間内に、取扱説明書などに従った正常なご使用状態で故障した場合には、お買い上げ店または当社営業所が無料修理いたします。

2 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、お買い上げ店または当社営業所に製品と本書をご持参またはご送付ください。尚、修理ご依頼のご持参、お持ち帰りの場合の交通費、またご送付される場合の送付費用などはお客さまのご負担となります。

3 保証期間内であっても、次の場合は有料修理となります。

- ① 保証書の提示がない場合
- ② 保証書にお買い上げ日、お買い上げ店印がない場合
- ③ 保証書記入箇所の字句を書き換えられた場合
- ④ 誤ったご使用方法で故障または損傷した場合
- ⑤ 輸送・移動中の落下などお取り扱いが適当でないために生じた故障または損傷の場合
- ⑥ 火災・地震・水害・雷害などの天災地変およびその他の特殊な外部要因によって故障または損傷した場合
- ⑦ 本製品に異常がなく、本製品以外の部分（例えば、電源・他の機器など）の不良を点検または改善した場合
- ⑧ 不当な修理や改造をしたために故障または損傷した場合
- ⑨ 消耗品を交換した場合

4 この保証書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.

5 この保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

6 ご贈答品、ご転居後の修理については、最寄りの当社営業所にご相談ください。

使い方・取付け方などのご相談

お客様相談センター  **0570-03-8811**

受付時間：月～金 9：00～17：30（土・日曜日、祝日、弊社指定休日除く）

修理に関するご相談

- 製品の修理につきましては、お買い上げの販売店様または弊社「修理センター」へお問い合わせください。

弊社ホームページ <http://www.takacom.co.jp>
「サポート修理センターご案内」をご覧ください。

株式会社 **タカコム**

本社・工場 / 〒509-5202 岐阜県土岐市下石町西山 304-709

支店／営業所名	住所、電話番号	担当地区
東京支店	〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町2-9-8（日本橋MSビル） 電話：03-5651-2281	関東、甲信越
札幌出張所	〒060-0061 札幌市中央区南1条西10丁目4-167（小六第一ビル） 電話：011-271-0225	北海道
仙台出張所	〒980-0011 仙台市青葉区上杉1丁目6-10（仙台北辰ビルSEED21） 電話：022-726-7300	東北地区
名古屋営業所	〒464-0075 名古屋市中千種区内山3-10-17（今池セントラルビル） 電話：052-734-6601	東海、北陸地区
大阪営業所	〒542-0081 大阪市中央区南船場2-5-23（自重堂ビル） 電話：06-6260-4611	近畿地区
広島営業所	〒733-0021 広島市西区上天満町3-19（第2横山ビル） 電話：082-291-6400	中国、四国地区
福岡営業所	〒812-0042 福岡市博多区豊1-3-14（佐藤ビル） 電話：092-431-1942	九州地区、沖縄県